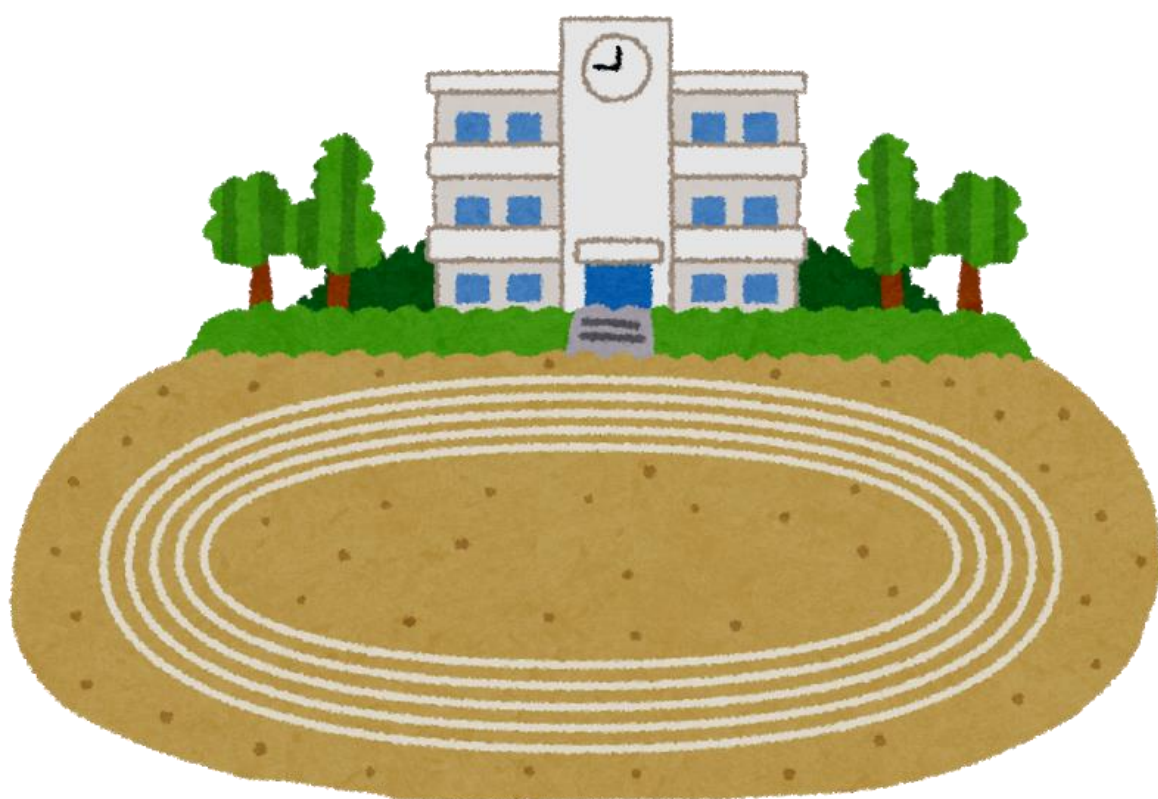


平成29年度 望ましい学校づくり住民説明会 アンケート集計表



平成30年 1 月
指宿市教育委員会

目 次

○ 望ましい学校づくり住民説明会参加状況	1
1 指宿地域アンケート結果	2
（１）中学校区別アンケート結果	
①北指宿中学校区集計表	4
②南指宿中学校区集計表	6
③西指宿中学校区集計表	8
（２）小学校区別アンケート結果	
①指宿小学校区集計表	10
〃 保護者集計表	12
②魚見小学校区集計表	14
〃 保護者集計表	16
③柳田小学校区集計表	18
〃 保護者集計表	20
④丹波小学校区集計表	22
〃 保護者集計表	24
⑤今和泉小学校区集計表	26
〃 保護者集計表	28
⑥池田小学校区集計表	30
〃 保護者集計表	32
（３）その他の意見と自由意見（指宿地域）	34
2 開聞・山川地域アンケート結果	46
（１）中学校別アンケート結果	
①山川中学校区集計表	48
②開聞中学校区集計表	50
（２）小学校別アンケート結果	
①山川小学校区集計表	52
〃 保護者集計表	54
②大成小学校区集計表	56
〃 保護者集計表	58
③徳光小学校区集計表	60
〃 保護者集計表	62
④利永小学校区集計表	64
〃 保護者集計表	66
⑤開聞小学校区集計表	68
〃 保護者集計表	70
⑥川尻小学校区集計表	72
〃 保護者集計表	74
（３）その他の意見と自由意見（開聞・山川地域）	76

※注意：割合の合計は、四捨五入の関係上、100.0%にならないことがあります。

望ましい学校づくり住民説明会 参加状況

期日	校区	参加者	回答者	回収率	子ども
10月 5 日	開聞小	69	64	92. 8%	5
6 日	徳光小	54	52	96. 3%	8
11日	山川小	31	30	96. 8%	3
17日	大成小	48	46	95. 8%	2
19日	利永小	39	34	87. 2%	7
23日	丹波小	36	34	94. 4%	5
24日	魚見小	25	24	96. 0%	0
26日	池田小	38	35	92. 1%	8
30日	川尻小	162	156	96. 3%	28
31日	今和泉小	33	32	97. 0%	2
11月 2 日	開聞中	36	28	77. 8%	2
6 日	柳田小	20	20	100. 0%	5
7 日	指宿小	39	39	100. 0%	10
9 日	山川中	29	22	75. 9%	0
13日	北指宿中	14	13	92. 9%	0
14日	南指宿中	23	21	91. 3%	3
16日	西指宿中	16	12	75. 0%	0
合計		712	662	93. 0%	88

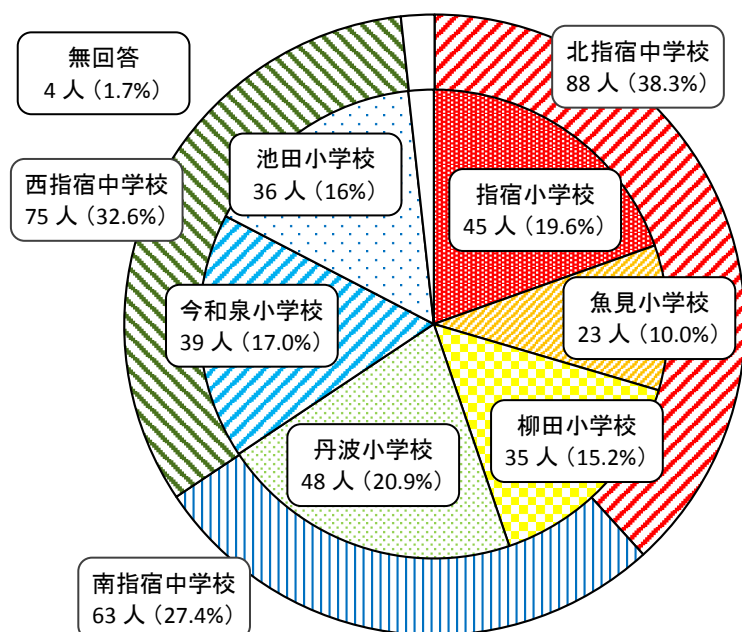
指宿地域アンケート結果

中学校区：**全体**

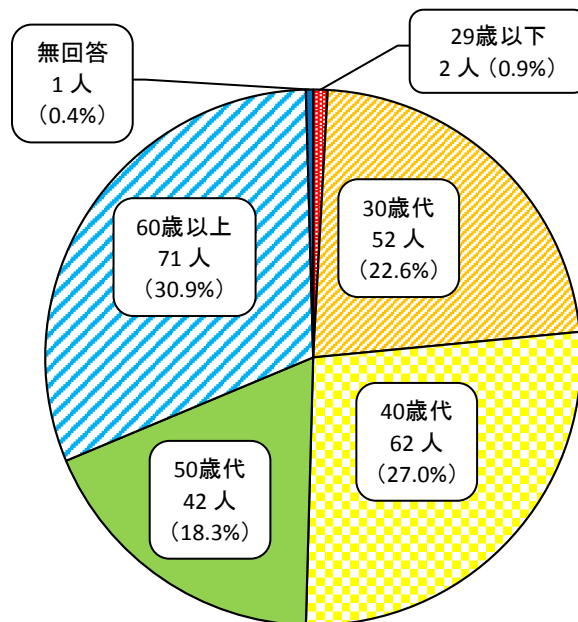
住民区分：**全体**

抽出者総数 **230** 人

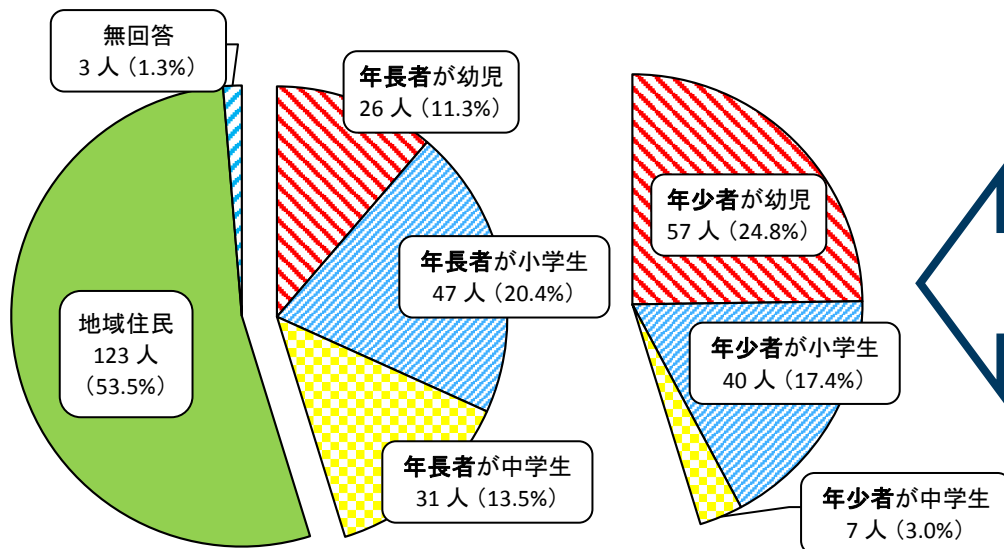
【問１・２】 居住する校区について



年代について



住民区分について



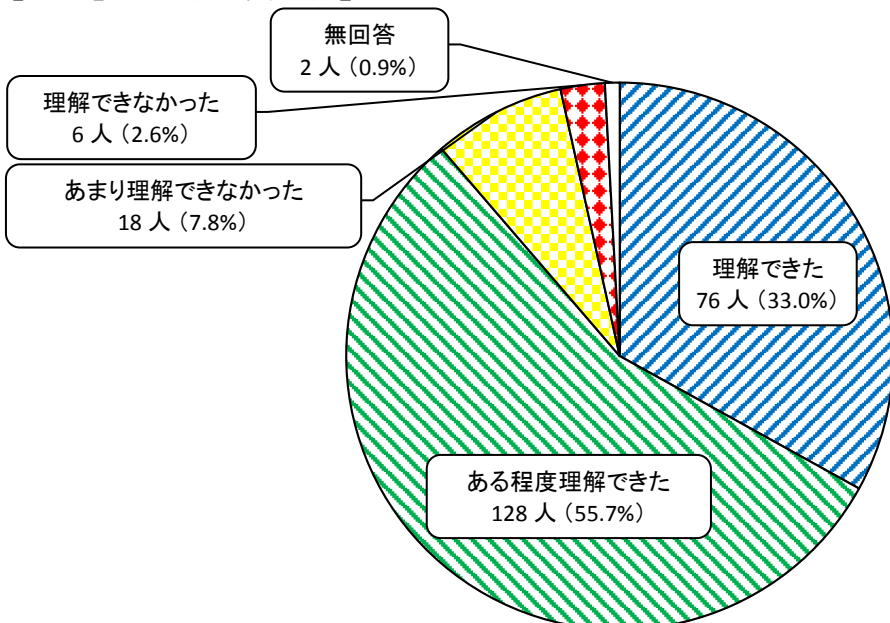
○保護者 104 人 (45.2%)

幼児を持つ保護者
57 人

小学生を持つ保護者
71 人

中学生を持つ保護者
31 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

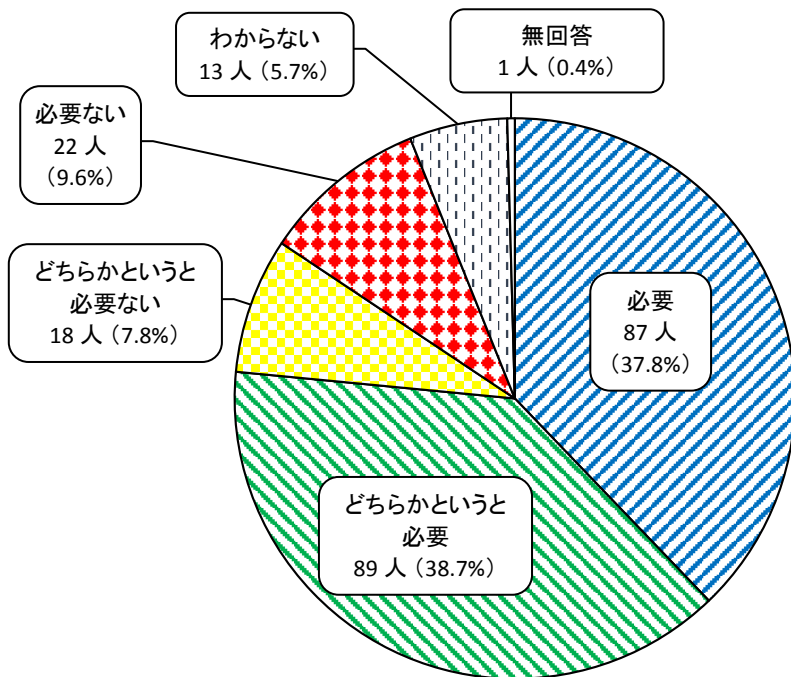


○理解できた・ある程度理解できた
204 人 (88.7%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
24 人 (10.4%)

○無回答
2 人 (0.9%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

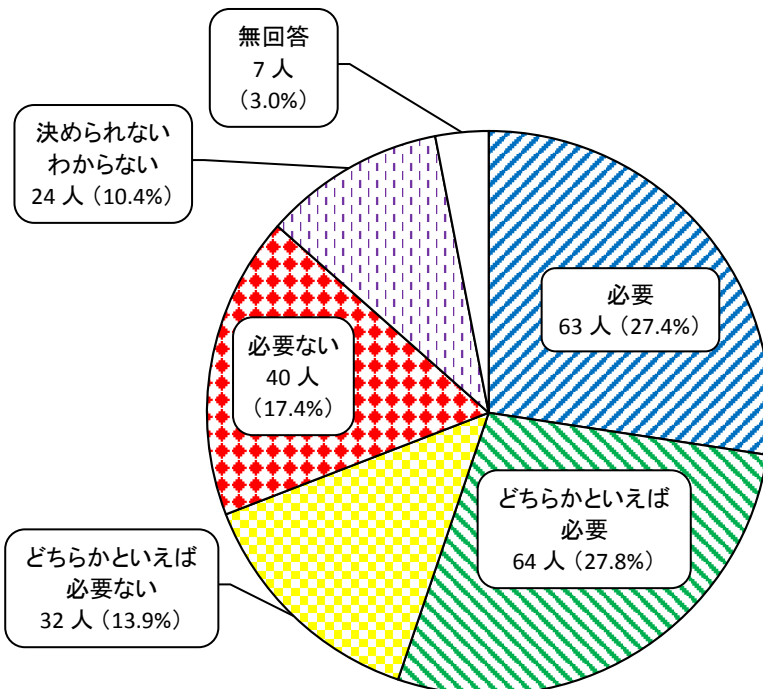


○必要・どちらかという必要
176人 (76.5%)

○必要ない・どちらかという必要ない
40人 (17.4%)

○わからない・無回答
14人 (6.1%)

【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



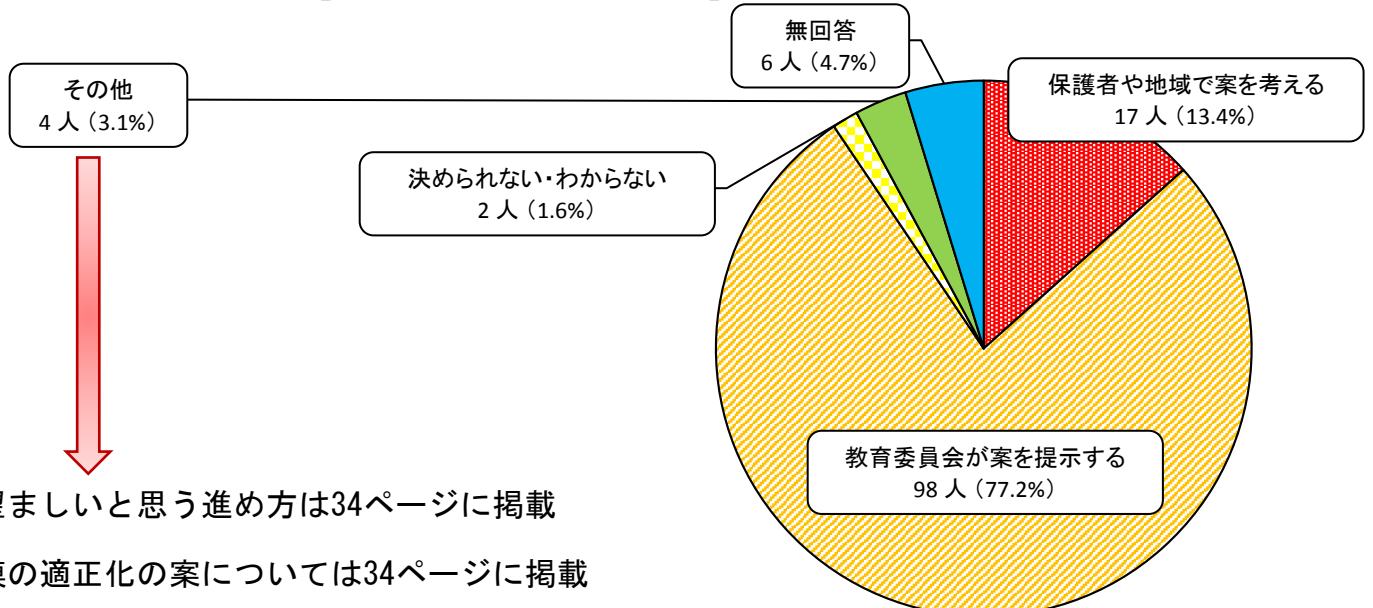
○必要・どちらかという必要
127人 (55.2%)

○必要ない・どちらかという必要ない
72人 (31.3%)

○わからない・無回答
31人 (13.5%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



○その他望ましいと思う進め方は34ページに掲載

○学校規模の適正化の案については34ページに掲載

【問7】 その他、自由なご意見をお聞かせください。 ※34ページに掲載

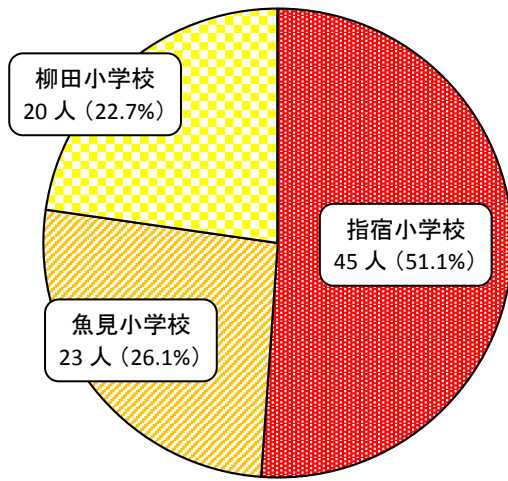
北指宿中学校区集計表

中学校区： 北指宿中学校区

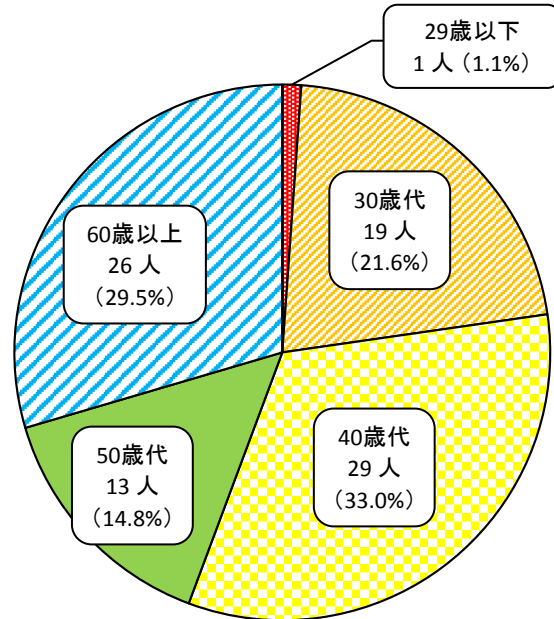
住民区分： 全体

抽出者総数 88 人

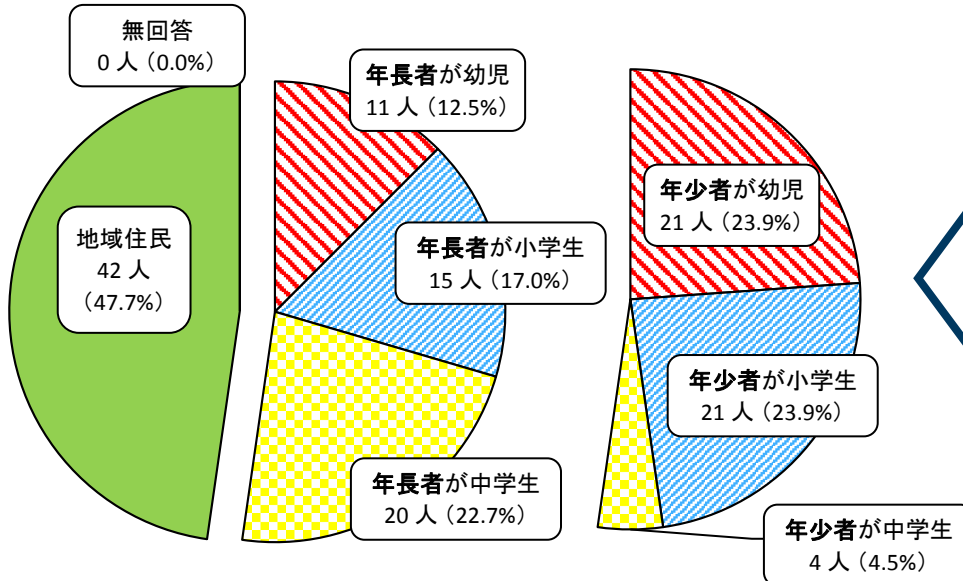
【問１・２】 居住する校区について



年代について



住民区分について



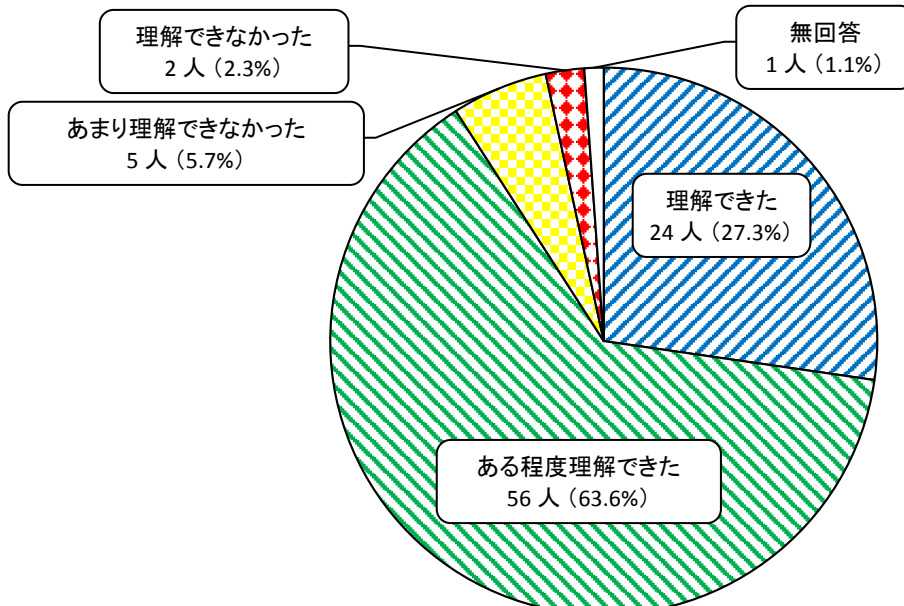
○保護者 46 人 (52.3%)

幼児を持つ保護者
21 人

小学生を持つ保護者
31 人

中学生を持つ保護者
20 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

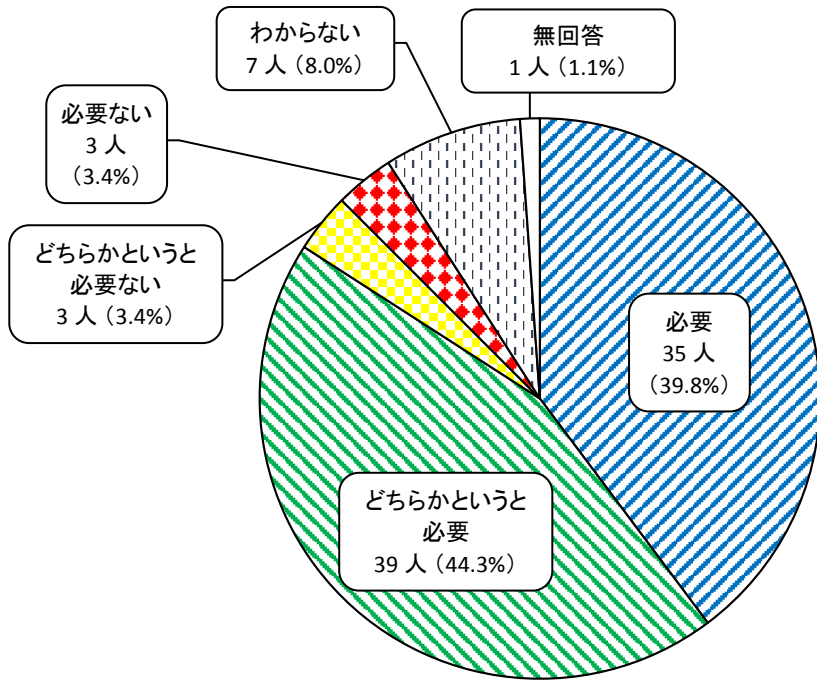


○理解できた・ある程度理解できた
80 人 (90.9%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
7 人 (8.0%)

○無回答
1 人 (1.1%)

【問４】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

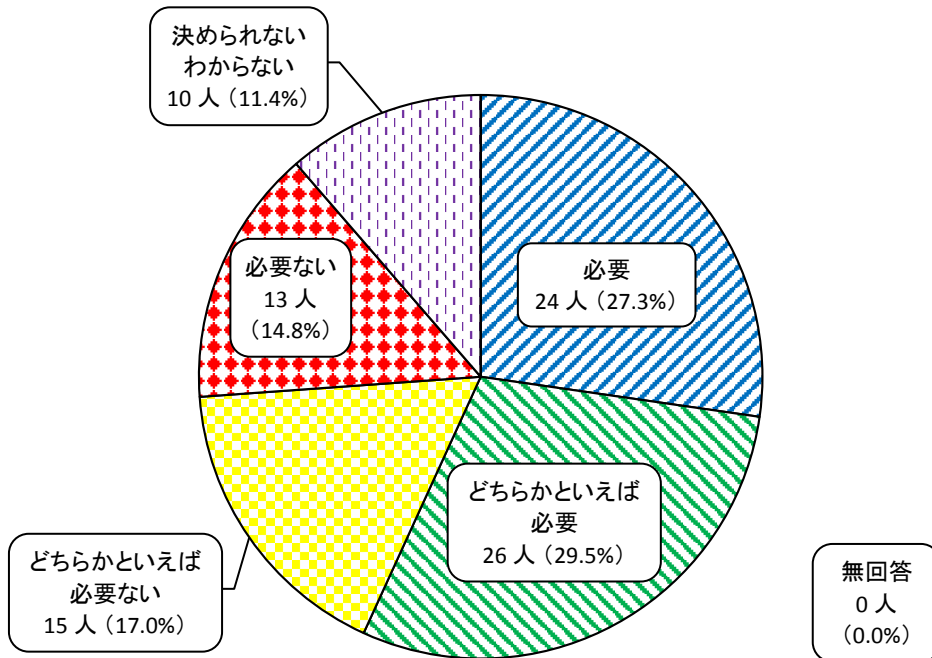


○必要・どちらかという必要
74人 (84.1%)

○必要ない・どちらかという必要ない
6人 (6.8%)

○わからない・無回答
8人 (9.1%)

【問５】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



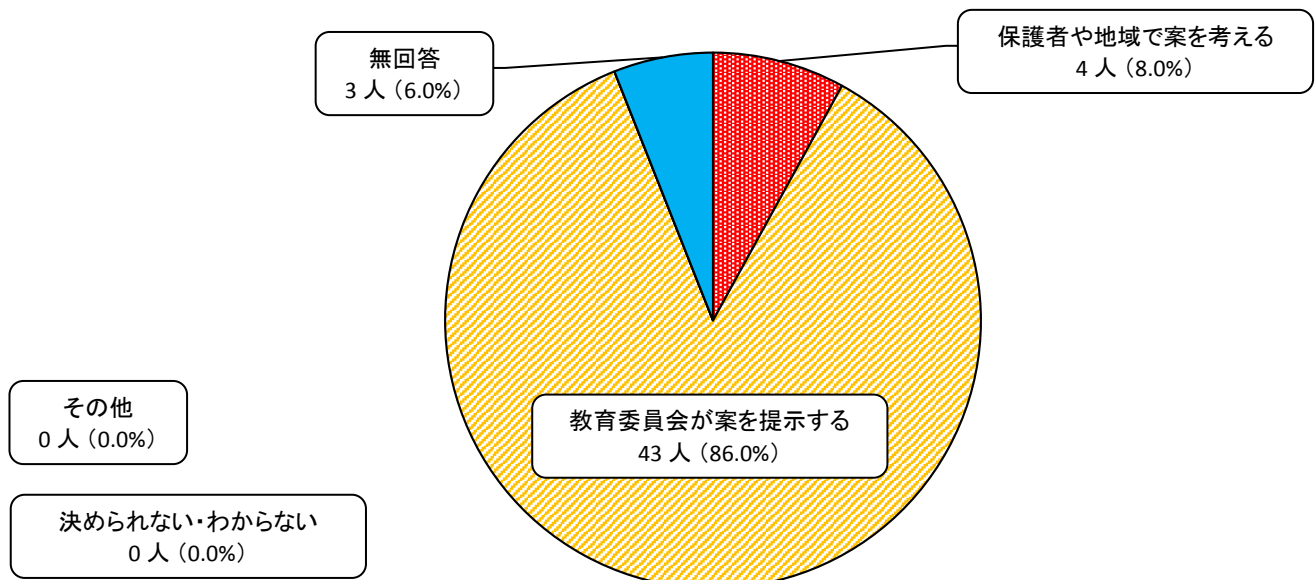
○必要・どちらかという必要
50人 (56.8%)

○必要ない・どちらかという必要ない
28人 (31.8%)

○わからない・無回答
10人 (11.4%)

【問６】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問５で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



南指宿中学校区集計表

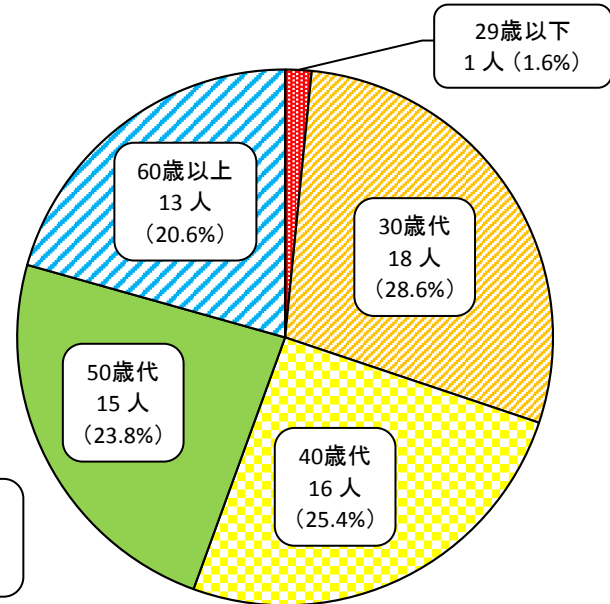
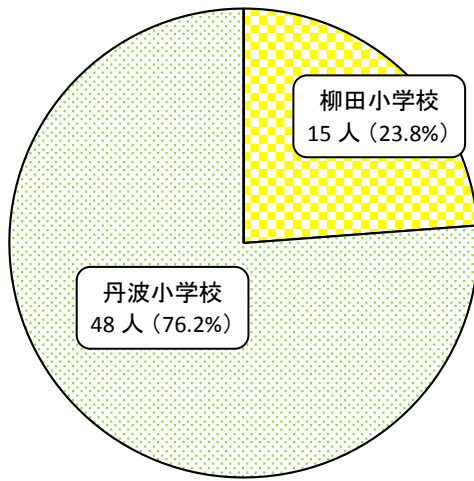
中学校区： 南指宿中学校区

住民区分： 全体

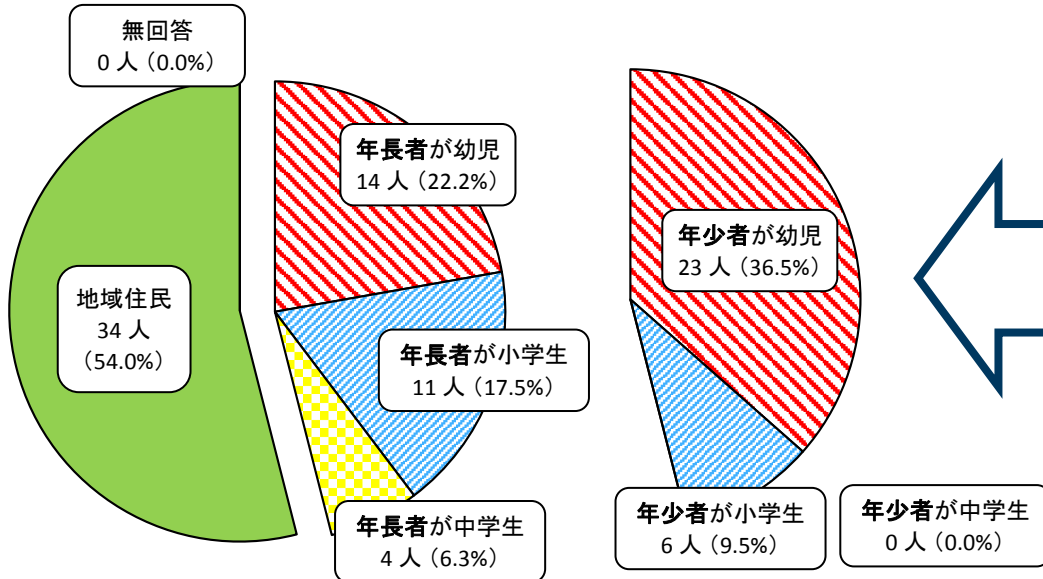
抽出者総数 63 人

【問１・２】 居住する校区について

年代について

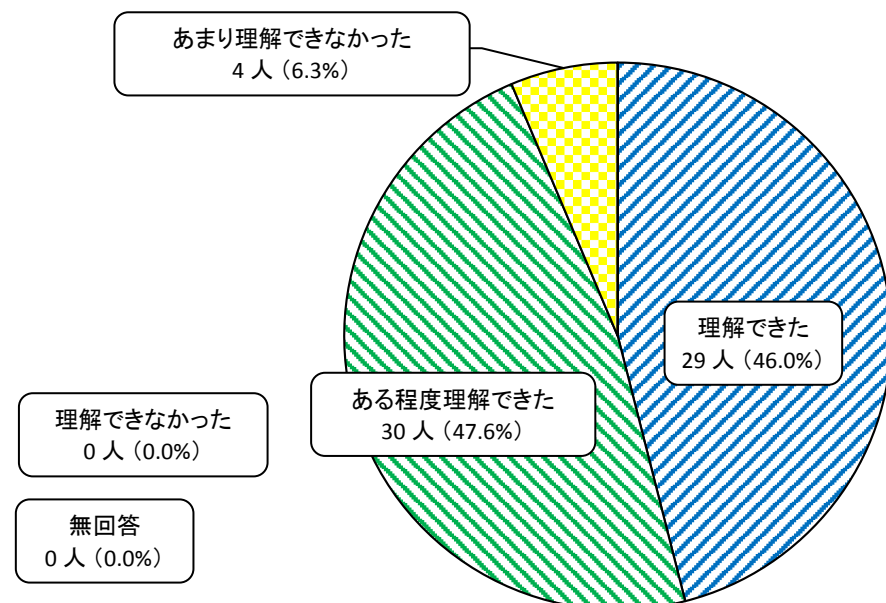


住民区分について



○保護者 29 人 (46.0%)
 幼児を持つ保護者 23 人
 小学生を持つ保護者 15 人
 中学生を持つ保護者 4 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

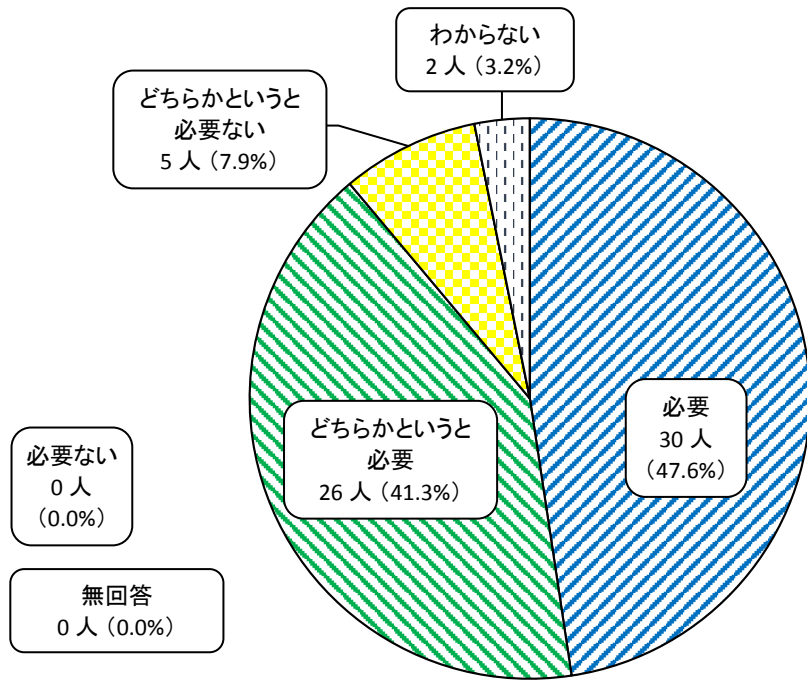


○理解できた・ある程度理解できた
 59 人 (93.7%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
 4 人 (6.3%)

○無回答
 0 人 (0.0%)

【問４】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

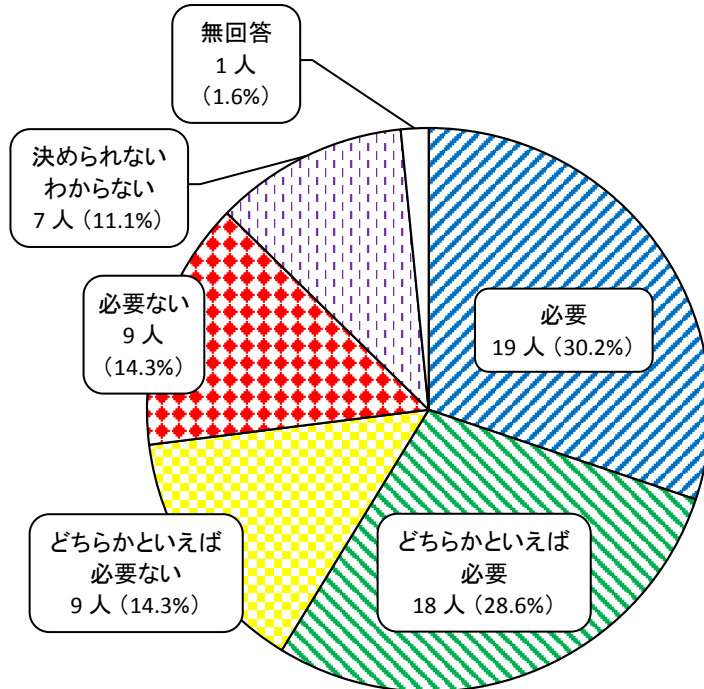


○必要・どちらかという必要
56人 (88.9%)

○必要ない・どちらかという必要ない
5人 (7.9%)

○わからない・無回答
2人 (3.2%)

【問５】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



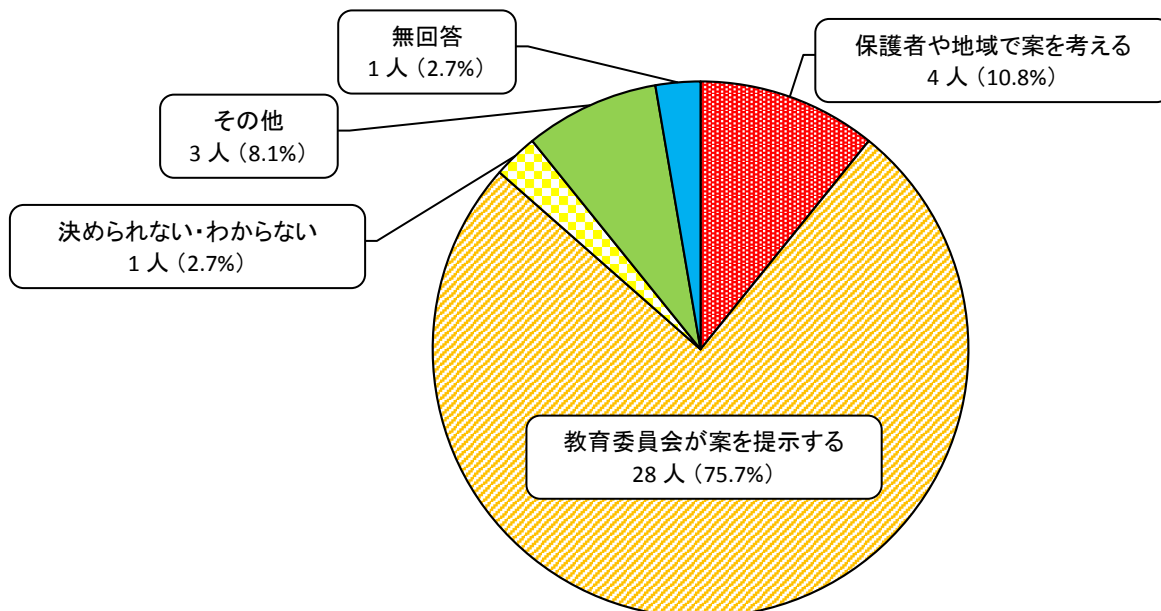
○必要・どちらかという必要
37人 (58.7%)

○必要ない・どちらかという必要ない
18人 (28.6%)

○わからない・無回答
8人 (12.7%)

【問６】「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問５で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



西指宿中学校区集計表

中学校区： 西指宿中学校区

住民区分：

全体

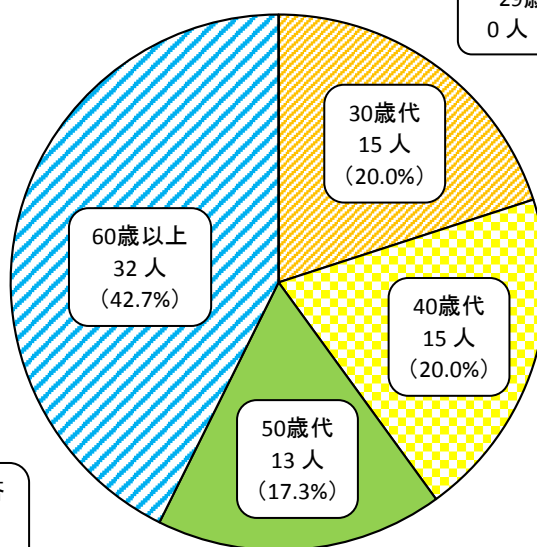
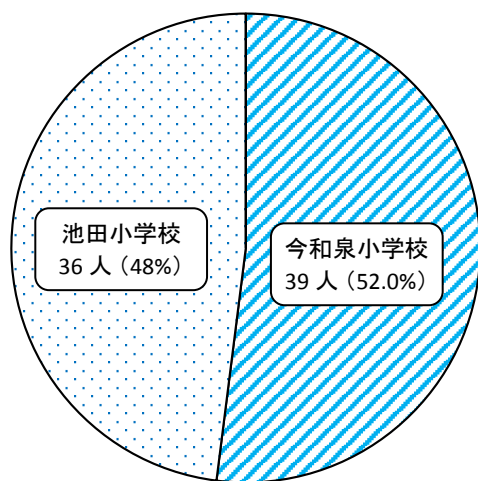
抽出者総数

75

人

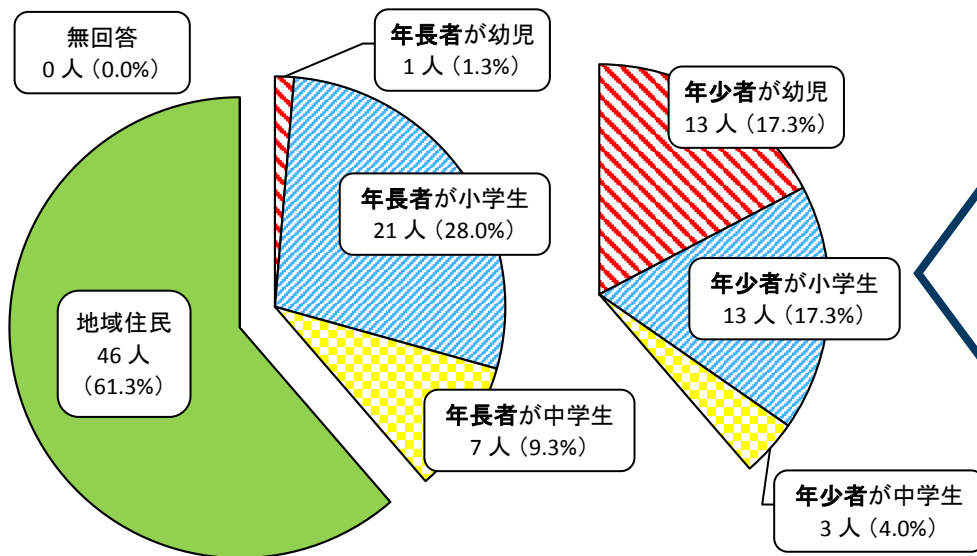
【問１・２】 居住する校区について

年代について



無回答
0人 (0.0%)

住民区分について



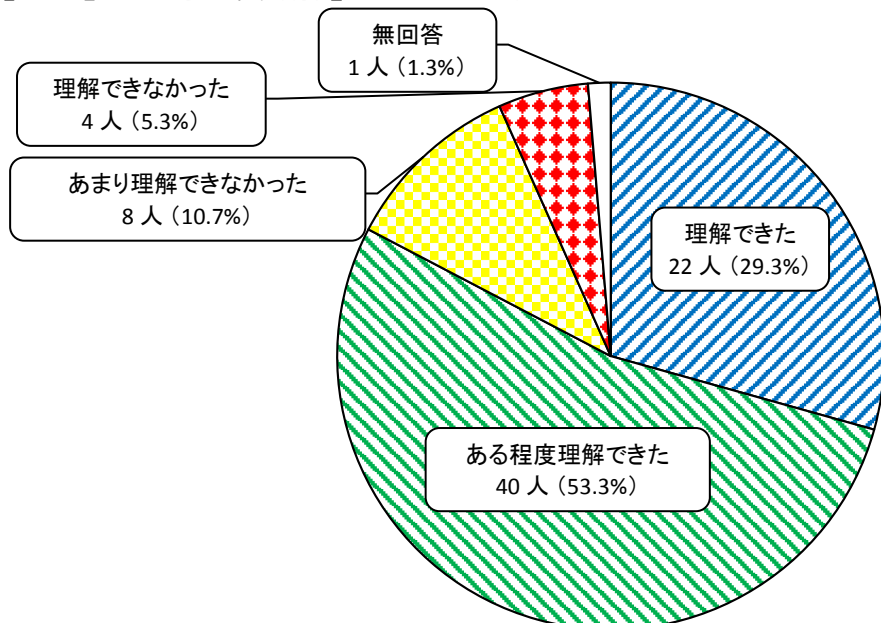
○保護者 29 人 (38.7%)

幼児を持つ保護者
13 人

小学生を持つ保護者
25 人

中学生を持つ保護者
7 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

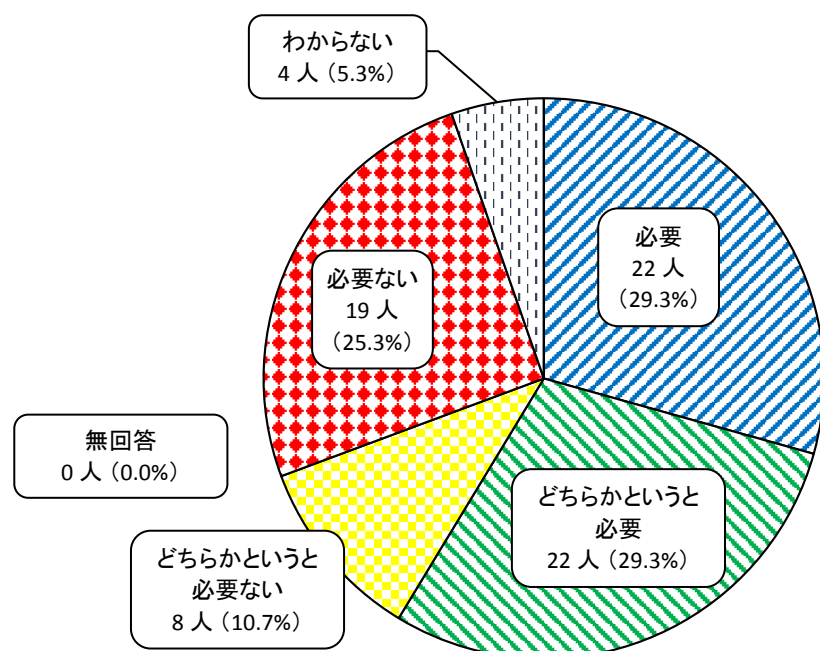


○理解できた・ある程度理解できた
62 人 (82.7%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
12 人 (16.0%)

○無回答
1 人 (1.3%)

【問４】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

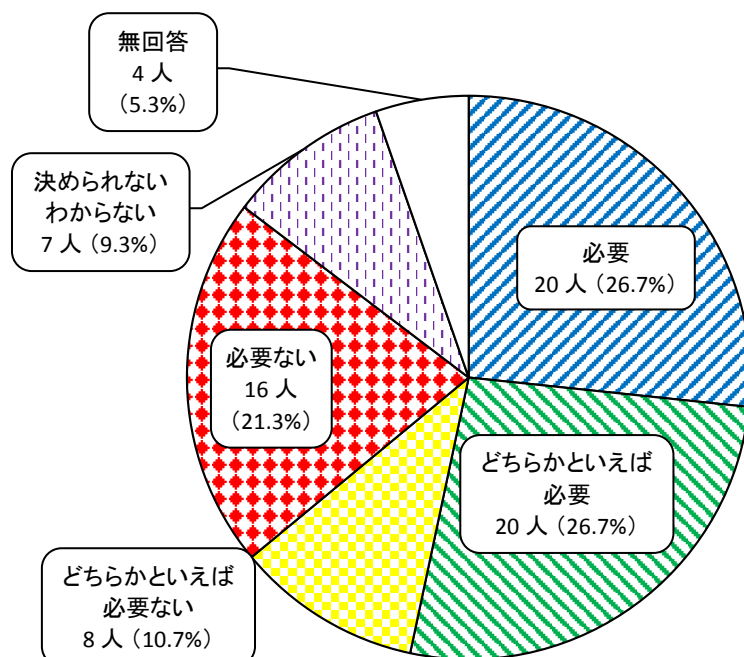


○必要・どちらかという必要
44人 (58.7%)

○必要ない・どちらかという必要ない
27人 (36.0%)

○わからない・無回答
4人 (5.3%)

【問５】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



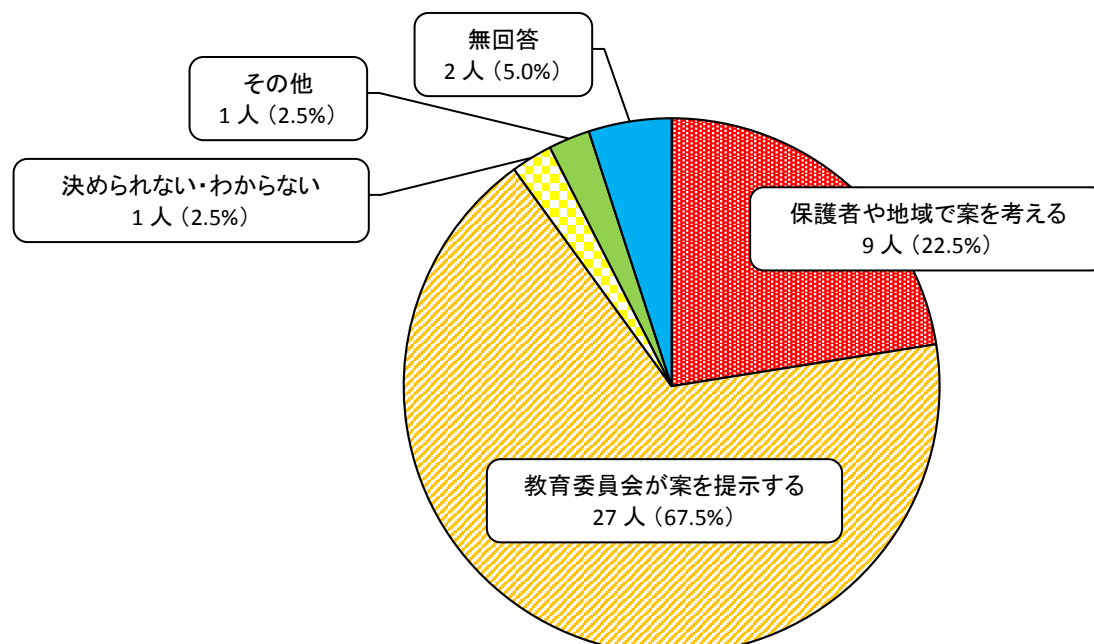
○必要・どちらかという必要
40人 (53.3%)

○必要ない・どちらかという必要ない
24人 (32.0%)

○わからない・無回答
11人 (14.7%)

【問６】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問５で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



指宿小学校区集計表

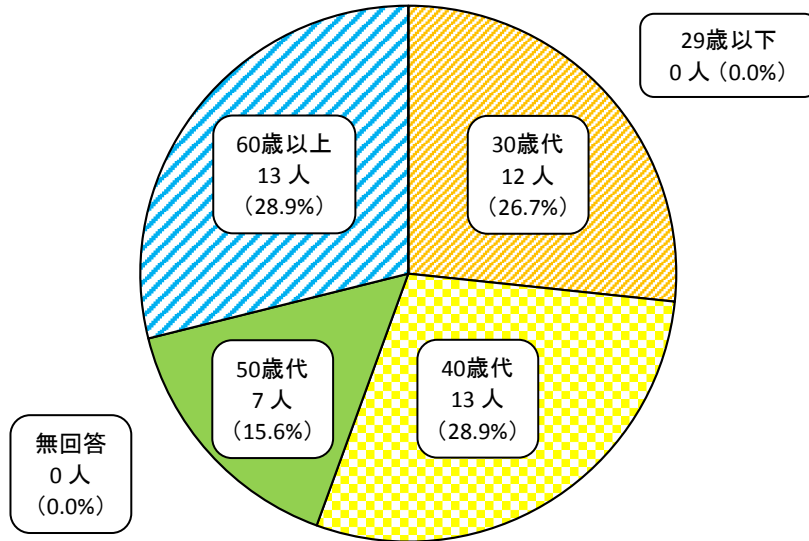
小学校区： 指宿小学校

住民区分： 全体

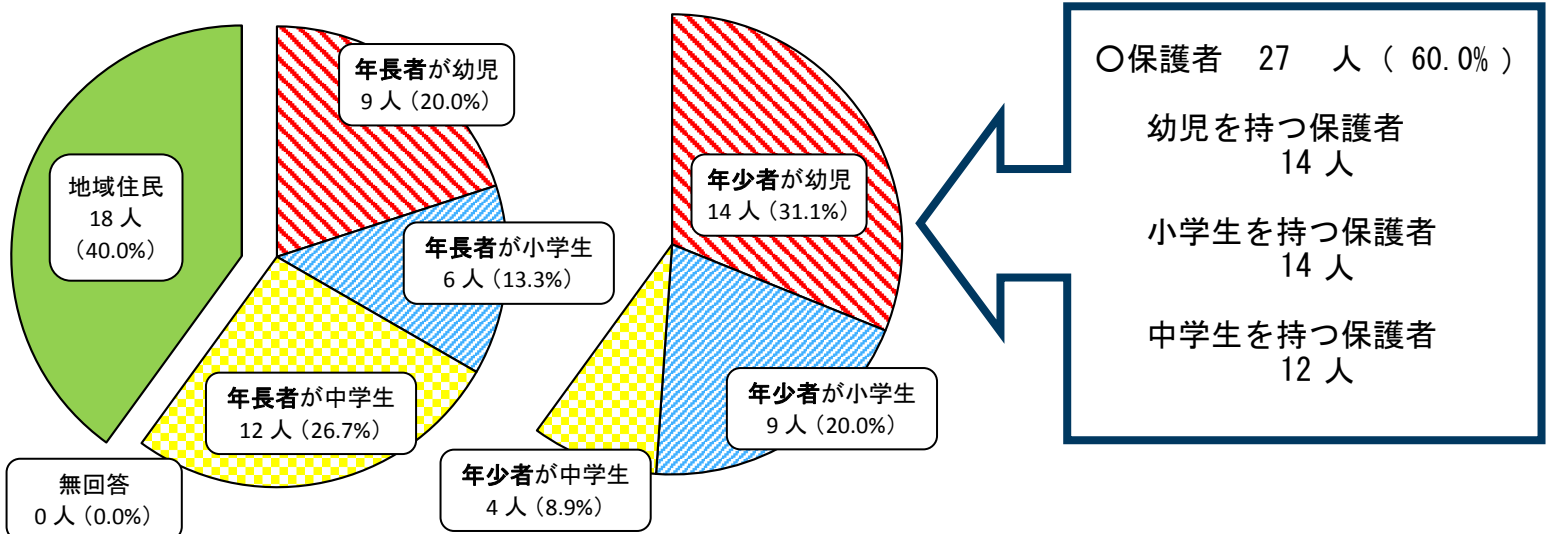
抽出者総数 45 人

【問2】 年代・住民区分について

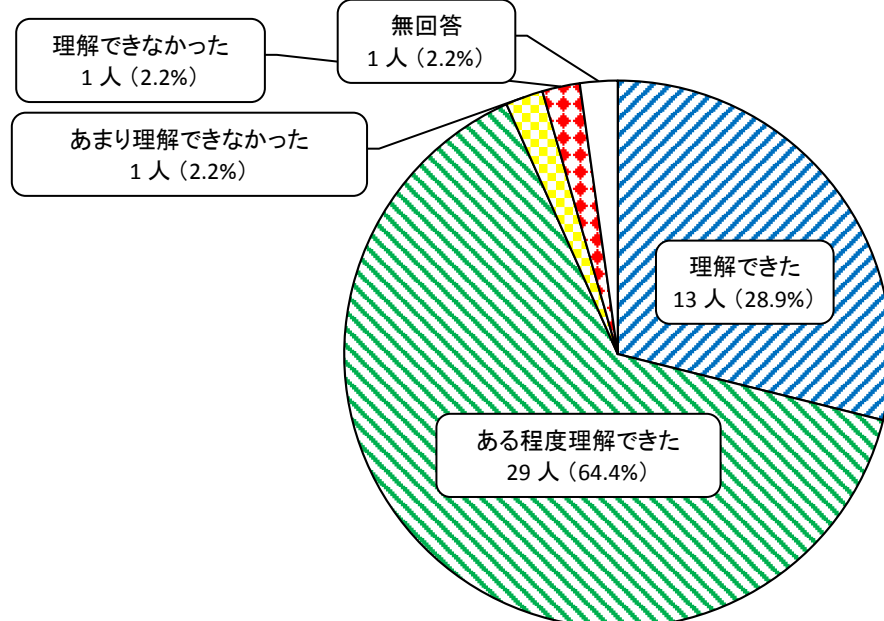
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

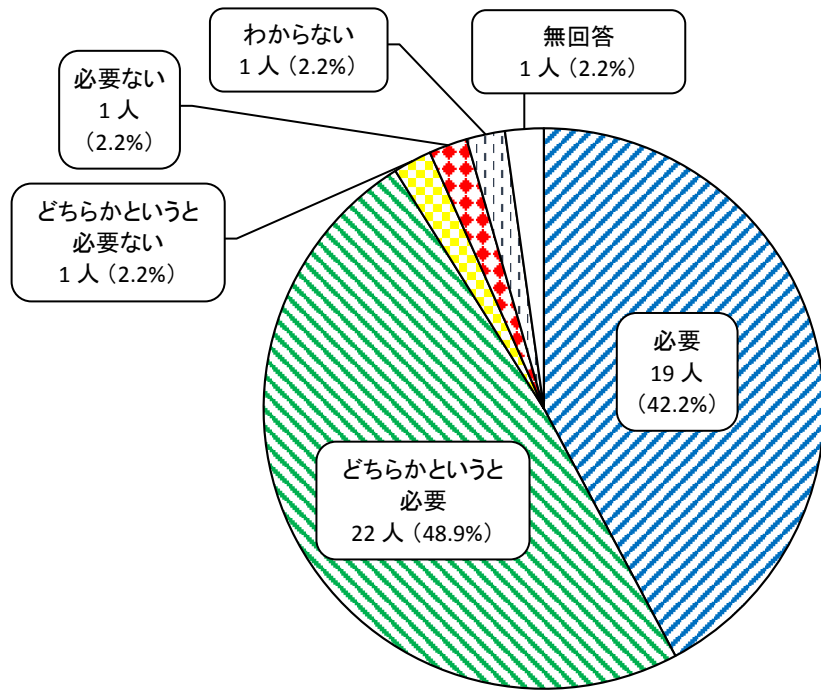


○理解できた・ある程度理解できた
42人 (93.3%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
2人 (4.4%)

○無回答
1人 (2.2%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

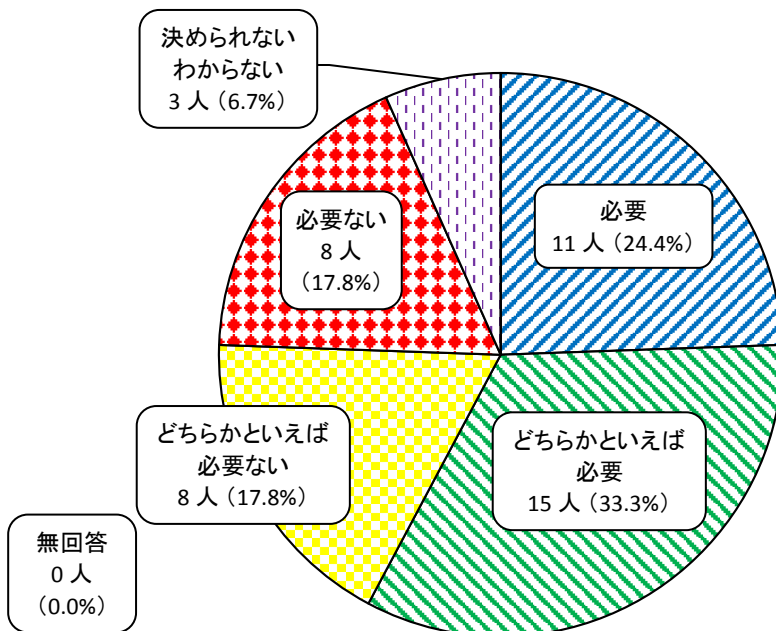


○必要・どちらかという必要
41人 (91.1%)

○必要ない・どちらかという必要ない
2人 (4.4%)

○わからない・無回答
2人 (4.4%)

【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



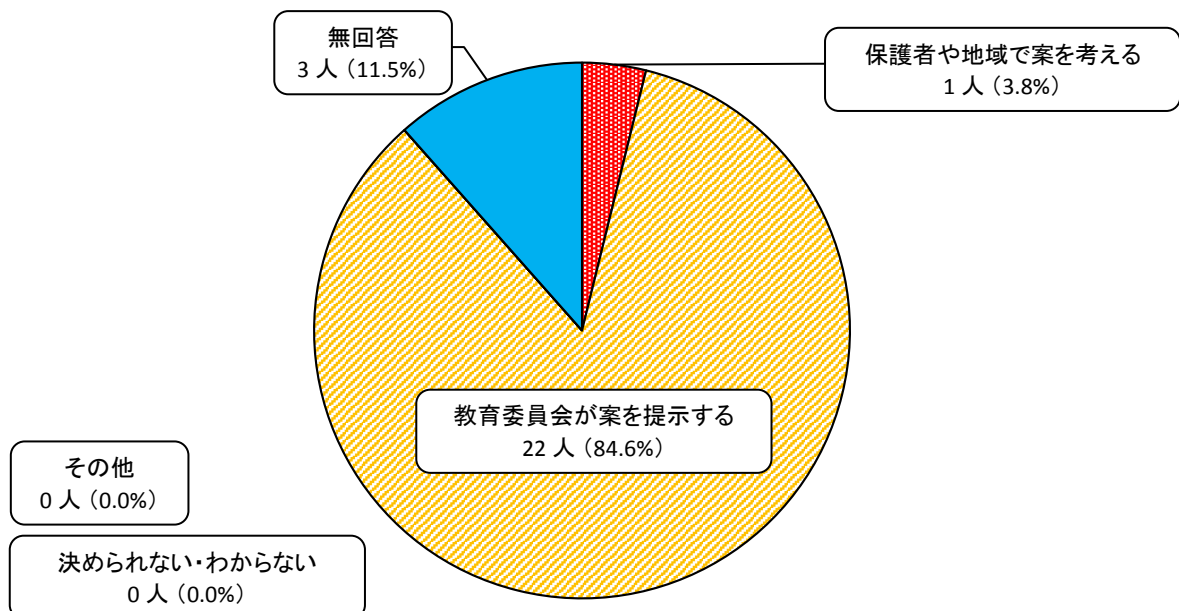
○必要・どちらかという必要
26人 (57.8%)

○必要ない・どちらかという必要ない
16人 (35.6%)

○わからない・無回答
3人 (6.7%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



指宿小学校区集計表（保護者のみ）

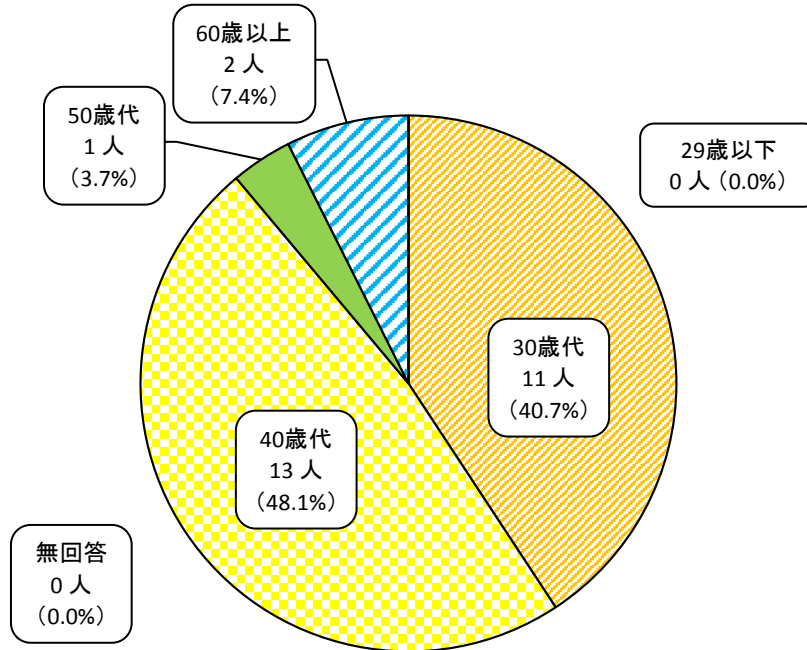
小学校区： 指宿小学校

住民区分： 保護者

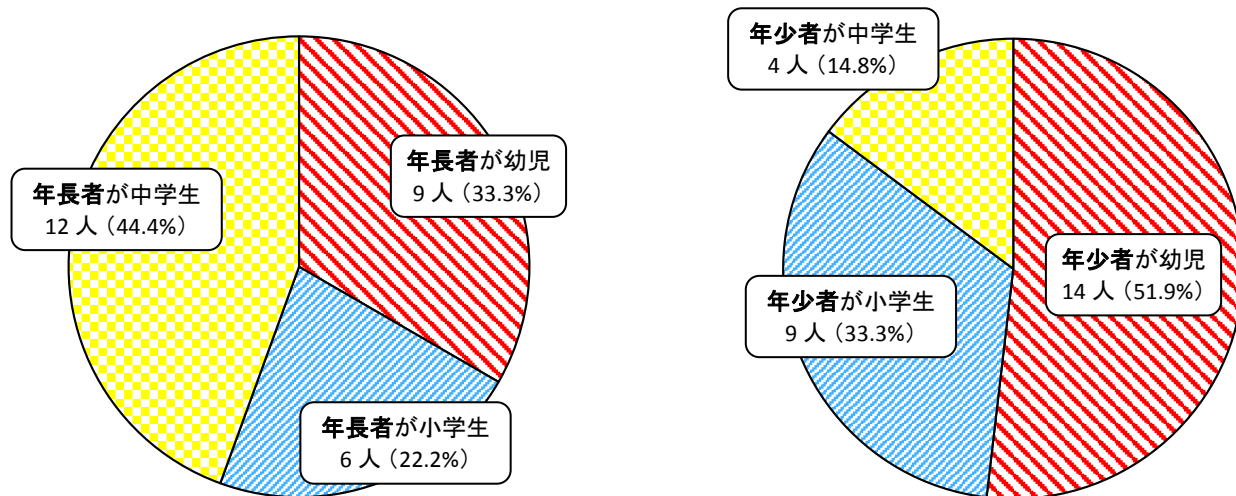
抽出者総数 27 人

【問2】 年代・住民区分について

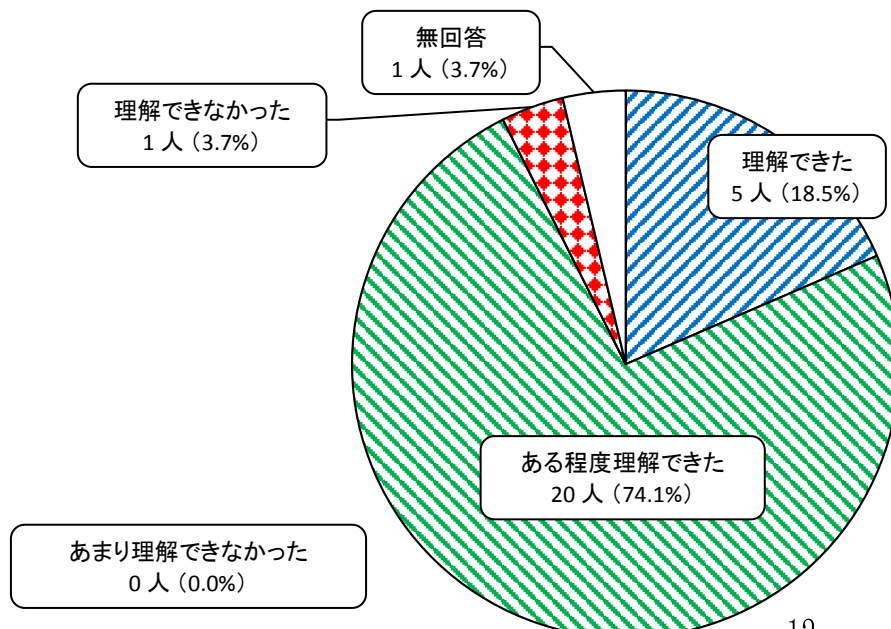
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

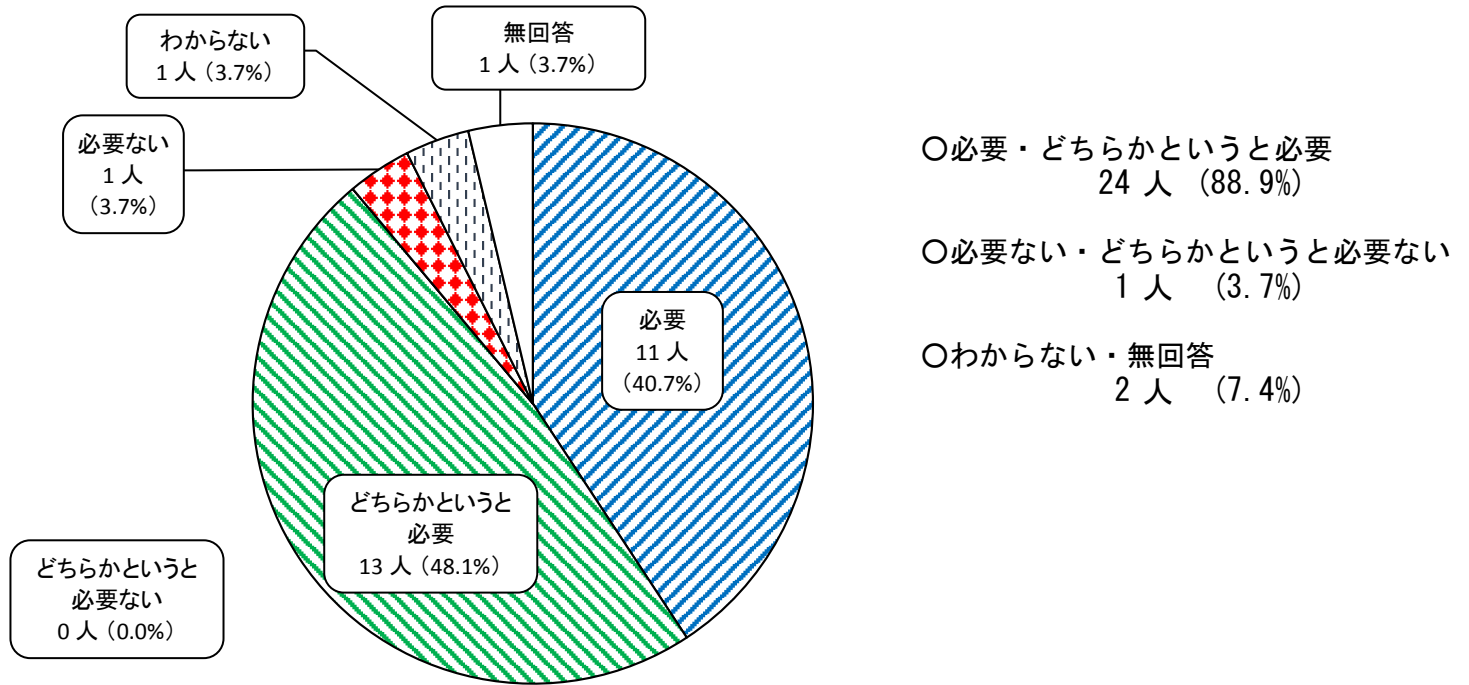


○理解できた・ある程度理解できた
25人 (92.6%)

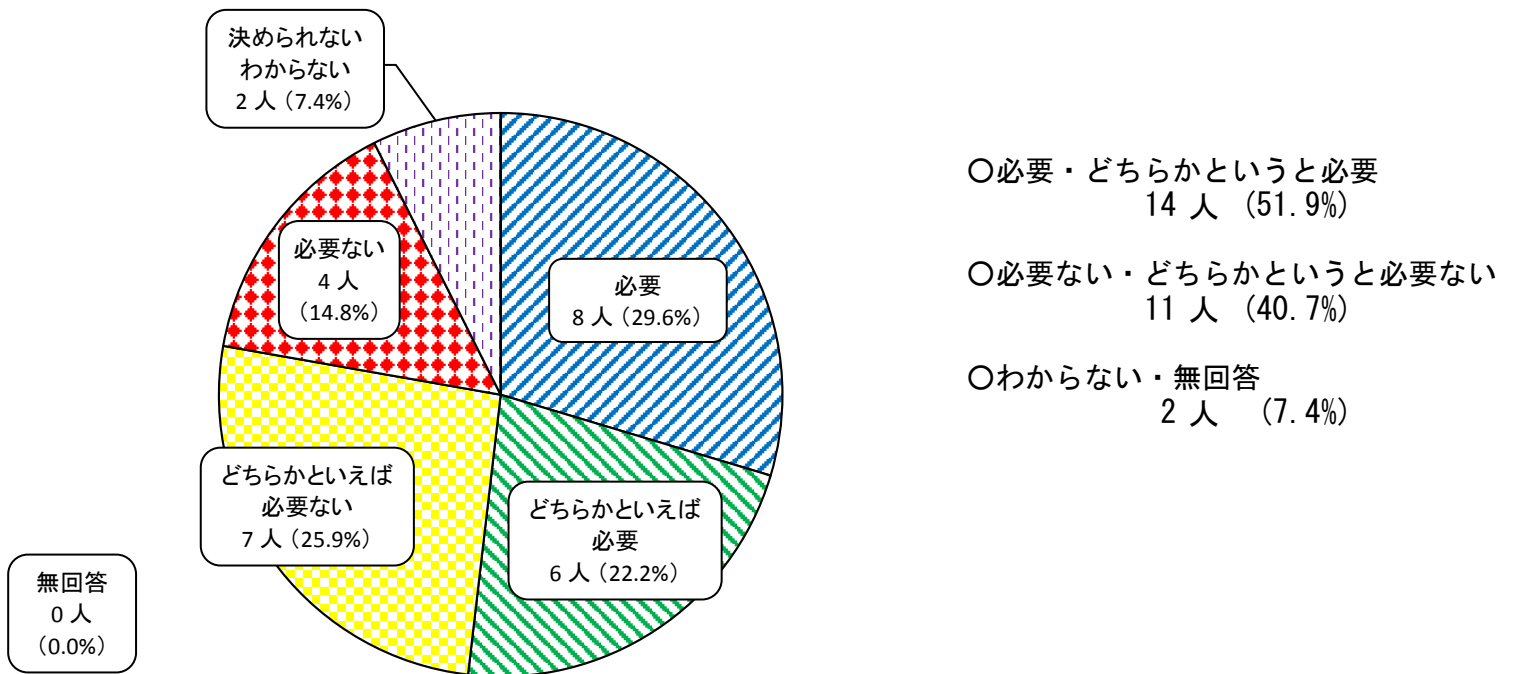
○理解できなかった・あまり理解できなかった
1人 (3.7%)

○無回答
1人 (3.7%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

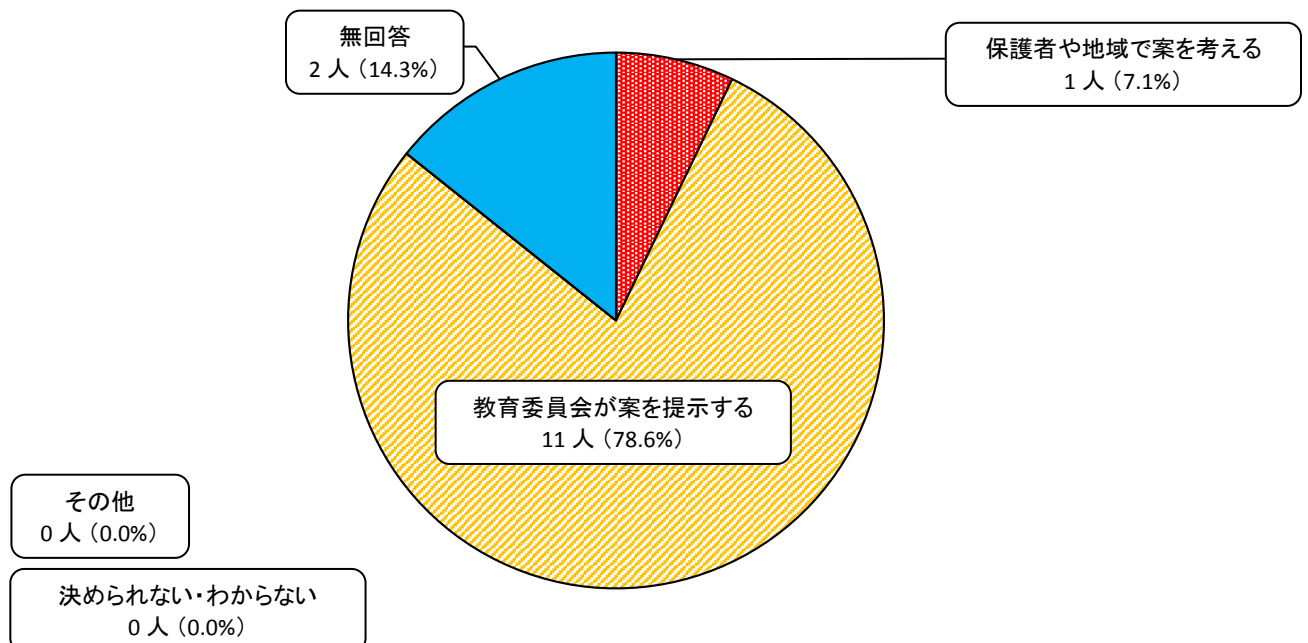


【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



魚見小学校区集計表

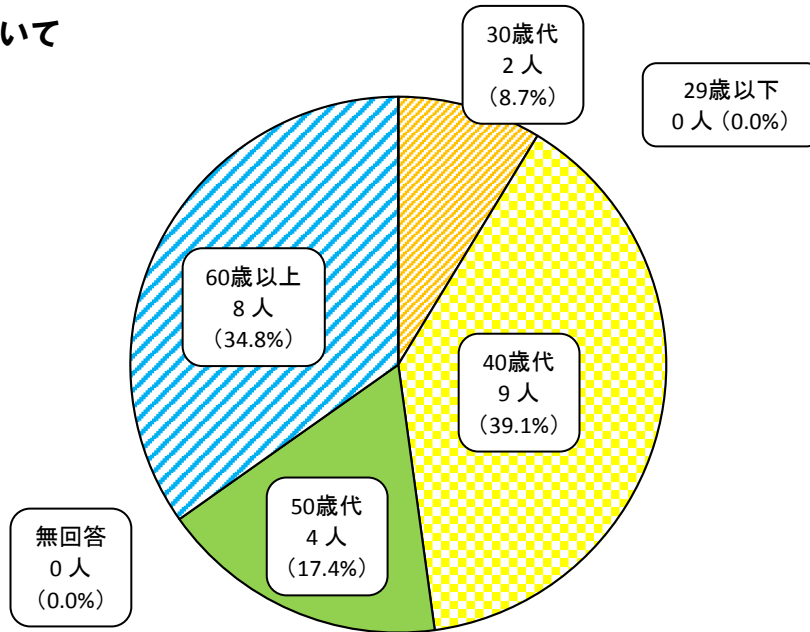
小学校区： 魚見小学校

住民区分： 全体

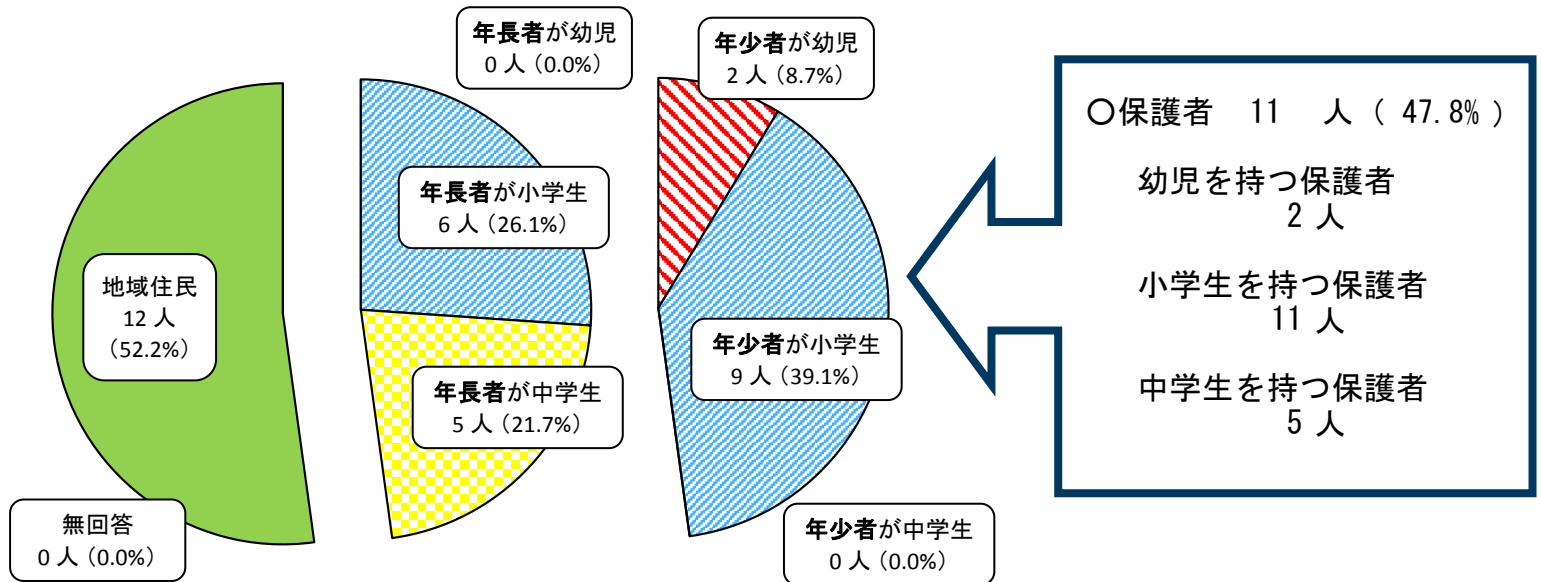
抽出者総数 23 人

【問2】 年代・住民区分について

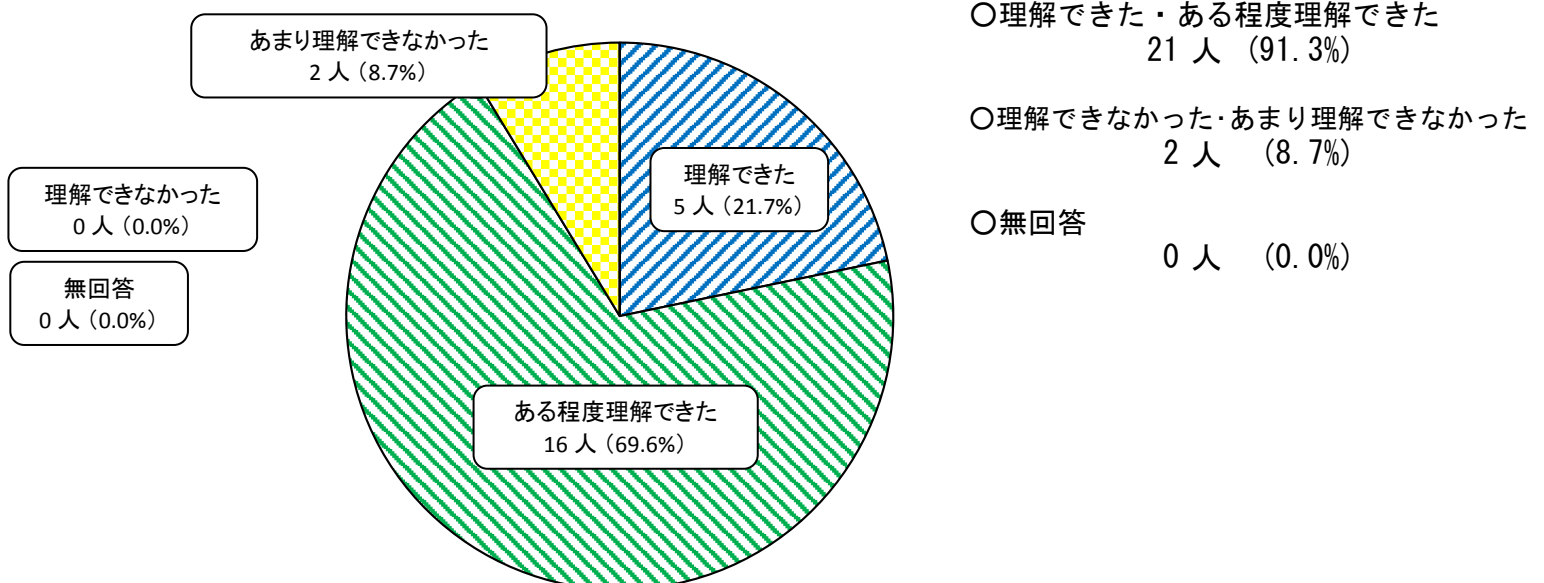
年代について



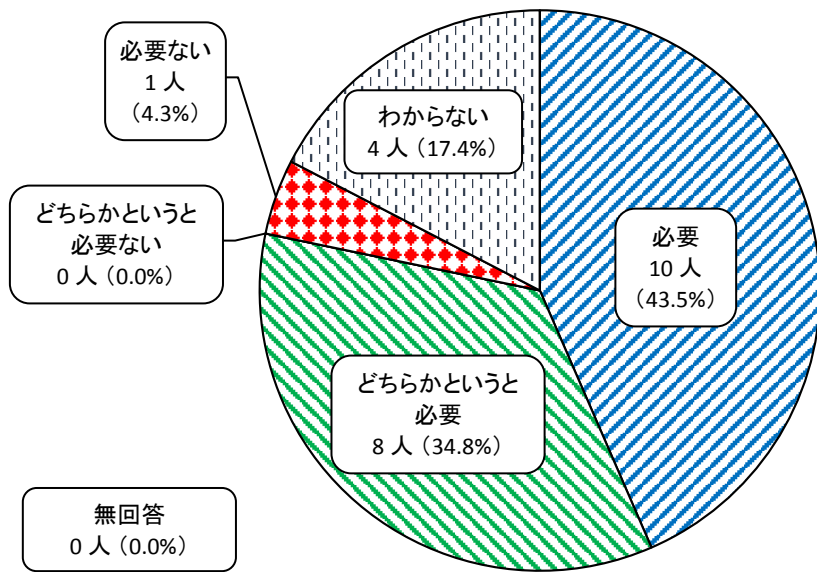
住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

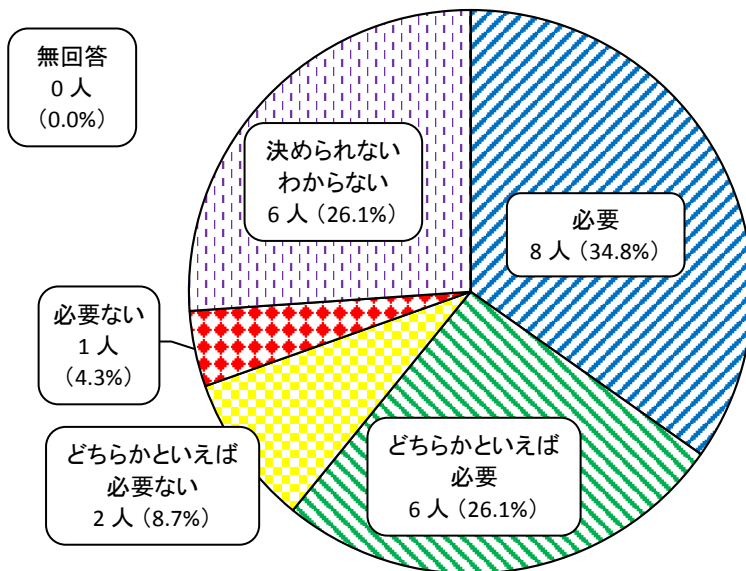


【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
18人 (78.3%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
1人 (4.3%)
- わからない・無回答
4人 (17.4%)

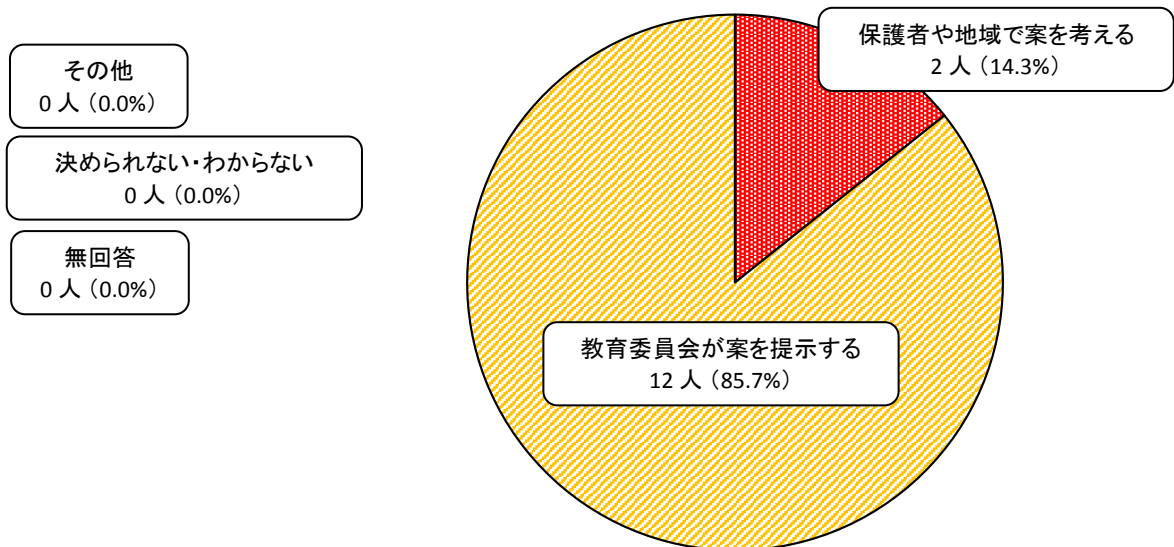
【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
14人 (60.9%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
3人 (13.0%)
- わからない・無回答
6人 (26.1%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



魚見小学校区集計表（保護者のみ）

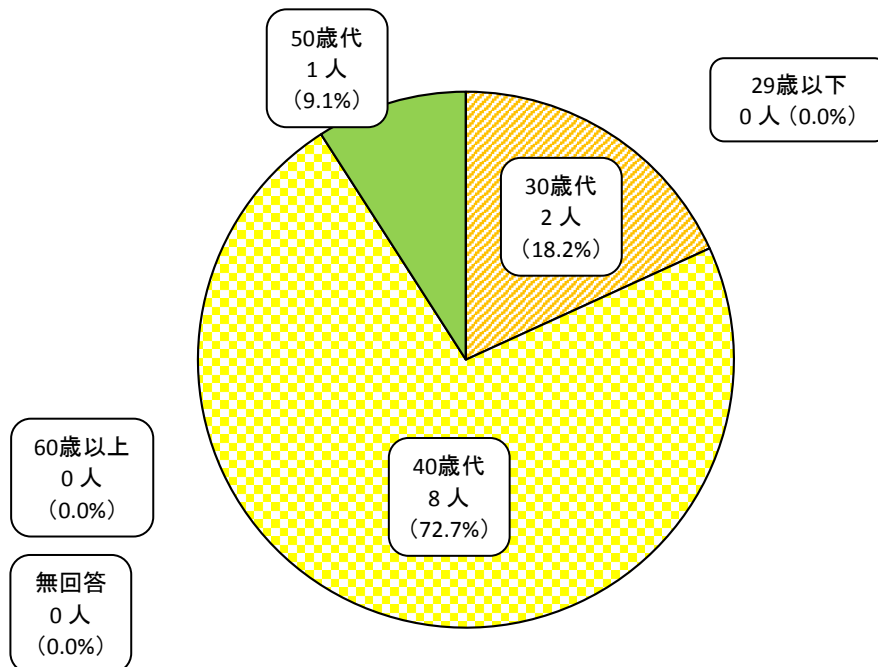
小学校区： **魚見小学校**

住民区分： **保護者**

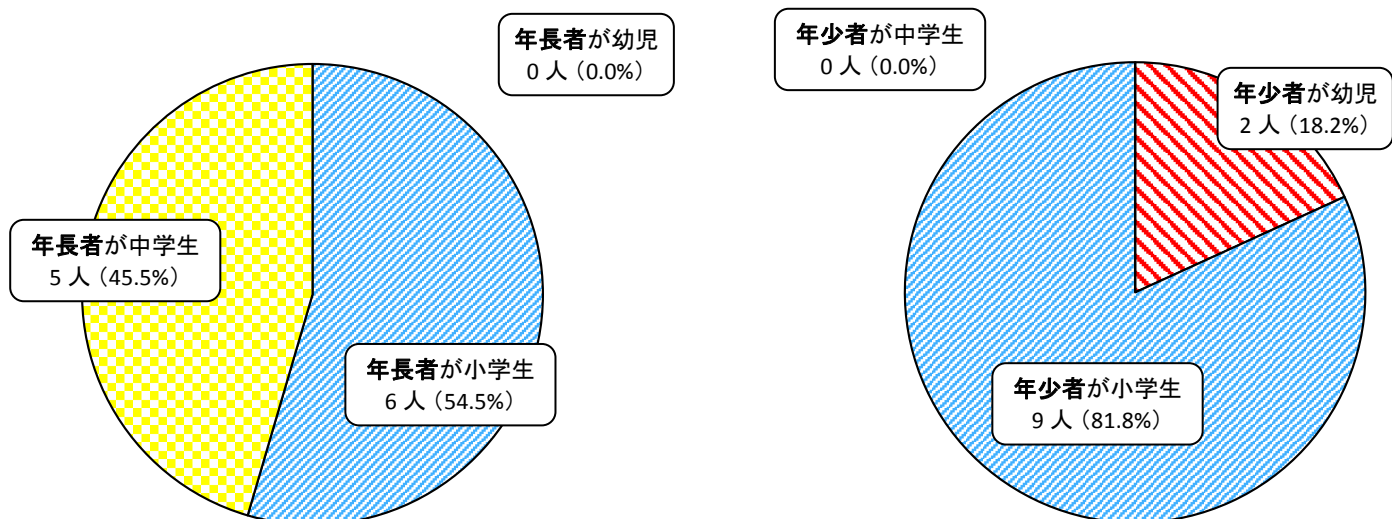
抽出者総数 **11** 人

【問2】 年代・住民区分について

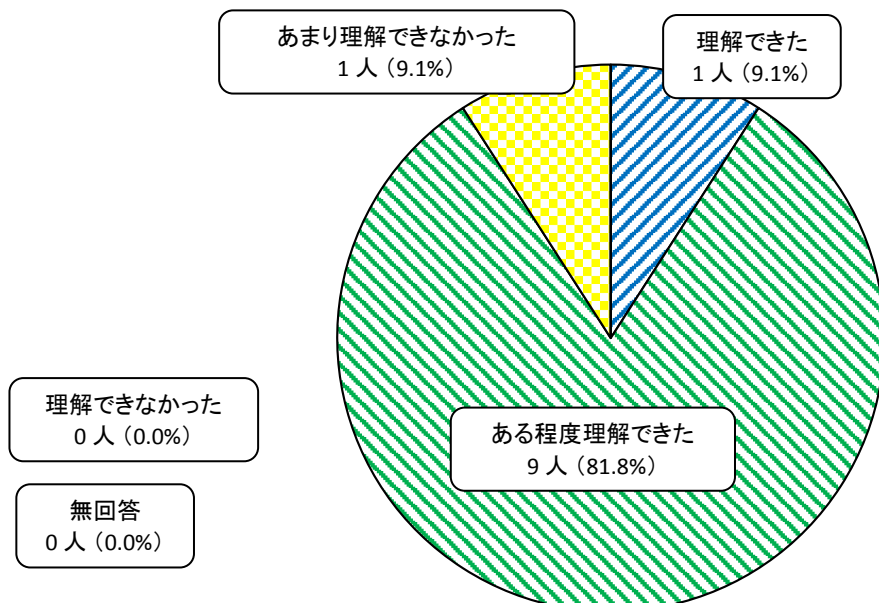
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

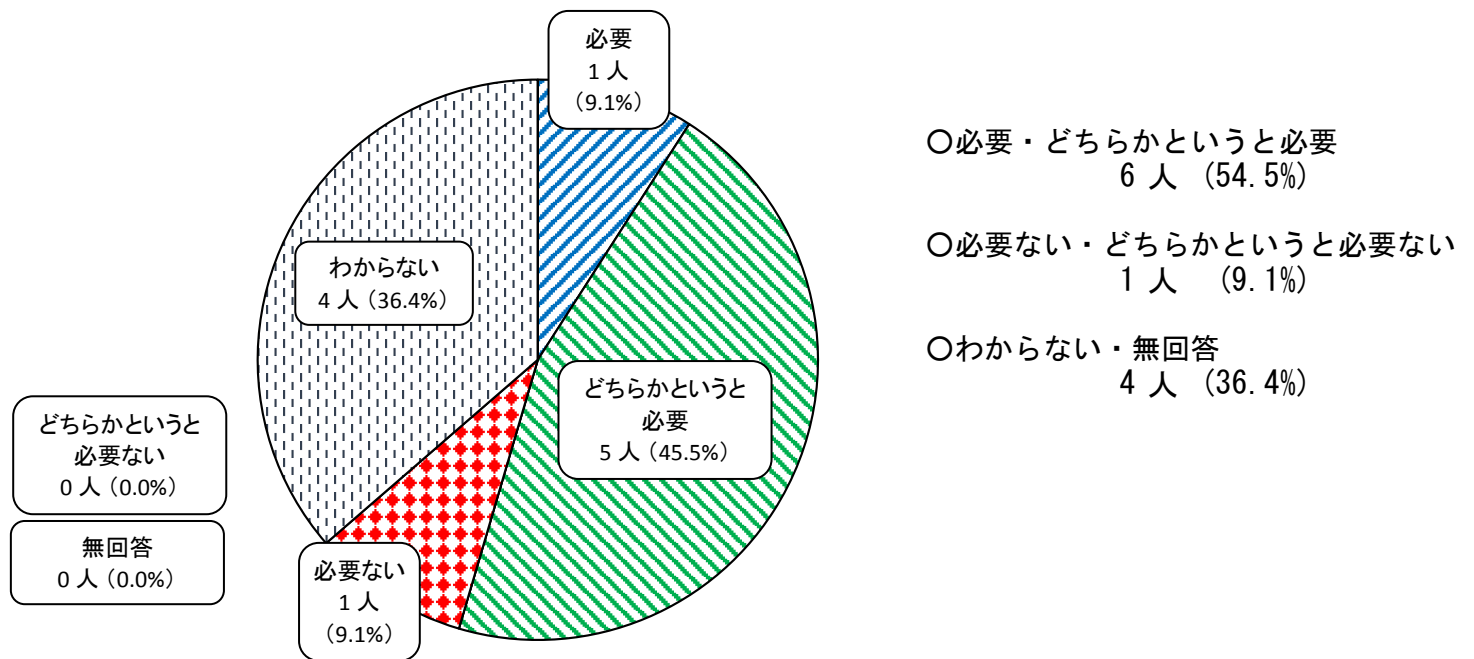


○理解できた・ある程度理解できた
10人 (90.9%)

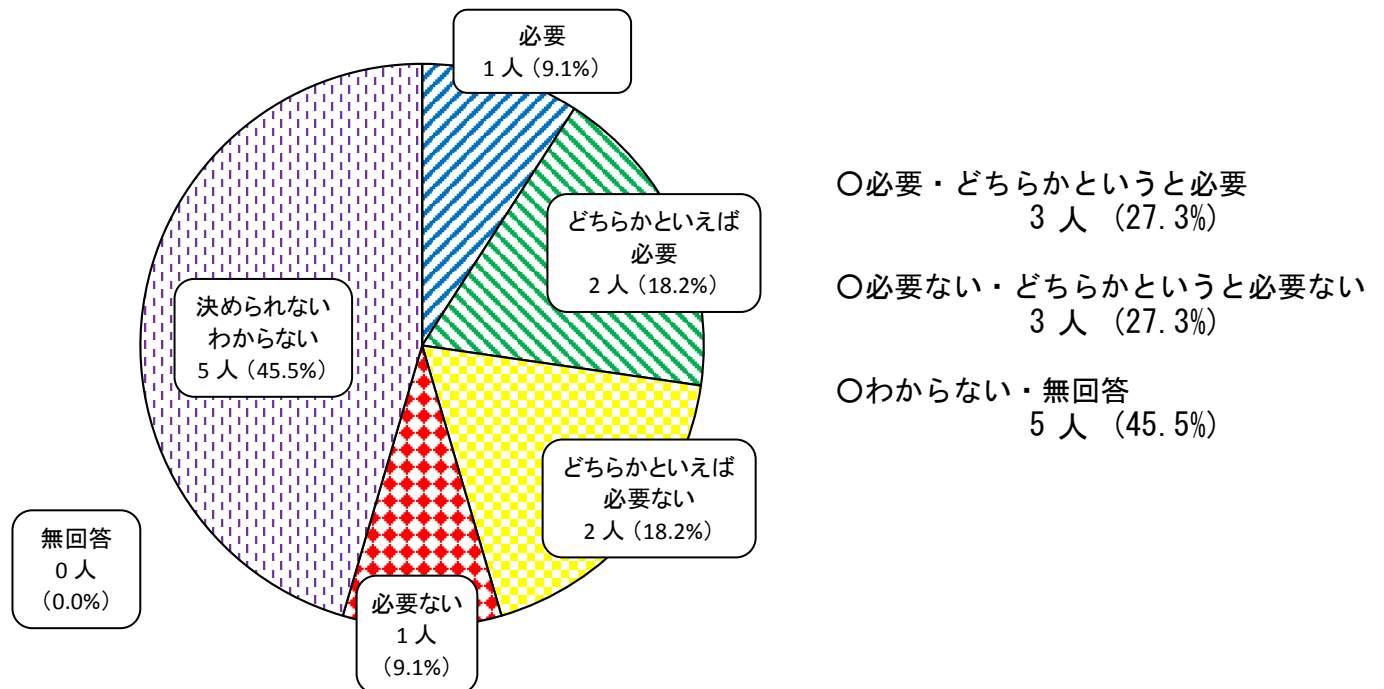
○理解できなかった・あまり理解できなかった
1人 (9.1%)

○無回答
0人 (0.0%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

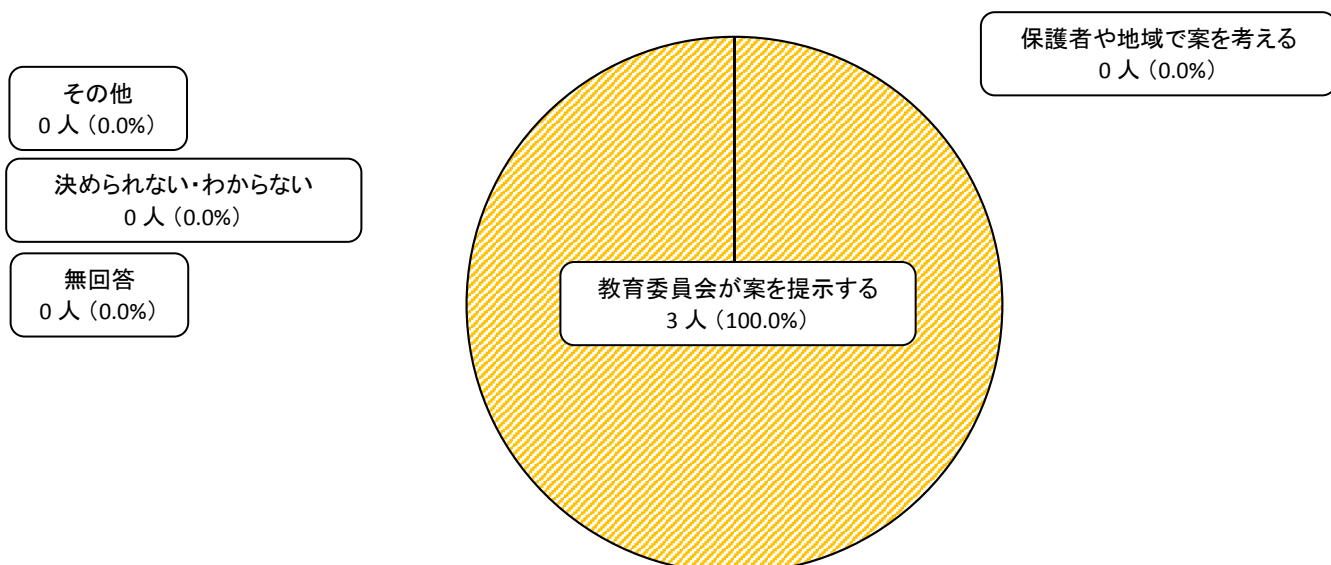


【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



柳田小学校区集計表

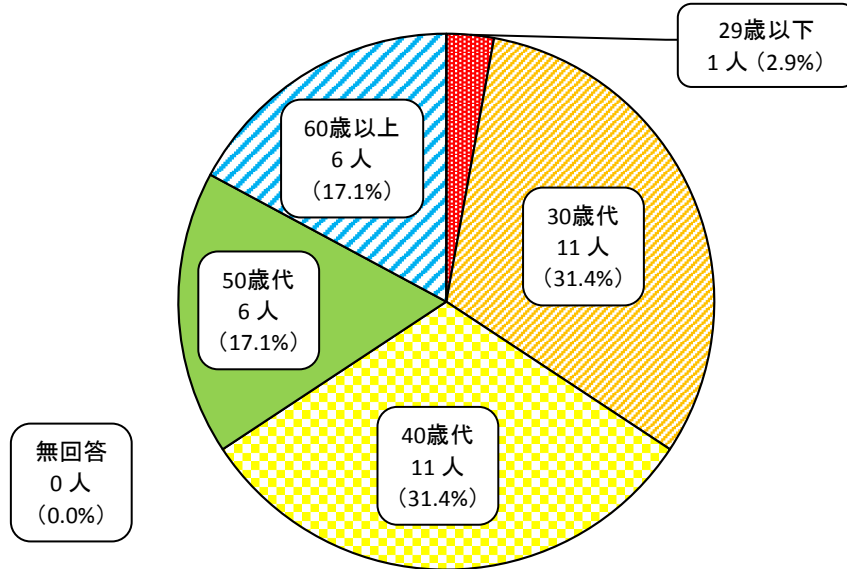
小学校区： 柳田小学校

住民区分： 全体

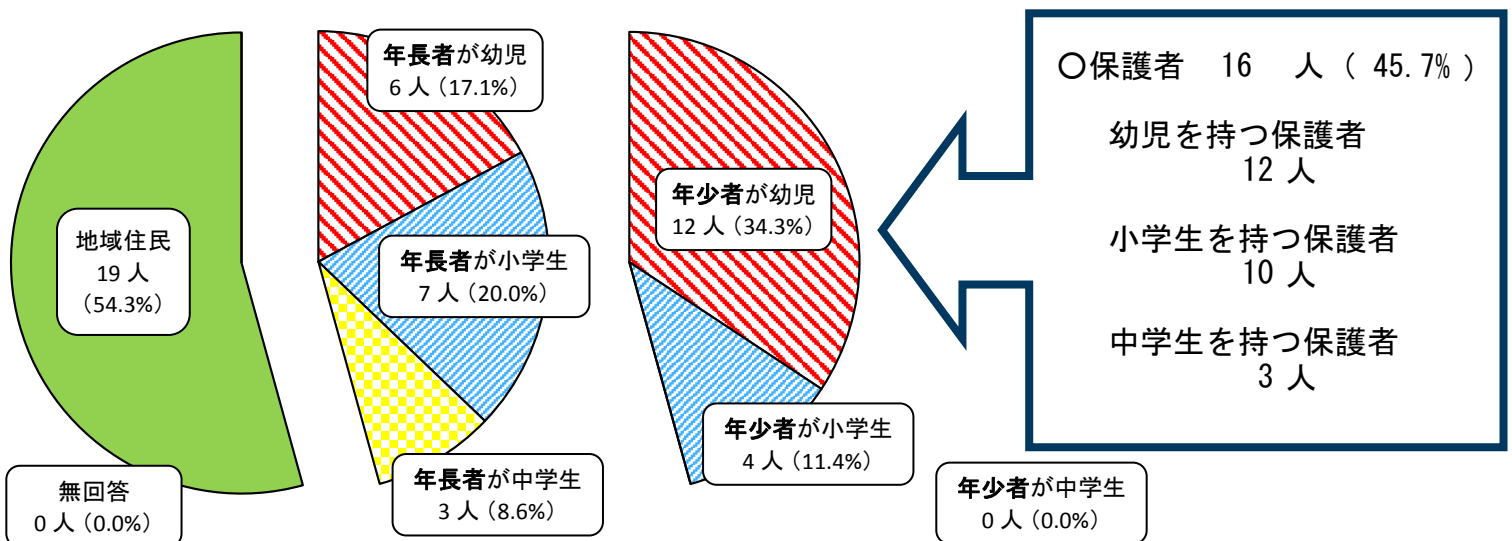
抽出者総数 35 人

【問2】 年代・住民区分について

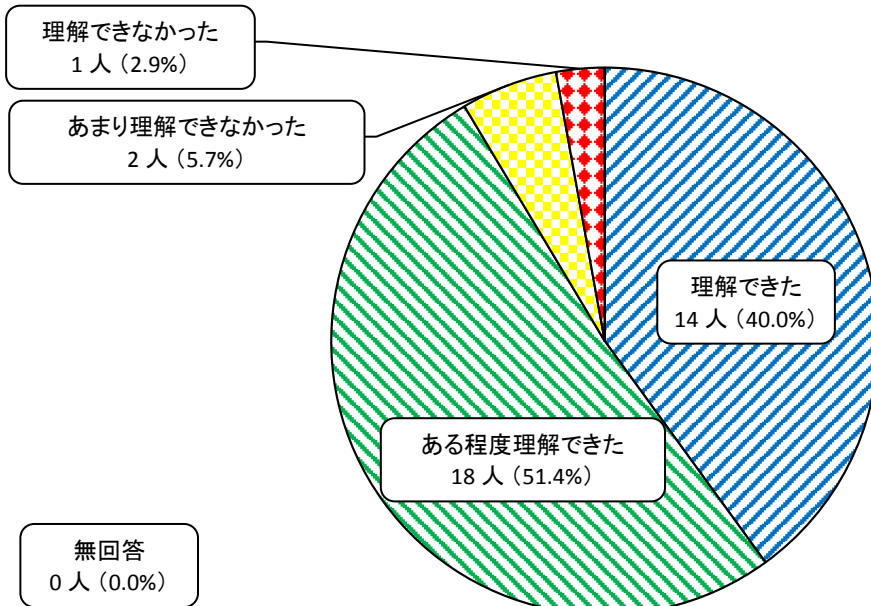
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

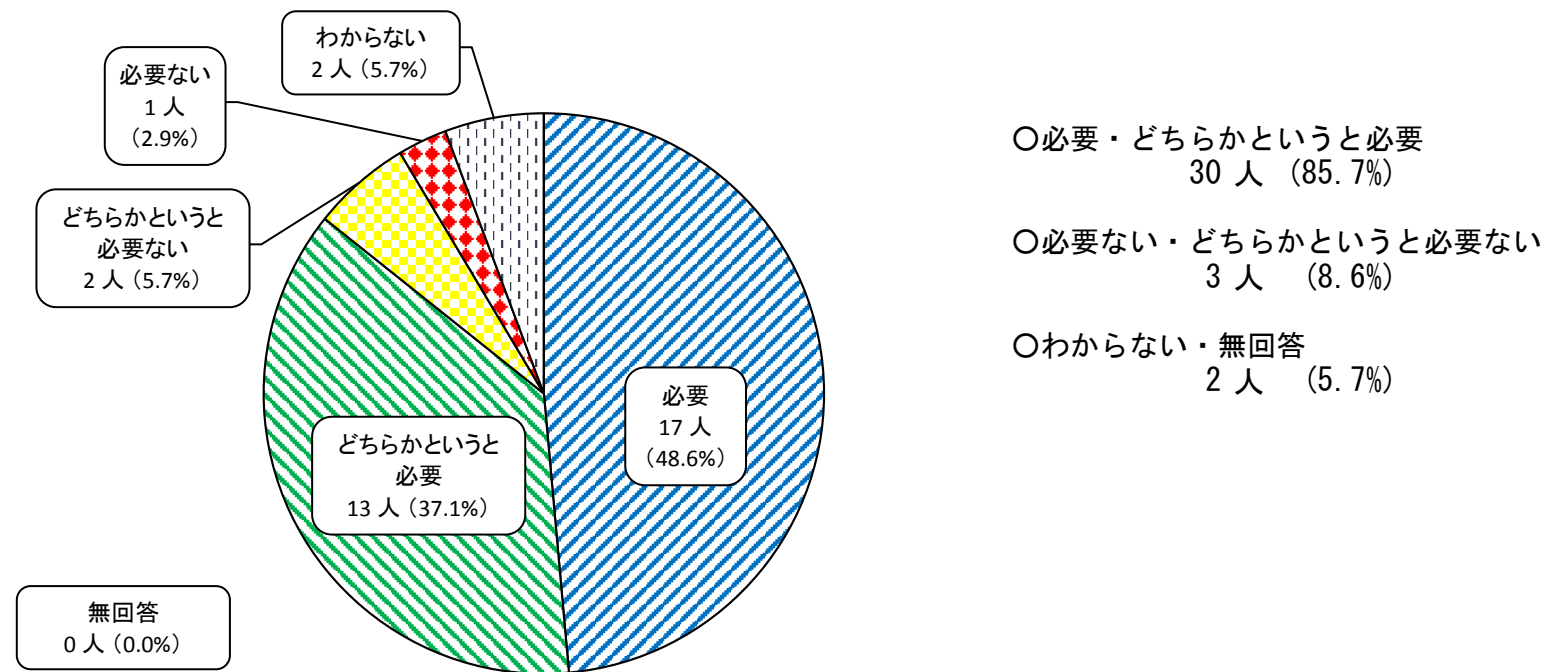


○理解できた・ある程度理解できた
32 人 (91.4%)

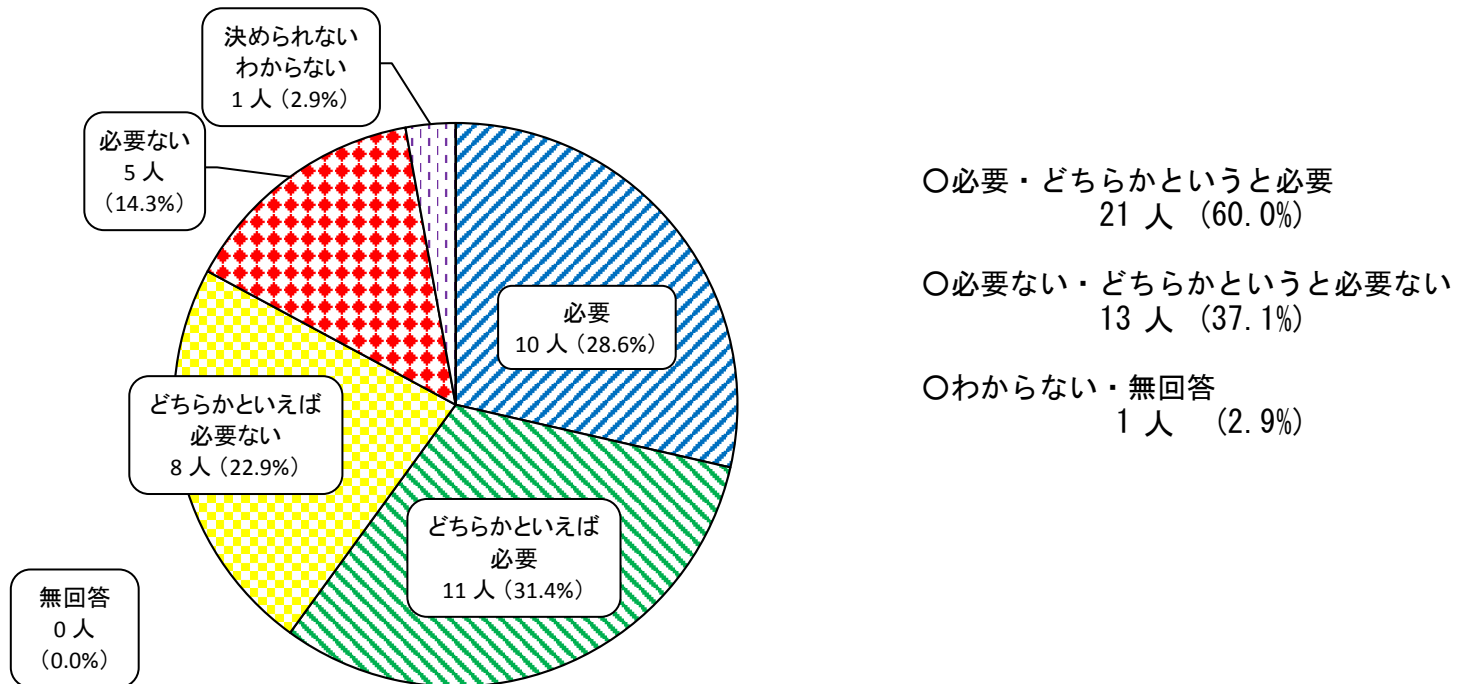
○理解できなかった・あまり理解できなかった
3 人 (8.6%)

○無回答
0 人 (0.0%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

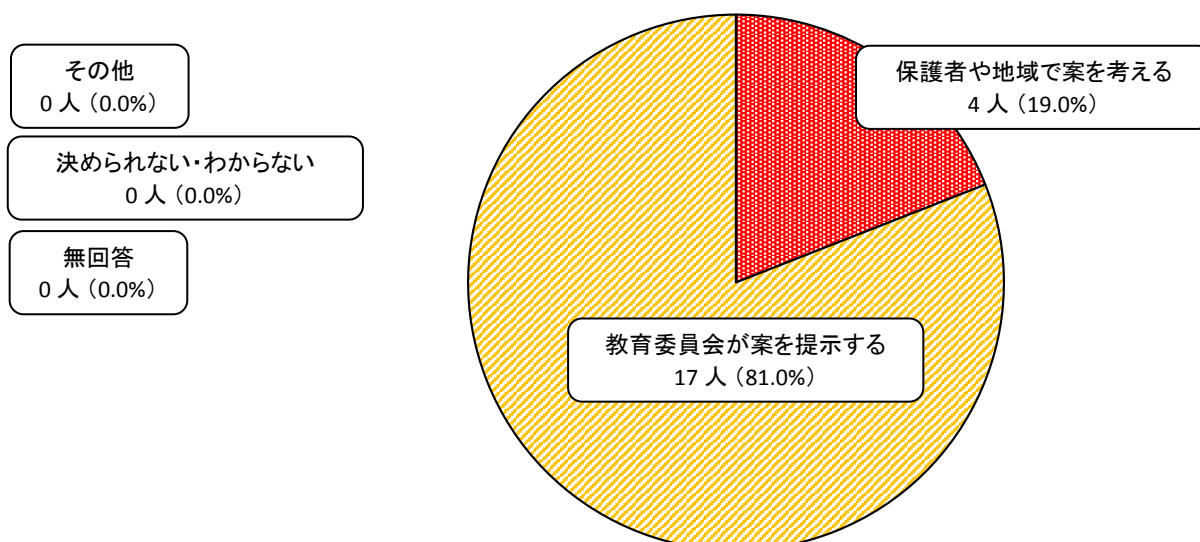


【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



柳田小学校区集計表（保護者のみ）

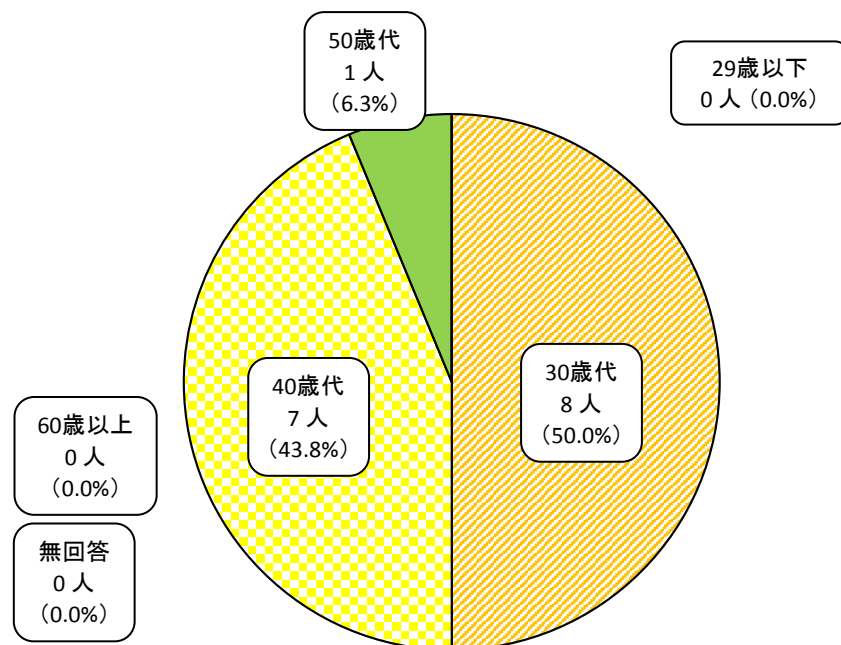
小学校区： 柳田小学校

住民区分： 保護者

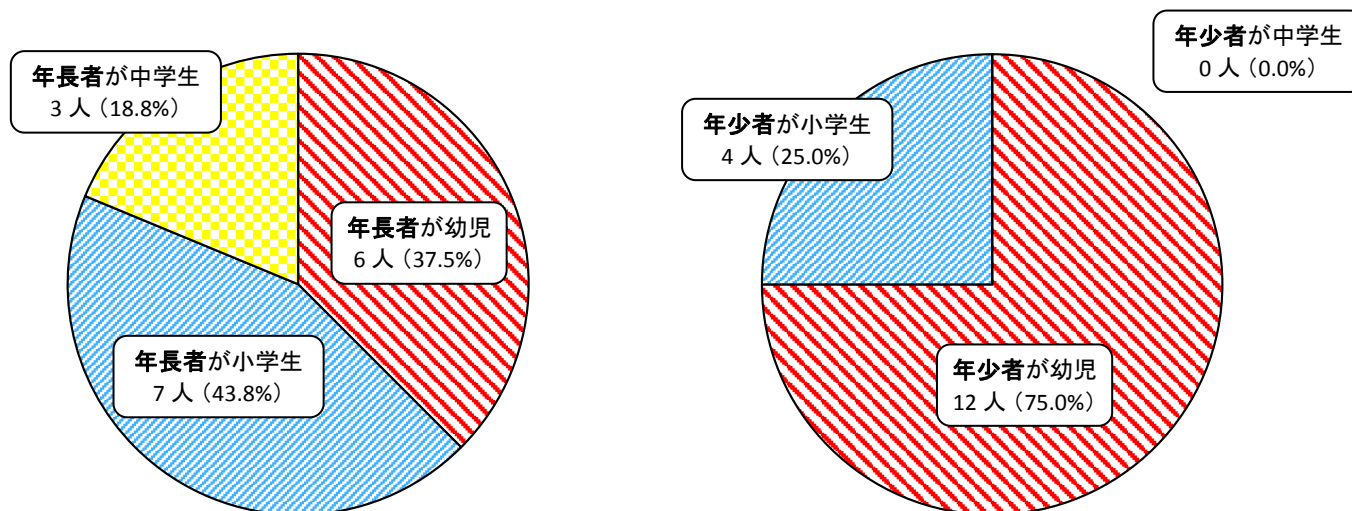
抽出者総数 16 人

【問2】 年代・住民区分について

年代について



住民区分について

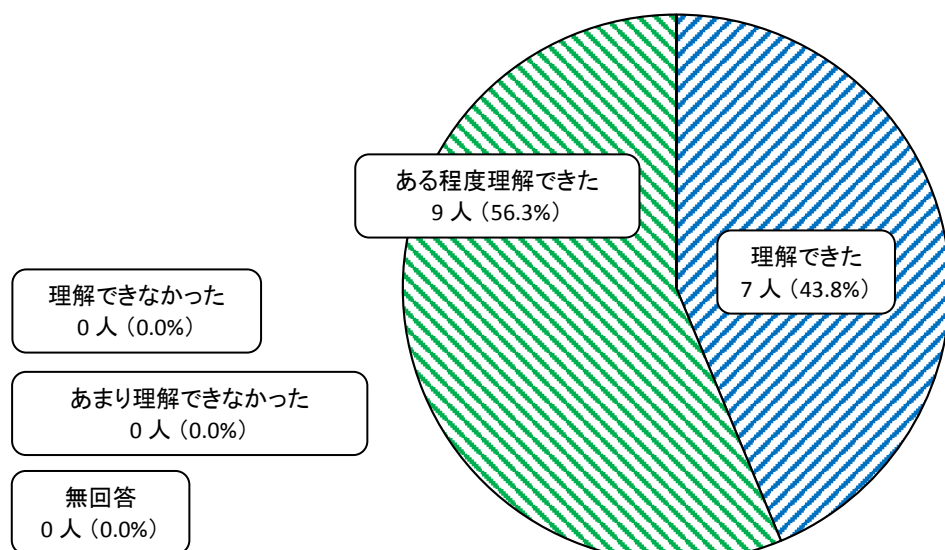


【問3】 「小中一貫教育」について理解できましたか。

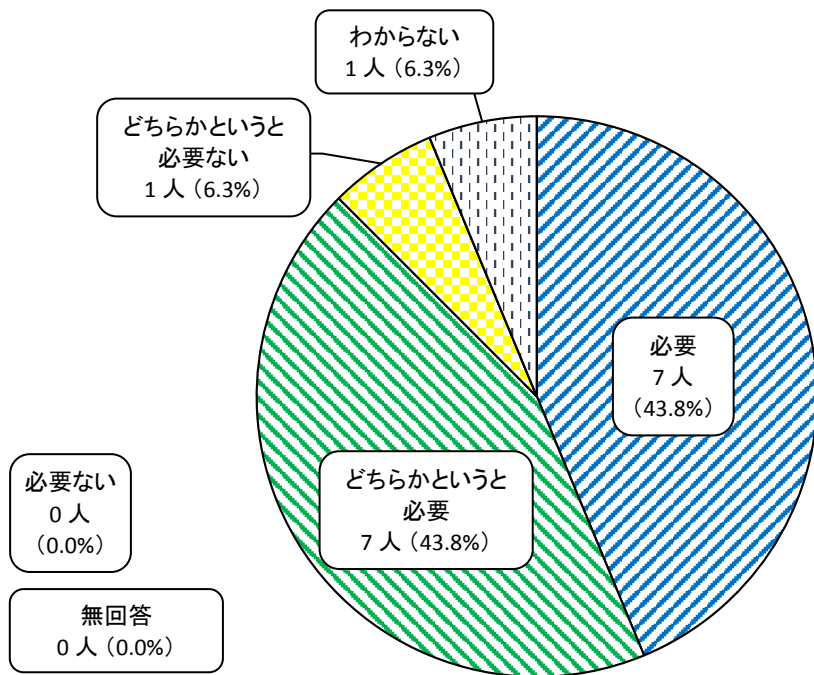
○理解できた・ある程度理解できた
16人 (100.0%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
0人 (0.0%)

○無回答
0人 (0.0%)



【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

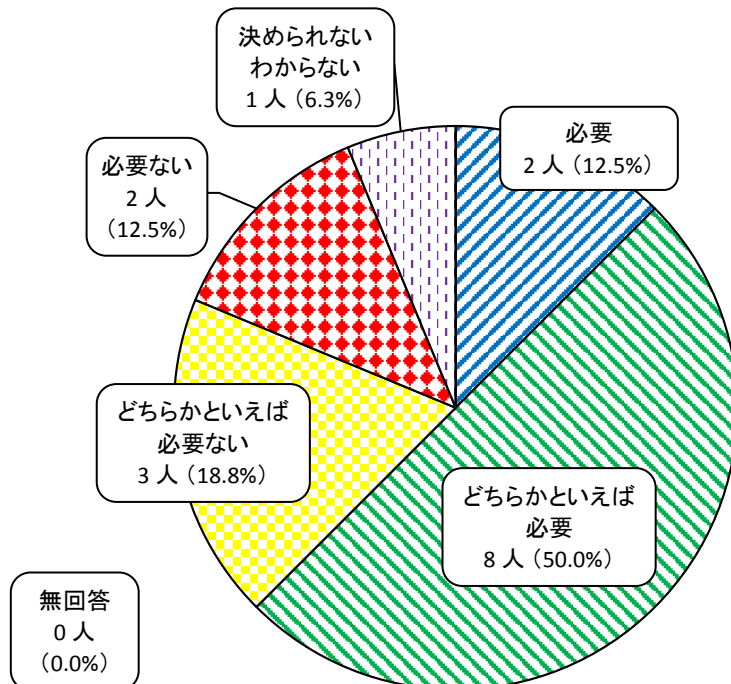


○必要・どちらかという必要
14人 (87.5%)

○必要ない・どちらかという必要ない
1人 (6.3%)

○わからない・無回答
1人 (6.3%)

【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



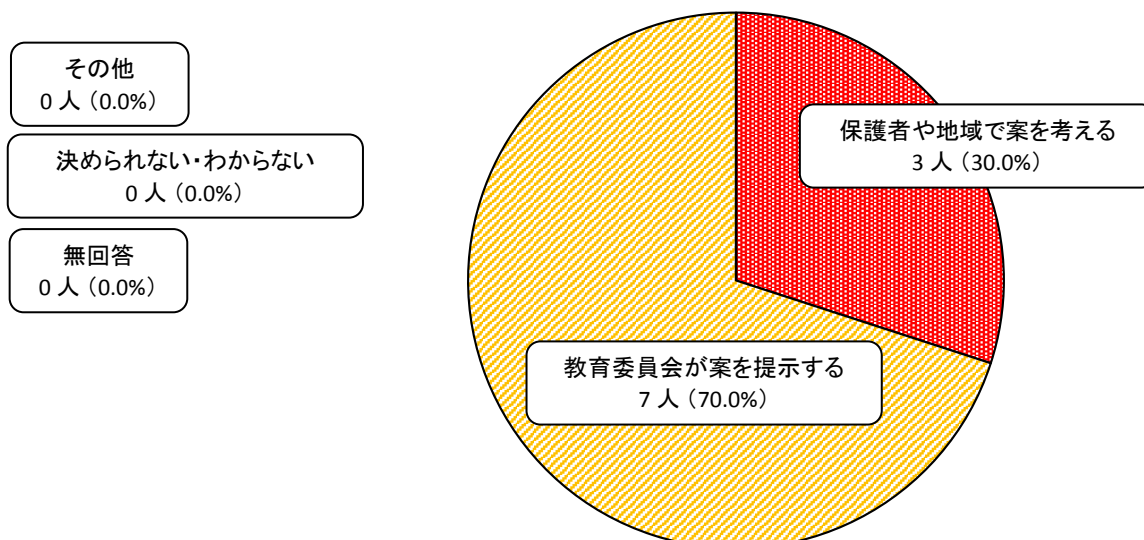
○必要・どちらかという必要
10人 (62.5%)

○必要ない・どちらかという必要ない
5人 (31.3%)

○わからない・無回答
1人 (6.3%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



丹波小学校区集計表

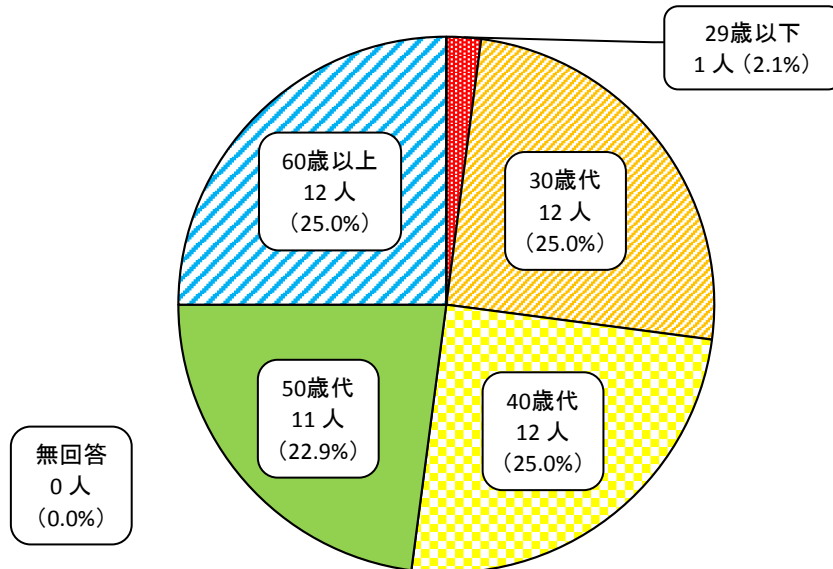
小学校区： 丹波小学校

住民区分： 全体

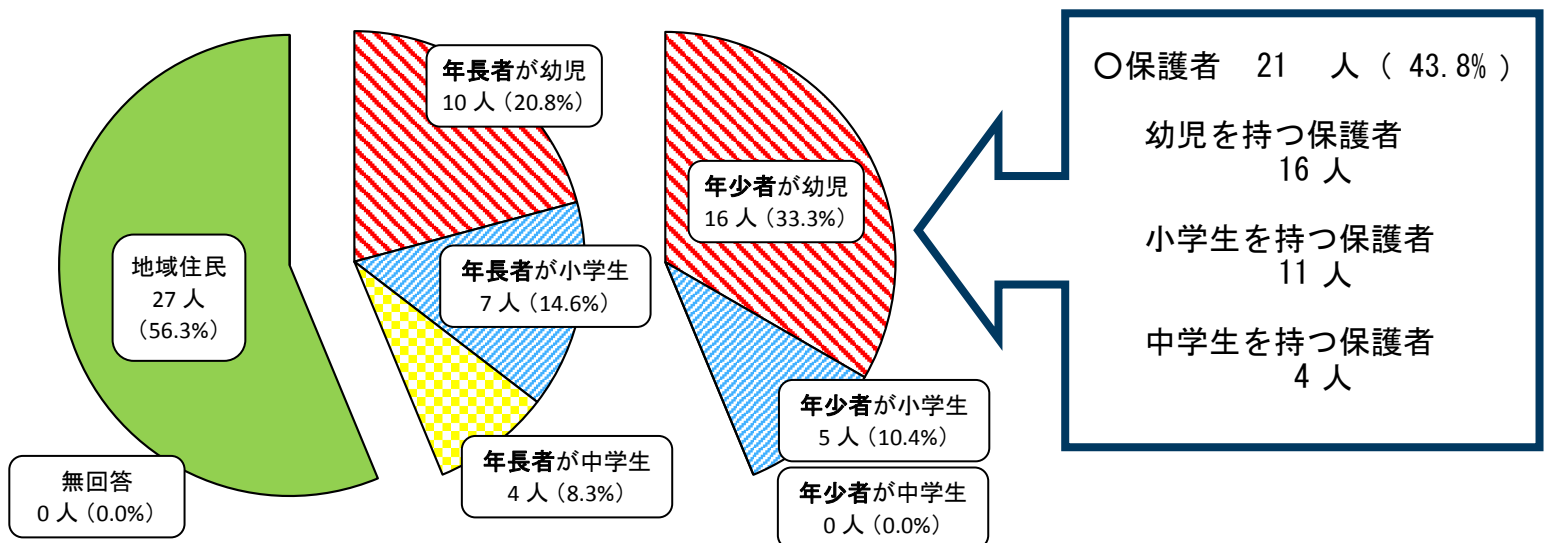
抽出者総数 48 人

【問2】 年代・住民区分について

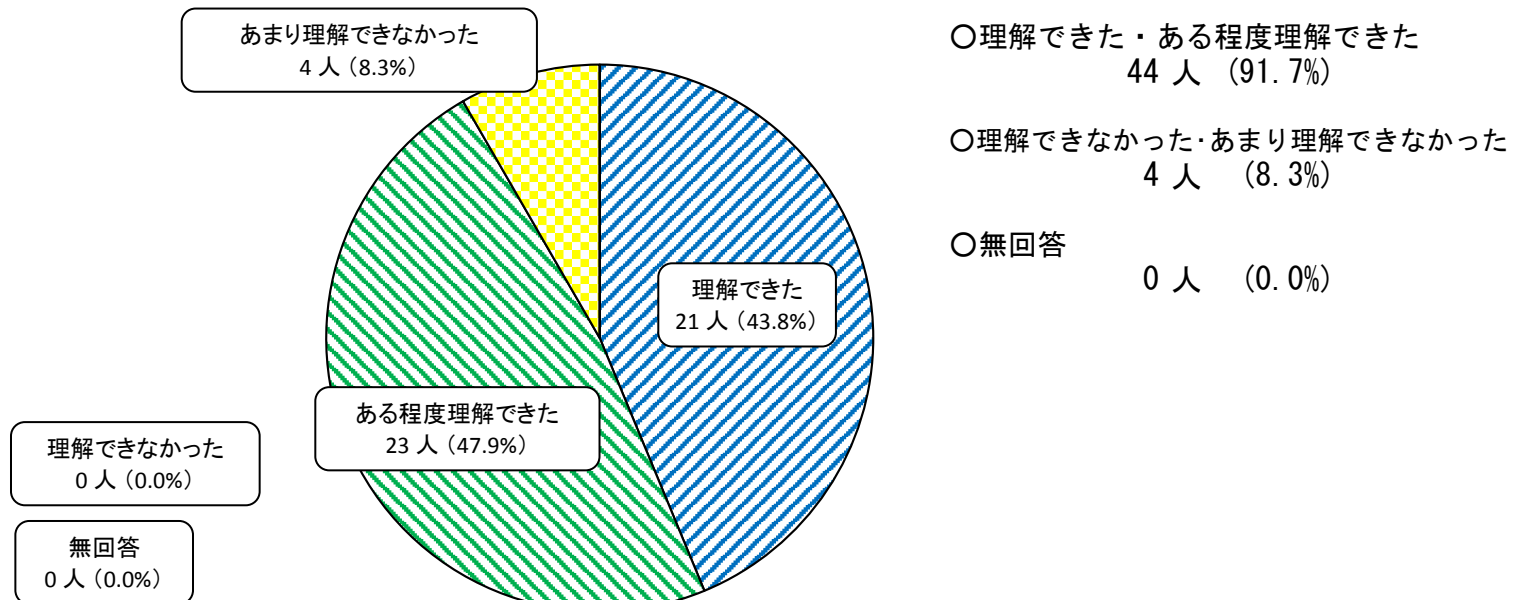
年代について



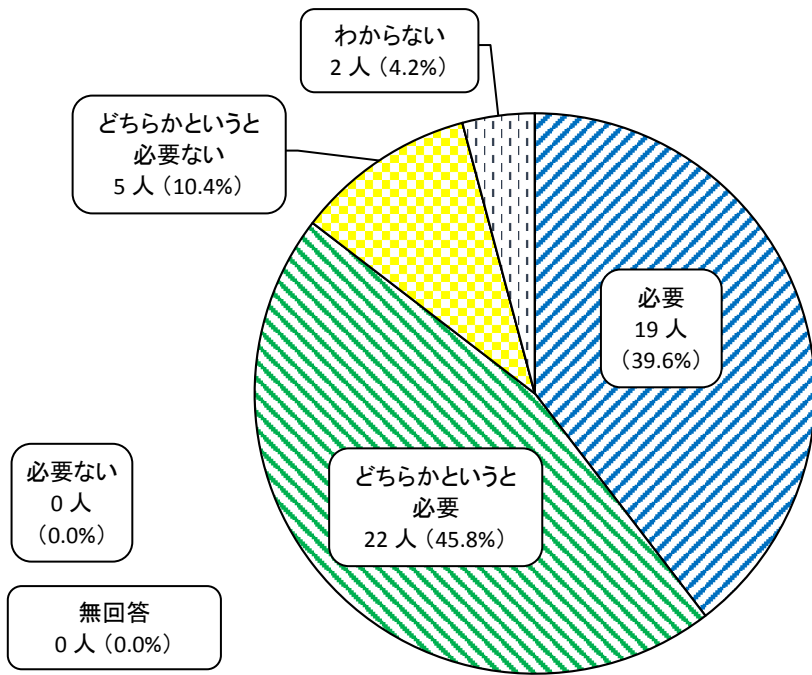
住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

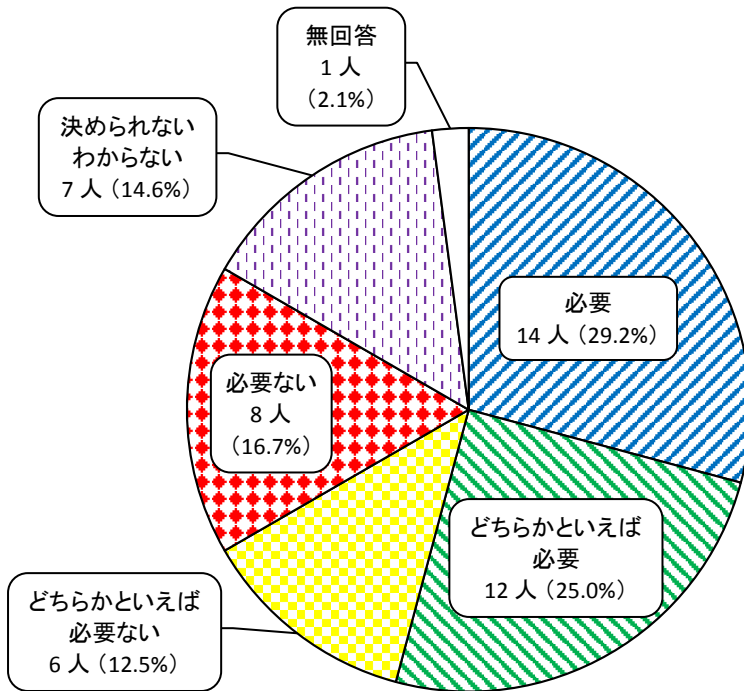


【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
41人 (85.4%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
5人 (10.4%)
- わからない・無回答
2人 (4.2%)

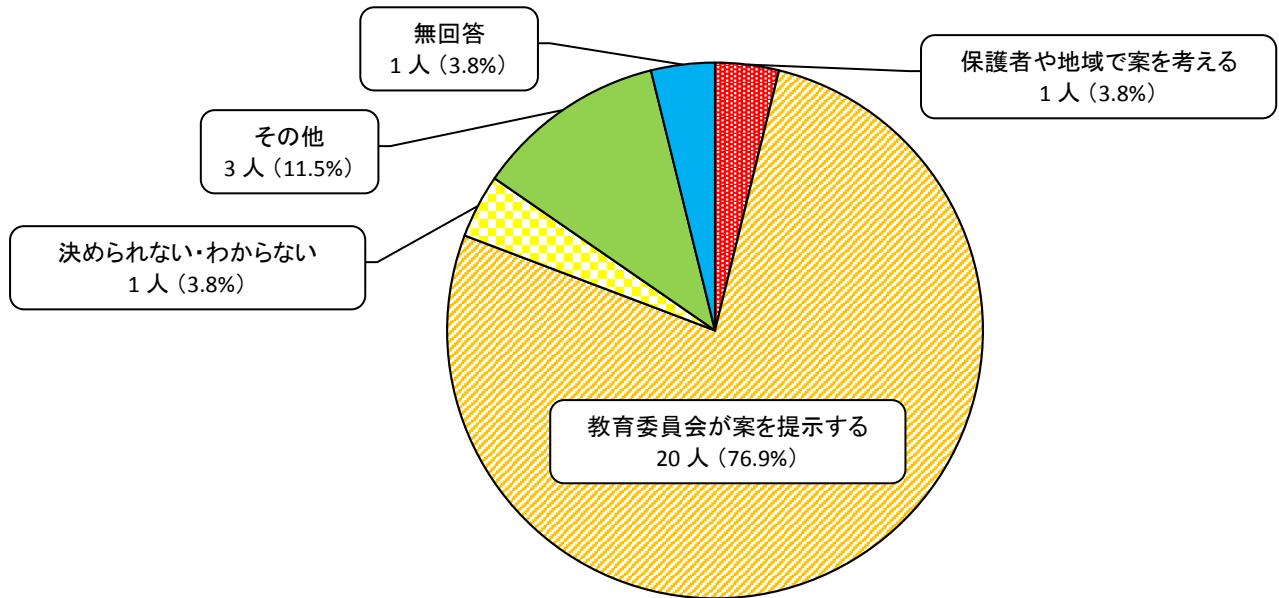
【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
26人 (54.2%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
14人 (29.2%)
- わからない・無回答
8人 (16.7%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



丹波小学校区集計表（保護者のみ）

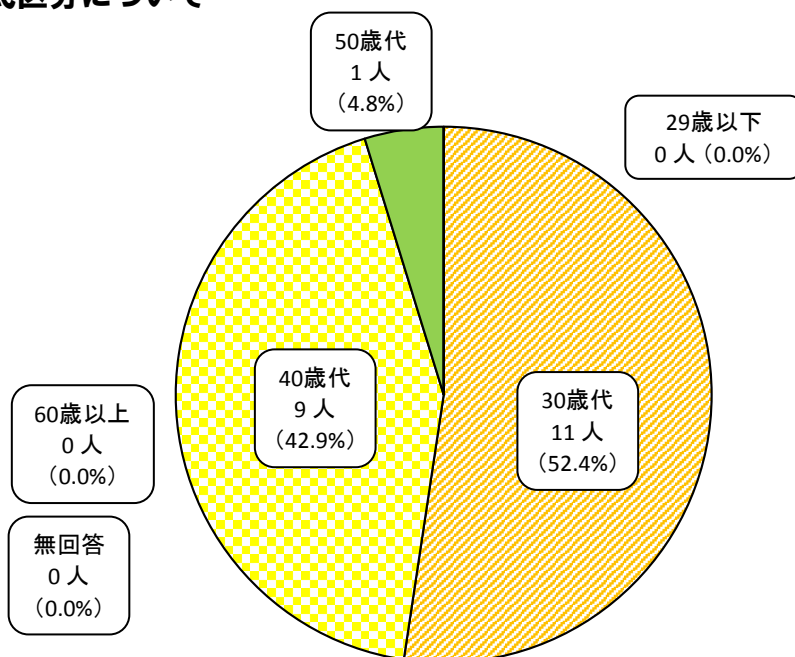
小学校区： 丹波小学校

住民区分： 保護者

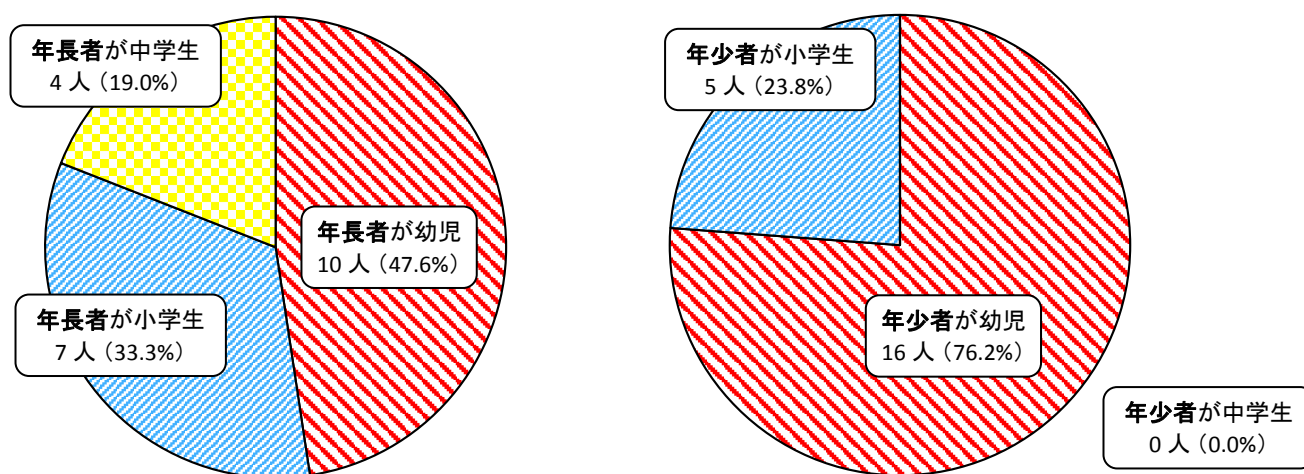
抽出者総数 21 人

【問2】 年代・住民区分について

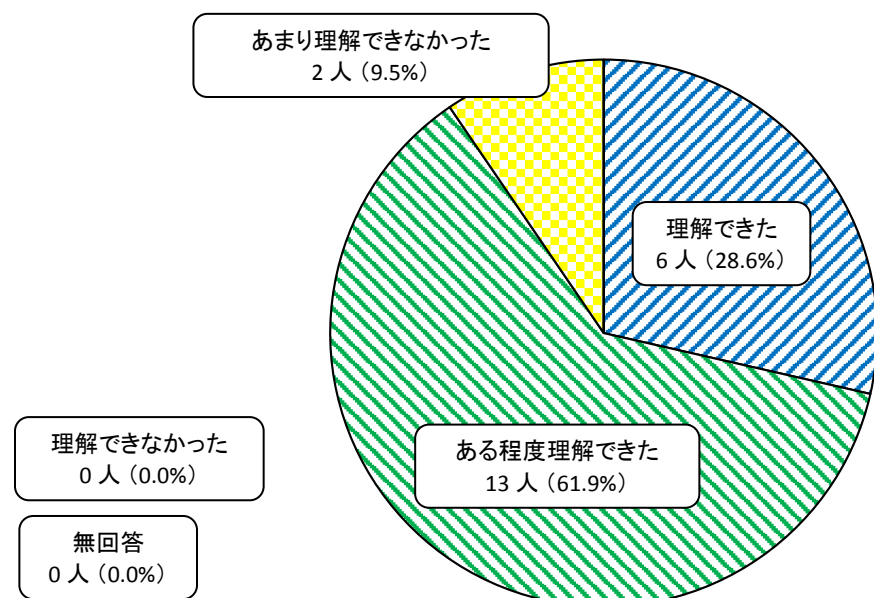
年代について



住民区分について



【問3】 「小中一貫教育」について理解できましたか。

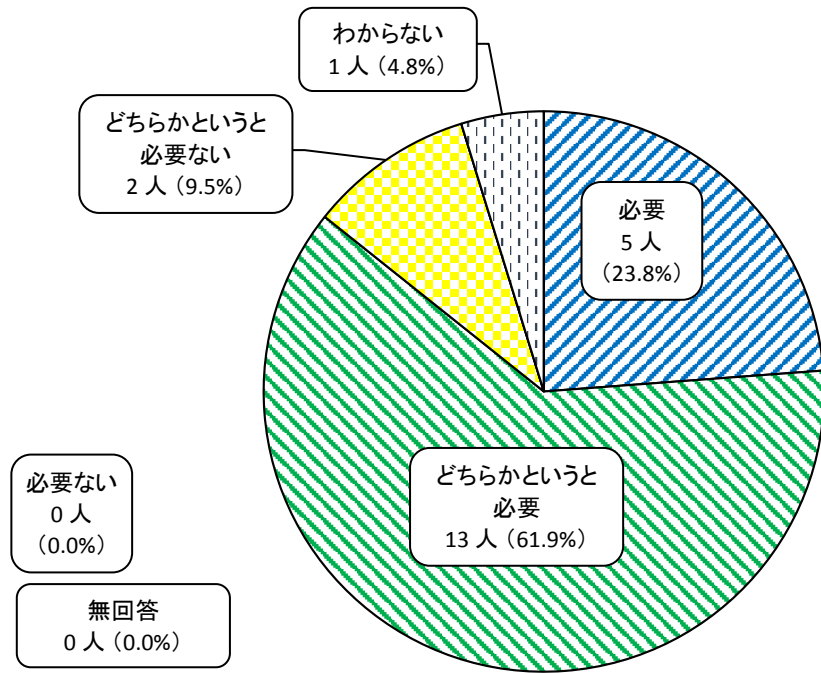


○理解できた・ある程度理解できた
19人 (90.5%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
2人 (9.5%)

○無回答
0人 (0.0%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

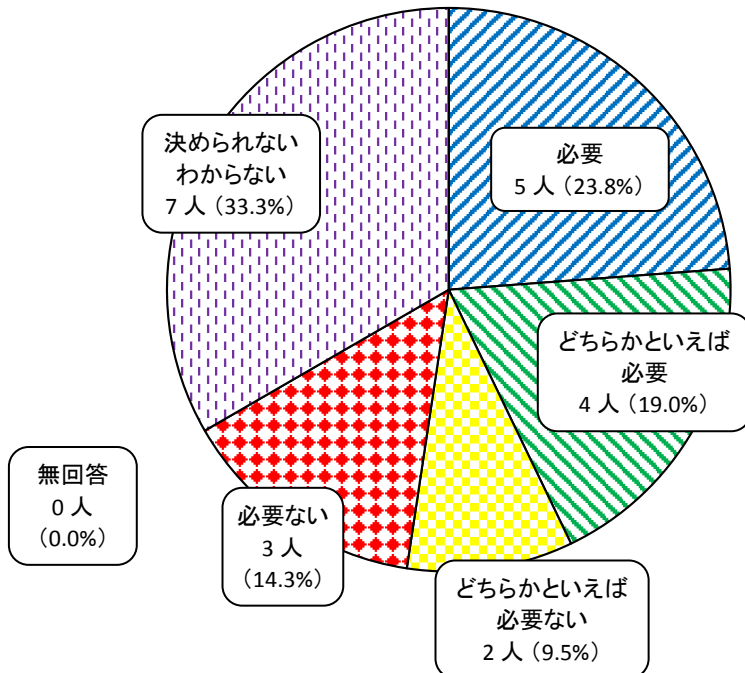


○必要・どちらかという必要
18人 (85.7%)

○必要ない・どちらかという必要ない
2人 (9.5%)

○わからない・無回答
1人 (4.8%)

【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



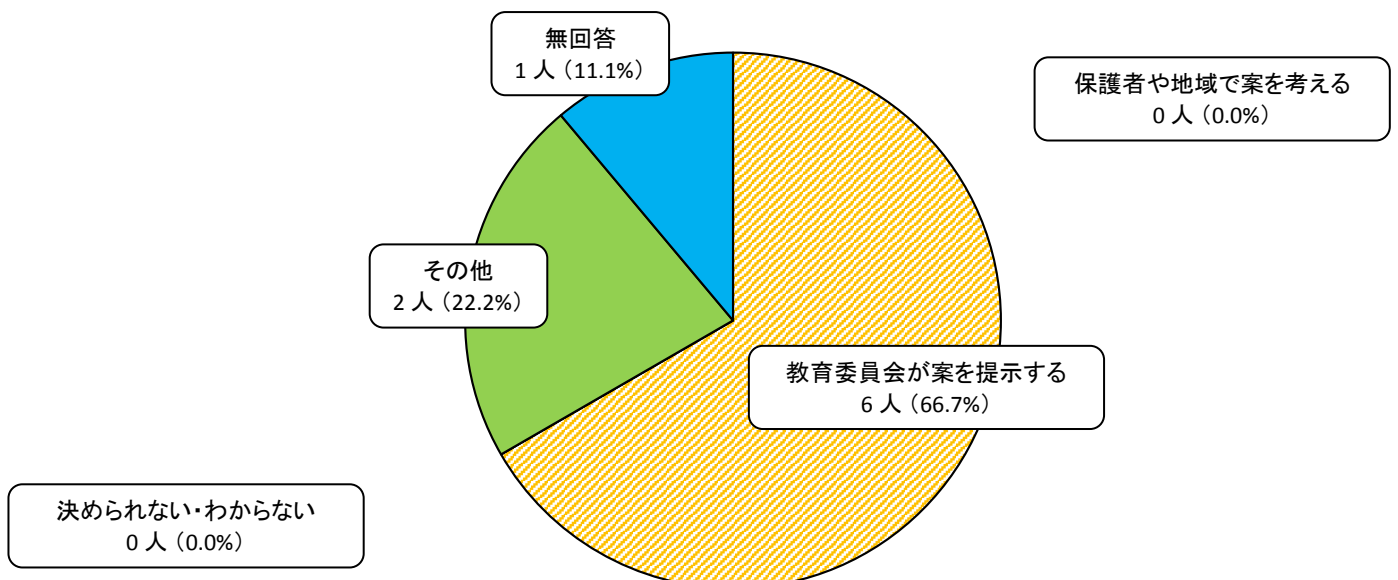
○必要・どちらかという必要
9人 (42.9%)

○必要ない・どちらかという必要ない
5人 (23.8%)

○わからない・無回答
7人 (33.3%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



今和泉小学校区集計表

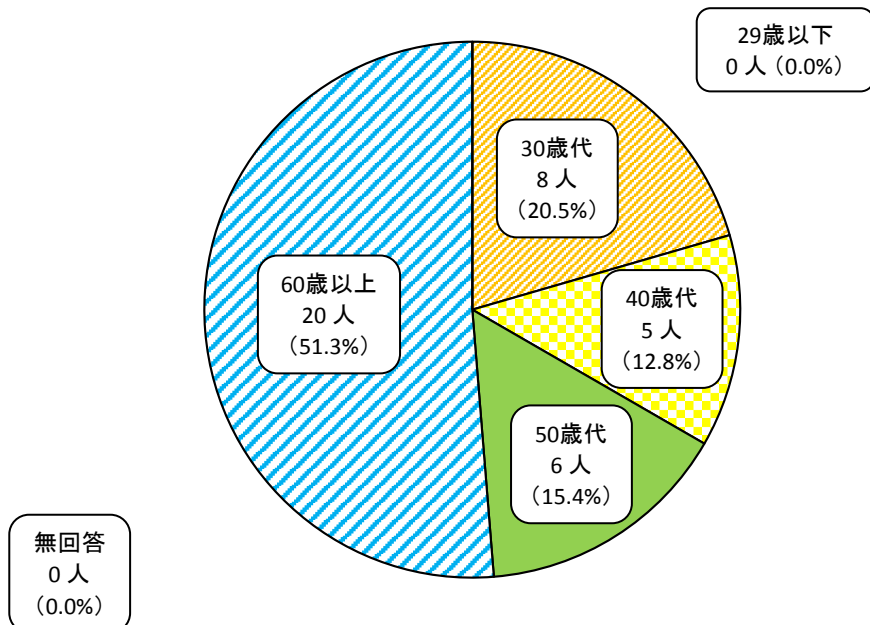
小学校区： 今和泉小学校

住民区分： 全体

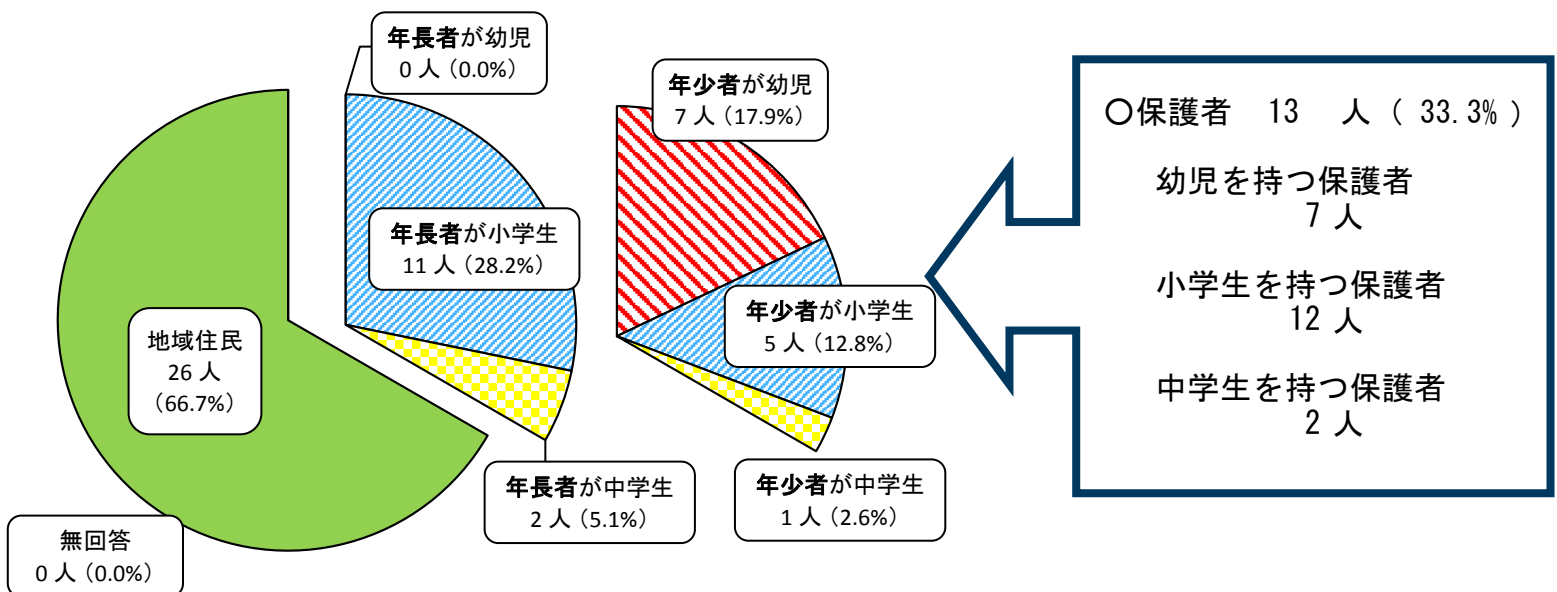
抽出者総数 39 人

【問2】 年代・住民区分について

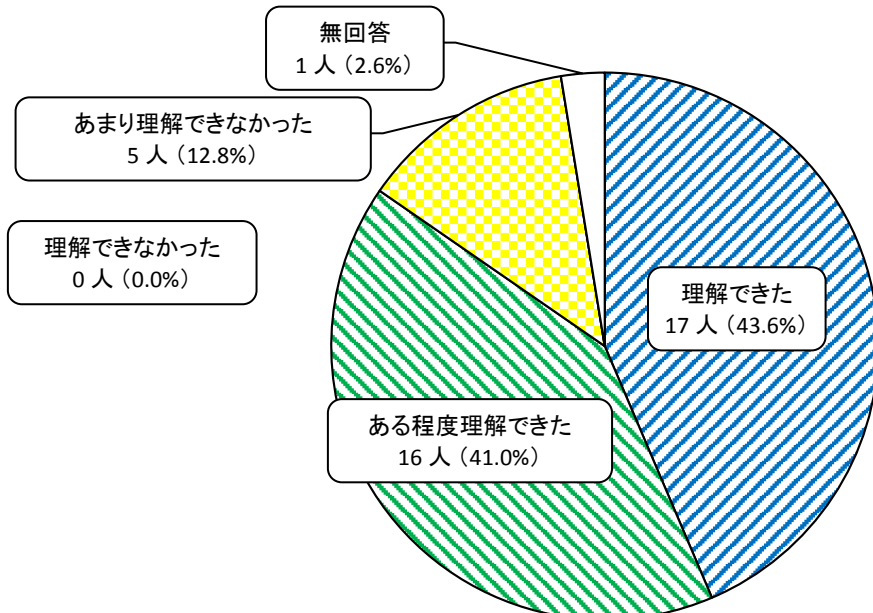
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

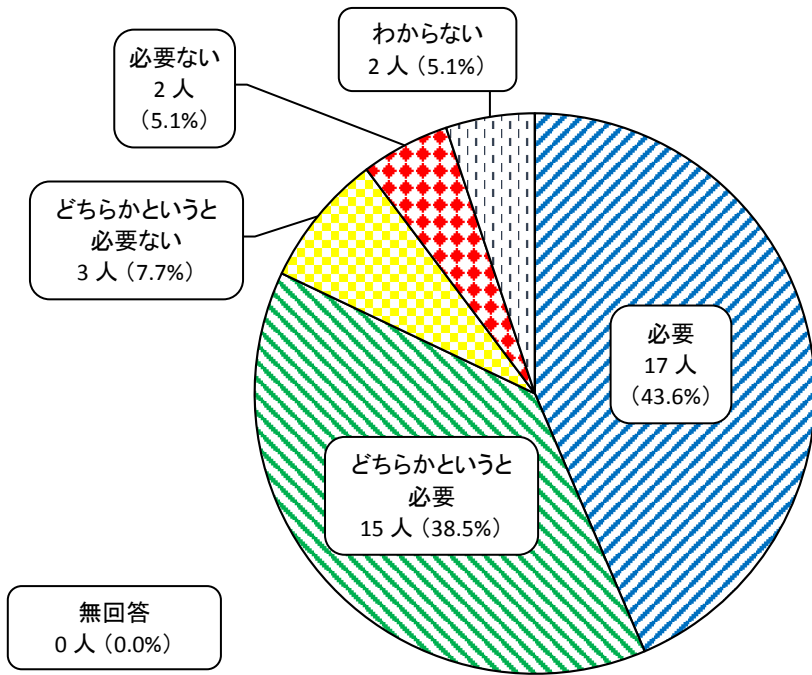


○理解できた・ある程度理解できた
33 人 (84.6%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
5 人 (12.8%)

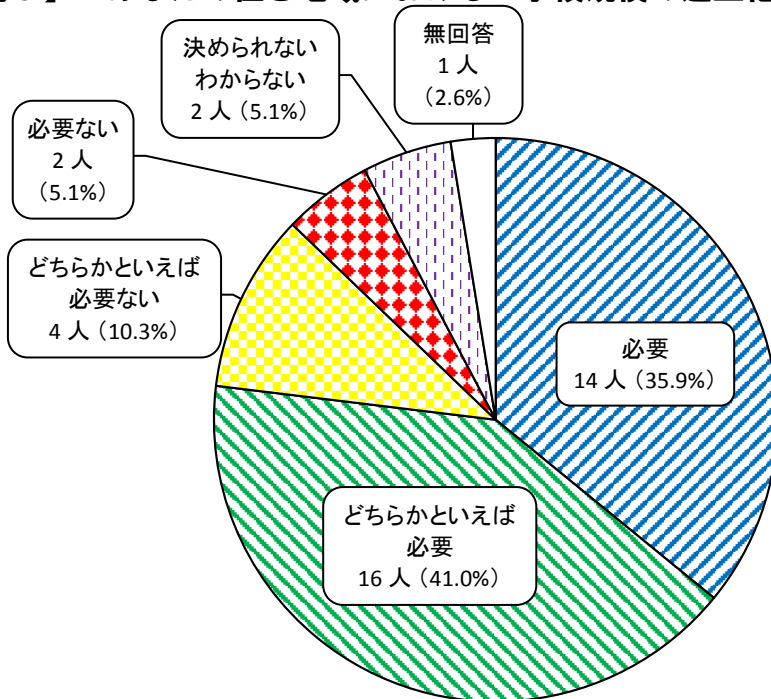
○無回答
1 人 (2.6%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
32人 (82.1%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
5人 (12.8%)
- わからない・無回答
2人 (5.1%)

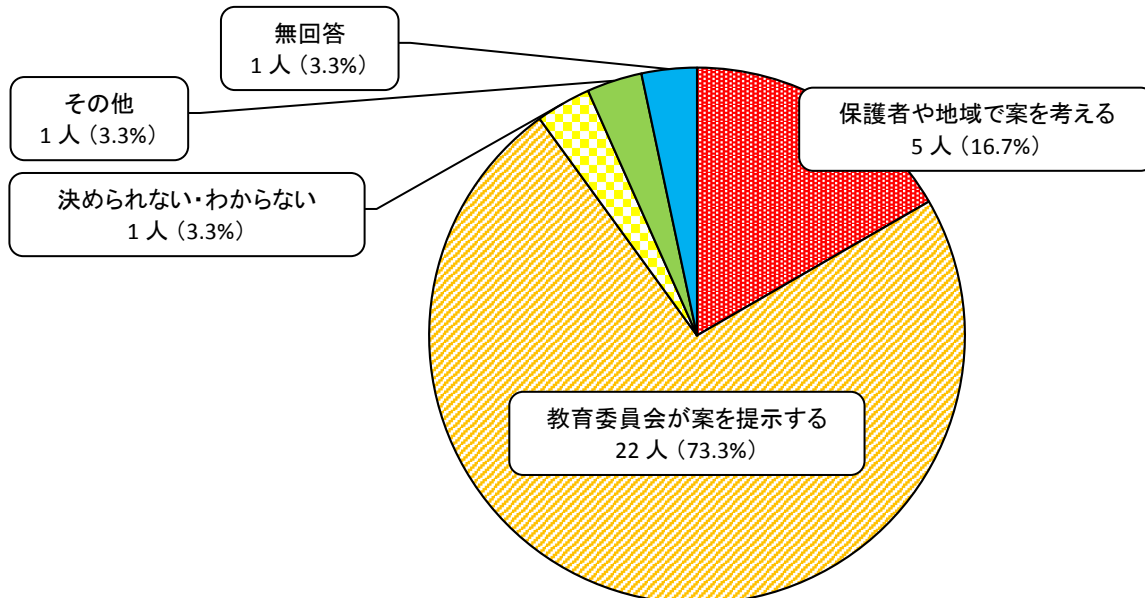
【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



- 必要・どちらかという必要
30人 (76.9%)
- 必要ない・どちらかという必要ない
6人 (15.4%)
- わからない・無回答
3人 (7.7%)

【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



今和泉小学校区集計表（保護者のみ）

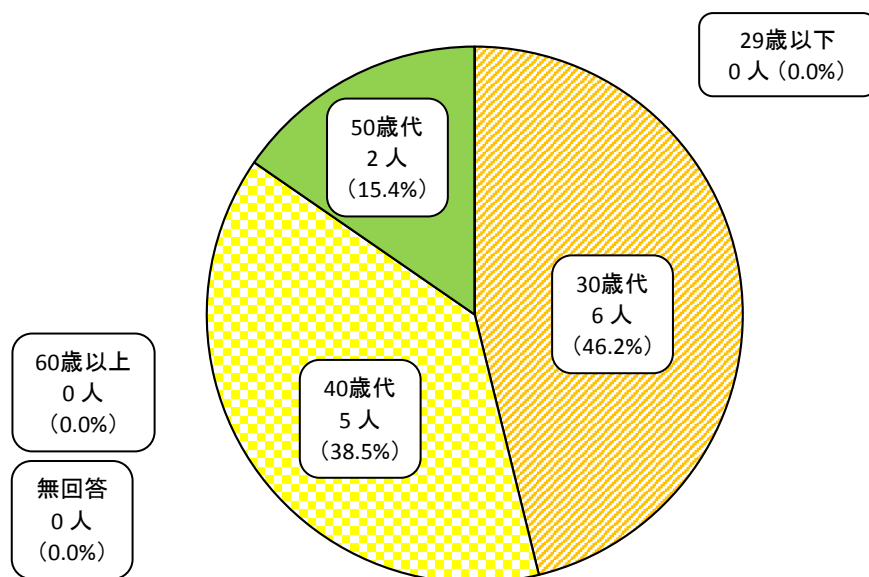
小学校区： 今和泉小学校

住民区分： 保護者

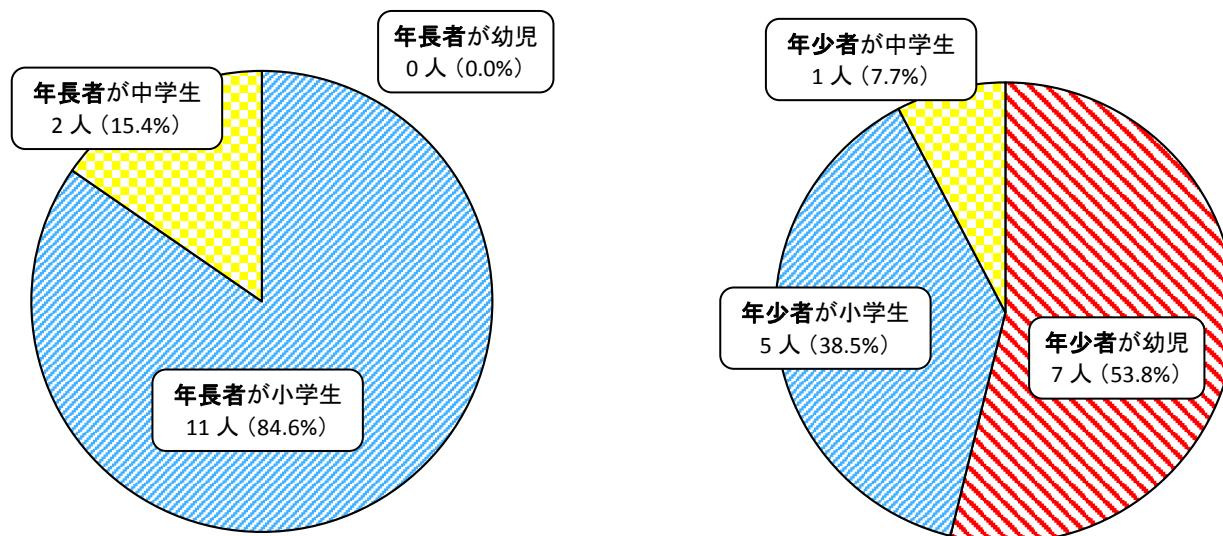
抽出者総数 13 人

【問2】 年代・住民区分について

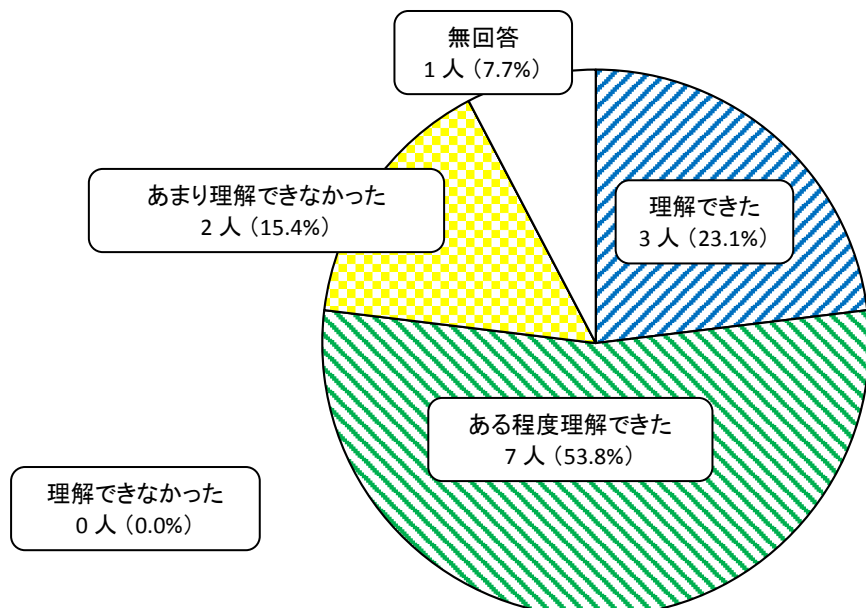
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

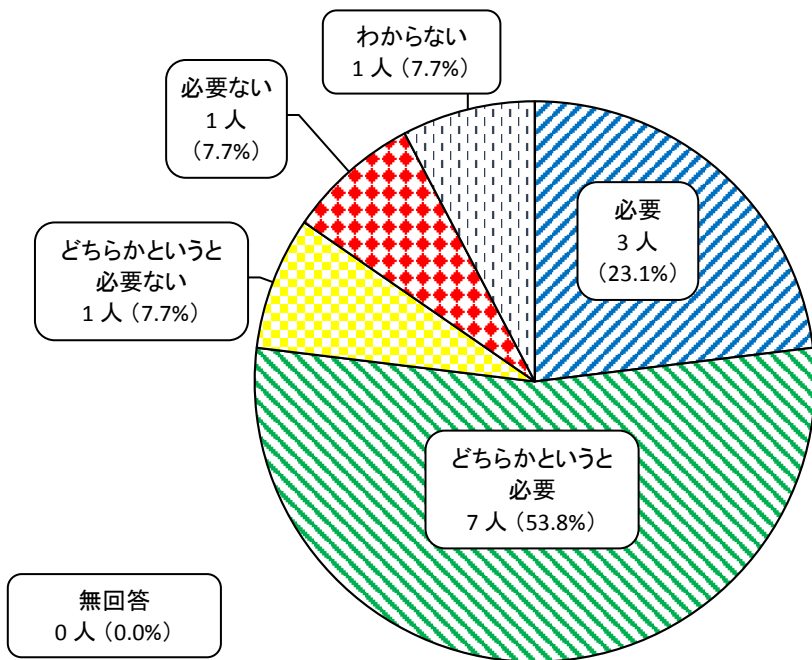


○理解できた・ある程度理解できた
10人 (76.9%)

○理解できなかった・あまり理解できなかった
2人 (15.4%)

○無回答
1人 (7.7%)

【問４】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。

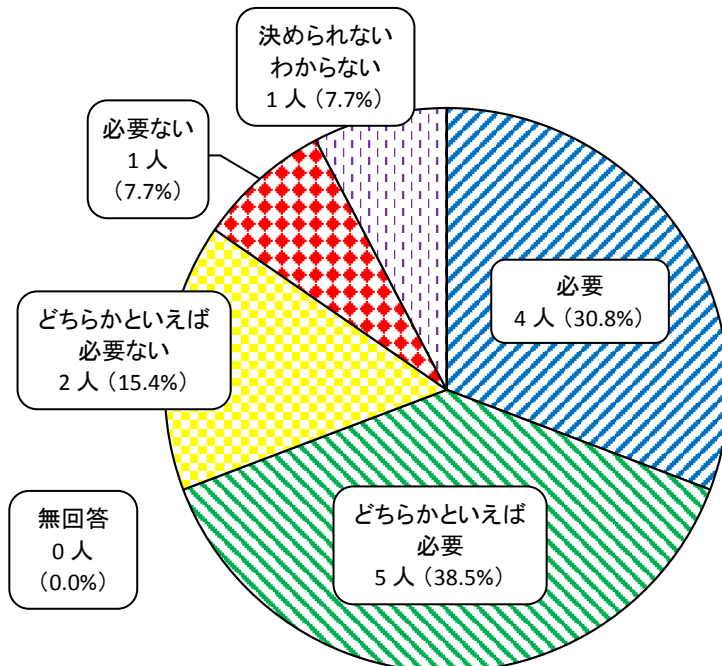


○必要・どちらかという必要
10人 (76.9%)

○必要ない・どちらかという必要ない
2人 (15.4%)

○わからない・無回答
1人 (7.7%)

【問５】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



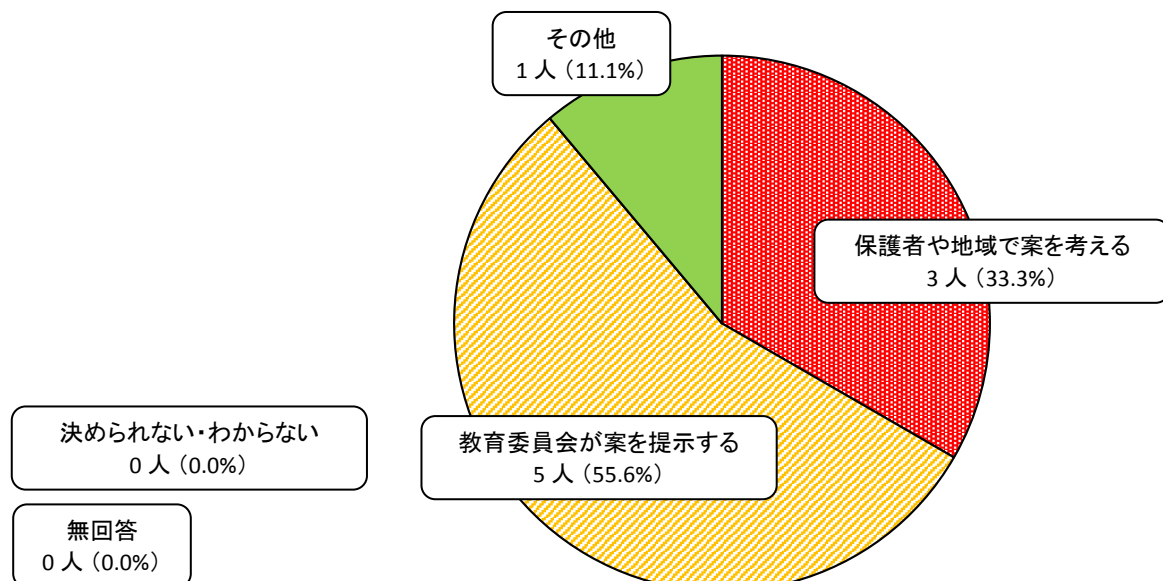
○必要・どちらかという必要
9人 (69.2%)

○必要ない・どちらかという必要ない
3人 (23.1%)

○わからない・無回答
1人 (7.7%)

【問６】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問５で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



池田小学校区集計表

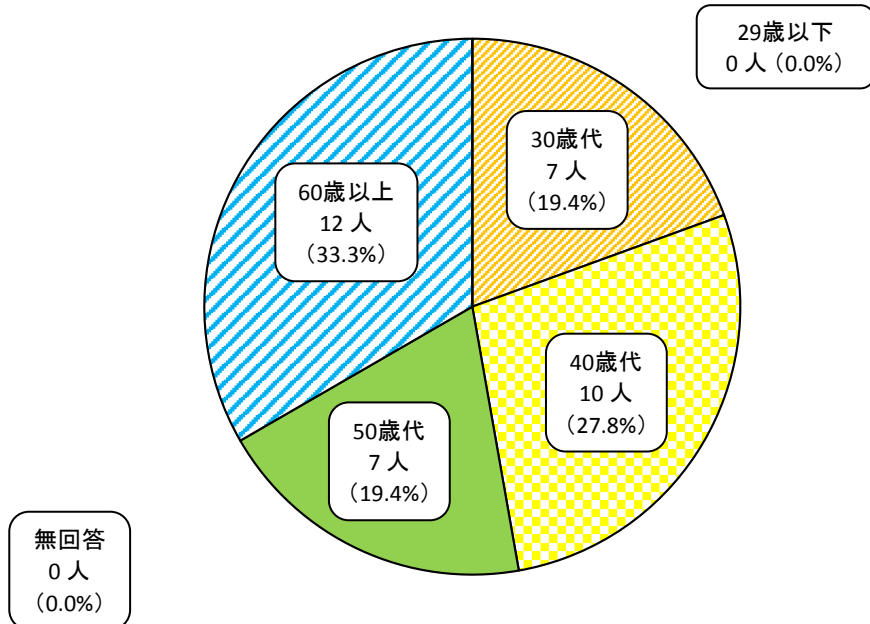
小学校区： 池田小学校

住民区分： 全体

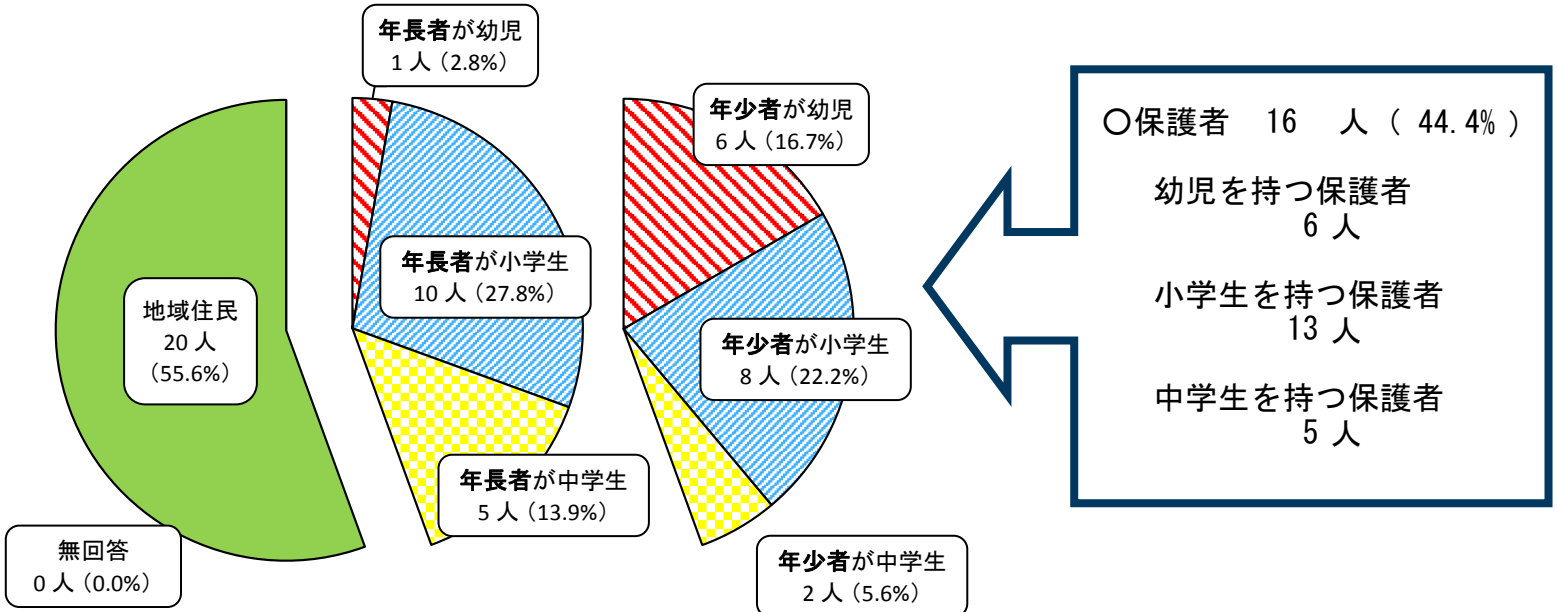
抽出者総数 36 人

【問2】 年代・住民区分について

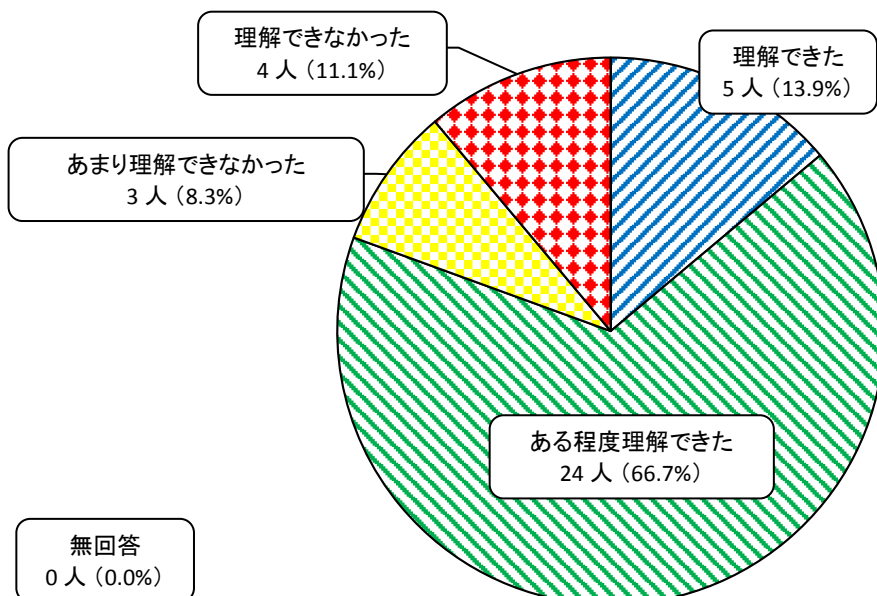
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

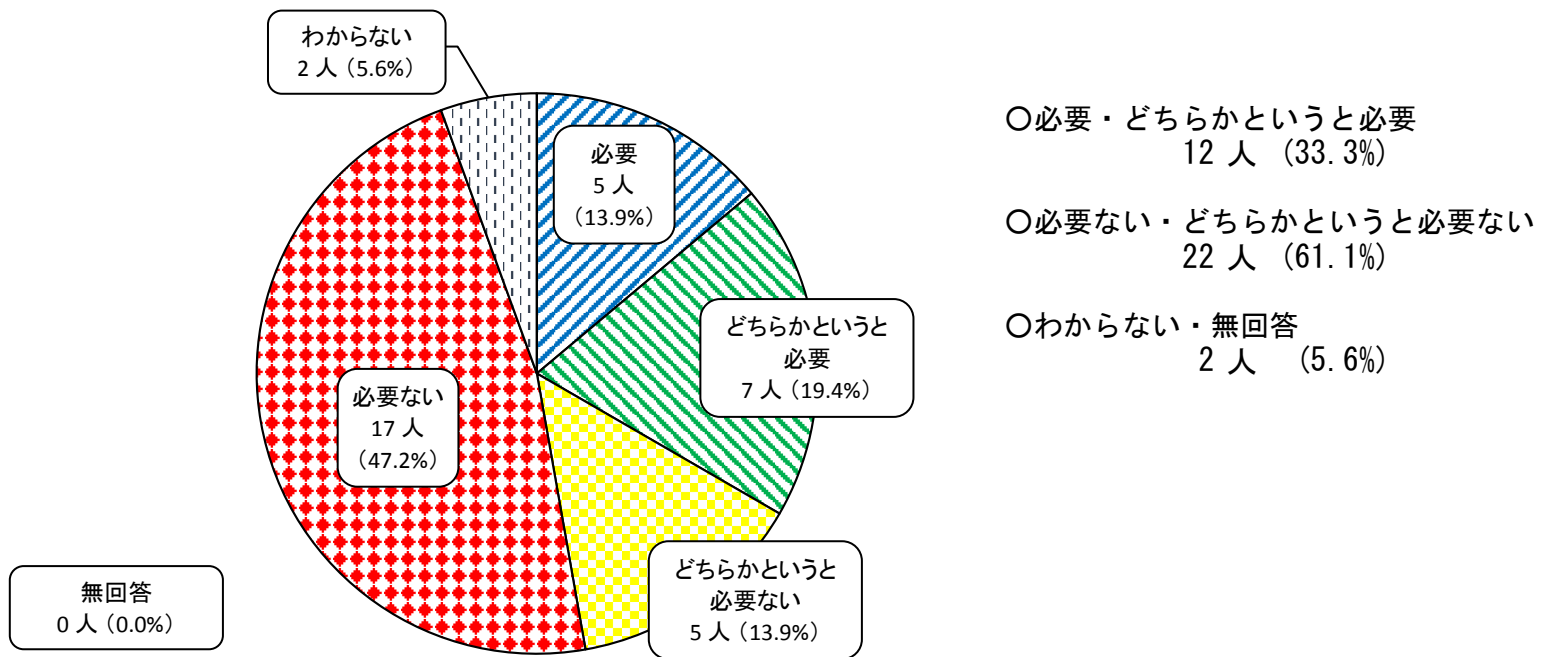


○理解できた・ある程度理解できた
29 人 (80.6%)

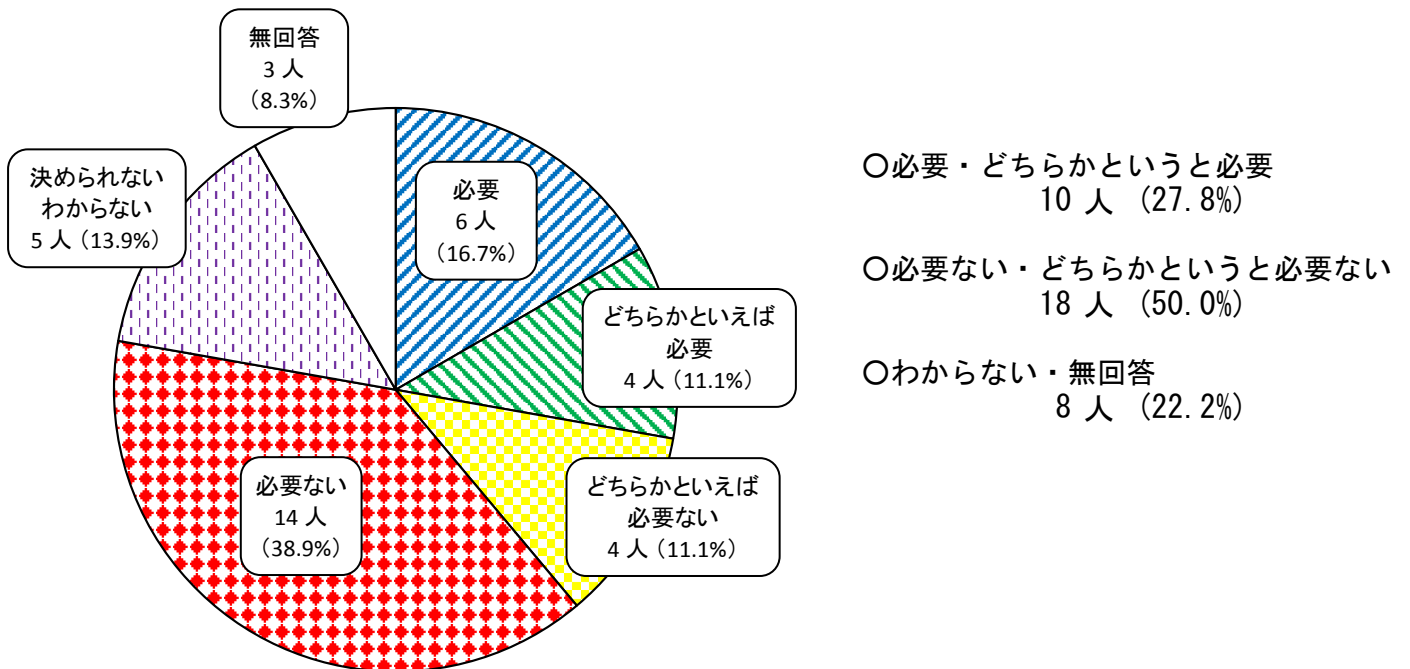
○理解できなかった・あまり理解できなかった
7 人 (19.4%)

○無回答
0 人 (0.0%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

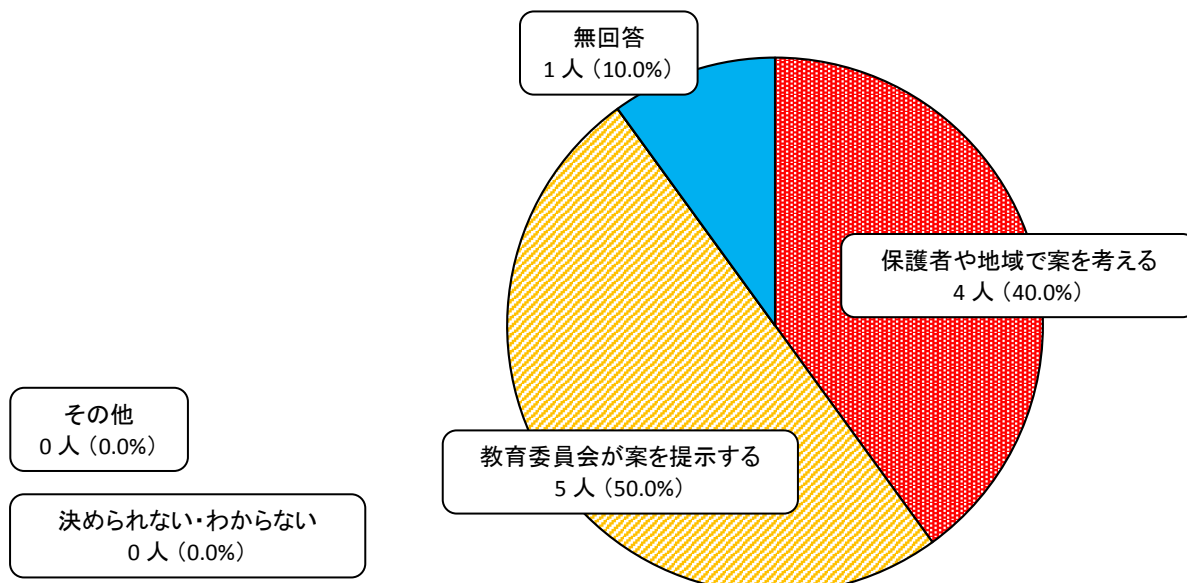


【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



池田小学校区集計表（保護者のみ）

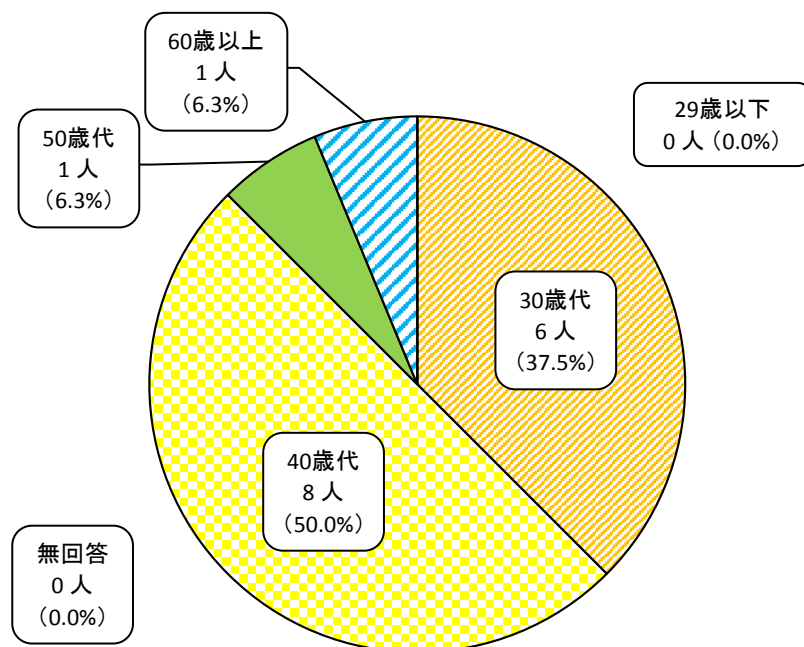
小学校区： 池田小学校

住民区分： 保護者

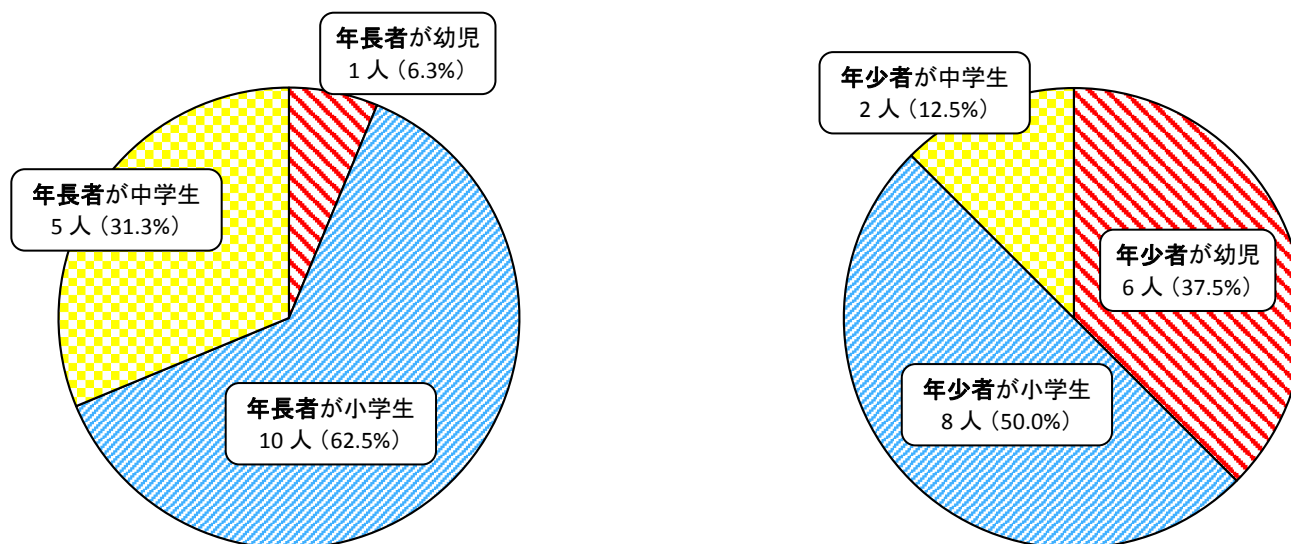
抽出者総数 16 人

【問2】 年代・住民区分について

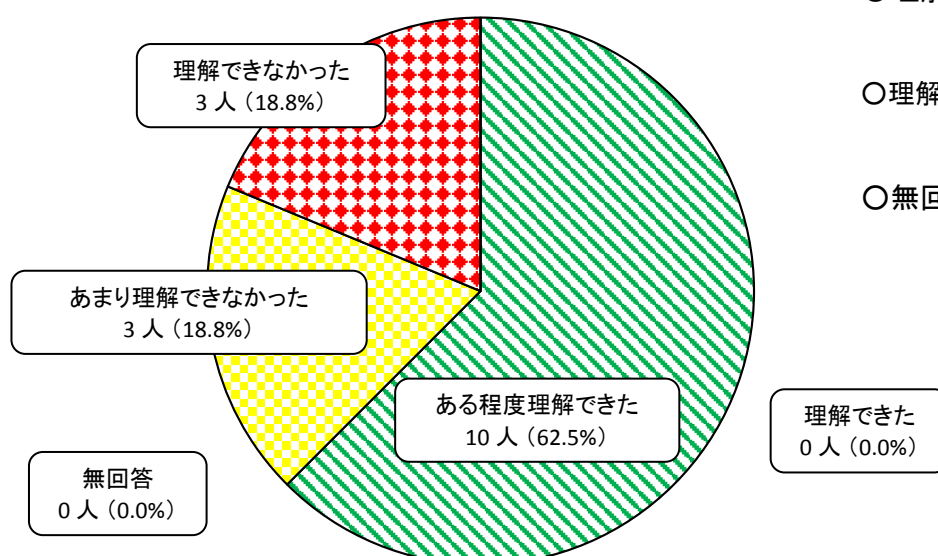
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

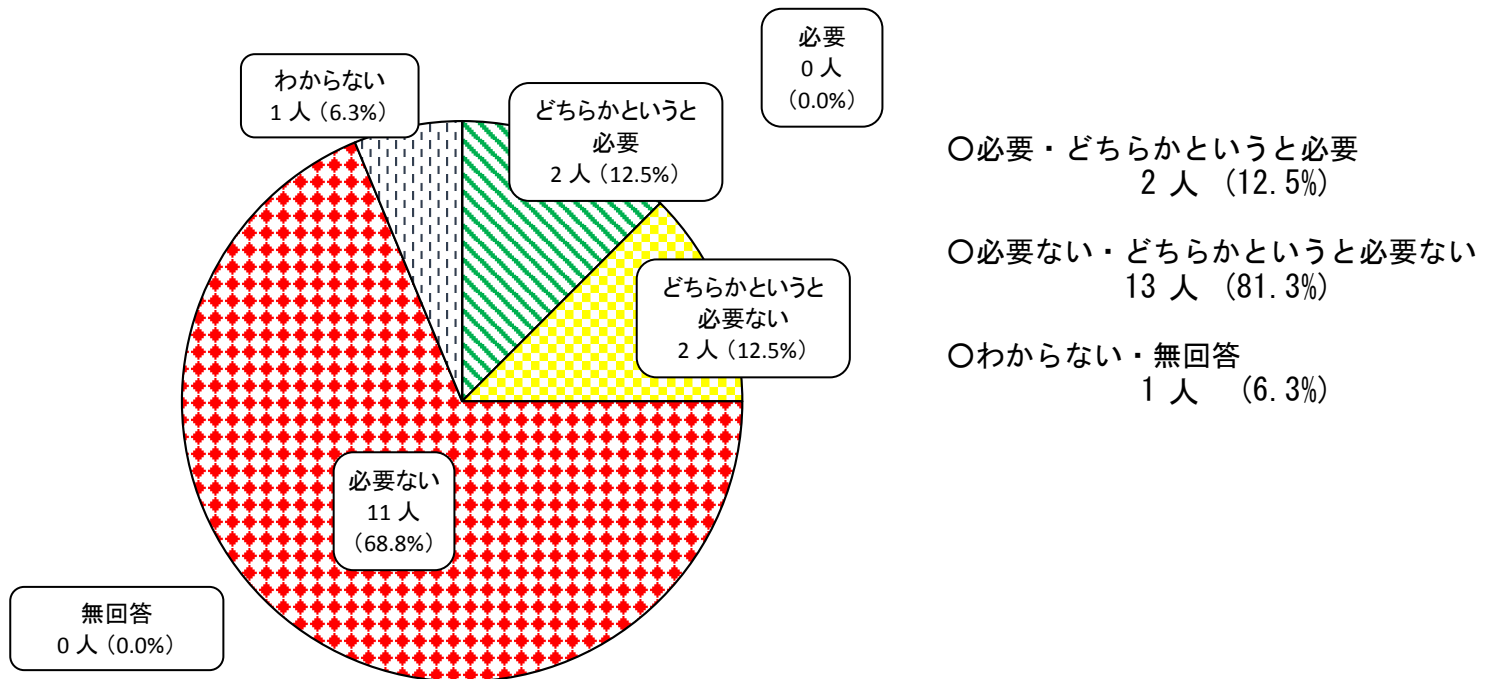


○理解できた・ある程度理解できた
10人 (62.5%)

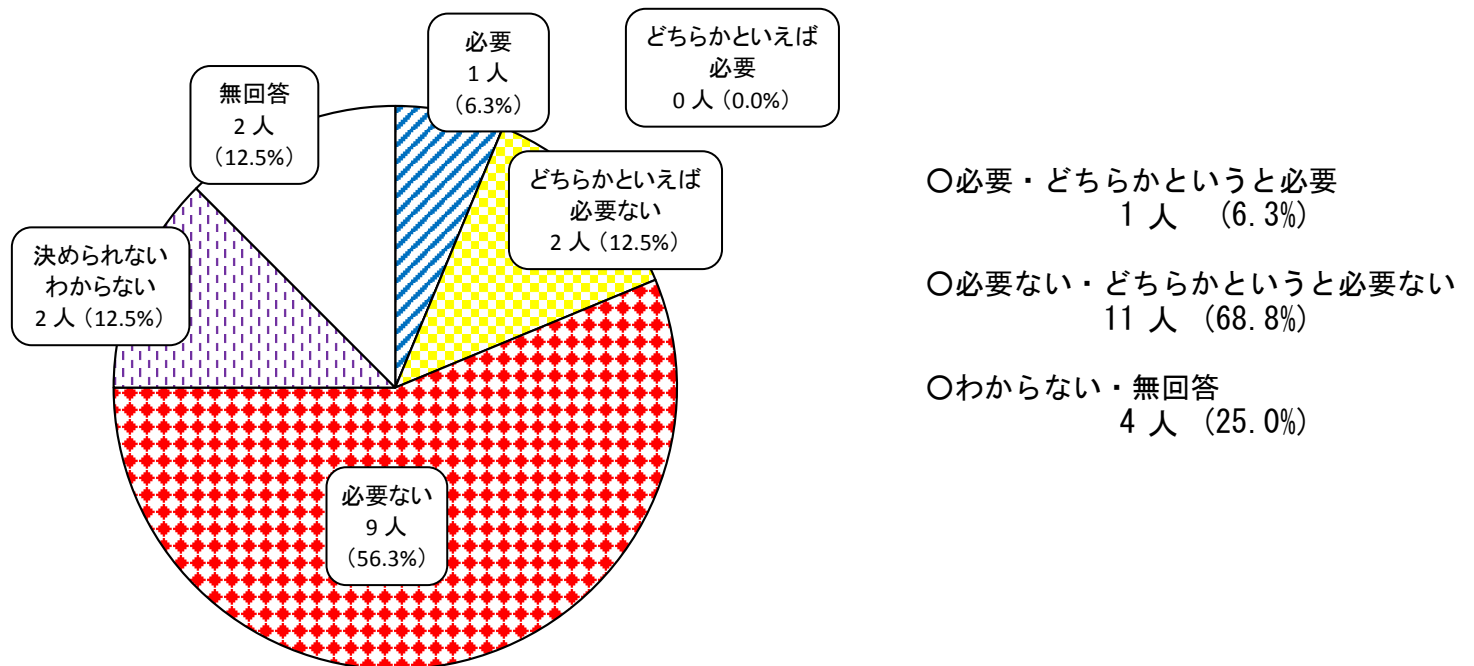
○理解できなかった・あまり理解できなかった
6人 (37.5%)

○無回答
0人 (0.0%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

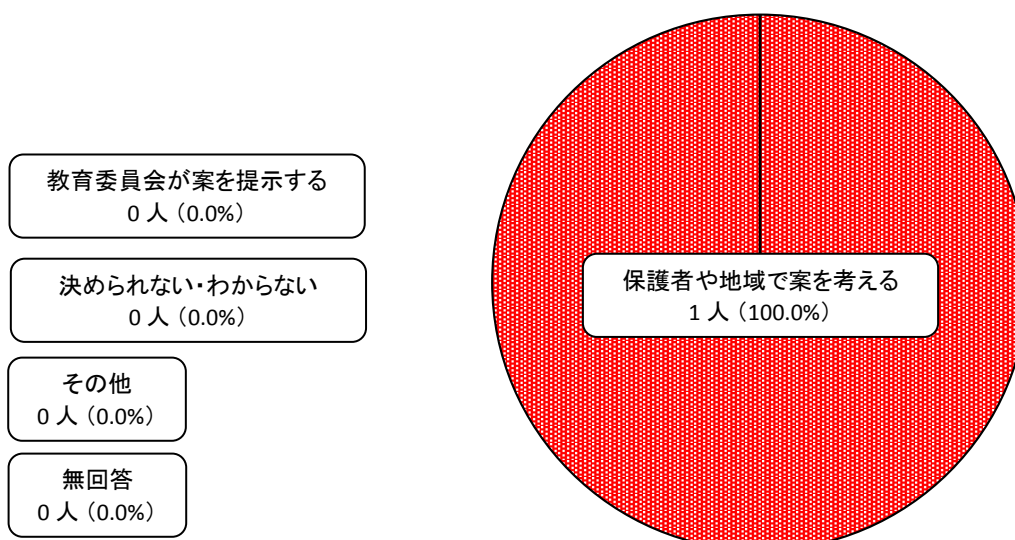


【問5】 あなたの住む地域における「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問6】 「学校規模の適正化」の協議方法

※ この設問は、問5で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【その他の意見と自由意見】

【注意】

ここに掲載しているご意見は、個人のご意見であり、可能な限り原文のとおり全文を掲載しています。ただし、個人の特定につながる表現等については、一部修正しています。

【問6】 適正化の協議に当って望ましいと思う進め方および学校規模の適正化の案

○望ましい進め方に対するご意見

- ・専門的な知識をもった教育委員会が、責任をもって案を作成すべきです。作成にあたっては、参考とすべくヒアリング、意識調査をする。
- ・教育委員会の意見と保護者や地域の方との意見、それぞれの話を聞いて、しっかり検討していきたい。
- ・「教育委員会が案を提示し、保護者や地域の方と一緒に検討する」協議方法で進めるのが良いと思うのですが、その中で保護者や学校に通学する小・中学生の方々にも、話をしていただく機会があればと思います。
- ・案を提示するための調査検討部会の設置。

○学校規模の適正化の案

- ・先進的に、南中・丹波小・柳田小等を統合して、小中一貫校を進める。
- ・指宿市で、小学校3校、中学校2校
- ・案かどうかは分かりませんが、北中の地区割りを考えてほしい。例えば、西中が見えている所から、北中に行かないといけないなど。指宿小と魚見小は一緒でもいいと思います。
- ・今和泉小、池田小、西中を小中一貫校として、既存校の西中に設置する。
- ・山川・開聞地域については、両地域で小学校1校、中学校1校が良いと思う。指宿小校区も適正規模校ではあるが、近隣地区は小規模校であるので、統合の検討が必要と思う。
- ・学区制をなくしてもよいのでは？と思う。後、特認校も検討しても良いと思う。
- ・他府県の事例も参考にしたい。

【問7】 その他、自由なご意見

- ・方針決定まで時間がかかりすぎると思う。子どものためにも、地域のためにも、早く方針を示してほしい。
- ・学校自体がなくなってしまった地域が、寂しくなるとよく耳にしますが、その建物自体を、その地域のコミュニティ施設となる設備として活用していけば、その地域に住んでいる児童生徒も、参加してもらおう方向に継いでいけるのではないのでしょうか(地域住民との交流・活性化)。子どもたちだけでなく、保護者の方々の広がりも生まれ、活性化されると思う。もちろん弊害もあるのでしょうか(不参加方の人もあるので)が、集団の中で色々な考察力を養う意味では良いのではないかと思います(少人数が悪いというのではないけれども)。人間は色々な色をもっていて当たり前、認め合うことが大事なのは。

- ・過小規模校の対応を早急にしてほしい。
- ・池田は適正化の反対の声が大きい。声は小さいが、適正化を図るべきだと思っている人も多いと感じている。
- ・特に、西中の早期統合を望みます。資料は、詳細は説明資料とした方がよい。
- ・過小規模校の解消は、本当に重要な課題であると思います。やはり、児童数が少ないと、自己主張の弱い子に育つのではないか？コミュニケーションの取り方など、戸惑うのではないかと、親としては、心配な部分が拭えません。意見はそれぞれあり、まとめるのは大変ですが、「子どもたちのために最善の学校づくりを！」というのが、どの親からしても一番の願いであると思えます。これからも止まることなく、それぞれに出来ることをやっていきたいと思えます。実現へ向けてよろしくお願いいたします。
- ・中学校に行ってから部活動の選択枠が少ないというのはかわいそうに思う。他の中学校の部活動に入りたいと思っても、学校の校長先生次第と聞きました。この部活動については、教育委員会でも話しに入っていけないところだと言われました。もっと、保護者や生徒に耳を傾けて、意見を聞いてほしいと思います。
- ・学校規模の適正化をすることによって、学力を競い合う相手もたくさんいて良いと考えている。
- ・必要な理由について、箇条書きで分かりやすく説明してほしい。指宿地区内の小規模・過小規模小学校の魚見小、今和泉小、池田小と南中の将来的な姿を考えていく必要があると思います。山川・開聞地区の学校規模の適正化が終わる前に、進めてほしい。柳田小の中学校の通学区分については、ぜひ早く進めてほしい。
- ・時代の流れで、その時代に生まれて受け入れていかなければならないこともあると思います。20年後、30年後を考えることは大切であると思います。子どものためになることは、進めるべきだと思います。
- ・子どもたちには集団の中で学習させ、社会に出たときに適応できるように「生きる力」を身につけさせたい。したがって、一貫教育の必要性はあると思われる。
- ・柳田小OBです。南中に行くのが嫌でした。怖かった。丹波に飲み込まれる感がありました。不登校になる気持ちが分かります。
- ・市全体で考えた時に、学校規模の適正化は必要だと思った。2中学校に分かれて進学している現状を、何とかより良く解消していただきたい。
- ・10年後、3割減少の予測だが、その先も減る可能性が高いと思うので、どうせ集約するならば、もっと思い切って統合したらいいと思う。学童保育も同時に考えていただけると有難い。
- ・現在は指宿校区で、すぐすぐ小規模・過小規模になる見込みはないのだが、いずれは見込みがあるということでした。学校・教育委員だけではなく、指宿市単位で、何か人口増加になるような動きをしているのでしょうか？温泉・観光のみになっていないのでしょうか？温泉観光にしても、とても広告宣伝が他県に比べて弱いと思う。他に大学誘致だったり、工場誘致等、町に人を呼べる方法も考えてほしい。学校・教育委員だけではなく、根本的に変革が必要だと思う。
- ・分かりやすい説明会でした。指宿市の将来を担う子どもたちの教育は、非常に大事です。

今後も頑張ってください。

- ・とても分かりやすい説明で、よく理解できた。地元の方々を納得させるとなると、かなり大変であるが、小中一貫にするメリットと小規模校を存続させた場合の維持費などを算出して、比較と税の軽減や、一貫にした場合の経費削減のこと等も伝えれば、もっと納得してくれるのでは？と思う（金銭面のメリットも）。先進地事例も紹介があれば、分かりやすいかも。
- ・小中一貫教育はあっていいと思います。自分も中一ギャップはありました。とっても不安だったのを覚えています。
- ・来年、池田小に2番目が入学します。聞いたところ、2人しかいないとのことでしたが、初めての小学校に入学するので、複式にはしないでほしいです。
- ・今後、小中一貫教育を推進するのであれば、指宿地域においても、校区再編について着手していった方が良くと思う。
- ・山川・開聞の意見がまとまらない状況の中、先に先進事例をつくったらどうでしょうか。
- ・校区再編は、市・地域全体で取り組むべき。
- ・今回、このような説明会に参加し、市教の考え方、最新の情報等をホットに聞くことができ、感謝しています。ありがとございました。少しだけ感じたことは、内容が始め、保守的に感じました。子どもが少なくなっていくのは市民は分かっていることなので、指宿から世界を動かすような子どもたちが育つよう、もっと上向きで未来経済を考えた超最新の学校、教育づくりになるといいと思います。子どもたちは皆、地球人という意識になるといいですね。応援しています。
- ・まずは中学校を再編してから、小学校を徐々に再編していくという方法もあるのでは。
- ・山川・開聞地域では小学校1つ、中学校1つに。指宿地域も中学校1つ。
- ・私は小学低学年から県内ですが、近所の教室に通い、ゲーム・歌を外国人から習っていました。国際的なこと、文化も学び、大人になり留学もしました。小さい頃からもっと、外国人との接点をもつ機会をもつべき。小中一貫教育は理解できた。以下、指宿地域についてですが、施設分離型を指宿地区で推進するのはどうかと思う。何かしら統廃合をして、同じ施設内で一貫教育していくのが効率が良いと思われる。この人口において、小中学校の数は多いと、他県から移住して違和感がある。中学校を2校（北中・西中）に、小学校を2校（指宿小・丹波小）にまとめるべきだと、日頃から思っている。スクールバスと、通常のバスルートを統合した考え方もあると思う。
- ・「小中一貫教育」について、私は大賛成です。子どもたちの発達の過程、成長においても、最も望ましい事だと思います。今和泉小学校、西指宿中学校は小規模校ですが、先生方、地域の方々に見守られ、小規模校における最大の恩恵を受けていると、子どもを今和泉小学校に預けている保護者の一人として、感謝しています。西中の子どもたちは、全体的に成績も良いようです。これは、小学校からの「積み重ね」だと思います。また、西中の子どもたちは少人数なので、一人一人が主役としてがんばっています。それは、小学校時代、先生方は地域の方々から大切に育ててもらったからだと思っています。このすばらしい地域で育った子どもたちが大きく羽ばたいていけることを祈り、また、希望しています。そして、今小・西中の子どもたちは「ふるさと」を忘れない心を持った子どもたちが育って

いることと思います。地域の方々のお力を今小・西中の子どもたちのためにお貸しください。

- ・小中一貫教育は、はっきり言ってよくわかりません。今日、話を聞いて、必要性もあるような気もしますが……。1クラスの人数が少ないので、子どもたちのいざこざも多いし、クラス替えなどあった方がいいと思うところもあります。少人数だからといって、先生方が目が行き届いているようにも思えません。一貫教育も大切だと思いますが、もう少し子どもの目線で話を進めてほしいです。よろしくお願いします。今日はありがとうございました。
- ・小中一貫教育のことは、言葉では理解できたが感覚的には、やはりあまりよく分からない。学校規模の適正化については、必要であると思ったが、通う負担どうなのかなとは思った。
- ・水泳大会を中学生も一緒にしてみたり……。など、例えば、こういう行事をこのように進めたらどうか……。など、提案してもらえるとイメージがわきやすく、一貫教育への楽しみも感じる事ができそうと思いました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
- ・小中一貫教育も大事なことはよくわかるが、同じ中学校へ通う小学校同士の交流もあると中学校へ行った時にもスムーズに入っていけるのではないかと思います。
- ・小中一貫教育はいいことなので進めてほしい。適正化は、今後、検討が必要になってくると思う。
- ・池田小・今和泉小・指宿小を1校か、柳田小（魚見小）を1校のどちらか。大成小・山川小・利永小を1校、開聞小・川尻小・徳光小を1校。この6校で1校もあり得る。開聞中・山川中を1校。西中・北中を1校。柳田小は全員、地中へ。
- ・全国の基準に合わせて、ある程度の適正化は必要だと思いますが、この地域、環境でしか育めない教育もあるのでは？と思います。児童生徒数が少ないから、教員の数を減らすというのは、それ自体が納得いかない気がします。校区を取り払って、進学する学校を選ぶということはできないのでしょうか？小中一貫にしたところで中学への分は減っても、学習の修得はやはりきめ細かい、手厚い教育なのではないのでしょうか。人数、規模も大事ですが、方法も大事だと思います。
- ・小学校低学年における外国語活動によって、英語に少しでも触れているほうが苦手意識がなく、英語への学習を本格的に取り組めるのは良いことではないかと思いました。各教科の9年間の系統性を踏まえた授業というのは、今までの授業と何が違ってくるのでしょうか？中期における教育活動の実践というのも、今までと何が違うのか、よく分かりませんでした。小中一貫教育とは言っても、施設分離しているので6・3制と同じく、中学1年生で環境は変わるので、施設分離型の小中一貫教育の必要性をあまり感じませんでした。
- ・（１）小中一貫教育について：9年間を見越した教育課程の作成は必要だと思う。先生方の負担等も考えて、中長期的に変更していくことが望ましい。先生方の乗り入れは、旅費負担が市で行うことになると思うが大丈夫？（２）適正化について：学校の規模は、子どもにとっての適正規模であってほしい。小さい学校がいいという子もいるし、大きい学校もいいという子がいる。
- ・人口減少で仕方がないことかもしれませんが、子どもたちやPTAの方々の考えをよく聞

いて進めてほしい。特に、子どもたちの友人関係も大切なことですので、慎重に進めてほしいが、現状は早くなるのかなと思います。

- ・丹波の校長先生のお話がとてもよく分かった。
- ・なかなか、こういう場で、特にお母さんたちが発言するのは難しい。出前講座をもっとPRし、保護者・地域の方たちが、ざっくばらんに話ができる場面を多く増やせば、色々な話を聞けたり、議論が深まるのではないかな。
- ・今後の方針が変更できるのか？決定したことなのか、方向性を示してから話し合いをもっとほしい。
- ・「議事録」をまとめて公開するのは、今のご時勢、当然のこと。各校区ごとのアンケート結果及び協議、結果は必ず公開する必要がある。公開しないとなれば、「情報公開請求」も考えている。
- ・望ましい学校づくりの基本方針を考えて行ってほしい。
- ・問題点を十分に検討を重ねて、児童生徒の指導上、支障のなきよう配慮されることを望みます。
- ・外国語も必要ですが、ネット社会なのでPCの勉強も必要と思います。教育する側の親の勉強会も必要だと思う。ステージの手前のテーブルに誰も座らないのでしたら、プロジェクターをもう少し前に持ってきては。スクリーンは字が小さく見えない。
- ・放課後の器も必要（共働きのなど）。
- ・学童、放課後のあり方について考えてほしい。学校側も日々の授業など大変で、なかなか放課後まで目を向けられないと思いますので、ぜひ市の方で取り組んでいただきたいと思います。色々と自分なりに調べ、学校で過ごす方法などあると思います。子どもを増やすために、保護者が過ごしやすく、働きやすい環境をもう少し考えてほしいです。放課後、特に長期休みに子どもをどうするかを考えると、不安になることがあります。
- ・「外国語教育」とは、英単語・文法を覚えるだけの受験用の教育を目指すのではなく、異なる言語・異なる文化を持つ方とのコミュニケーション能力を育てることを目指すだと思います。低学年の外国語学習が15時間しかなくとも、やり方によっては大切なことを学べる機会となり得ると考えます。
- ・小中連携教育での先生たちの移動についての提案です。先生たちがわざわざ移動しなくても、N T Tなどで行われているICTコミュニティなどを活用して、タブレットや大型スクリーンなどで、遠隔地からの授業などはどうでしょう。ここまでメディアなどが進んでいるのだから、活かしてもらいたいです。
- ・なかなか説明会を聞いても、人数も集まらないので、学校授業の中（PTA教育講演会）などの時間を使ったり、地区行事で時間をつくってもらい、より多くの方に聞く場をつくってもらいたいです。そうすると、色々な意見やアイデアをいただけるのではないかなと思います。
- ・通学距離が長くなる生徒の場合、スクールバスの運行を検討しているのでしょうか（学校規模の適正化後）。
- ・公民連携の視点に立ち、小学校運営をしてみてもどうでしょうか。P F I 事業等を活用することもありますし、もっと柔軟に考えてみてはどうでしょうか。旧指宿地域において、

唯一、山間部にある小学校として、立地性を活かして防災拠点（市全体の）としての公共施設の位置づけをしてほしい。

- ・机の上だけでなく、現場（学校）に足を運んで理解して、今後の話し合いで良い学校づくり、より良い考え方を進めてほしいです。本日は、ありがとうございました。
- ・小中一貫教育について、どうなるかはっきり説明がされなかったのでは。人口減は仕方ないことだ。対象者の減少は仕方のないことで、子どもたちを増やすこともできないでしょうし、適正から小規模→過小規模になるのでしょうか。小中一貫、新しい施設をつくることになった方がよいのでは？柳田校区小学校について、近いうちに過小規模校となるでしょう。説明を聞けば聞くほど、仕方なく、一貫教育を説明しているように感じる。
- ・小学校低学年からの外国語導入はいいことだと思う。休みの期間中にALTの先生による、イングリッシュクラスの日数を増やしてほしい。英検対策（2次）のクラスは、中・高生のための参加となっているが、英検受験の低年齢化に伴い、小学生も参加できたらいいと思う。
- ・外国語教育よりも正しい日本語（敬語、漢字、書き順、丁寧語など）をもっと大切にしてほしい。
- ・指宿小は、ちょうどいいくらいの人数だと思っています。学校教育とは違うかもしれませんが、地域に体を動かして遊べる場所が欲しいと思っています。
- ・学校が統合されて、メリット・デメリットそれぞれあると思う。子どもたちも小規模の方がいい子、大きな学校で学びたい子、それぞれだと思う。「適正化」って、人それぞれ違うので決められない。
- ・教育長の冒頭の話で、「きれいな英語」という言葉が多く聞かれました。「きれいな英語」とは何ですか。最低通じればいいのではないですか。「きれいな日本語」などの話がなかったのが残念です。英語を母国語とするアメリカは、広島・長崎に爆弾を落とし、沖縄を自由に使っている。
- ・過小規模校の教職員は、とても多忙です。生徒にも影響があるので、市の予算で特別支援の先生を増やしてほしい。大規模校、小規模校に教育を受ける差別化を解消してほしい。平等にしてほしい。小学校もふるさとの一つだと思います。ふるさとをなくして、指宿を愛せるのか？いぶ好き？なれるのか？
- ・小中一貫教育で、中学校の先生方の負担が増えることのないように配慮していただきたい。
- ・小中一貫教育の際に小学生側が受けるメリットはありそうだが、中学生が受けるメリットはそれ程無いように思われる。更に、小中学では、それぞれ、教え方、接し方が違うように思われるが、教職員の負担につながることはないか心配もある。
- ・小中学校の職員の意見を聞いてもらう場をつくってほしい。
- ・支援学級について、小中一貫になると、どうなるのかも知りたい。
- ・小中一貫教育について大体分かったが、具体的なイメージが掴みにくい。
- ・すべての意見は受け入れられないので、どこかで閉める方もよい。学校規模がよくて、転校・引越して来られた方もいると思うので、小さいところがよい、大きいところがよい、魚見小はよいが、子どもにとって何がよいかわからない。
- ・要するに、合併という事ですね。

- ・「望ましい学校づくり」の話は、今回で3回目になりますが、今までに出た質問をまとめて、「前回、このような質問がありました」、「これに対しては、このような答えを出しました」とか、簡単な文書を付け加えてほしいと思いました。何を質問したらよいのか分からないので、何も言えないと思います。ただ、説明を聞いただけで終わりのように思います。質問したことが反映されるのでしょうか。「統合することも大事ですが、育てやすい環境を先に考えるべきでは？」とか、色々出た質問は、そのままスルーされているようにも思われます。まだ9月の時点で決まっていないとの事だった話が、平成33年を目途に山川の4校が1校に、とか、2ヶ月そこらで、しっかり決まるのですね。その事に対しても色々保護者からの意見はあったと思います。説明の日時が不適切。
- ・小規模校がいいと思っている保護者が多いので必要性を感じない。いじめ・不登校は、小中一貫にした所で、根本的な問題解決しないと何も変わらない。この問題と一緒にしたらいけないと思う。「望ましい学校づくり」という題が、そもそもピンとこない。保護者は、こんなことが知らない間に進んでいるなんて思っていないと思う。なぜ、小中一貫教育を進めているとすぐ分かる題名ではないのですか？
- ・いぶ好き学は、わざわざ授業でしないと育まれないのだろうか？と思いました。教育のあり方も大事だけど、登下校が心配です。歩道が狭くて怖いです。
- ・分離型で進める場合、合同で活動を進めるためにかかる時間の確保のために、土曜授業日数が増えたりするのですか？当事者である子どもたちへの聞き取りや、調査など行うことはあるのか。
- ・学力向上が課題であると言うが、なぜ向上しないのかが不明。
- ・先に取り組んでいる地域を例に、いくつか挙げてもらいたい。同じくらいの人口、柳田小のように分かれるなど。
- ・適正化に伴い、特別支援教育の充実（学級の設置（知、情他）、通級の充実、コーディネートの配置、スクールカウンセラー、SSW支援、支援員の配置と活用）が、しっかり行われてほしい。（現在、困っている子どもたちがたくさんいます。）小中一貫校は、全地域で行うんですよね。南指宿中は丹波小、柳田小となるんでしょうか？管理体制、職員配置、学校としての組織、経営状況等は現状と変わるのか？分離型での連絡の具体的なやり方は？現在の小・中学校の連携はどんななのか。足りないのかなど知りたいです。
- ・国の案になるべく合わせた「学校規模の適正化」のように感じました。家庭の立場や生活からの説明がないことが、すごく気になります。子どもを学校に行かせながらの生活が、どうなる可能性があるのかなどを示してほしいです。
- ・意見にもあったとおり、6・3制と4・3・2制が分かりづらい。6年卒業、中3卒業ではなく、前期終了、中期終了、後期終了でも良いのかなと思う。
- ・「適正化」という言葉が少し引っかかるなあとおもいました。現状は、適正でないと言われているのと同じなので。後、子どもの意見は聞くべきだと思います。アンケートが難しいのであれば、話し合いや作文を書いてもらうなど、方法を工夫して。教育委員会の事務局の熱い思いが伝わる説明会だったと思います。以前（H26?）にあった説明会は、とても事務的な感じだったので。
- ・マイクがよく聞き取れなかった。指宿は北中スローガンだけにならないように。

- ・用語は正確に（こじ付け・言葉遊びは子どもに不用）いぶ好き→いぶすき，他にも市長と語ろ会→語る会，日本語は正しく使ってほしい。
- ・この件に対して，子どもの考え方も聞いてみたい。
- ・財政的に厳しいんだなあと。
- ・この説明会に，たくさんの住民の方の出席がほしいですね。特に子どもさんのいらっしゃる方々。
- ・とても分かりやすい説明でした。資料について，少し見辛い印象を受けました。目次や会次第，時間配分等があれば，もっと良いと思います。
- ・説明に用いていた資料が分かりやすいと思うので，参加者に配布していただけるとよかったのでは？
- ・小中一貫教育をしている学校の状況など，具体的に教えてほしいと思いました。
- ・参加者が少なく驚きました。このような中でのアンケートでは，市民の意見が反映されるのか心配です。乳幼児のいる家庭や地域の方々を含め，幅広くアンケートを行うことはできないのでしょうか？各会場で出た意見やアンケート結果も含めて，基本方針について広報紙等で市民に周知してもらいたいです。学校規模の適正化については，他市町村における事例等も紹介してもらえると，分かりやすいと思います。統廃合をした場合の，廃校跡の活用方法や地域のあり方等を知ることができれば，不安も減るのではないのでしょうか？市民に周知する際には，過小規模校・小規模校，そして適正規模校，それぞれのメリット・デメリット等を分かりやすく紹介してもらいたいです。
- ・地域にとって，小学校は必ず必要である。説明会の中で出された，保護者や地域の声をしっかり素案に反映してほしい。説明会の質疑の情報公開を必ずしてください。アンケートがえんぴつで記入するというのは，どういうことだと思った。何度でも説明会をしてほしい。
- ・学校がなくなった後の地域のあり方（消防団などの防災活動，子どもとの関わりなど）について，時間をかけて検討してほしい。
- ・①指宿市内に小学校1校，中学校1校は，大規模校になじめない子供たちを受け入れる学校があってもよいと思う。②望ましい学校のあり方については，地域住民がじっくり語り合うことが大事だと思う。
- ・丹波校区は確かに少人数にはなっているが，現在は6学年とも3クラスあるので，必要ないと考える。指宿に企業ができるようにして，若者が県外に行かないよう定着させ，子どもを増やすよう努力してほしい。年間500人の人口減を少なくするよう努力してほしい。
- ・過小規模校でも学力の向上，体力の向上，全く不安を感じなかった。人口を増やす努力を。
- ・望ましい学校づくりは，協議を進めなければならないが，同時に人が住みたくなるような，魅力ある地域づくりをしないといけないと思う。若いお母さんたちが動いていることに協力したい。
- ・今どこの地域でも子どもが少なくなり寂しさを感じる。少子化をどうにかして止められたらよい。
- ・地域創生に向けて，人口を増やす方策について市民が語り合う場があってもよいのではな

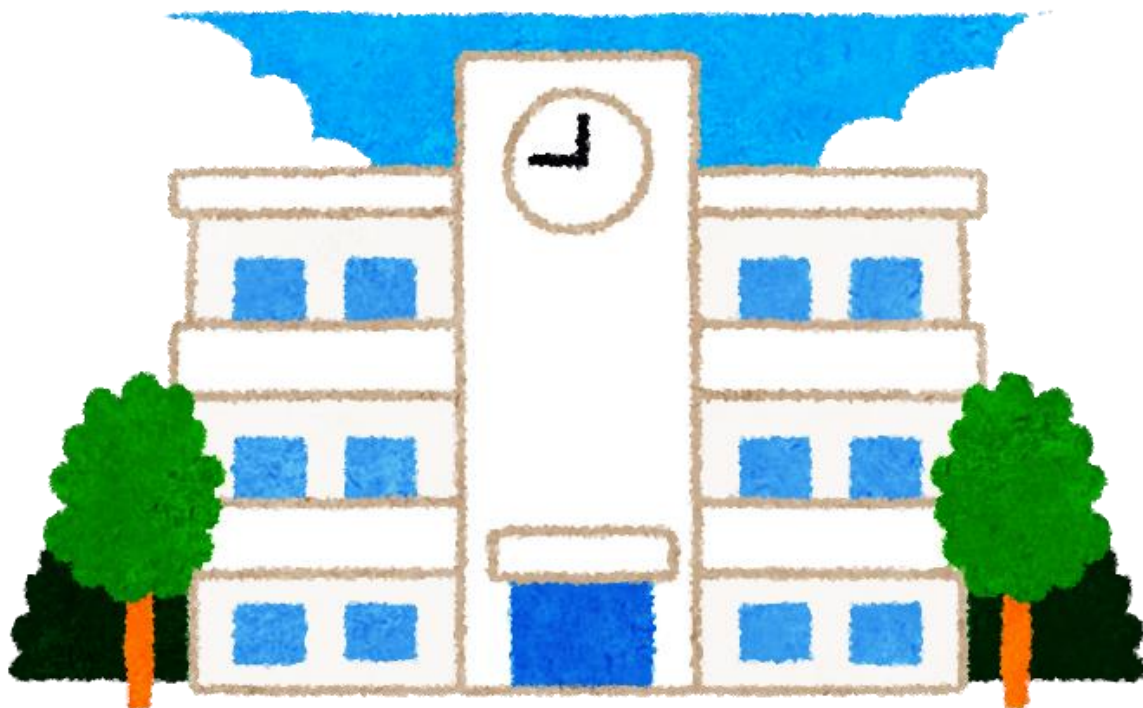
いか。今回の説明会について、市広報がなされたと思うが、ほとんどの人が知らないようであった。各公民館宛に文書を出し、参加要請をすべきではなかったか。そうでないと、市教委が勝手に進めているということになりはしないか。指宿市の今後の未来のことなのに、参加者が少ないことに残念に思う。どうにかならないものかと思う。

- ・市民を増やす努力をしたい。なるべくなら、学校数は減らしたくない。市民、そして市を出て行った元市民も巻き込んだ、議論ができる環境をつくっていききたい。
- ・人数の多い南中は現在、不登校が多いと聞きます。その不登校生を減らす一つの策かとも思いますが、逆に大きくなれば目が行き届きにくくなることもあることが不安です。英語を1年から始めると言うが、時間数が少ないと思う一方、日本語をしっかりしてからでもいいと思う。
- ・「小規模校でよかった。」という話もよく聞く。「適正」という言葉が気になる。保護者や子どもが、適正かどうか判断するもので、検討会が判断するものでもなく、どうなるのかなと思う。保護者や地域住民等の意見を、十分生かしてもらうことをお願いします。
- ・少人数の良さをもっと出してほしい（デメリットばかり強調）。そうでないと、公平な議論はできない。また、学校単位ではそれぞれの学校が、それぞれの立場でしか判断ができないので、学校区の枠を超えた議論の場があってもいいのかなと思います。
- ・地域にあつての学校である。児童・保護者・住民がよく分かり合え、元気の出る地域であってほしい。まだまだ小さい学校は元気である。世の中は変わっている。小なりと言えども、捨てたものではないと思う。
- ・確かに池田小は人数は少ないですが、私の子どもたちは伸び伸び、他の学校の子どもたちと同じように成長しています。今、特別、何かに困っているわけではないです。目の前の子どもが、それを明らかにしてくれています。少ないから・・・ではなく、目の前の子どもたちを見てほしいです。歩いていける距離にある学校が一番ベストだと思います(小学校)。学校をゆくゆくなくしてしまうと、池田は過疎も進むと思います。
- ・小中一貫教育を行った場合、他市・県に転校した場合、子どもは勉強についていけるのか不安。人によっては、過小規模校で教育を受けたいという方もいると思います。そのように考えている家族も多いと思います。そのため、過小規模校の良い所を全国的にアピールを行うことで、転校生も増えて統廃合も防げるのではないかな？
- ・適正規模ありきで、1校に集約や小中一貫教育のメリットだけが前面にあったように思う。過小規模校のメリットもある。
- ・小学校はできる限り残してほしいです。子どもの声がなくなるのは寂しいことです。
- ・私自身、小さな学校で小・中学校時代を過ごしました。そのことで、社会に出て不利益を受けたこともなく、劣等感などももったことはありません。小さい学校のデメリットの説明については、十分に配慮してほしいと思う。望ましいという言葉が多く資料に出てくるが、文科省が言っているからではないか。実際の学校教育は、1学級の人数が21～27名でなくても、2学級以上でなくても、すばらしい学校はたくさんあると思う（スライドの表の中にバツがあつたのは気になった）。事務局が、70年前とは子どもの成長は全然違うと言っていました、本当にそうでしょうか。発達については、一人一人の特徴など知って、対応していくという点では進んでいると思いますが、一般的な発達は70年前の子どもたち

も、現在も同じような部分は多々あると思います。予算に関わることが大きな理由なのなら、はっきりとそこを説明した上で、より良い教育を行うための話し合いをすべきではないでしょうか。山川や開聞地区の方々は、もう少し時間をかけて話し合いたいと思っているのではないのでしょうか。

- ・子どもたちが減っていることに対して、対策はとらなかったのでしょうか？少子化→学校再編にすぐ繋がるのが納得がいきませんでした。「いぶ好き学」は正直、自分の子どもたちには必要ないと思いました。総合的な学習の時間の、本来の趣旨からずれているように思います。考える力をつけさせる力を身につけさせてほしいです。
- ・今、孫が小学校に通学しています。1年入学して心配でしたが、上級生の子どもたちが支えてくれて楽しく過ごせています。
- ・校区再編より小中連携を望む。
- ・マイナス要因の話題で寂しい気持ちになった。楽しい話題（プラスがプラスを）。みんなが参加できる方法を考えてほしい。
- ・地域に学校があるかないかは、地域づくりに大きな問題。
- ・英語教育が成功することを望みます。柳田小（北中・南中問題）がどうなるか、少し不安を感じました。
- ・北中は、特に、小学校3校が集まっているので、保護者として不安がある。
- ・学校規模適正化をすることで、地域の過疎化が進む心配の方が大きい。
- ・柳田小が、北と南に分かれることだけは避けてもらいたい。
- ・中学校区単位で考えれば、柳田小をどうするのが気になる。中学校単位で目標を掲げることも大事だが、市として関与して統一した目標にできないのか。指宿地域の取組で、池田校区・今和泉校区のあり方も早急に検討に入ってもらいたい。中学校を活用した、施設一体型の小中一貫教育は考えられないのですか。
- ・池田小は子どもの陸上記録会や水泳大会は、今和泉小などと合同で選手を出せばいい。2名ぐらいしかいないため。
- ・小中一貫教育のメリットがよく分からず、現在の池田小を見てほしいと思う。もちろん友達が少ないなど、競争率がないなどあります。その中でも地域との関わりなど、子どもたちが成長するにあたって、とても助かっています。
- ・小規模校や複式学級がそんなにいけないのか、いくら説明を受けても納得できません。それは、目の前にいる子どもたちが生き生きとしているからです。学力もそれほど劣っているとは感じません。池田小はなくしてほしいです。
- ・大変不安。違うやり方はないのか。説明を聞いて、とても不安になりました。池田小、西中はそのままが良いと感じました。子どもたちは素直！挨拶も西中の子はしっかりできていると、よく褒められています。それは、池田小での教育、その流れからかと思います。成績に関しても、レベルが低いとは感じられません。また、思いやりもしっかりできていて、周りの人に対して、何かいつも違う様子であれば声をかけたりしています。大人になる上で、一番大事な人間性をしっかりできています。自信をもって言えることです。
- ・池田に住んで、大人だけの意見ではなく、子どもたちも地元のことが大好きで、協力しあっています。

- ・分離型の具体的なメリットが分かりませんでした。もう少し分かりやすく、メリットを示していただきたいです。市が考える適正学校は、もう一度考えていただきたいと思うところです。池田小に子どもが通っていて、不便・不満に思ったことは今のところありません。逆に、ここに通っていたからよかったと思うことが多いです。
- ・説明が理解できない。池田小の今の現状は、子どもたちが伸び伸び明るく素直に育っています。このままの状態を残してほしいです。地域等の方々も心配しています。今すぐにと
いうわけではないでしょうが、今の池田を残してってください。池田の方々は、池田愛
がたくさんあります。このままを希望します。
- ・池田小を残してほしい。



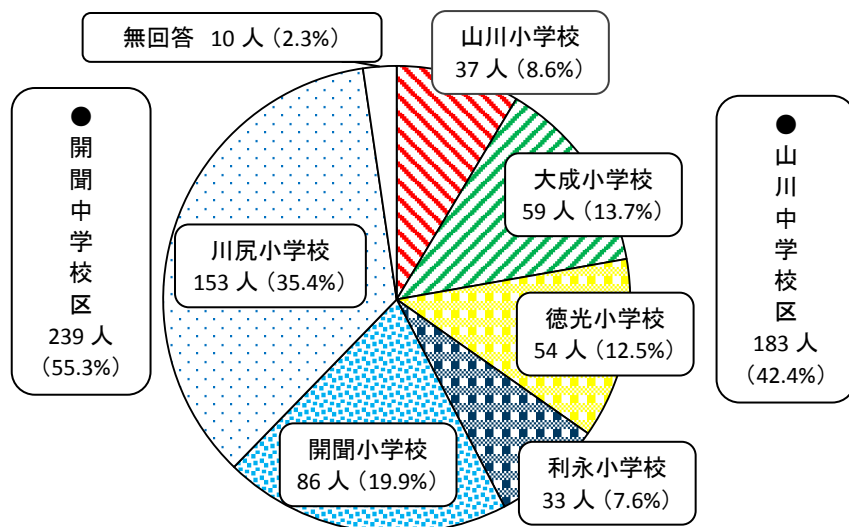
開聞・山川地域アンケート結果

中学校区： **全体**

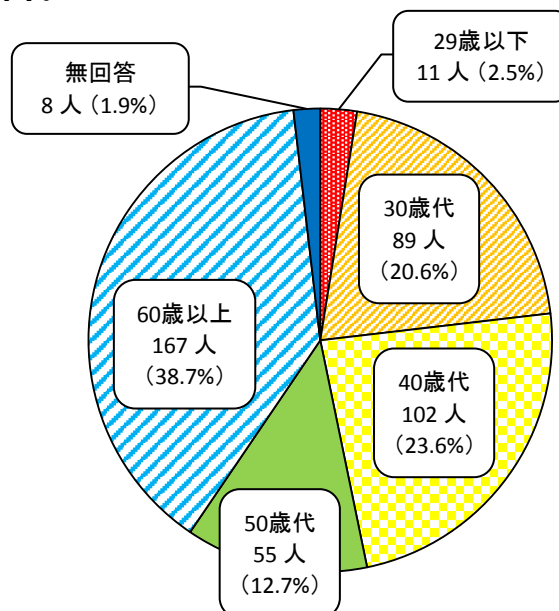
住民区分： **全体**

抽出者数： **432** 人

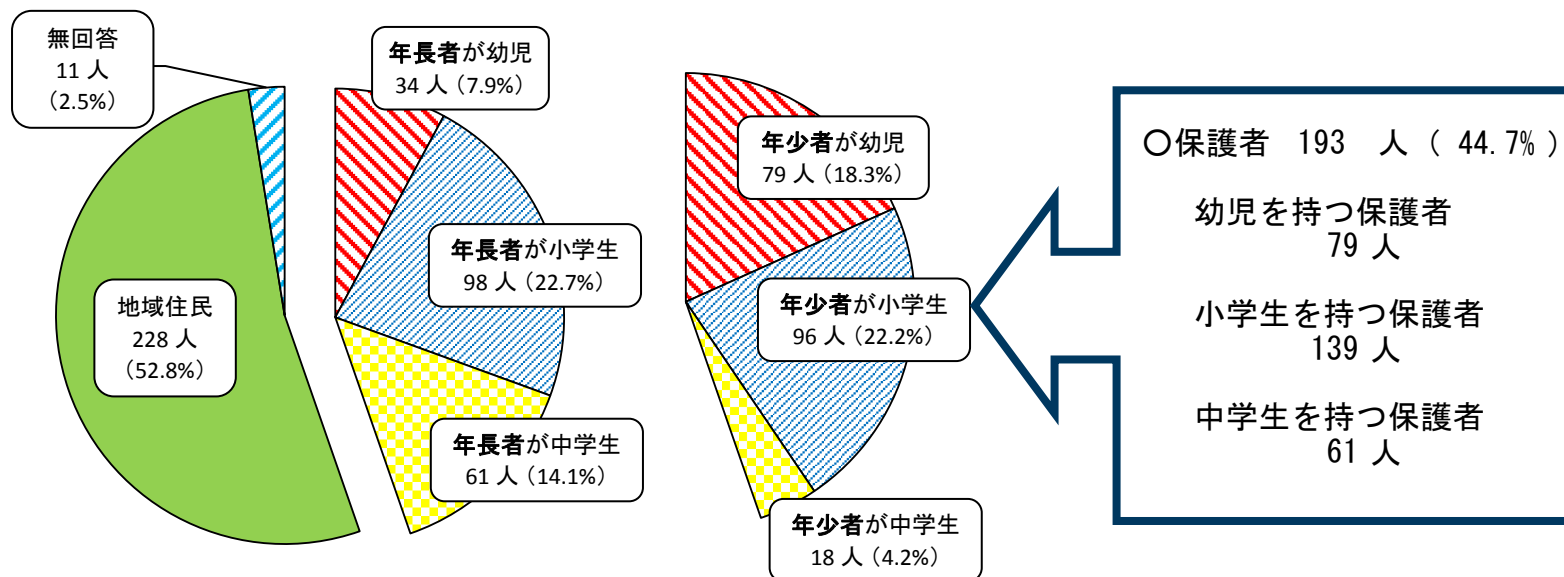
【問１・２】 居住する校区について



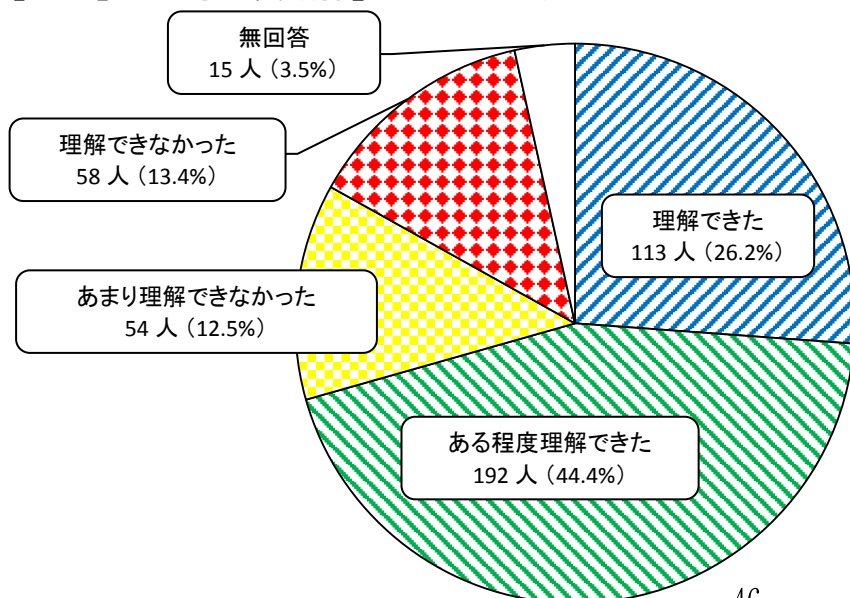
年代について



住民区分について



【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

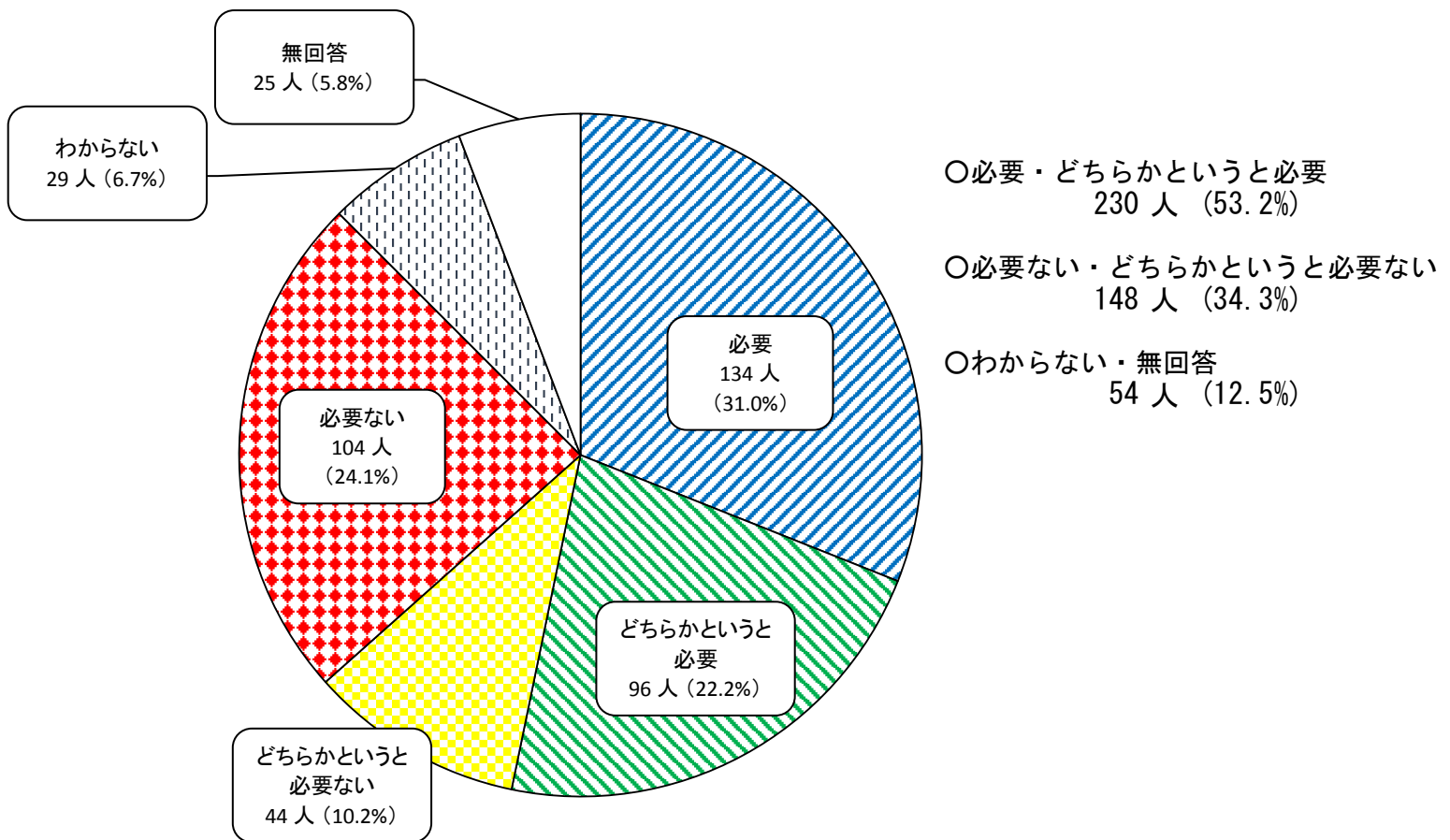


○理解できた・ある程度理解できた
305 人 (70.6%)

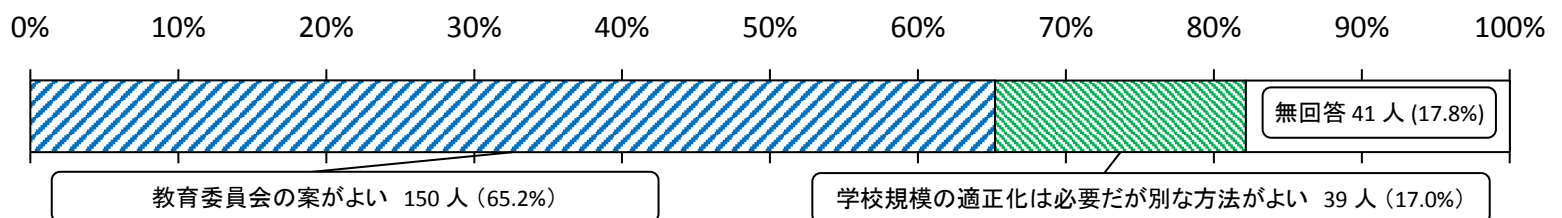
○理解できなかった・あまり理解できなかった
112 人 (25.9%)

○無回答
15 人 (3.5%)

【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。

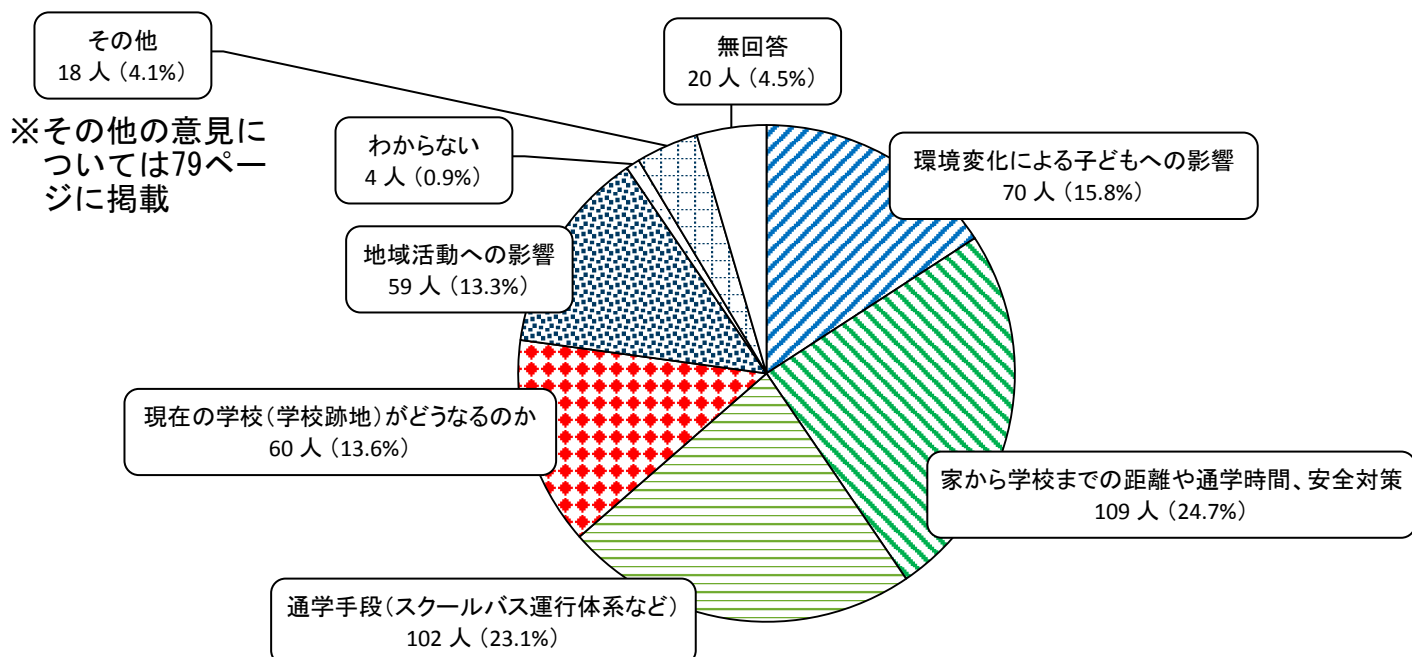


【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



※教育委員会の案に対する自由意見は76ページに掲載 ※別な方法に関する自由意見は78ページに掲載

【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



【問7】 その他、自由なご意見をお聞かせください。 ※80ページに掲載

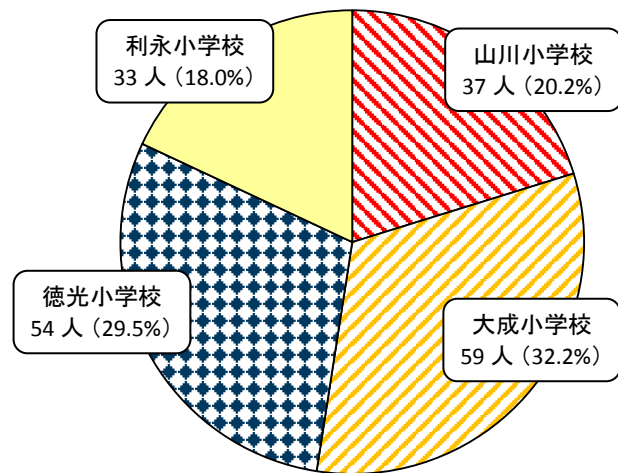
山川中学校区集計表

中学校区：**山川中学校**

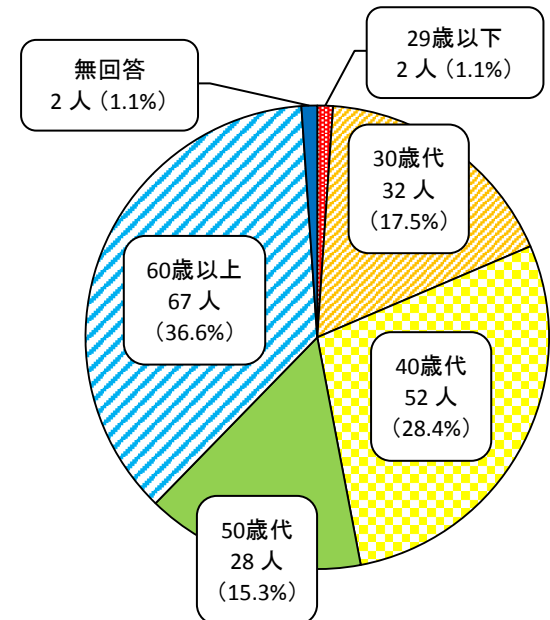
住民区分：**全体**

抽出者数：**183** 人

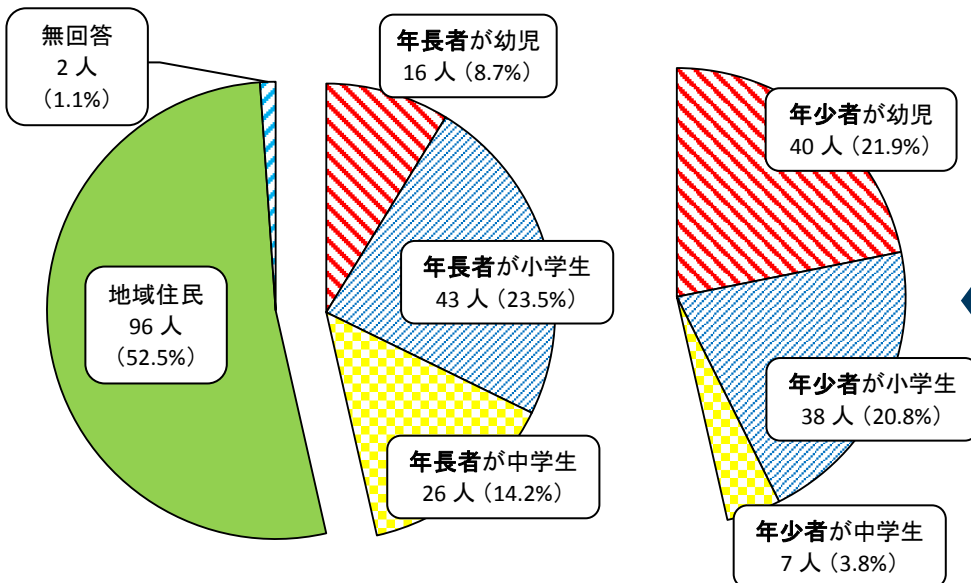
【問１・２】 居住する校区について



年代について



住民区分について



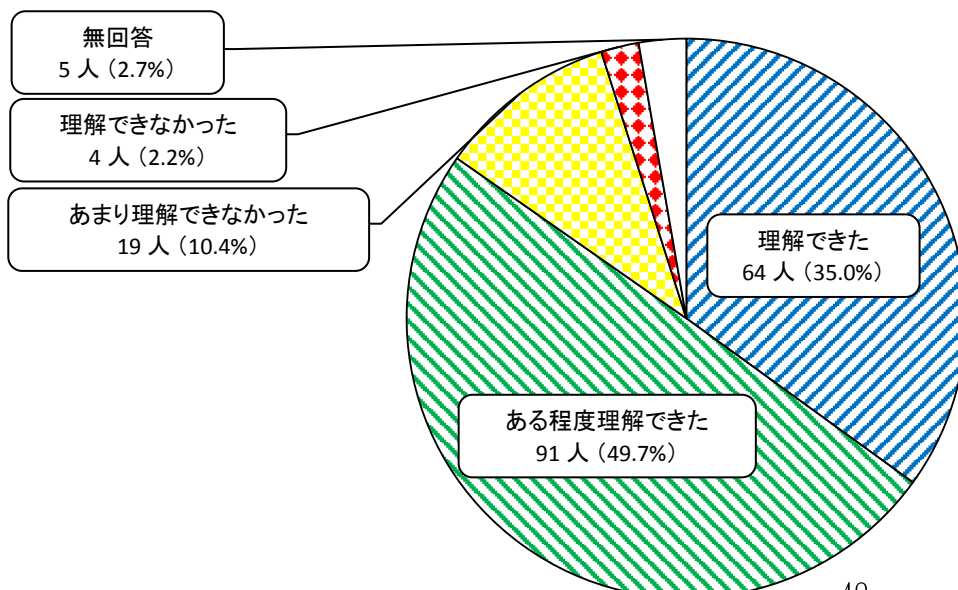
○保護者 85 人 (46.4%)

幼児を持つ保護者
40 人

小学生を持つ保護者
61 人

中学生を持つ保護者
26 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

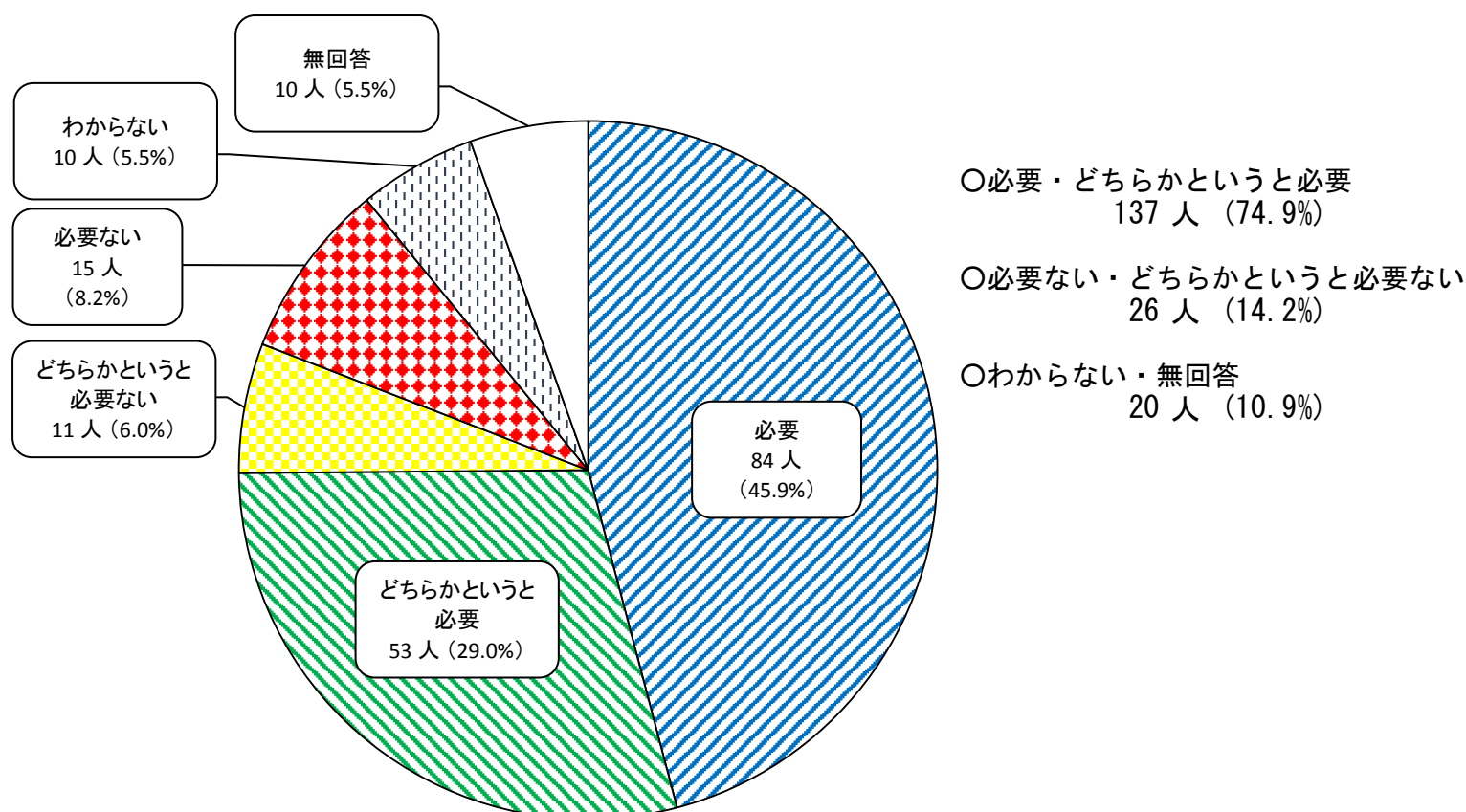


○理解できた・ある程度理解できた
155 人 (84.7%)

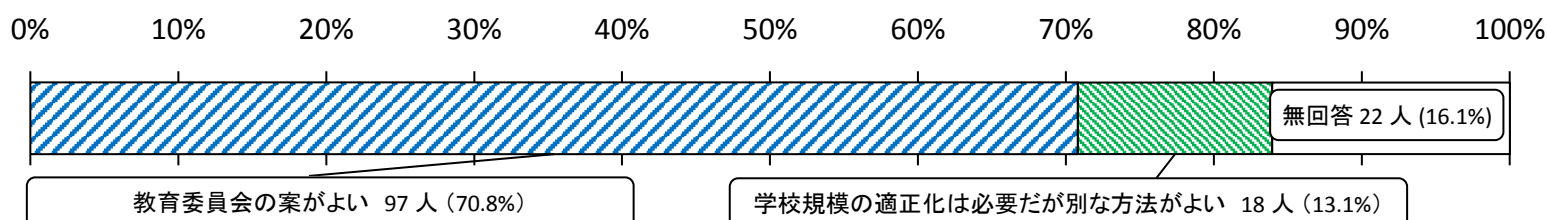
○理解できなかった・あまり理解できなかった
23 人 (12.6%)

○無回答
5 人 (2.7%)

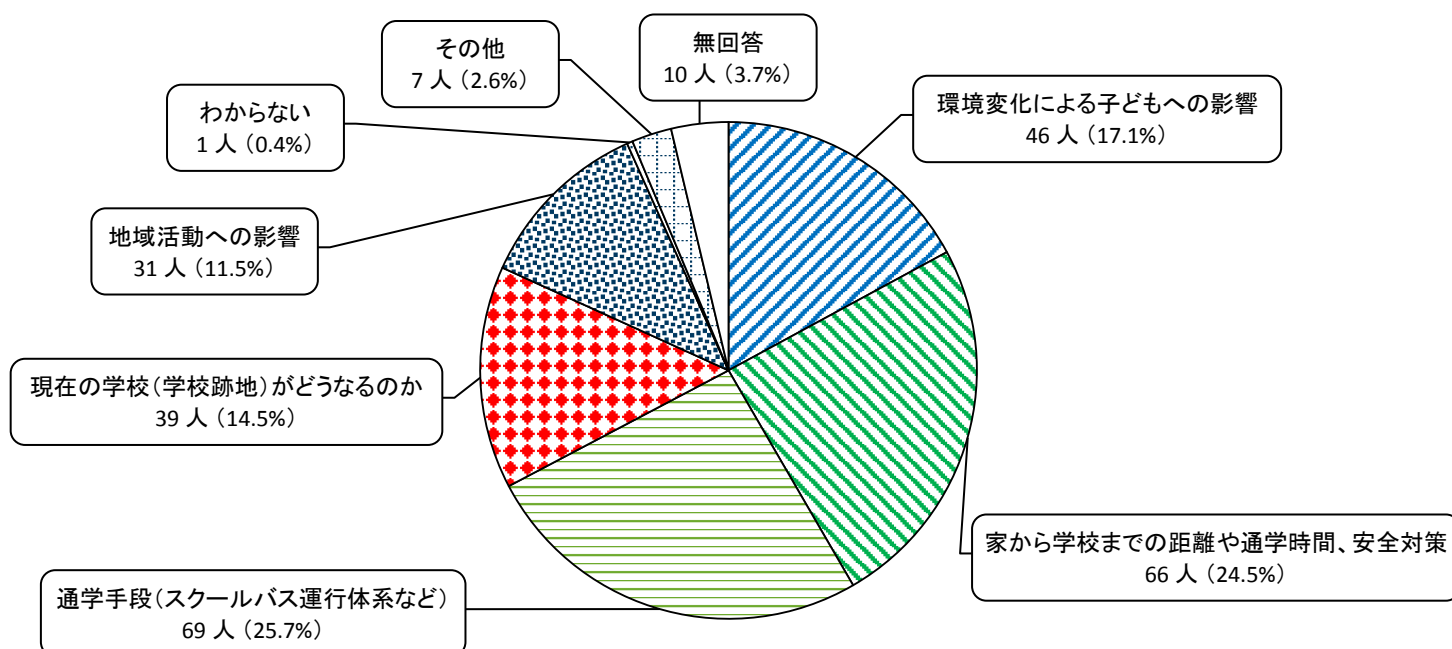
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



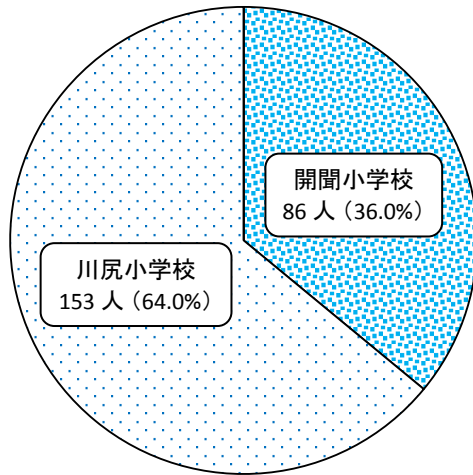
開聞中学校区集計表

中学校区：**開聞中学校**

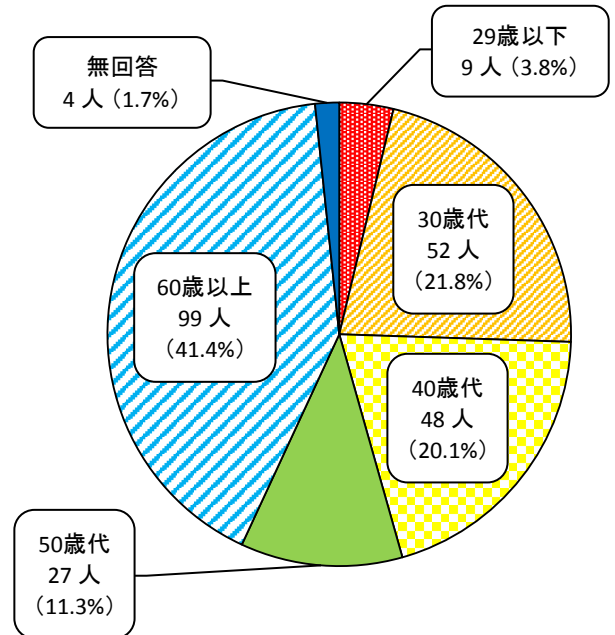
住民区分：**全体**

抽出者数：**239** 人

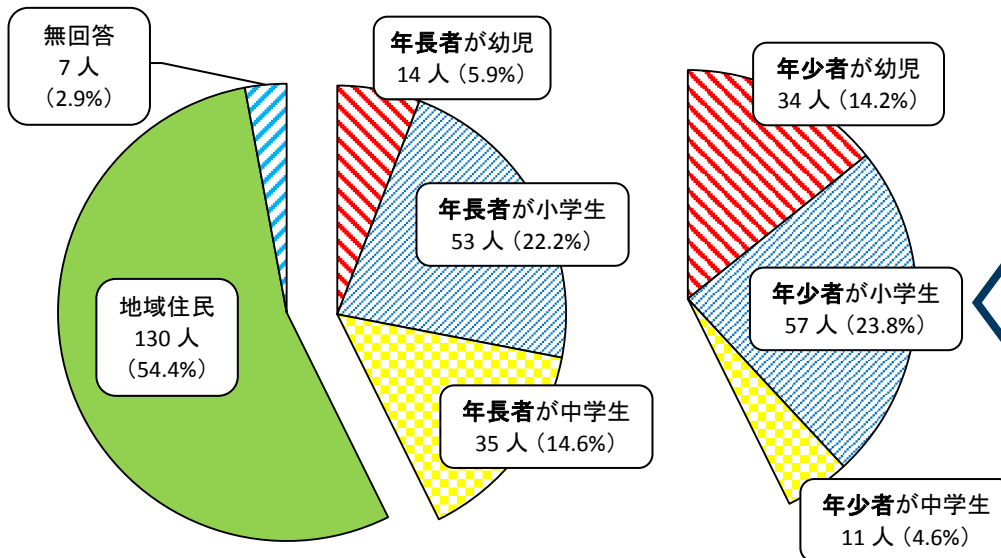
【問１・２】 居住する校区について



年代について



住民区分について



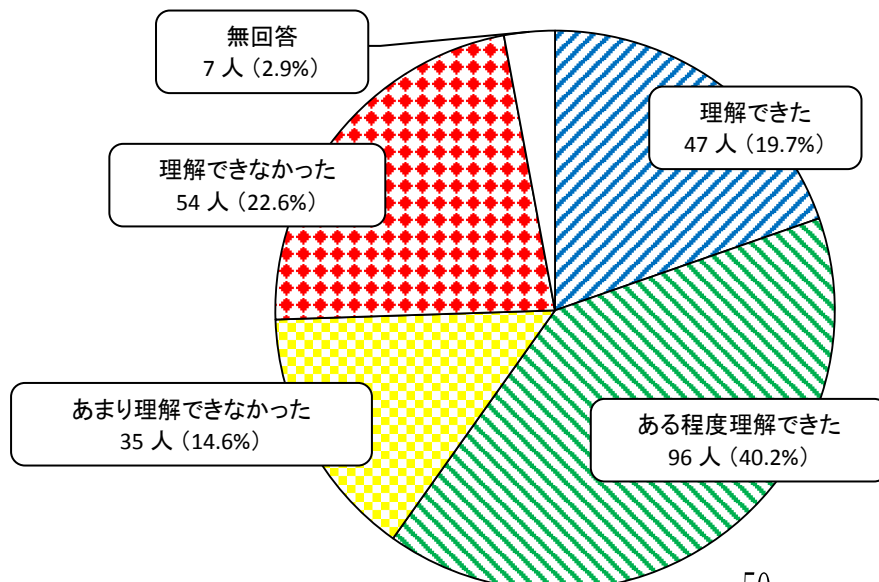
○保護者 102 人 (42.7%)

幼児を持つ保護者
34 人

小学生を持つ保護者
76 人

中学生を持つ保護者
35 人

【問３】「小中一貫教育」について理解できましたか。

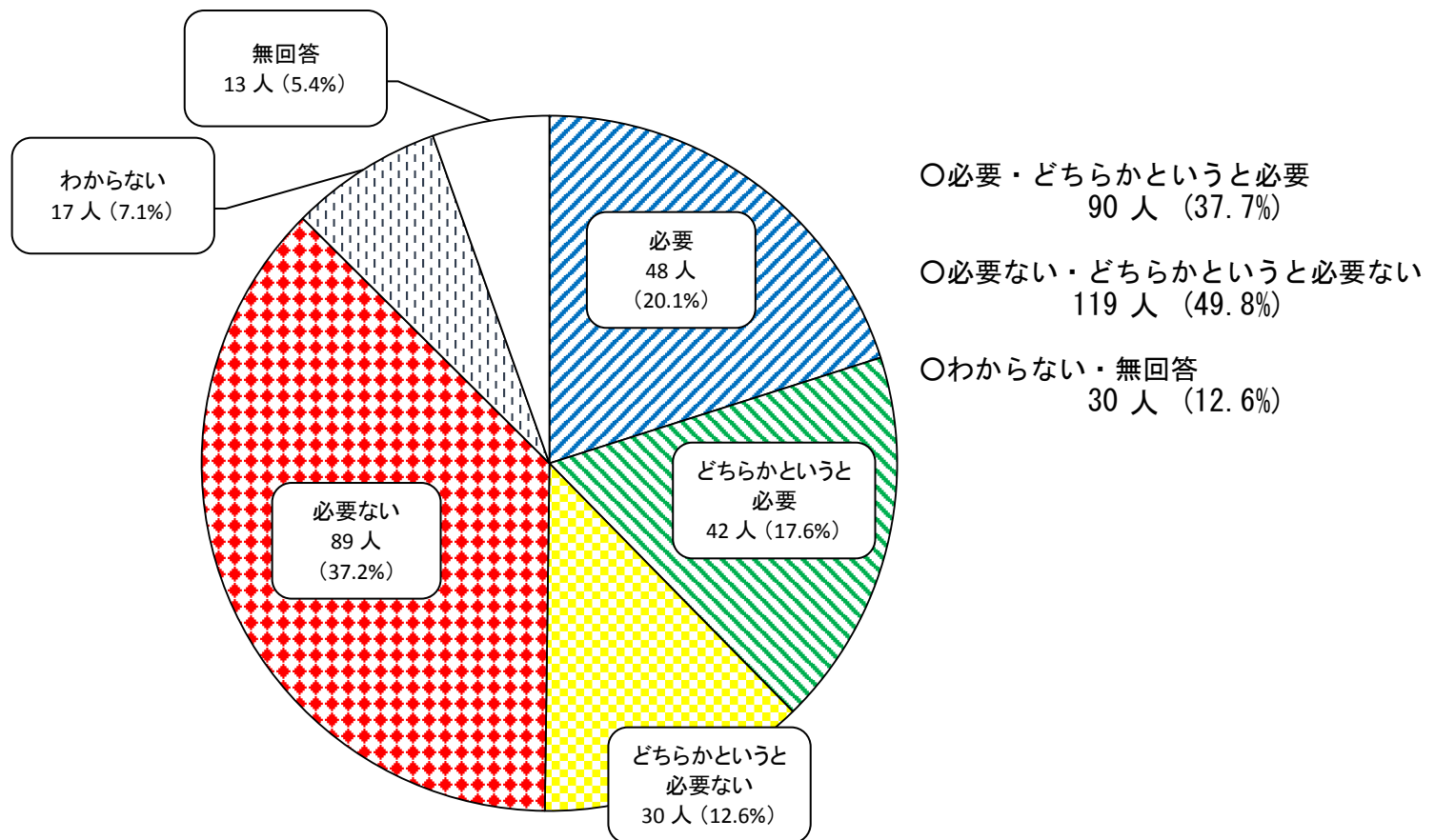


○理解できた・ある程度理解できた
143 人 (59.8%)

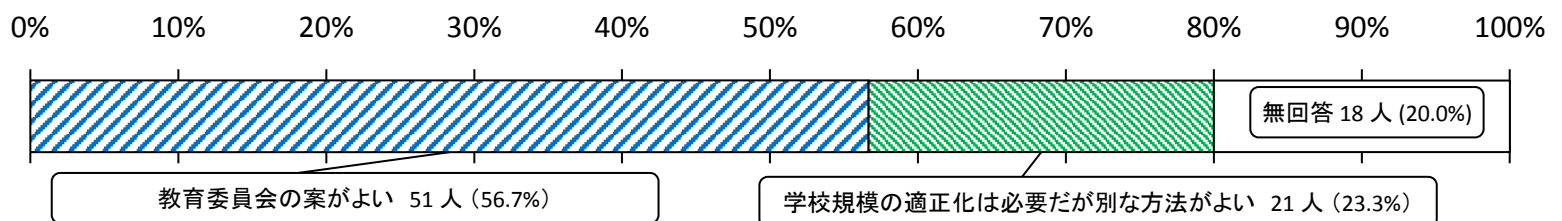
○理解できなかった・あまり理解できなかった
89 人 (37.2%)

○無回答
7 人 (2.9%)

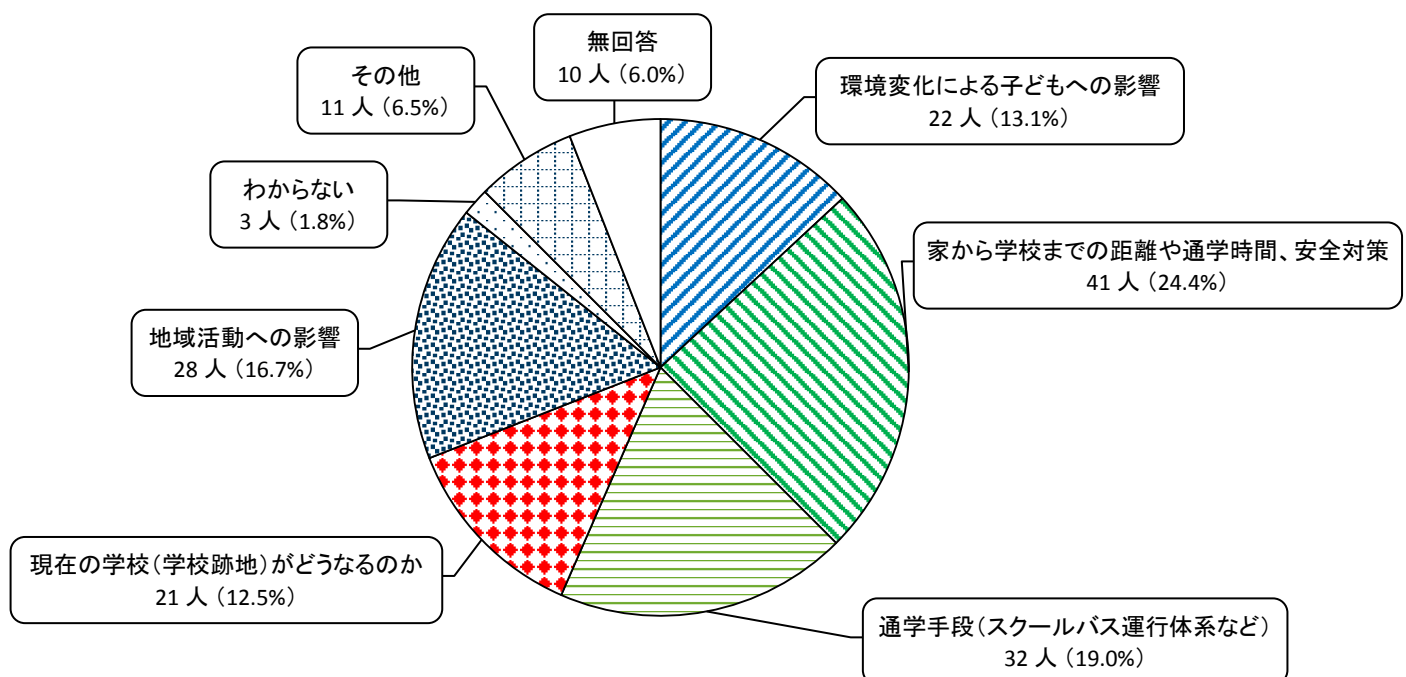
【問４】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問５】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問４で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問６】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問４で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



山川小学校区集計表

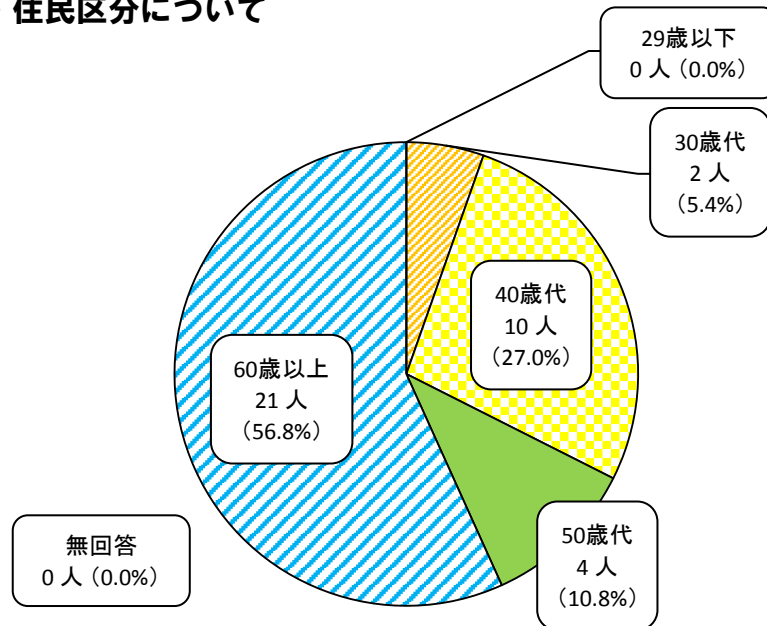
小学校区： 山川小学校

住民区分： 全体

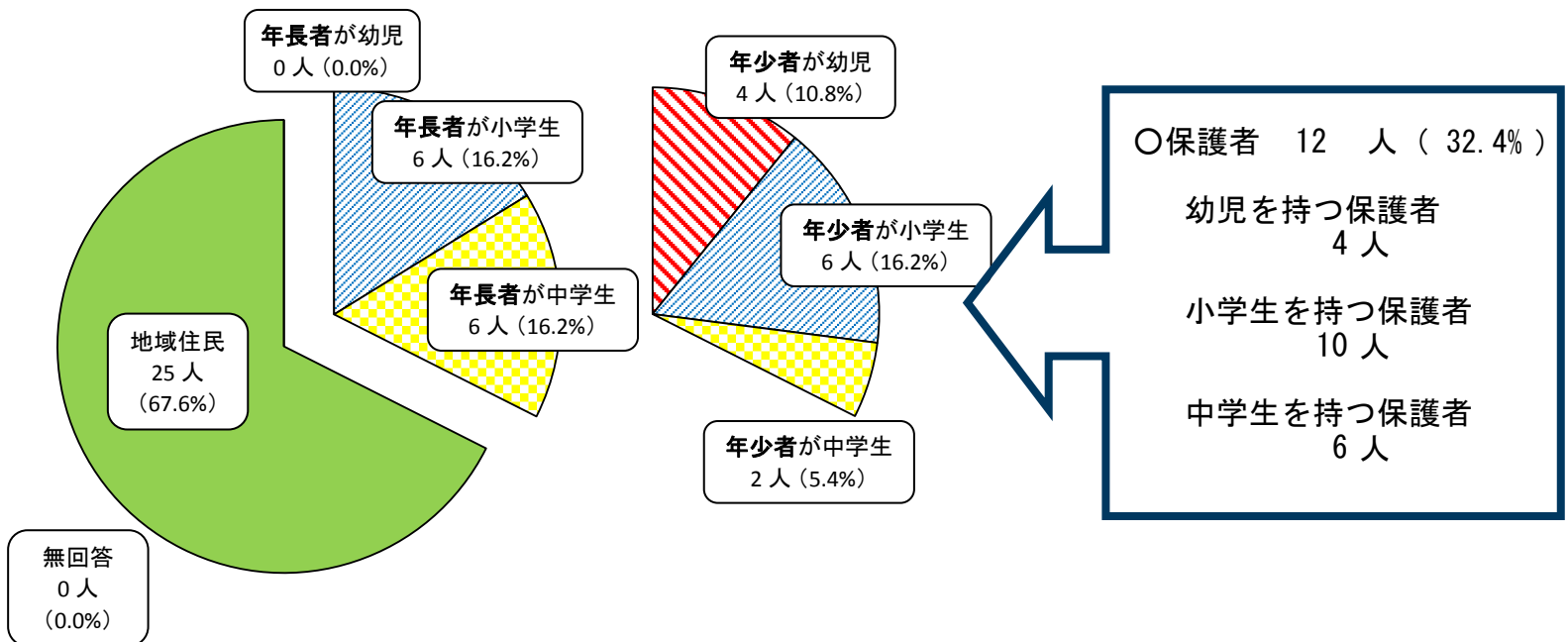
抽出者数： 37 人

【問2】 年代・住民区分について

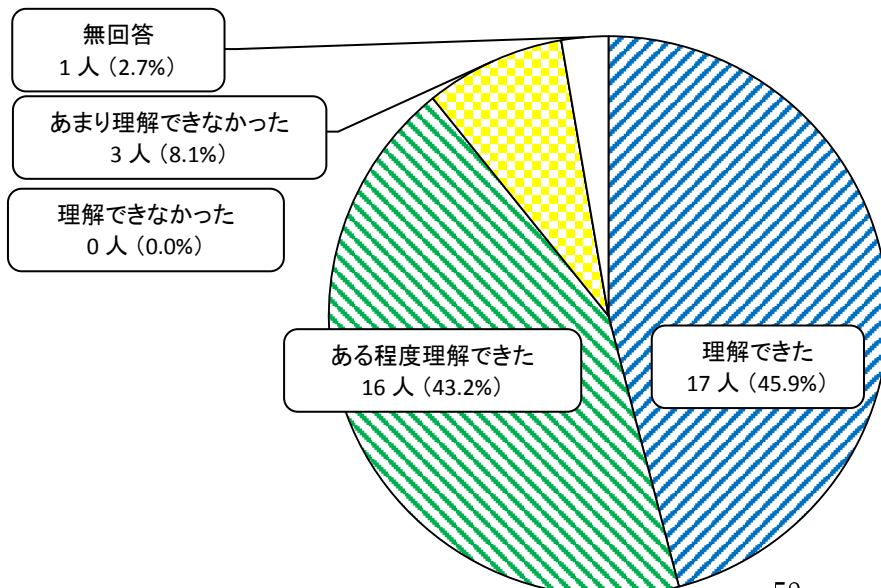
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

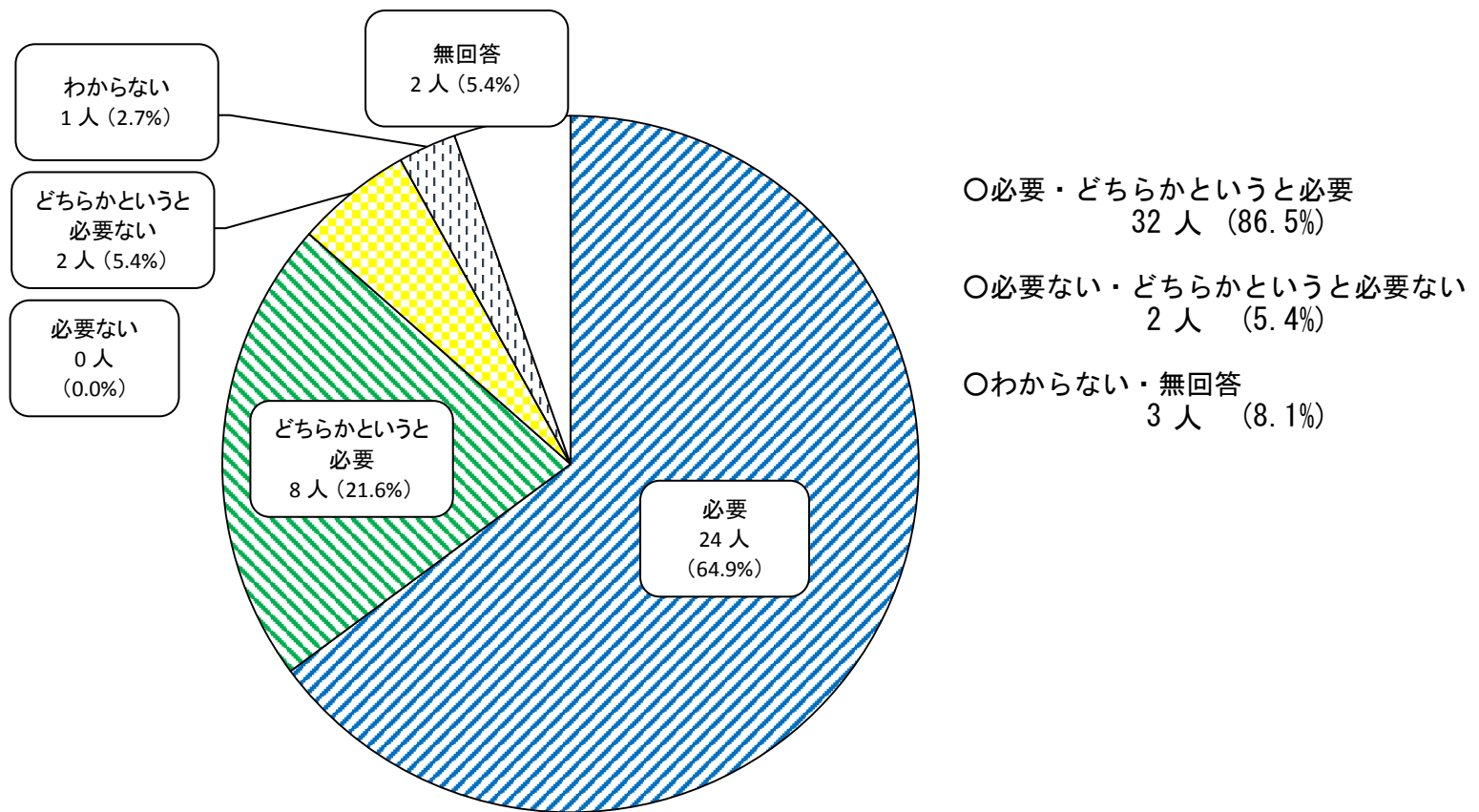


○理解できた・ある程度理解できた
33 人 (89.2%)

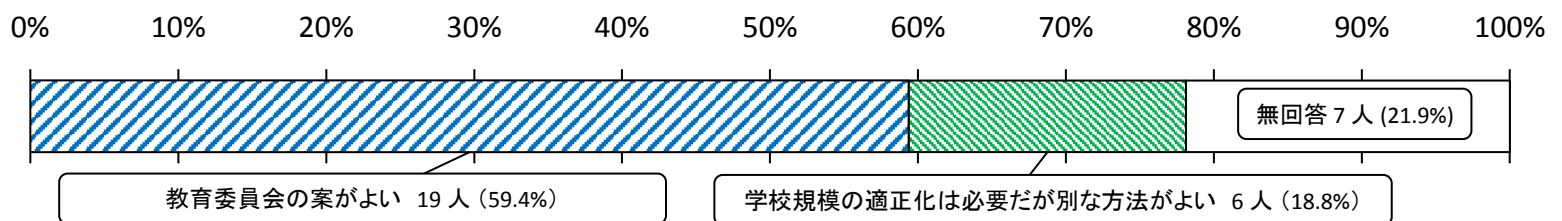
○理解できなかった・あまり理解できなかった
3 人 (8.1%)

○無回答
1 人 (2.7%)

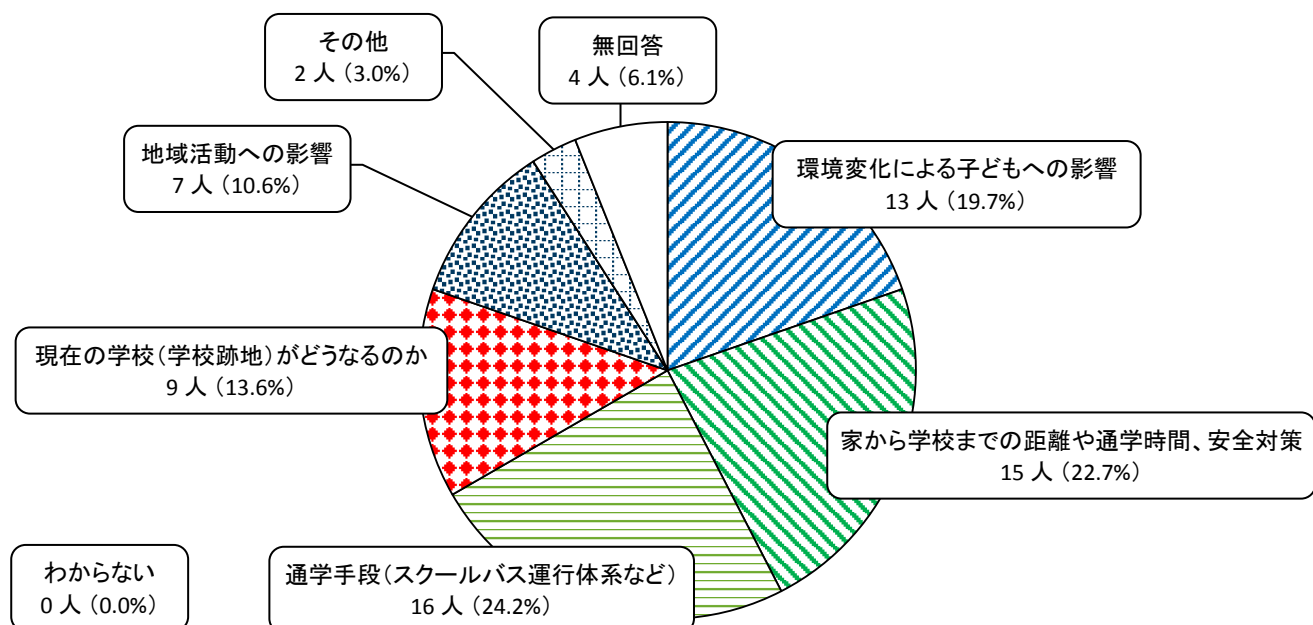
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



山川小学校区集計表（保護者のみ）

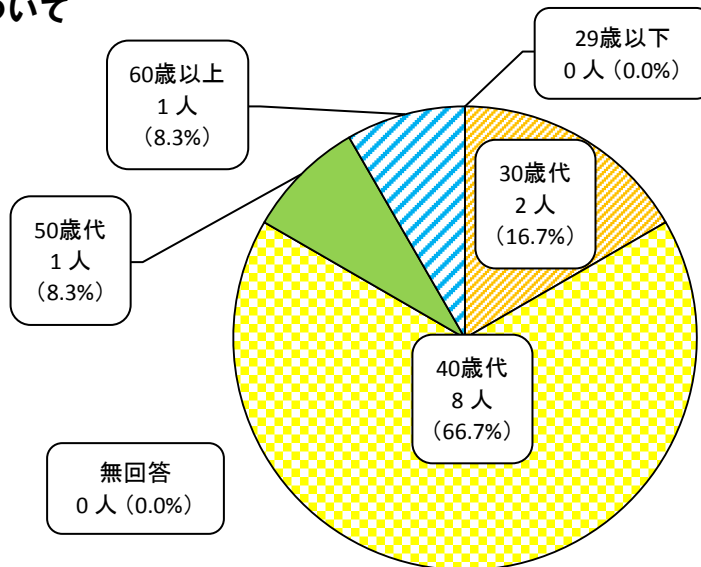
小学校区： 山川小学校

住民区分： **保護者**

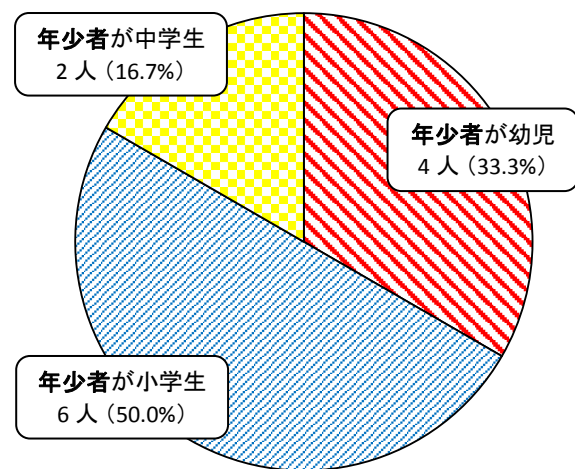
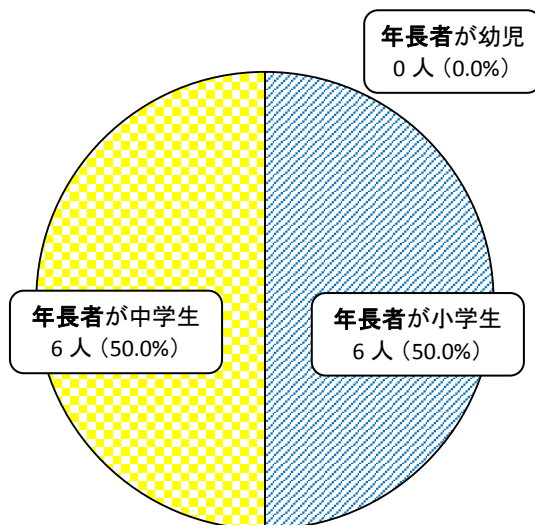
抽出者数： **12** 人

【問2】 年代・住民区分について

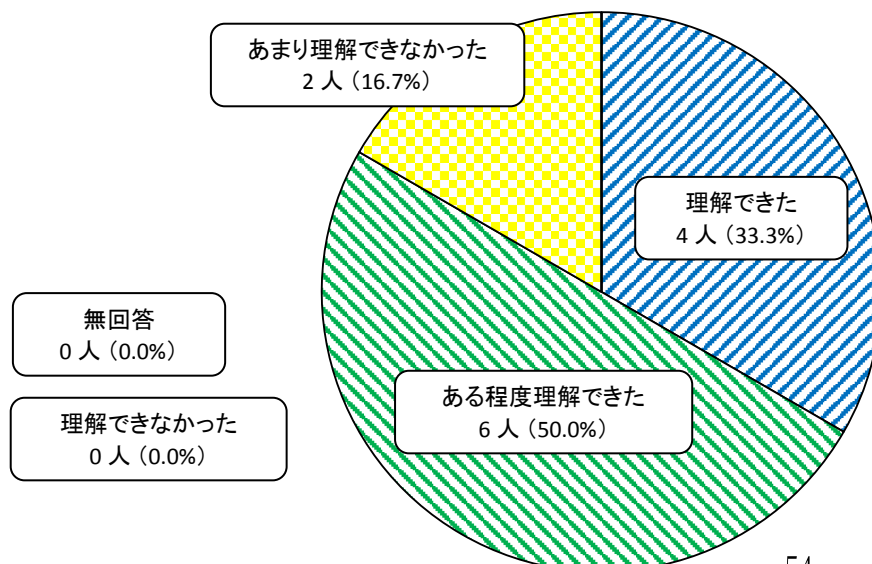
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

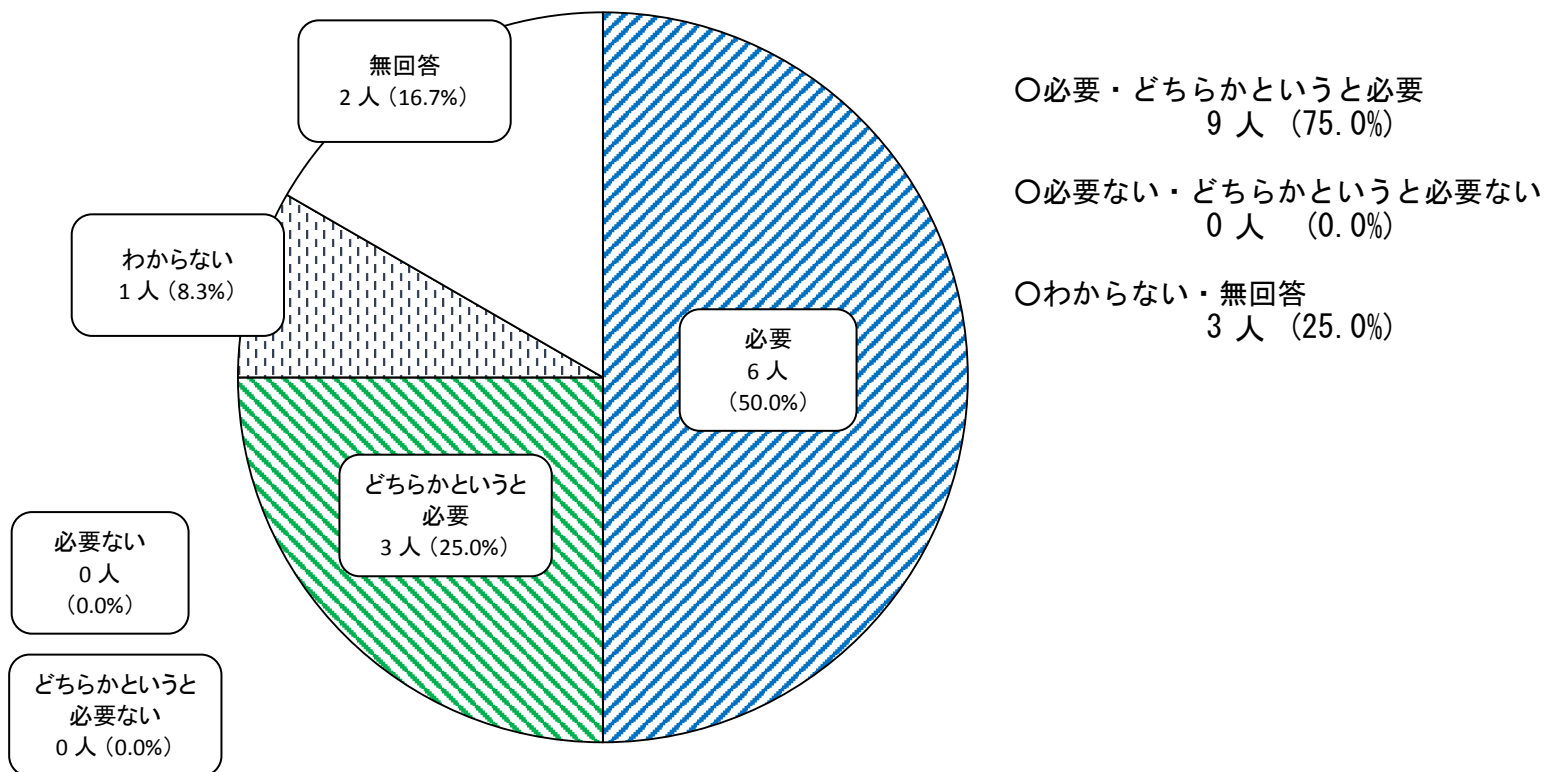


○理解できた・ある程度理解できた
10人 (83.3%)

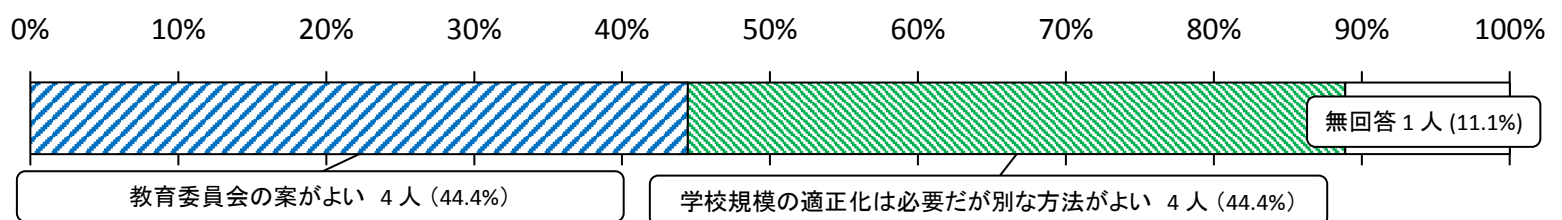
○理解できなかった・あまり理解できなかった
2人 (16.7%)

○無回答
0人 (0.0%)

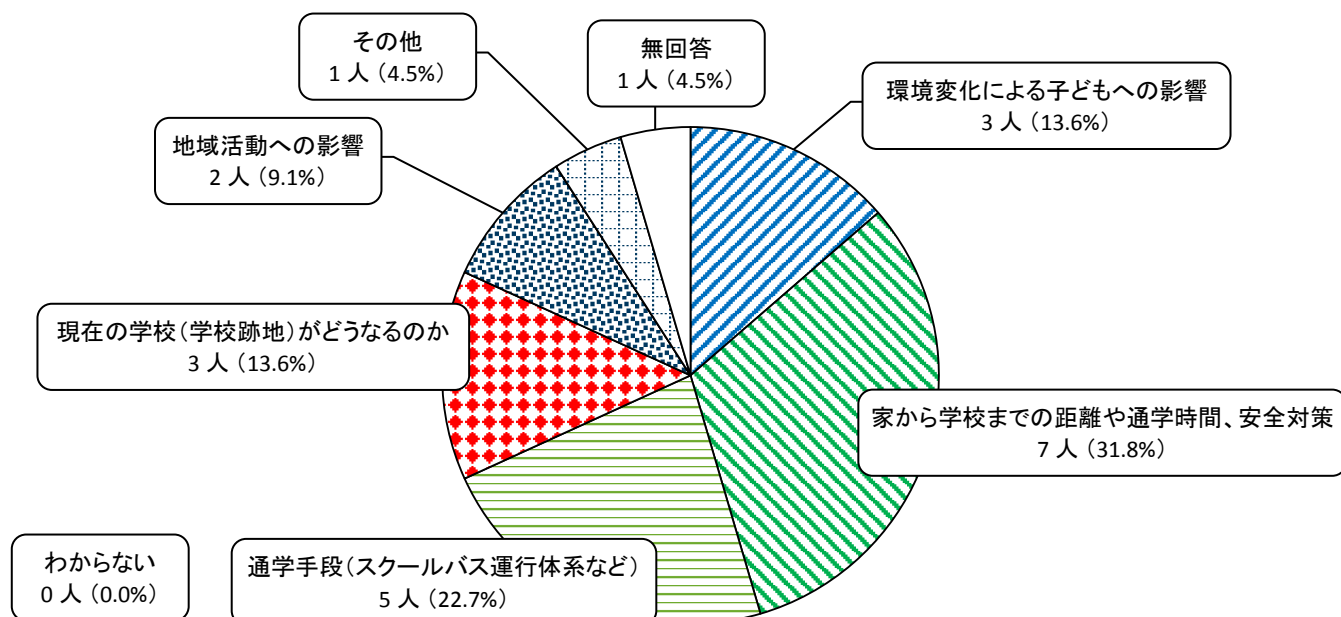
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



大成小学校区集計表

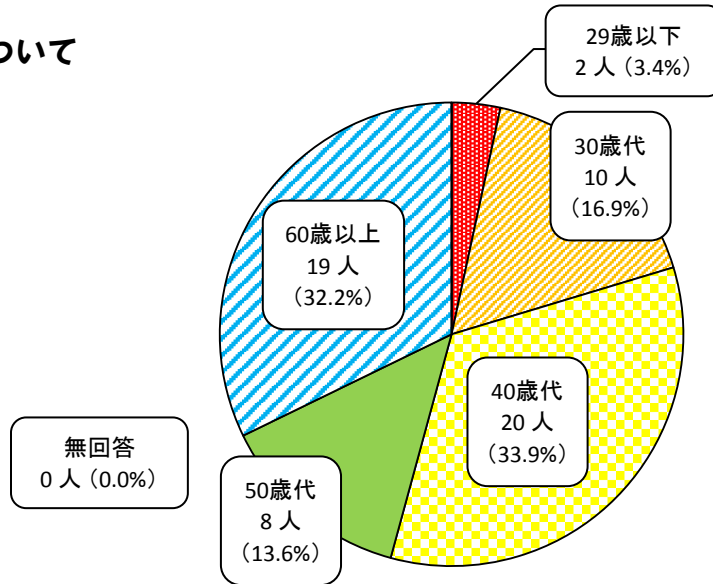
小学校区： 大成小学校

住民区分： 全体

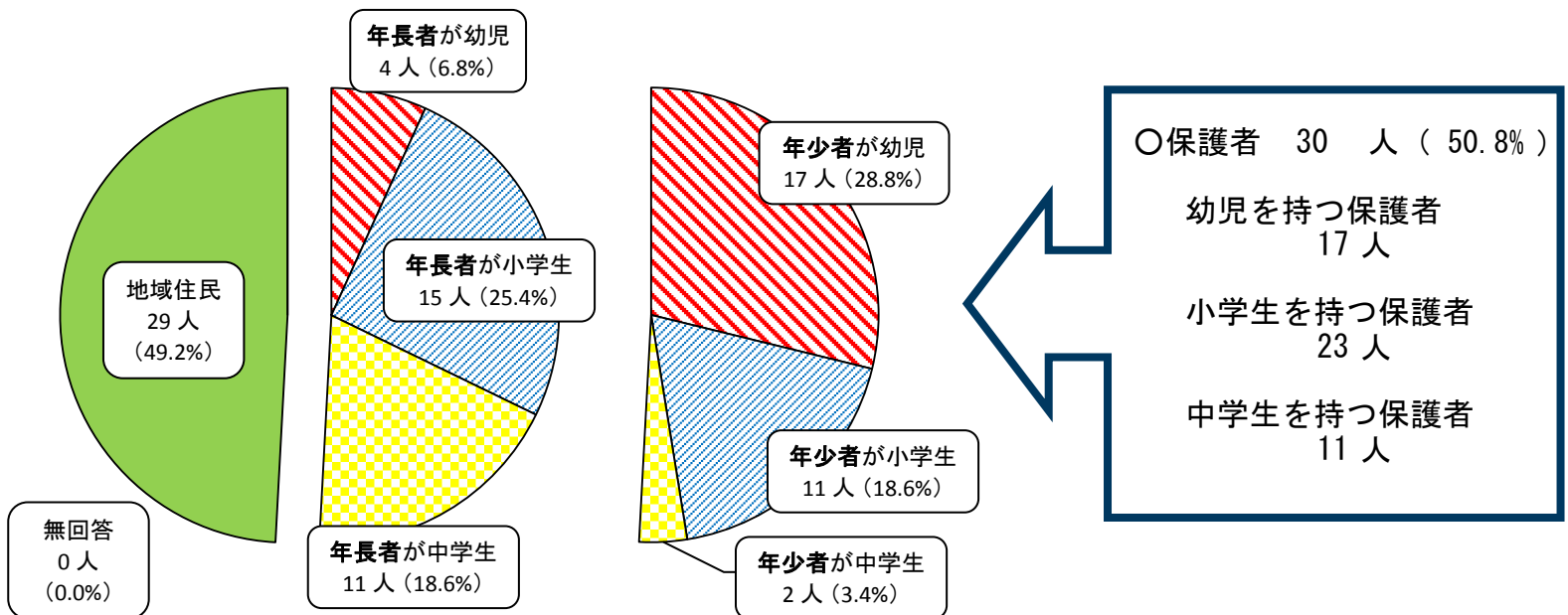
抽出者数： 59 人

【問2】 年代・住民区分について

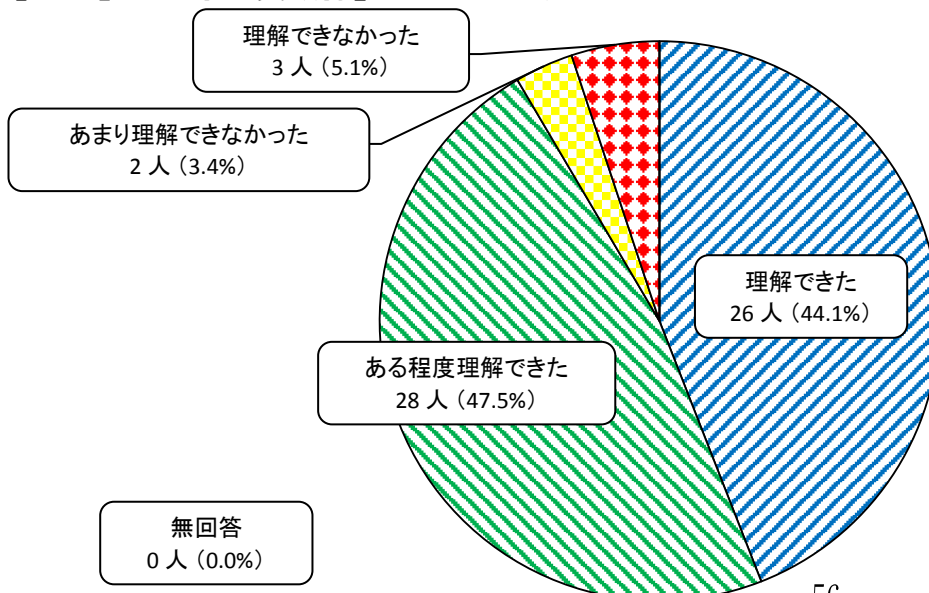
年代について



住民区分について



【問3】 「小中一貫教育」について理解できましたか。

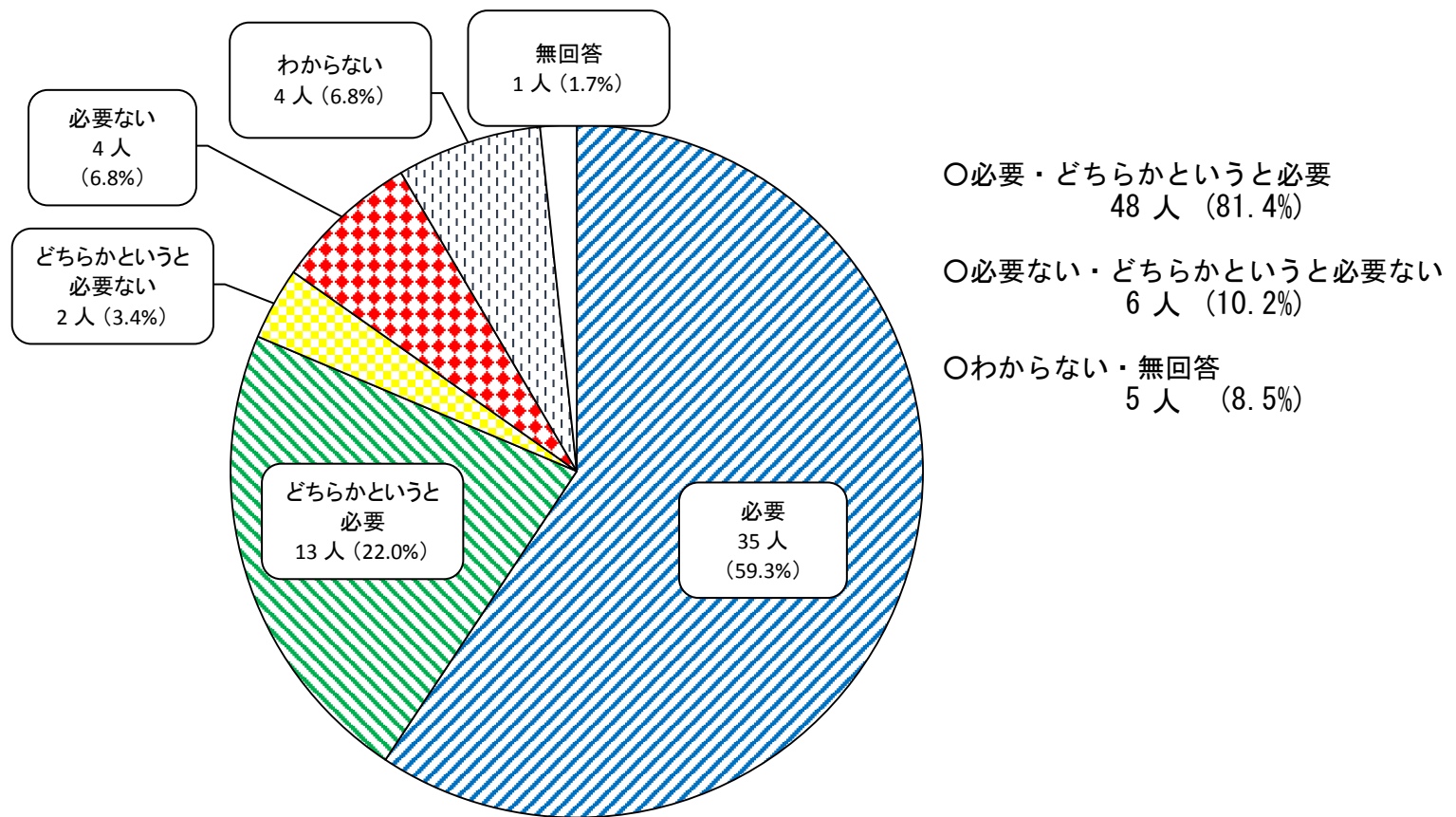


〇理解できた・ある程度理解できた
54 人 (91.5%)

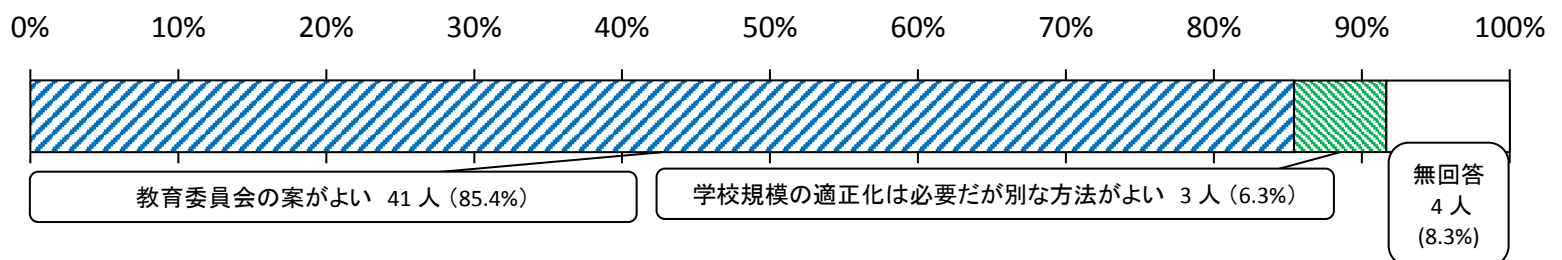
〇理解できなかった・あまり理解できなかった
5 人 (8.5%)

〇無回答
0 人 (0.0%)

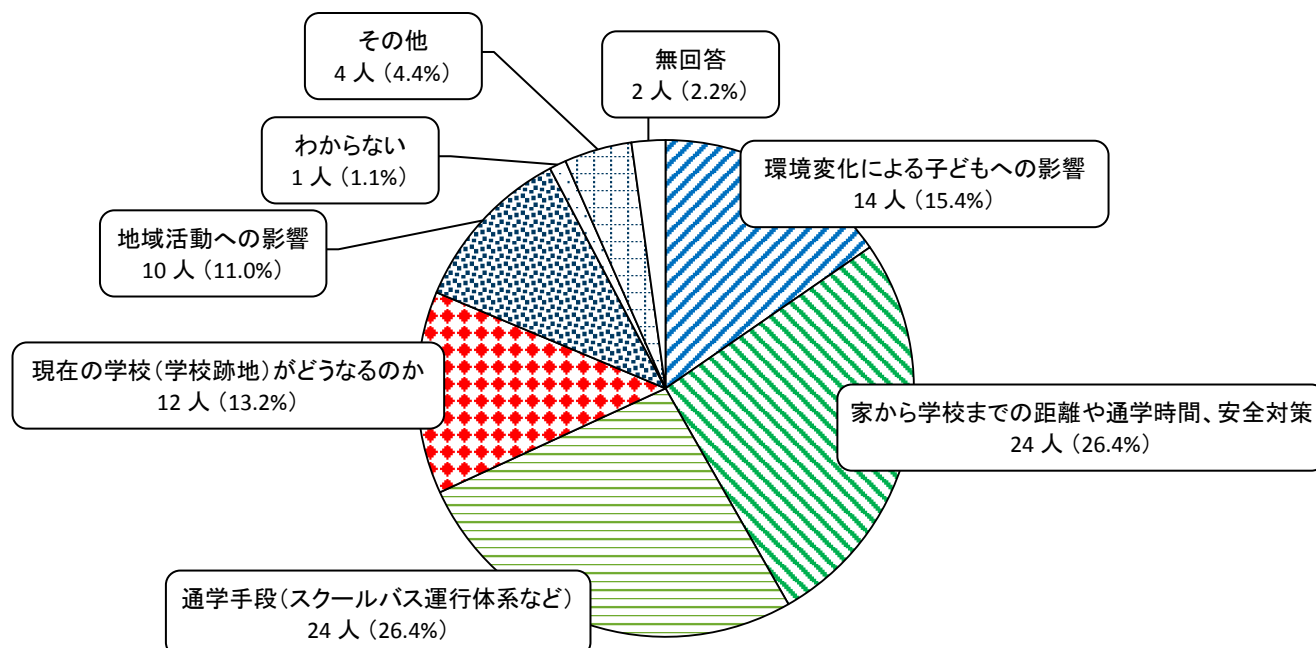
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



大成小学校区集計表（保護者のみ）

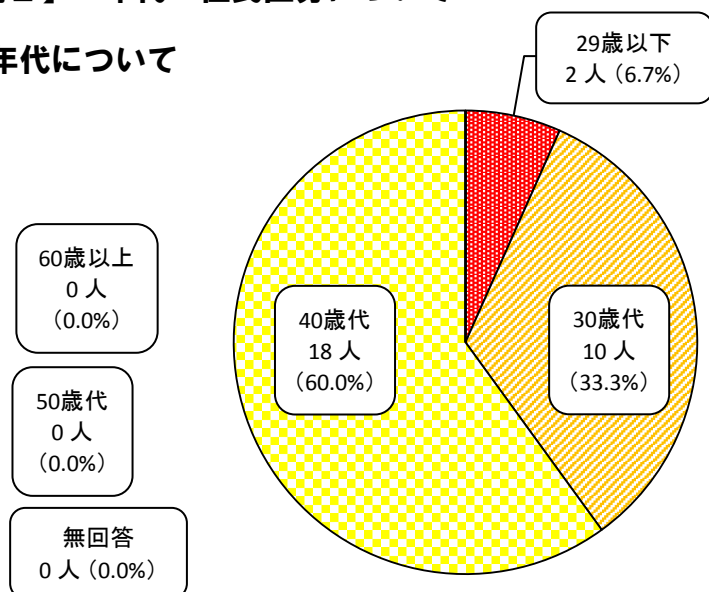
小学校区： 大成小学校

住民区分： 保護者

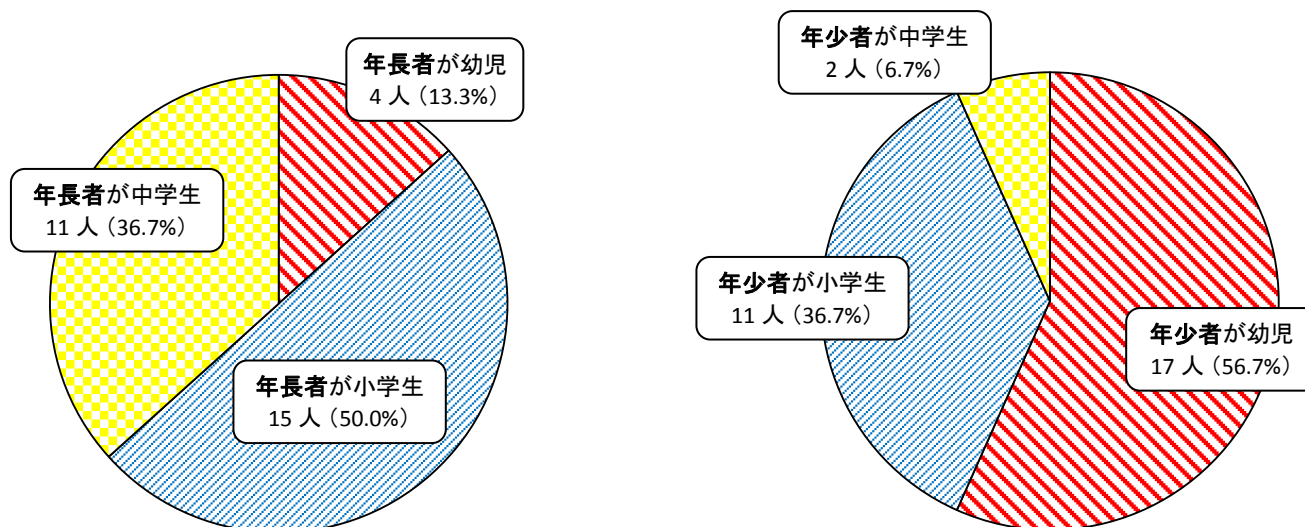
抽出者数： 30 人

【問2】 年代・住民区分について

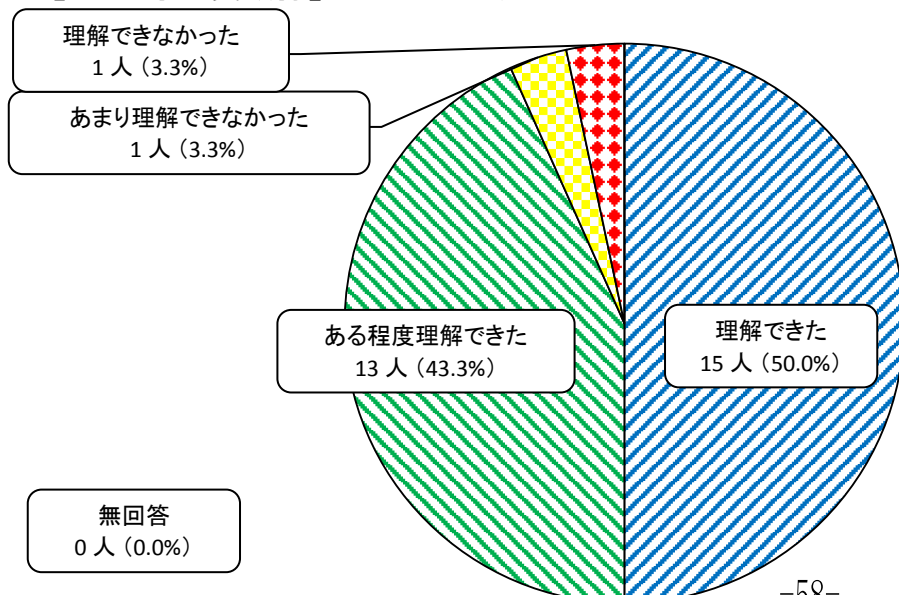
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

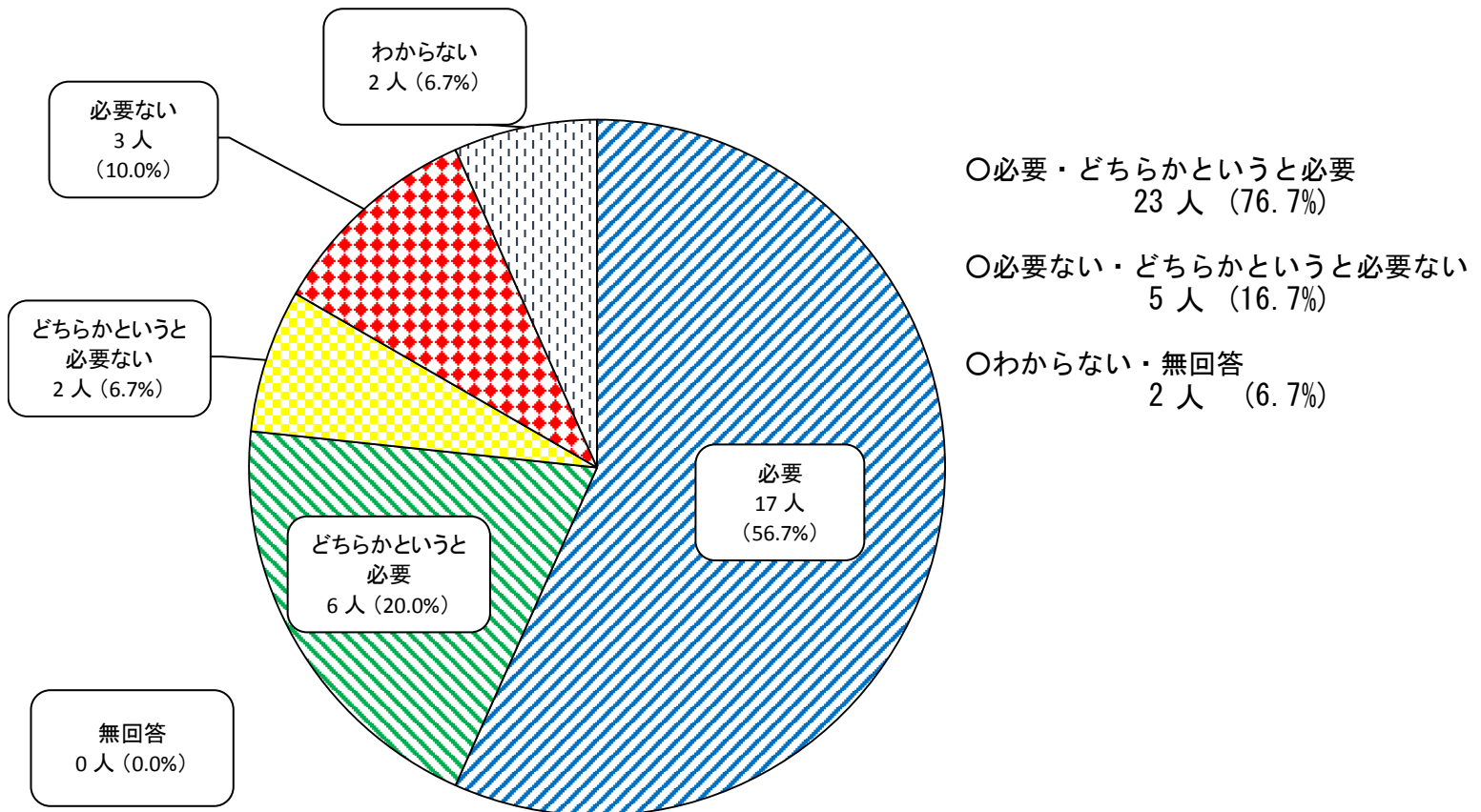


○理解できた・ある程度理解できた
28人 (93.3%)

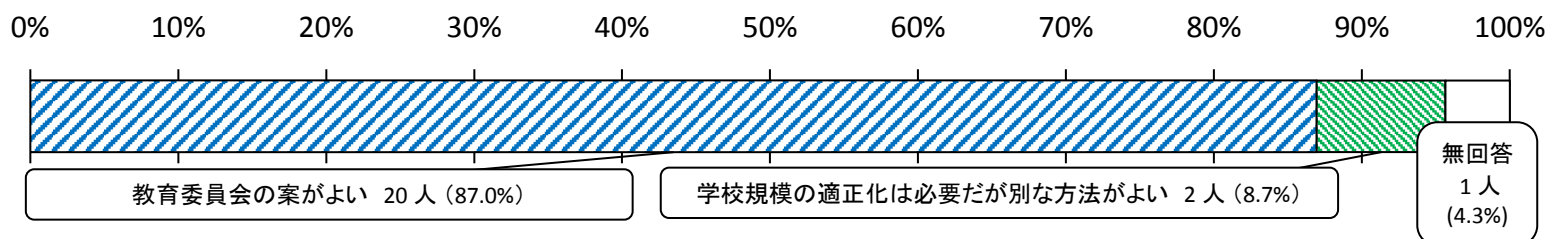
○理解できなかった・あまり理解できなかった
2人 (6.7%)

○無回答
0人 (0.0%)

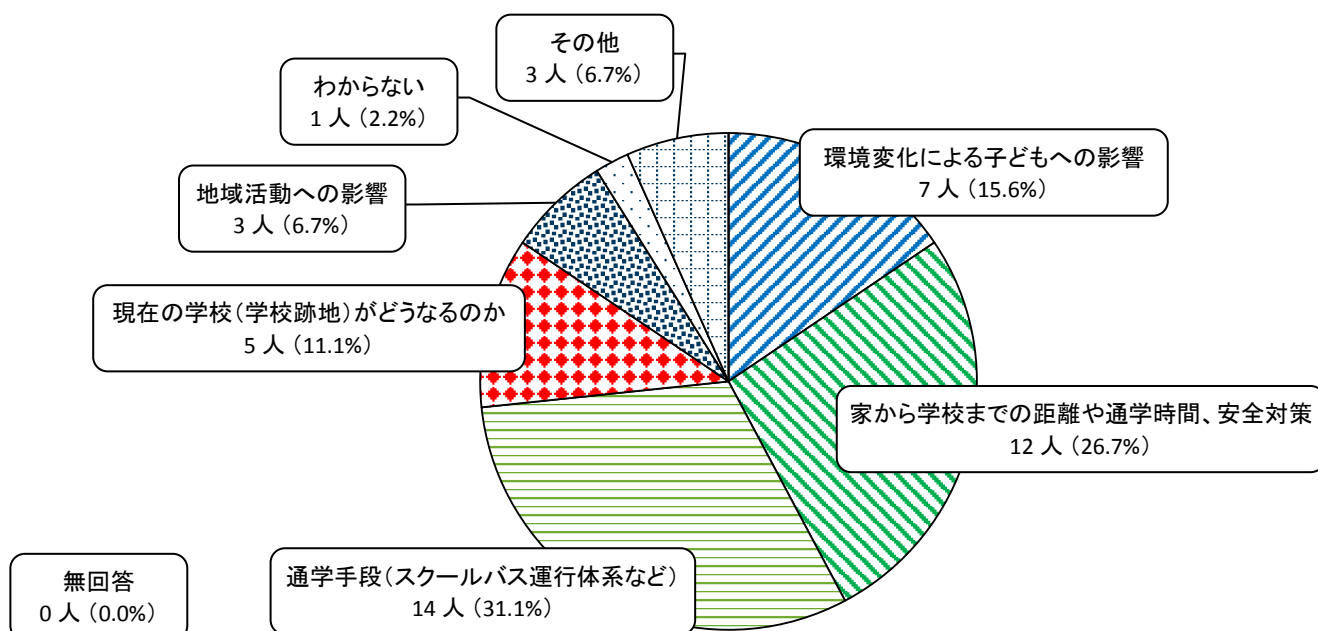
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりませんが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



徳光小学校区集計表

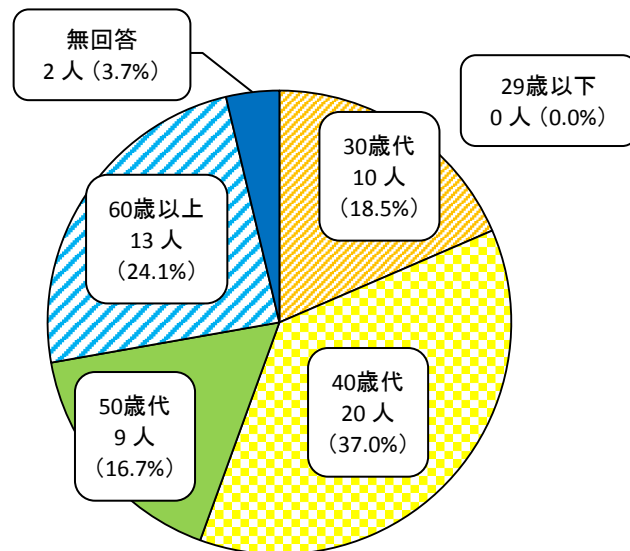
小学校区： 徳光小学校

住民区分： 全体

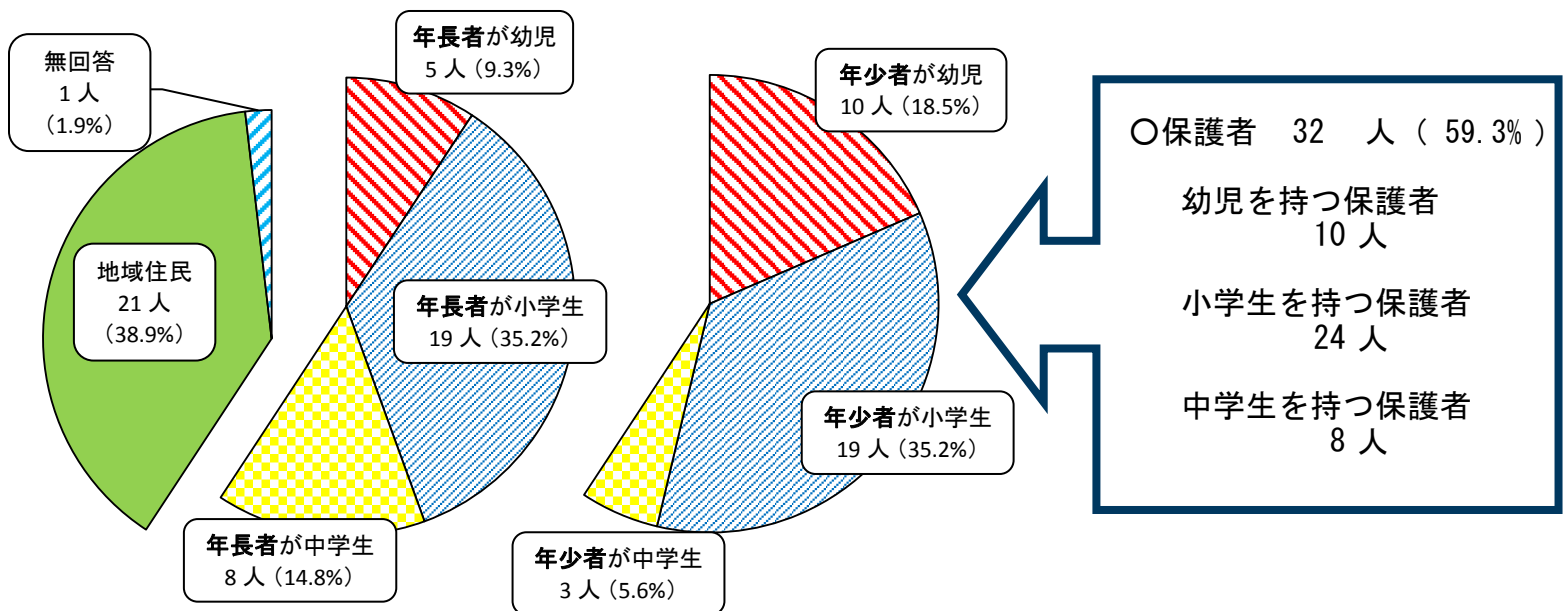
抽出者数： 54 人

【問2】 年代・住民区分について

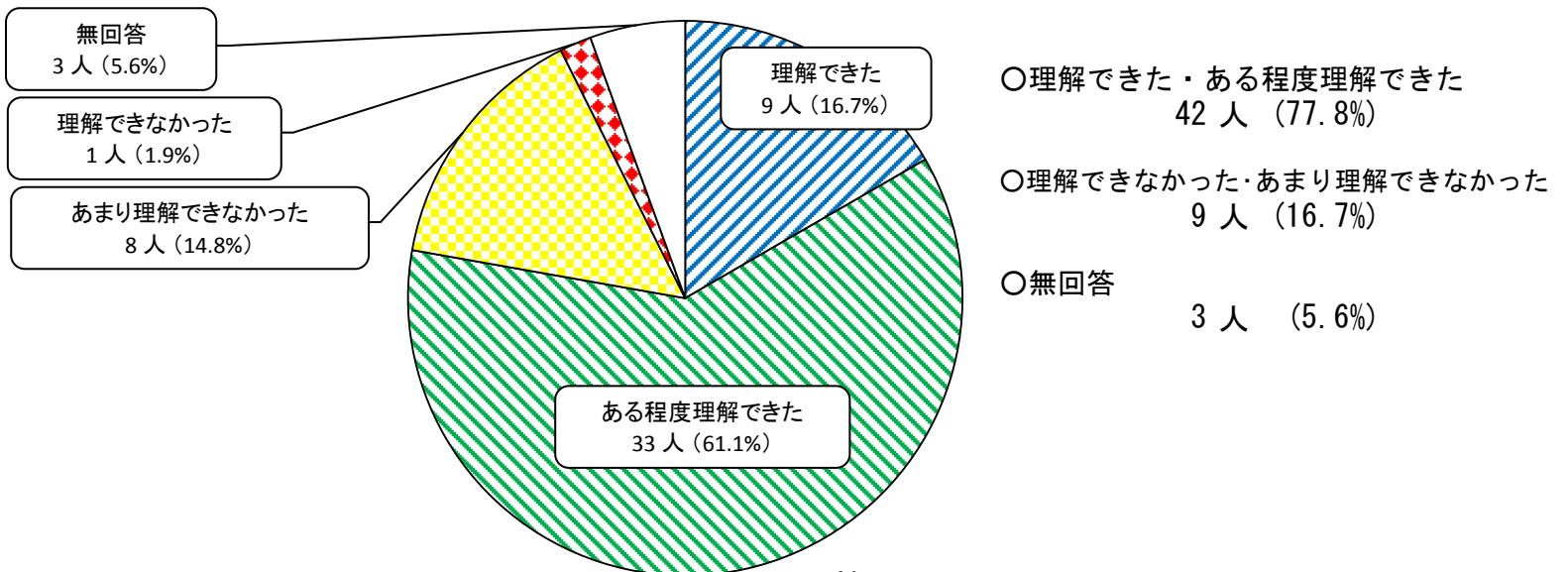
年代について



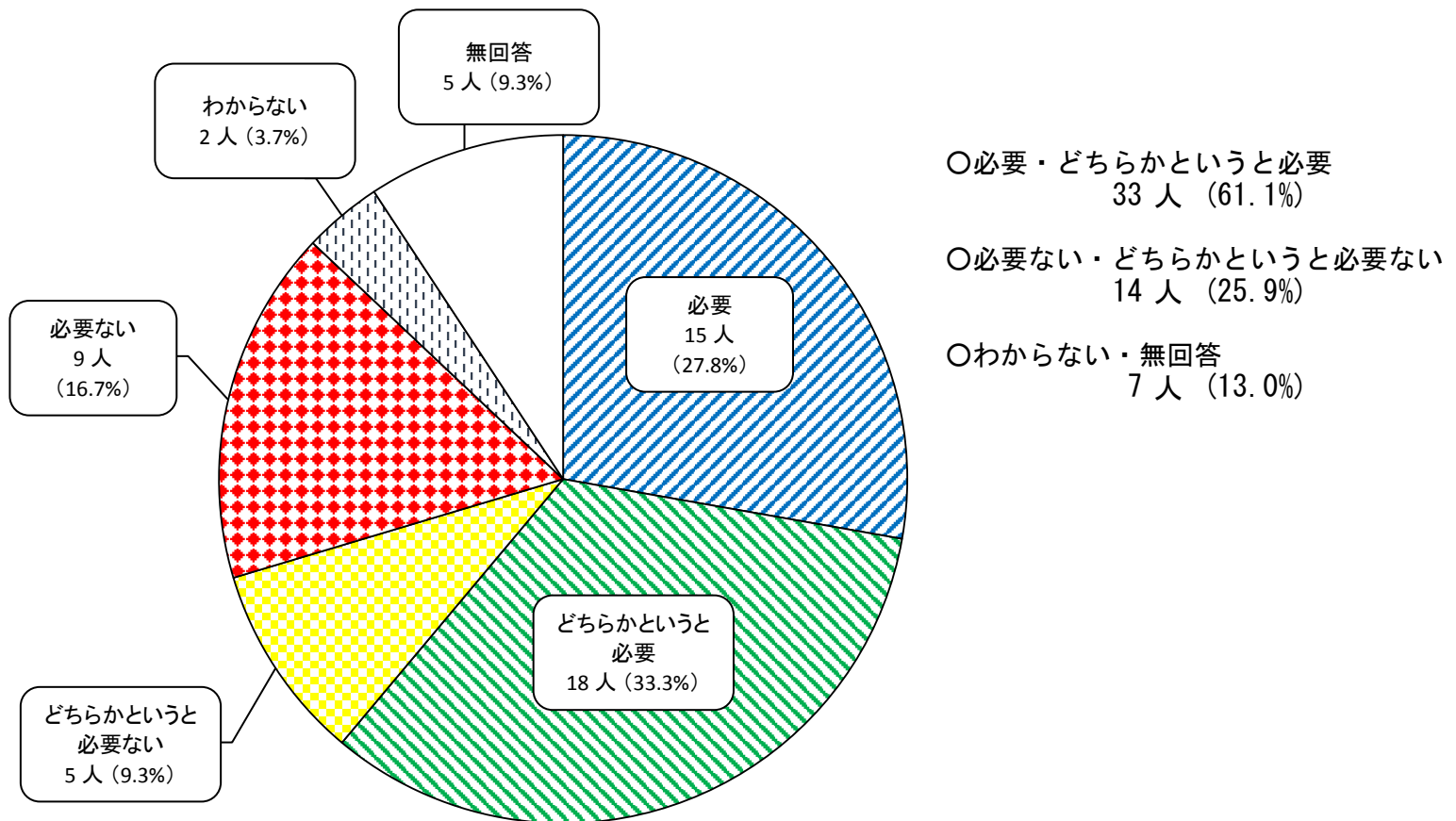
住民区分について



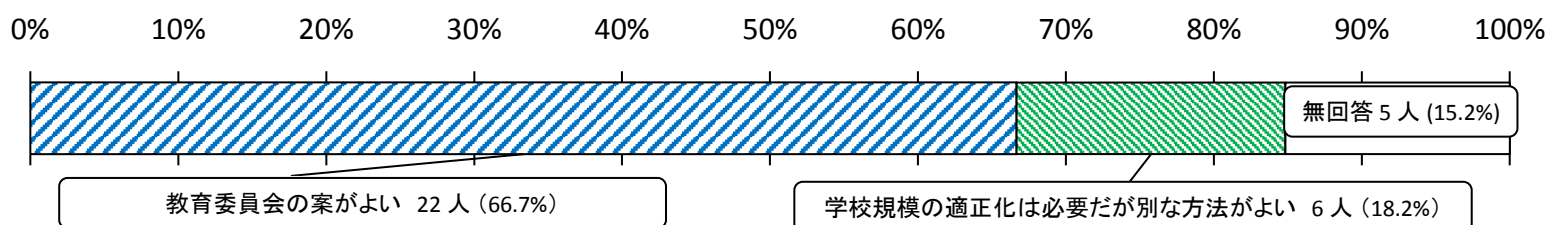
【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。



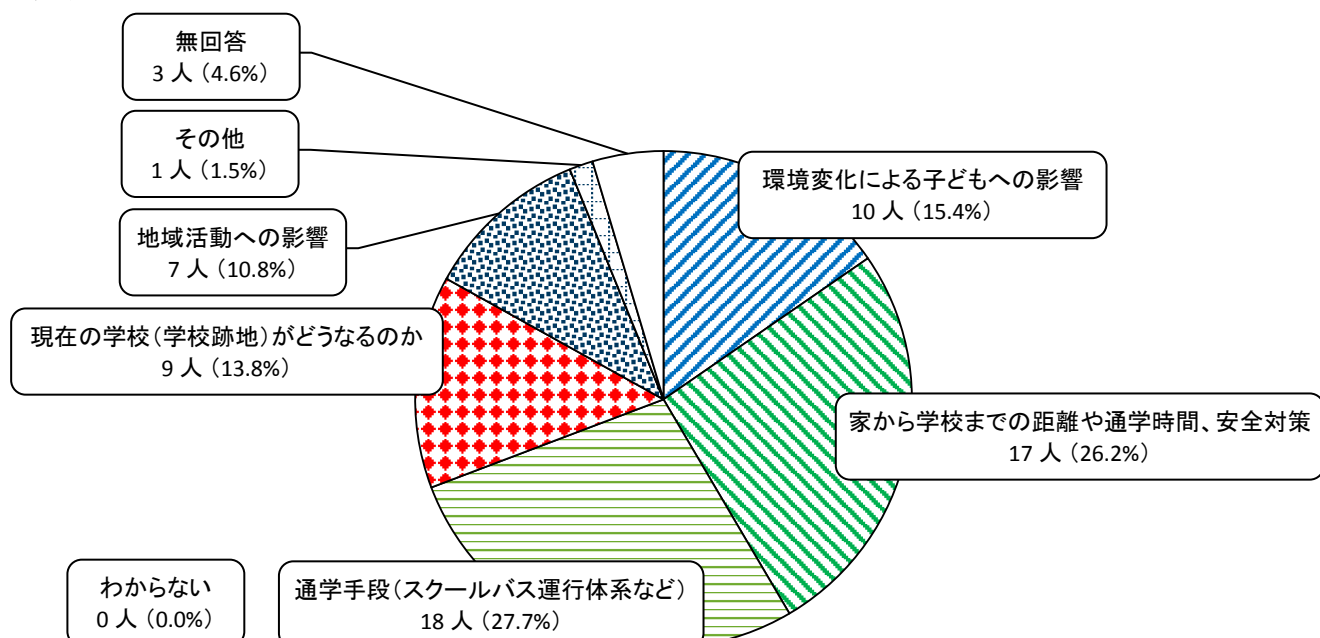
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



徳光小学校区集計表（保護者のみ）

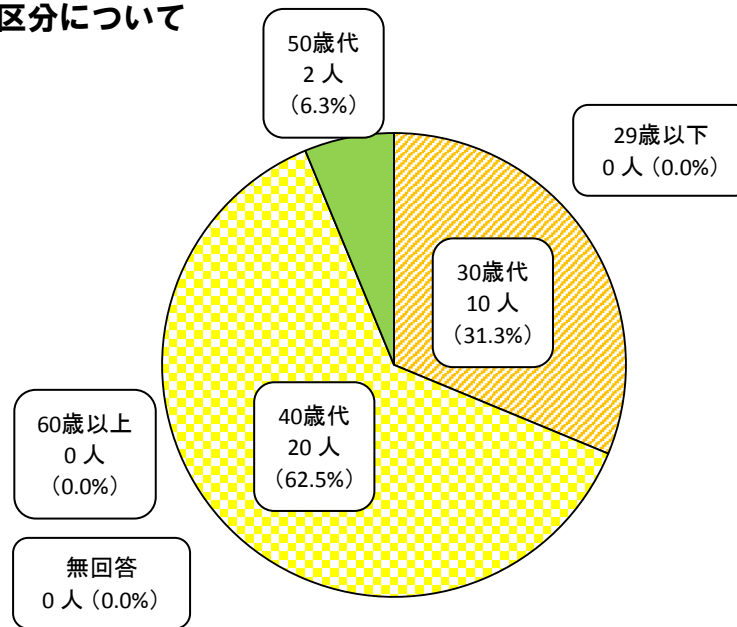
小学校区： 徳光小学校

住民区分： 保護者

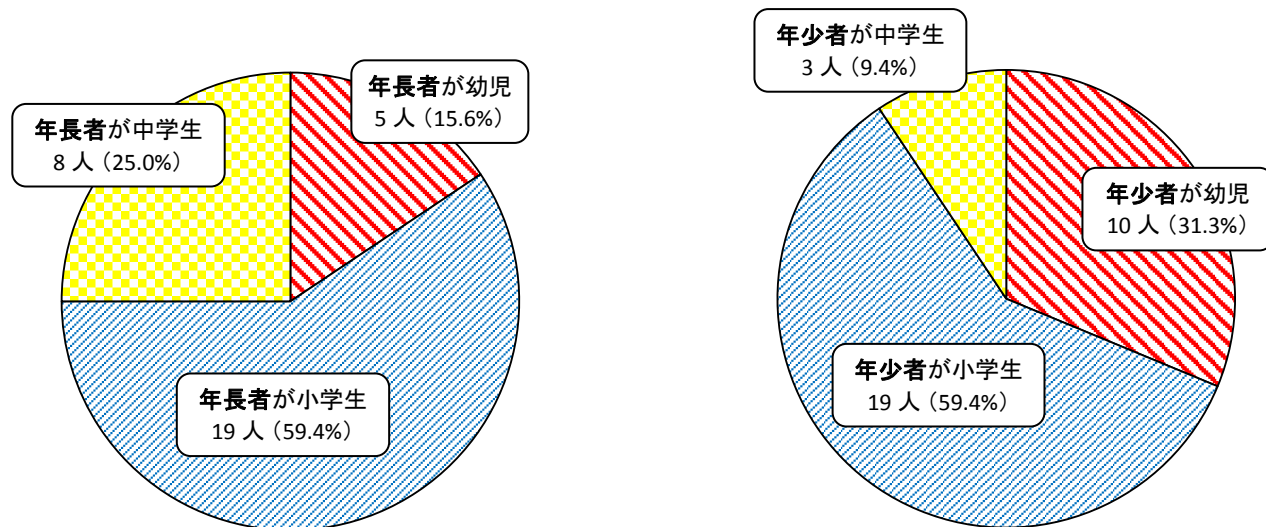
抽出者数： 32 人

【問2】 年代・住民区分について

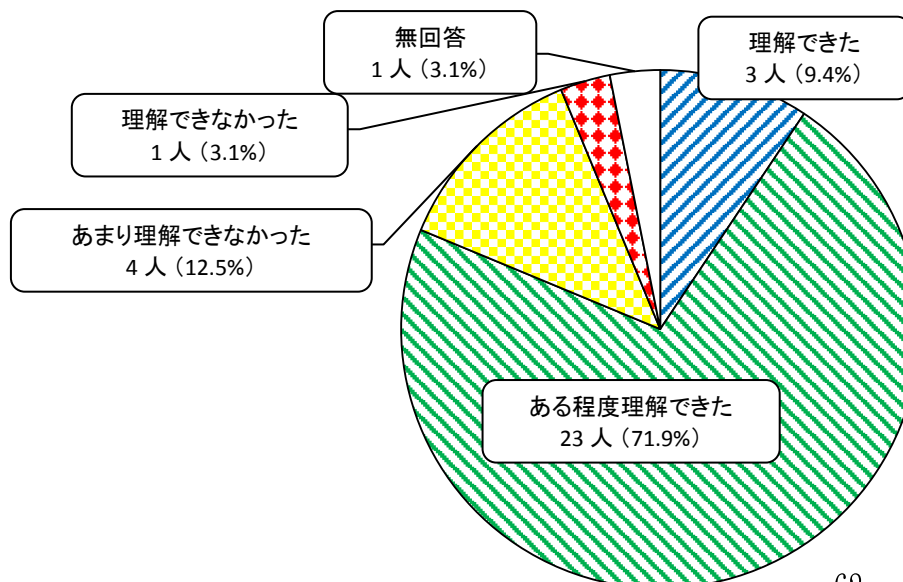
年代について



住民区分について



【問3】 「小中一貫教育」について理解できましたか。

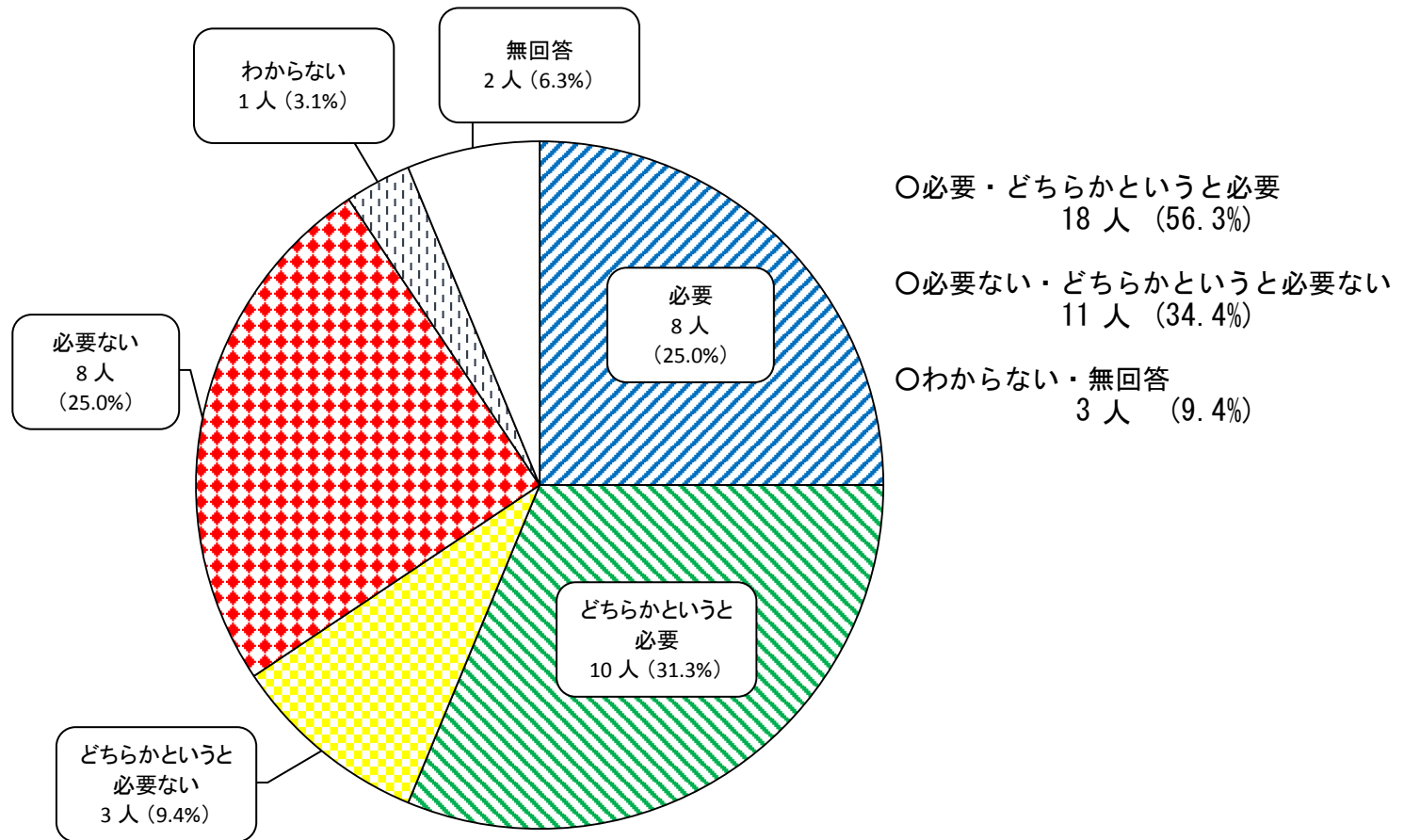


○理解できた・ある程度理解できた
26人 (81.3%)

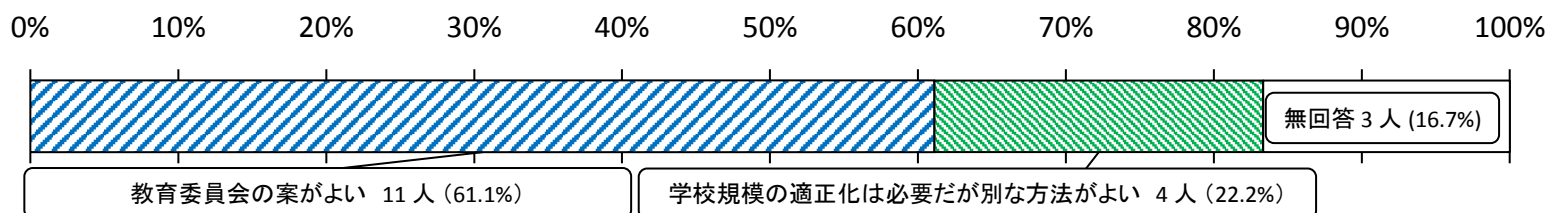
○理解できなかった・あまり理解できなかった
5人 (15.6%)

○無回答
1人 (3.1%)

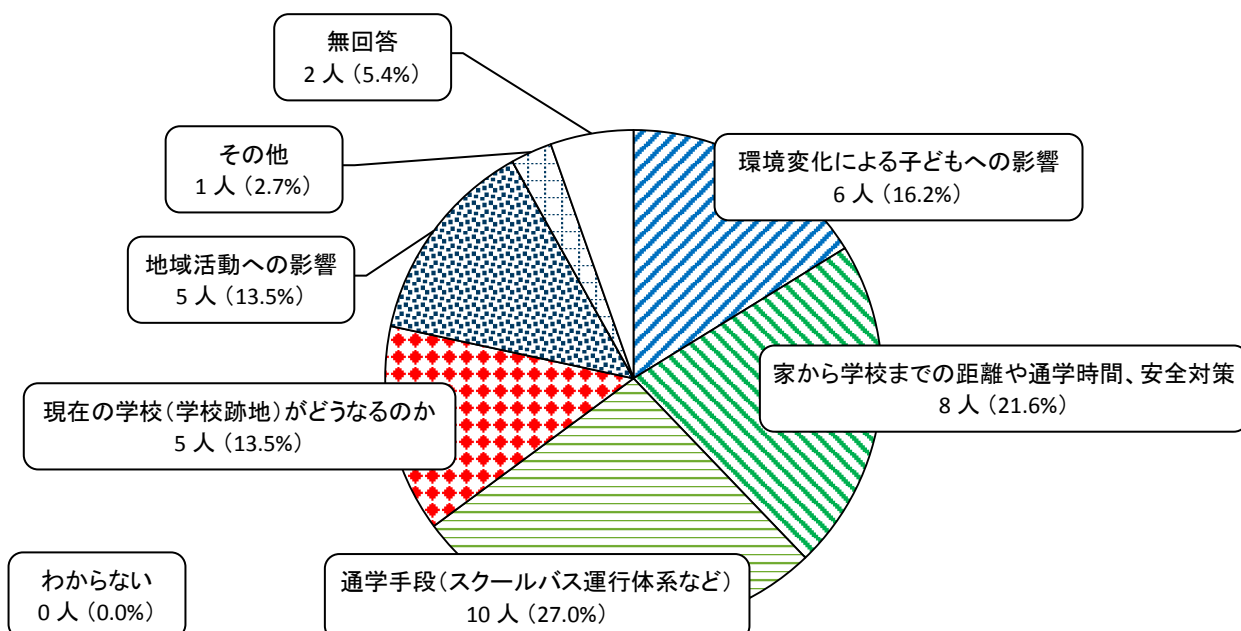
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



利永小学校区集計表

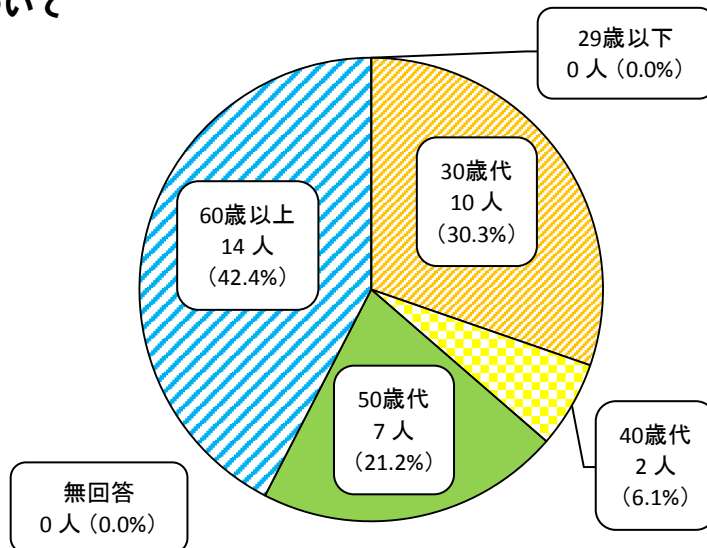
小学校区： 利永小学校

住民区分： 全体

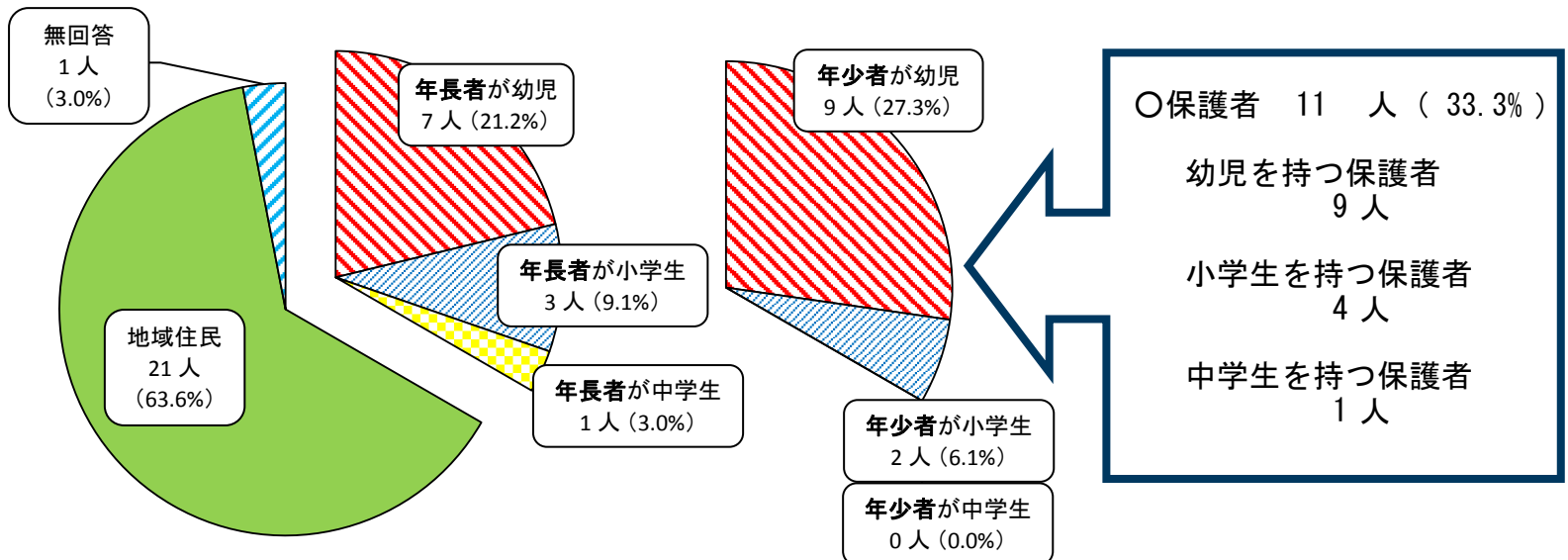
抽出者数： 33 人

【問2】 年代・住民区分について

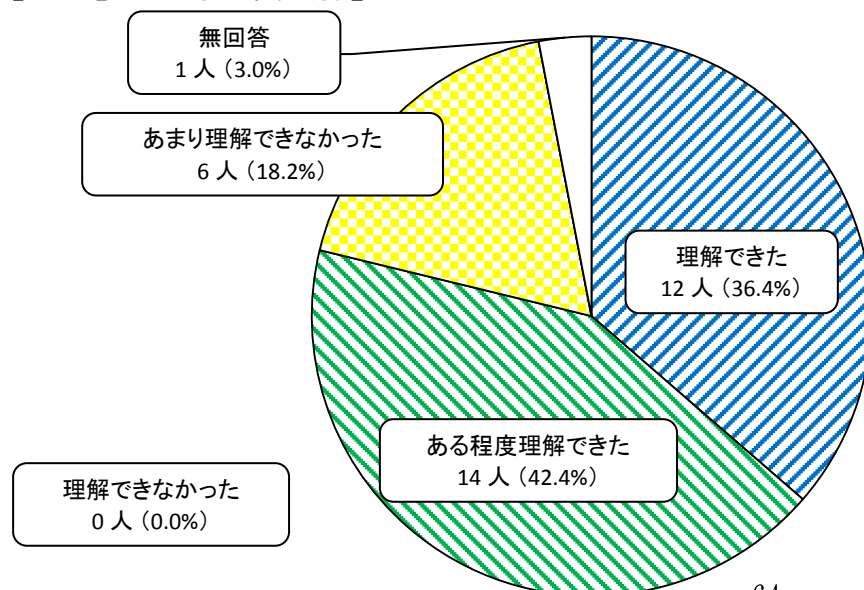
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

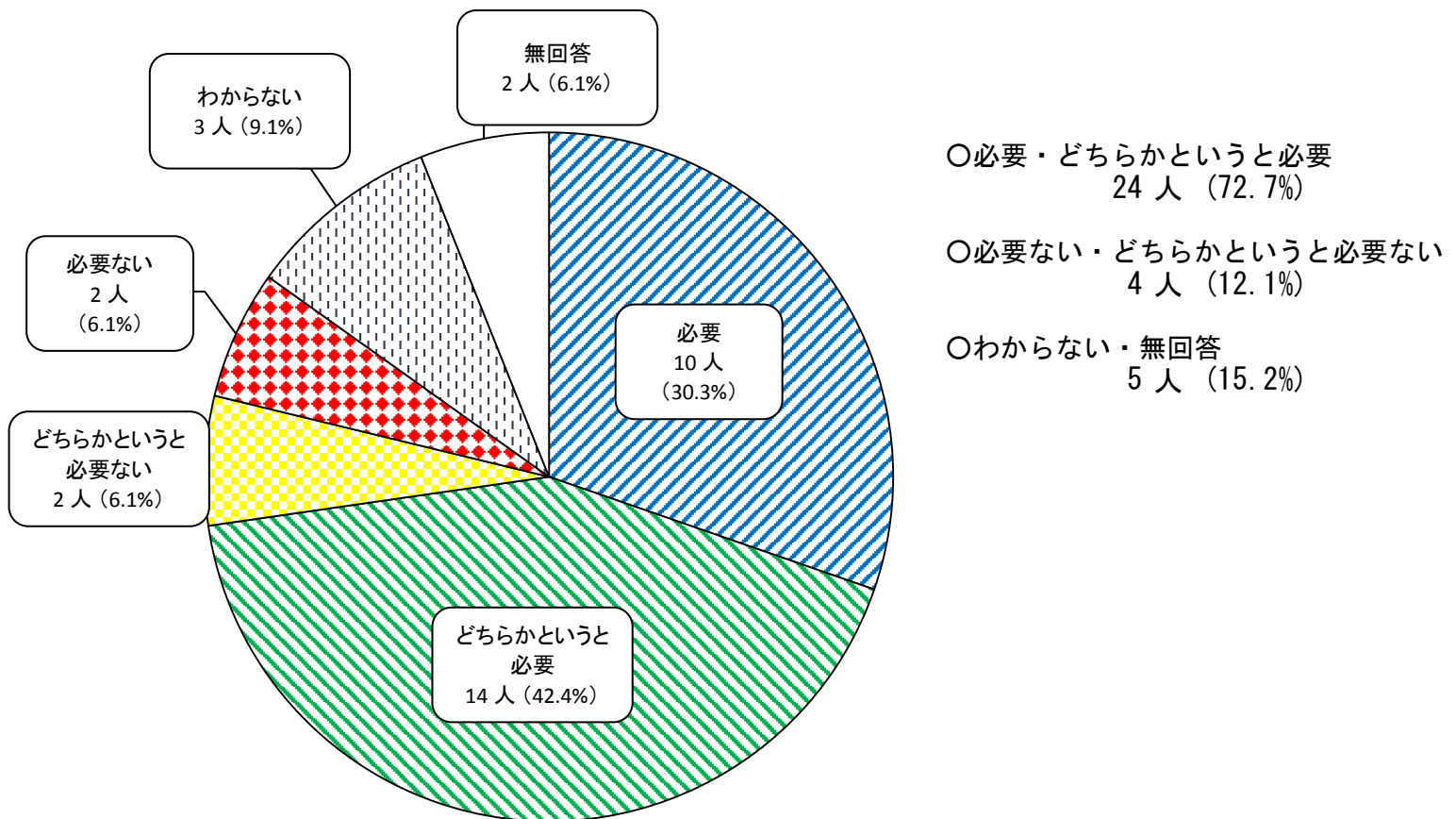


○理解できた・ある程度理解できた
26 人 (78.8%)

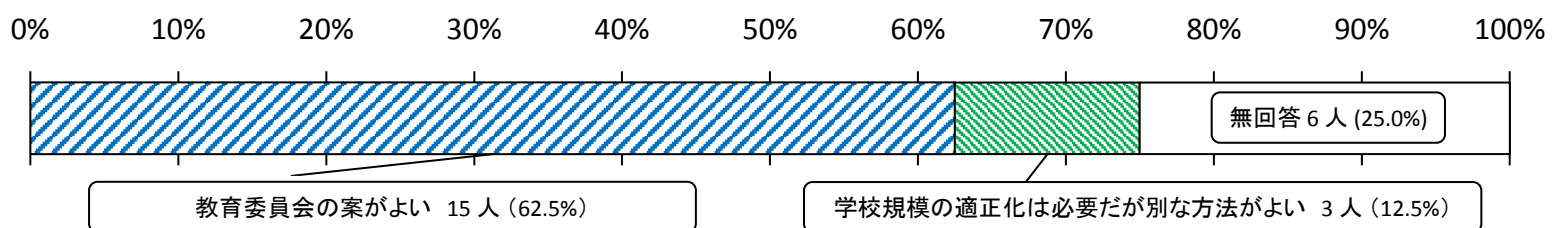
○理解できなかった・あまり理解できなかった
6 人 (18.2%)

○無回答
1 人 (3.0%)

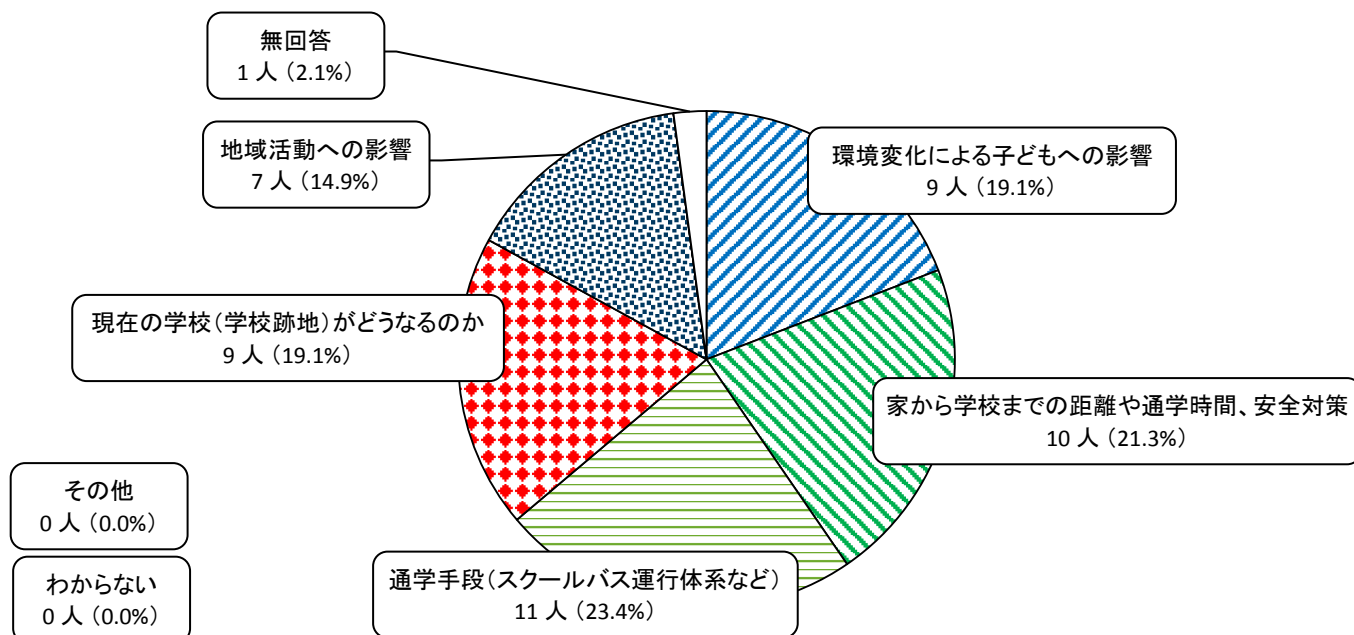
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



利永小学校区集計表（保護者のみ）

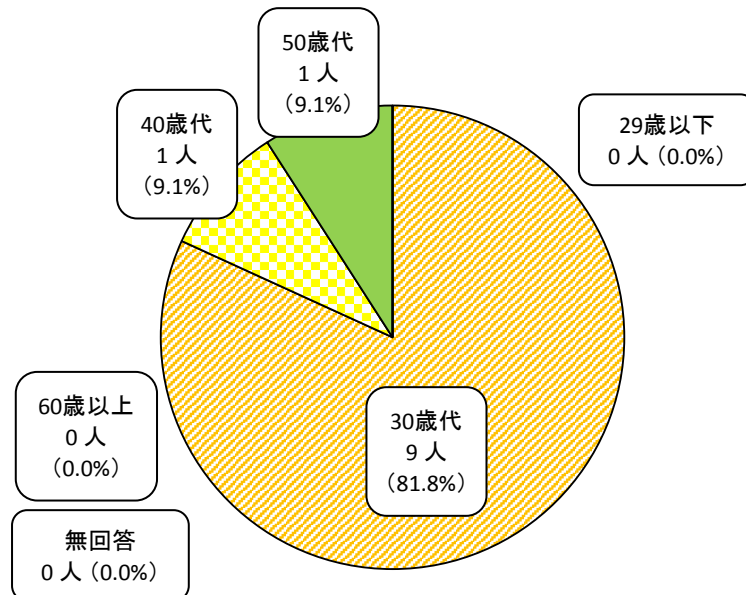
小学校区： 利永小学校

住民区分： 保護者

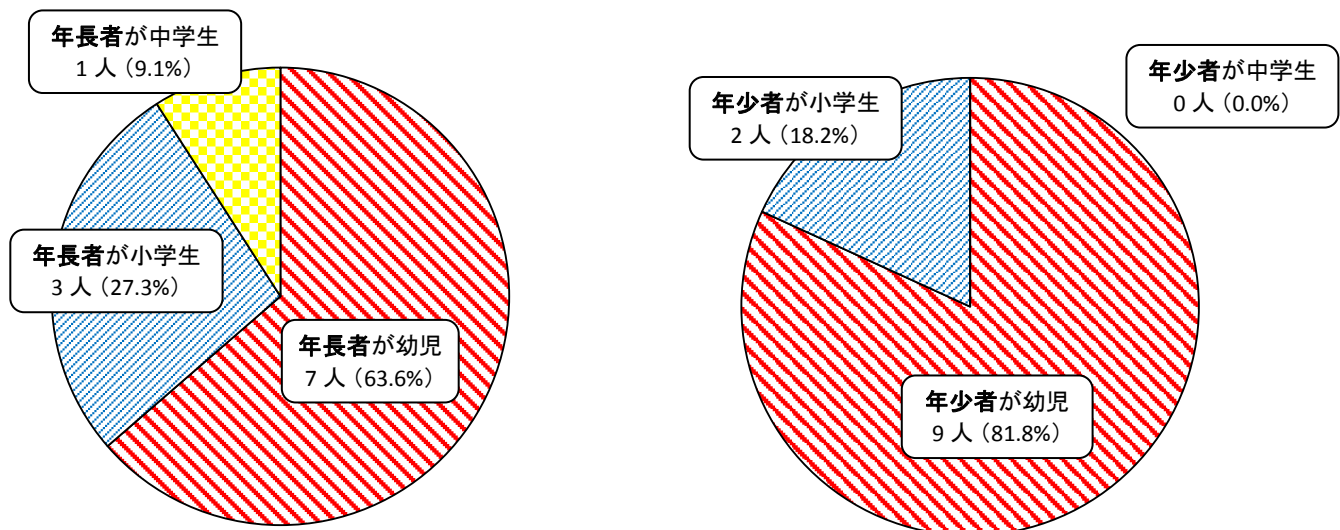
抽出者数： 11 人

【問2】 年代・住民区分について

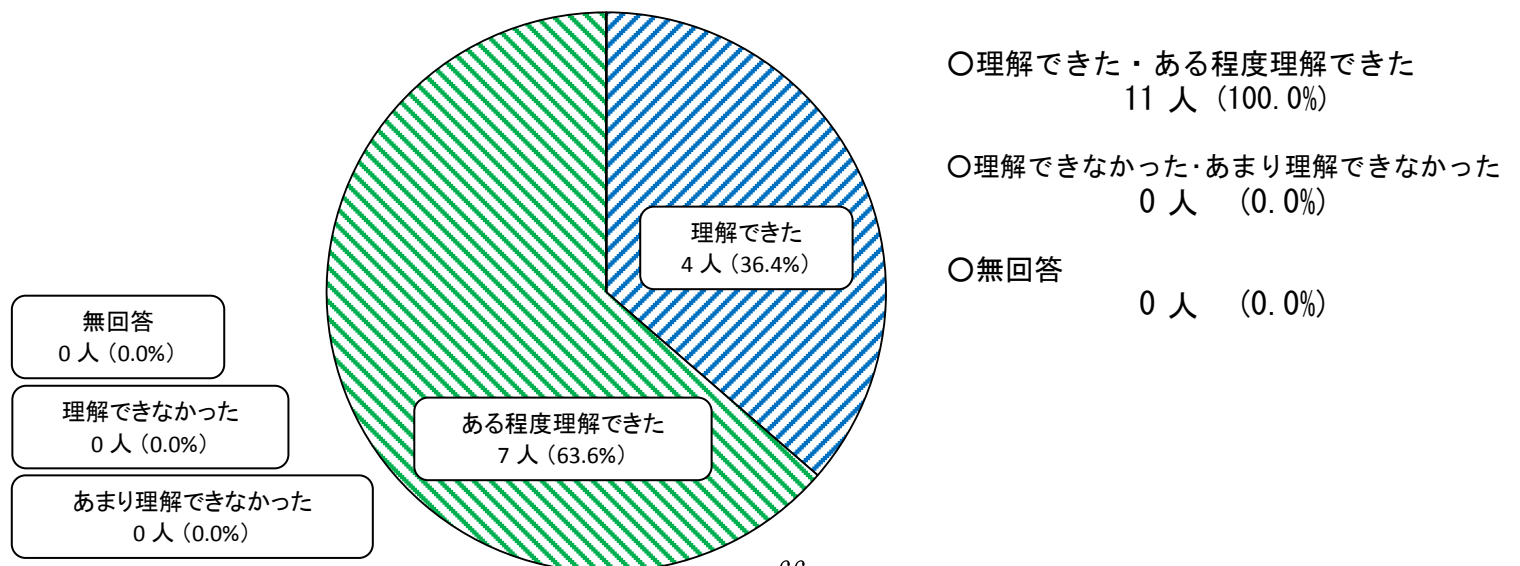
年代について



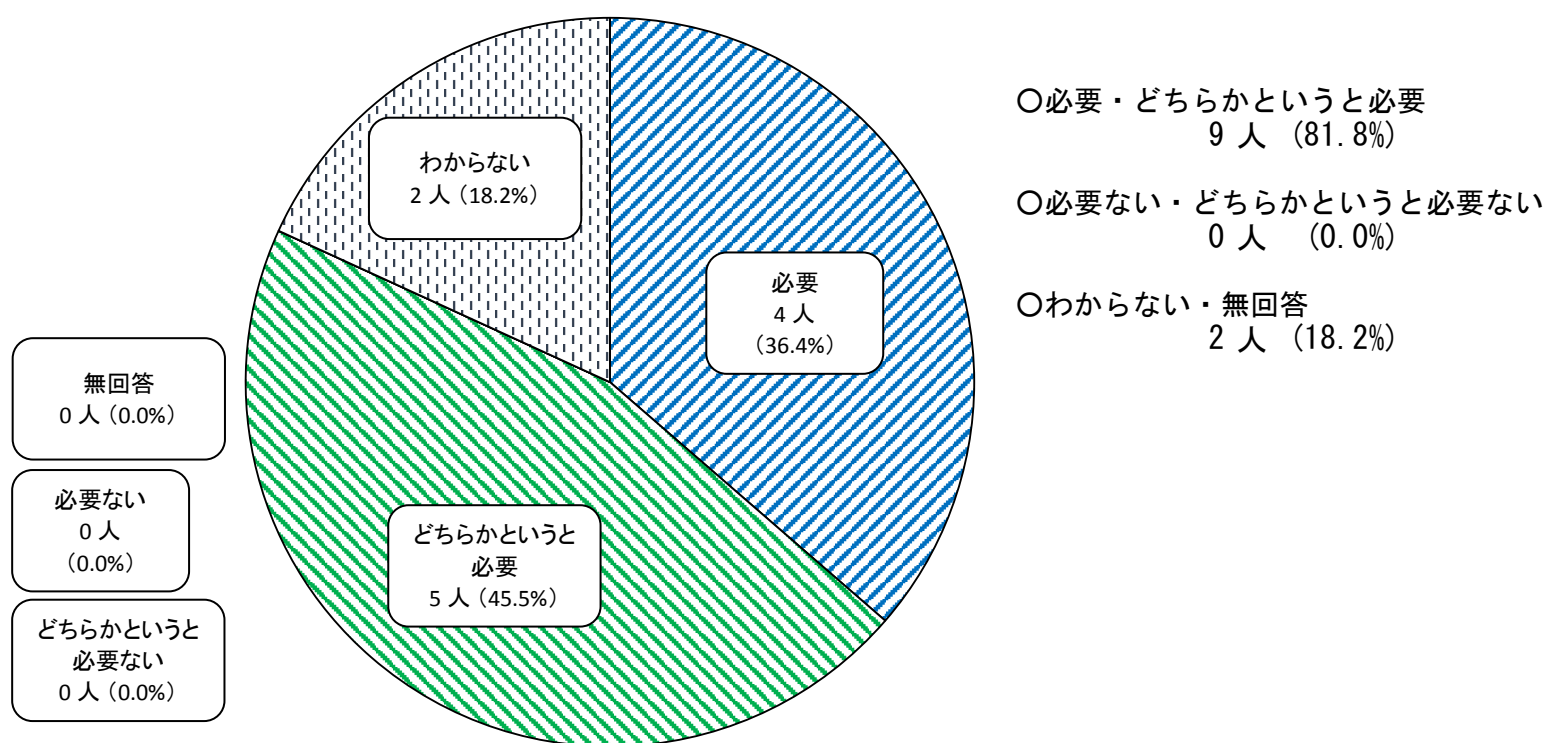
住民区分について



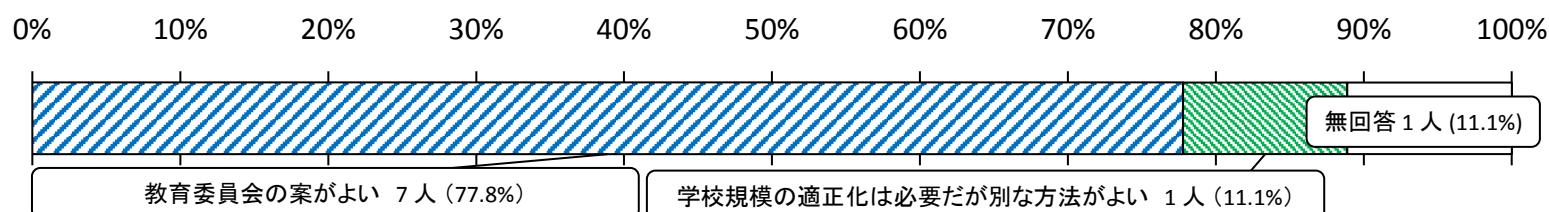
【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。



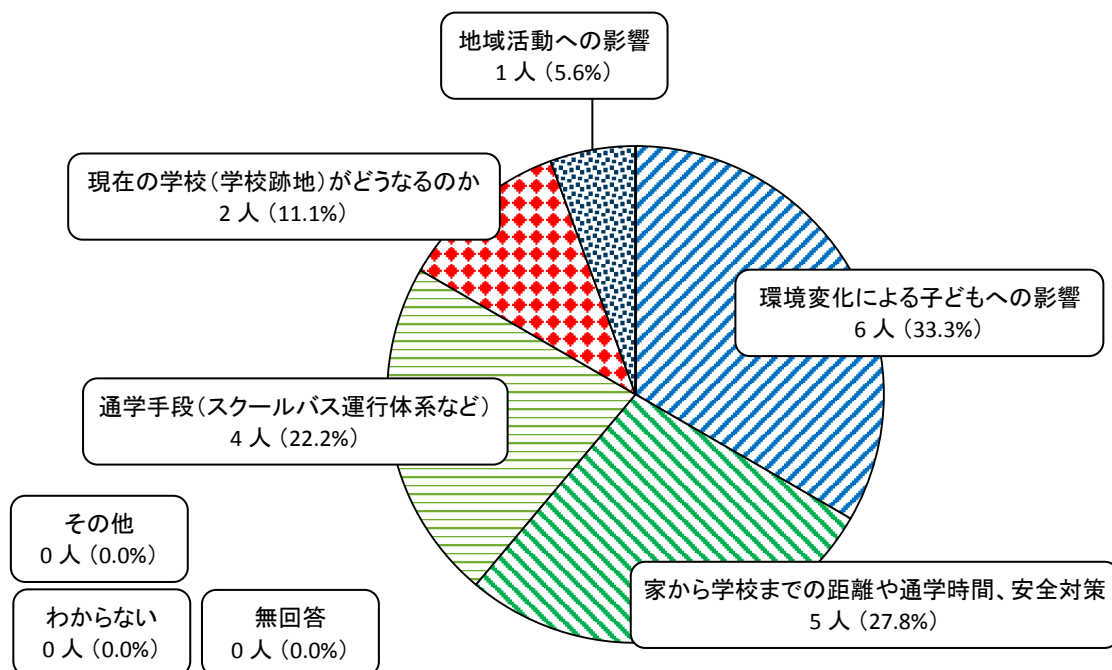
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



開聞小学校区集計表

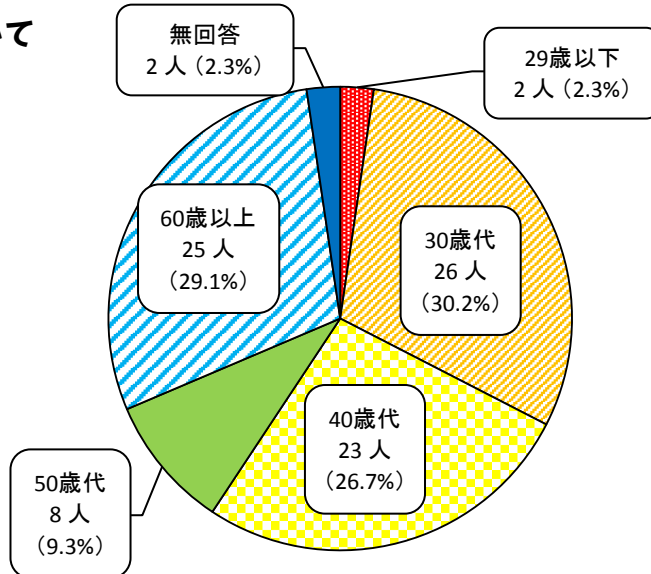
小学校区： 開聞小学校

住民区分： 全体

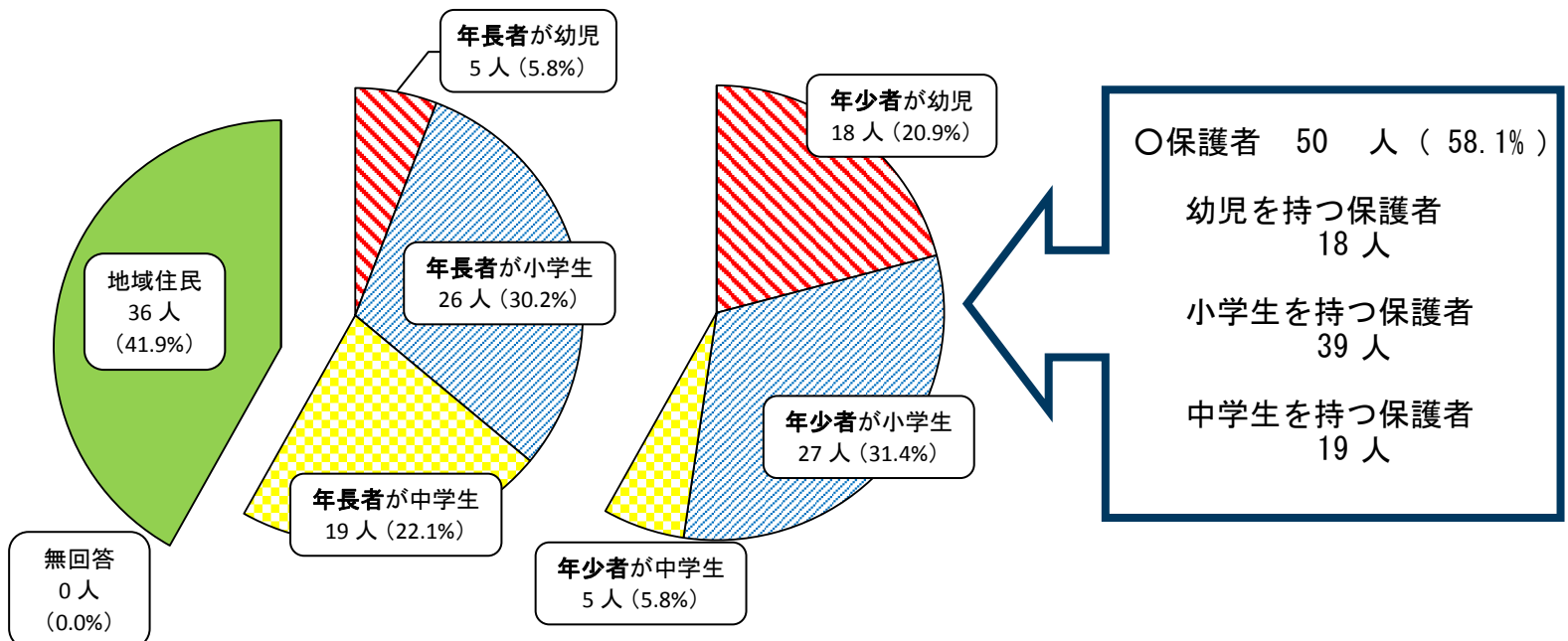
抽出者数： 86 人

【問2】 年代・住民区分について

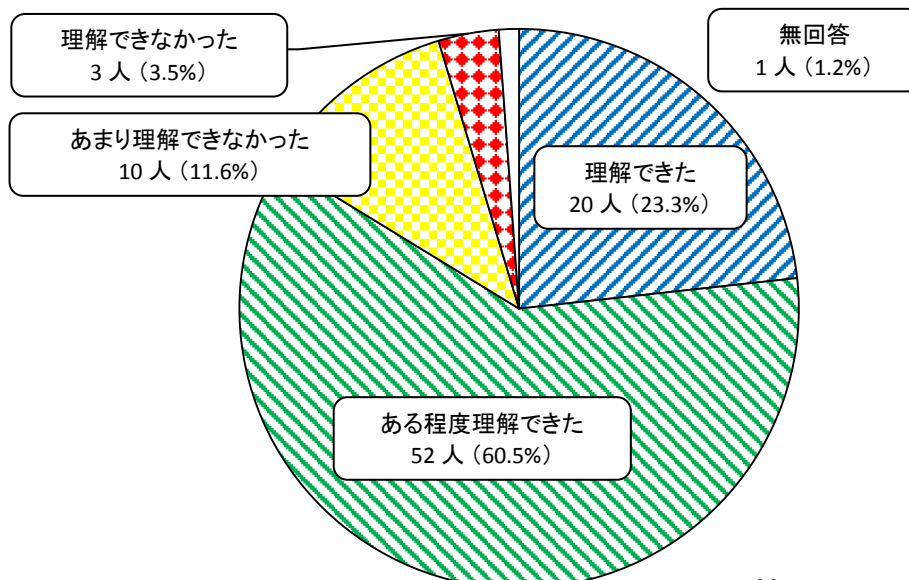
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

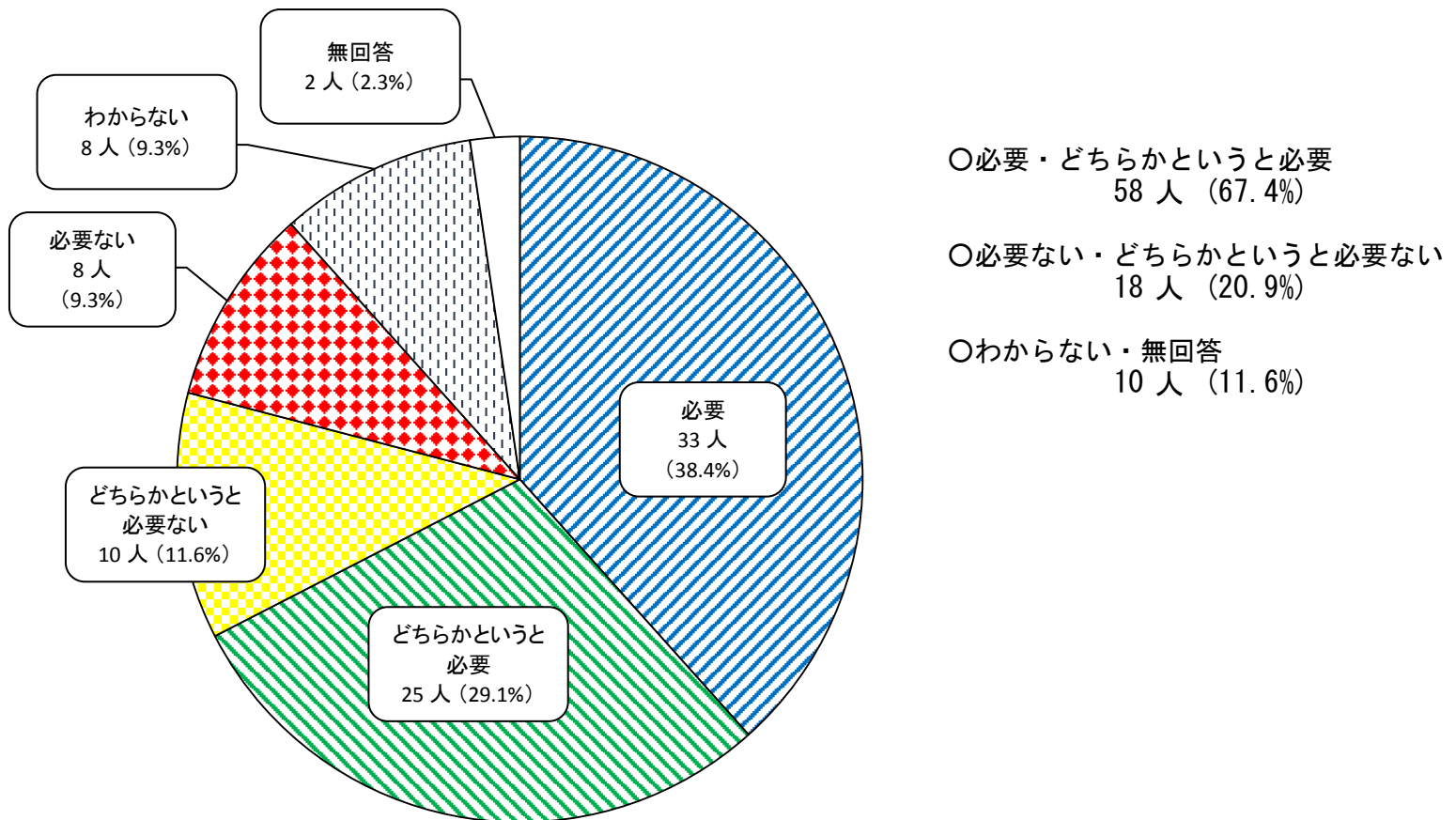


○理解できた・ある程度理解できた
72 人 (83.7%)

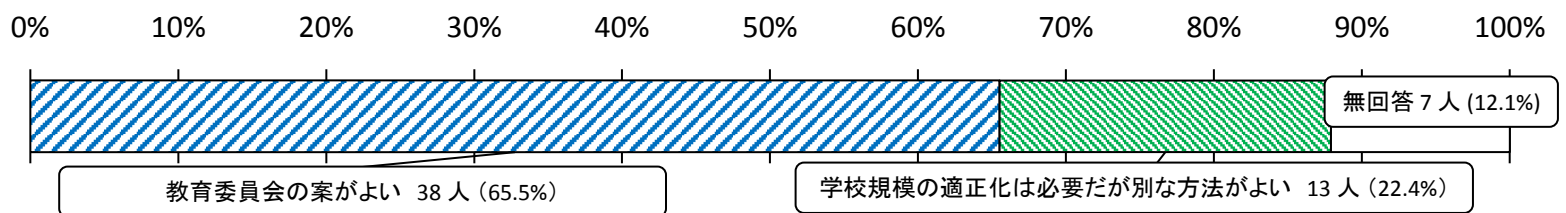
○理解できなかった・あまり理解できなかった
13 人 (15.1%)

○無回答
1 人 (1.2%)

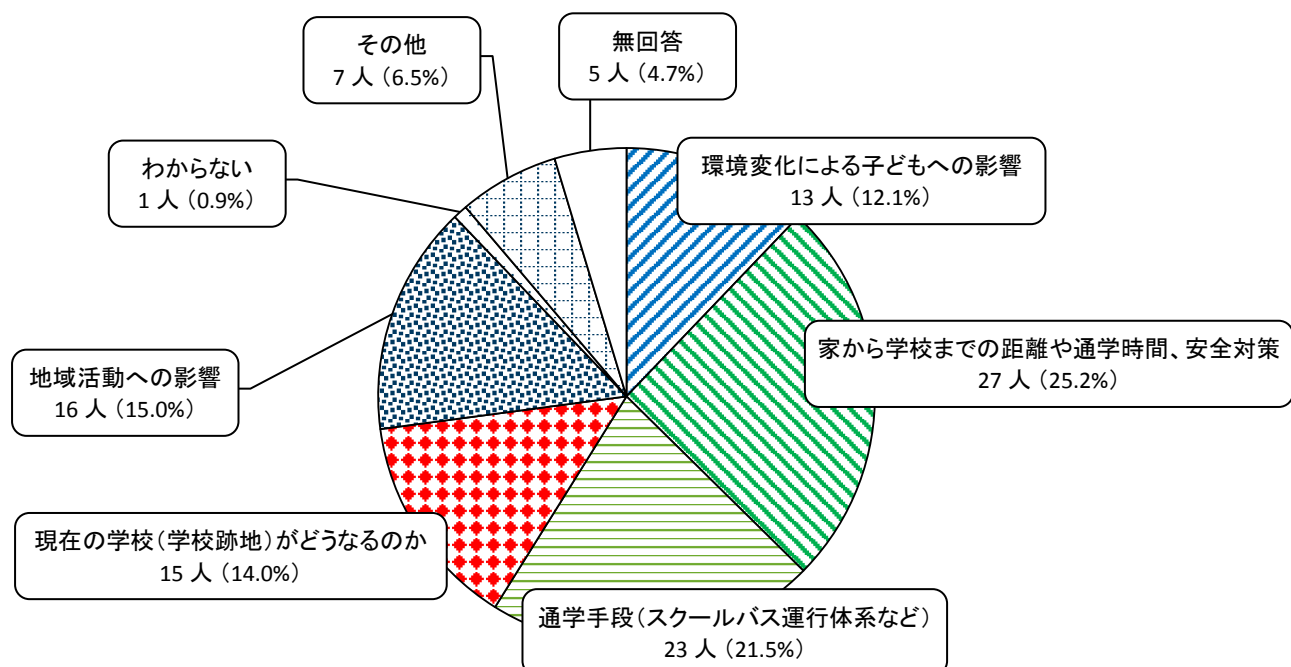
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりませんが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



開聞小学校区集計表（保護者のみ）

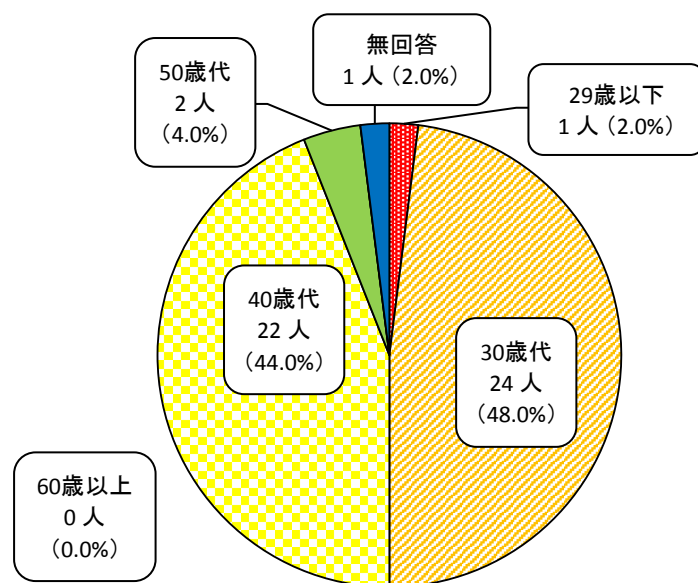
小学校区： 開聞小学校

住民区分： 保護者

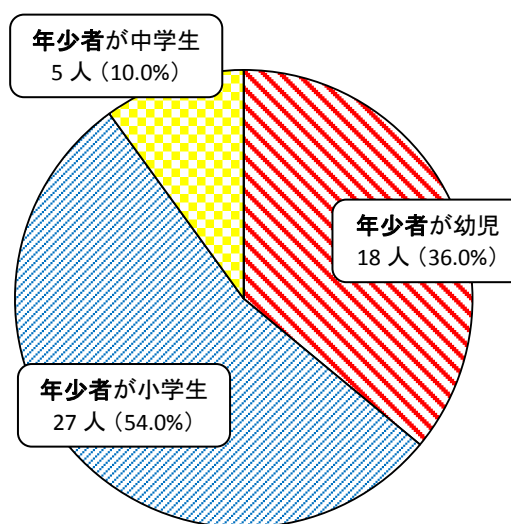
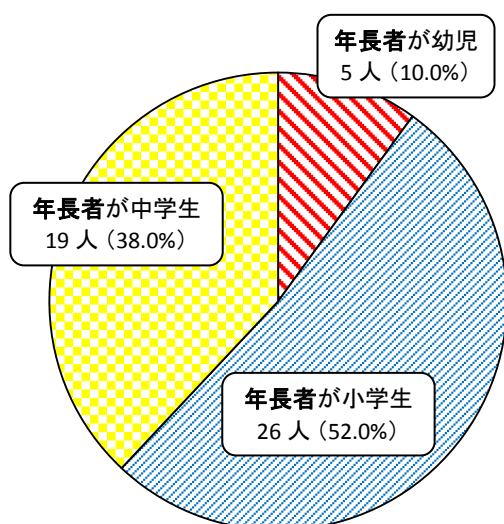
抽出者数： 50 人

【問2】 年代・住民区分について

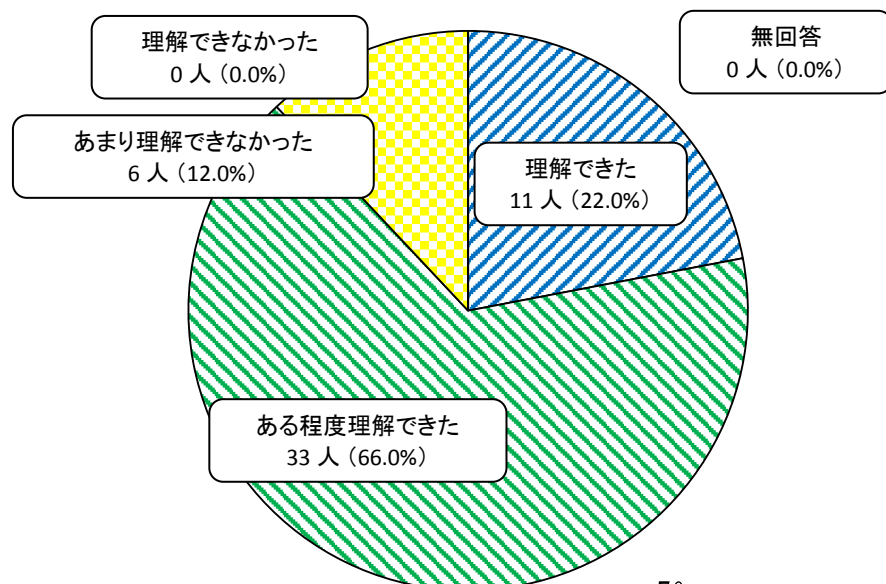
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

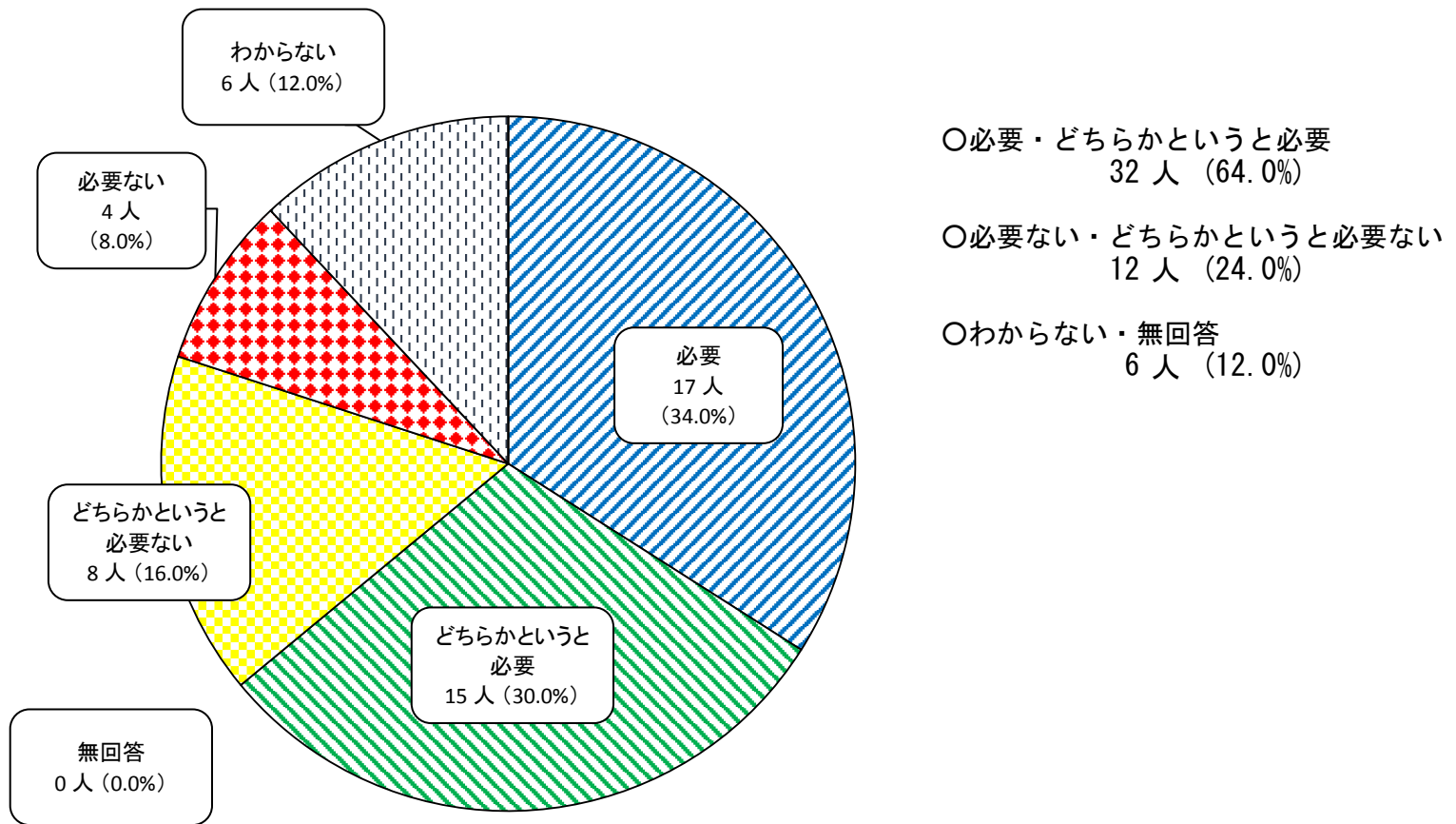


○理解できた・ある程度理解できた
44人 (88.0%)

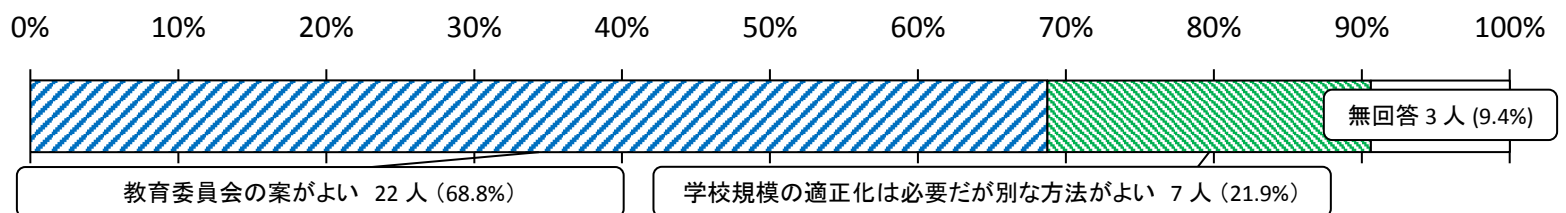
○理解できなかった・あまり理解できなかった
6人 (12.0%)

○無回答
0人 (0.0%)

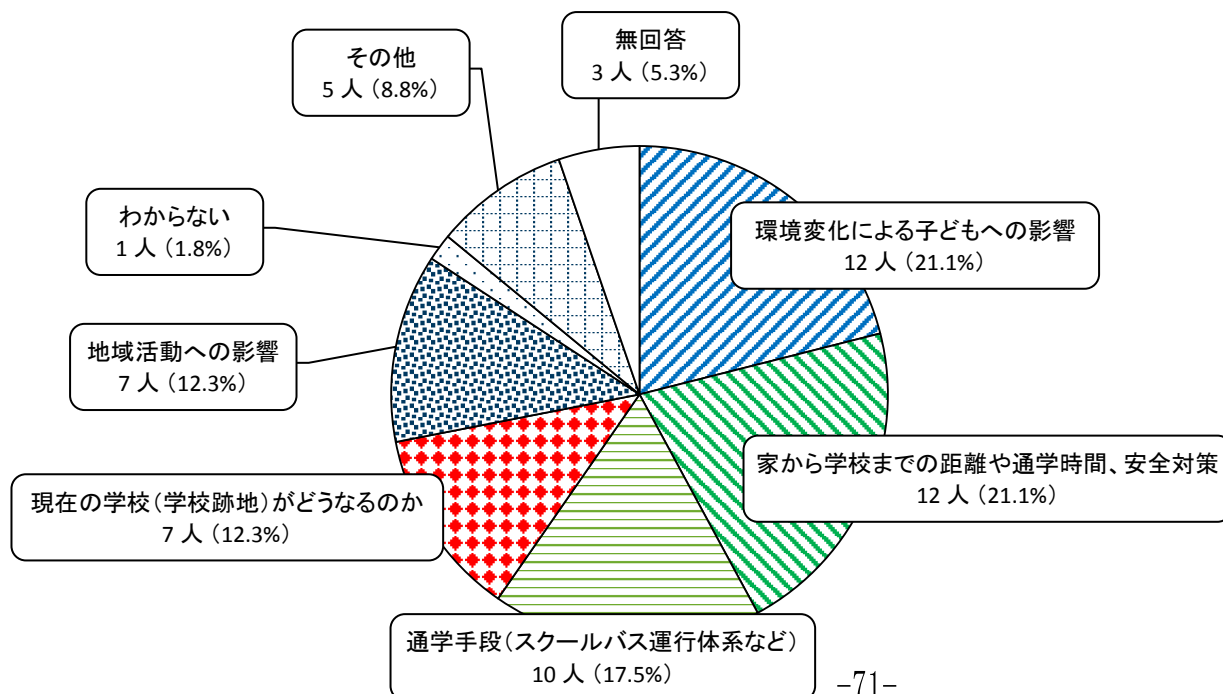
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



川尻小学校区集計表

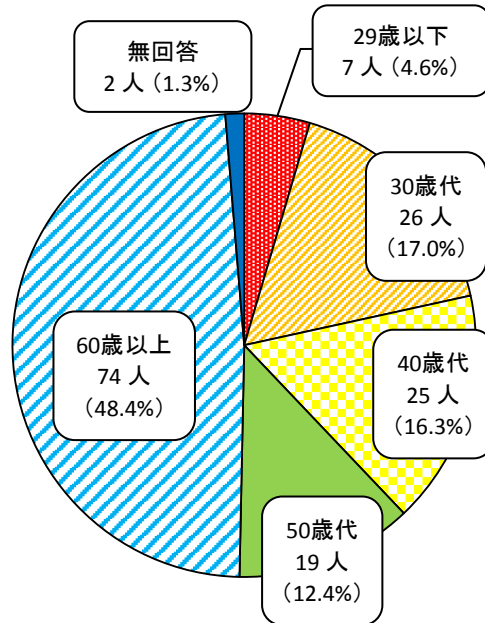
小学校区： 川尻小学校

住民区分： 全体

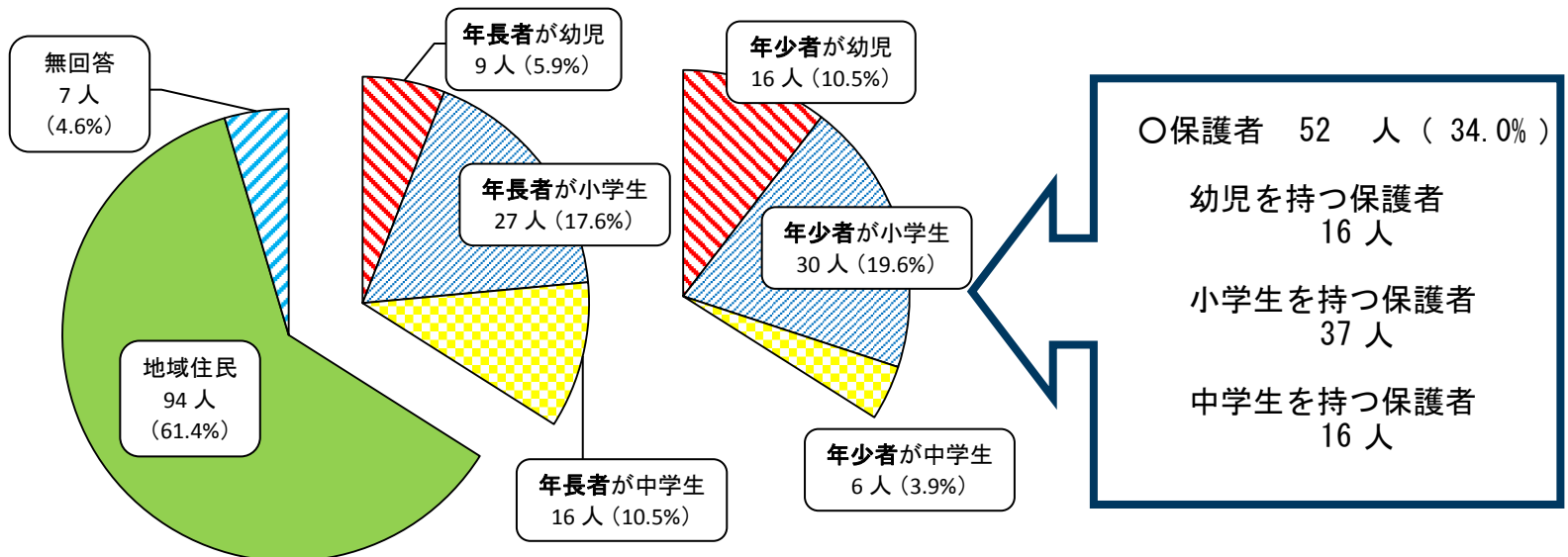
抽出者数： 153 人

【問2】 年代・住民区分について

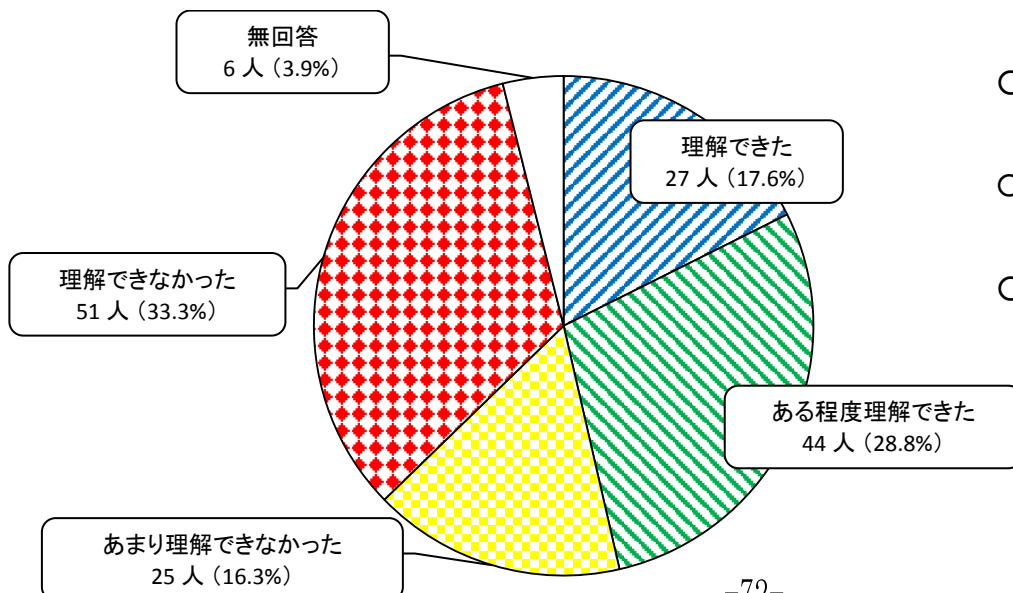
年代について



住民区分について



【問3】「小中一貫教育」について理解できましたか。

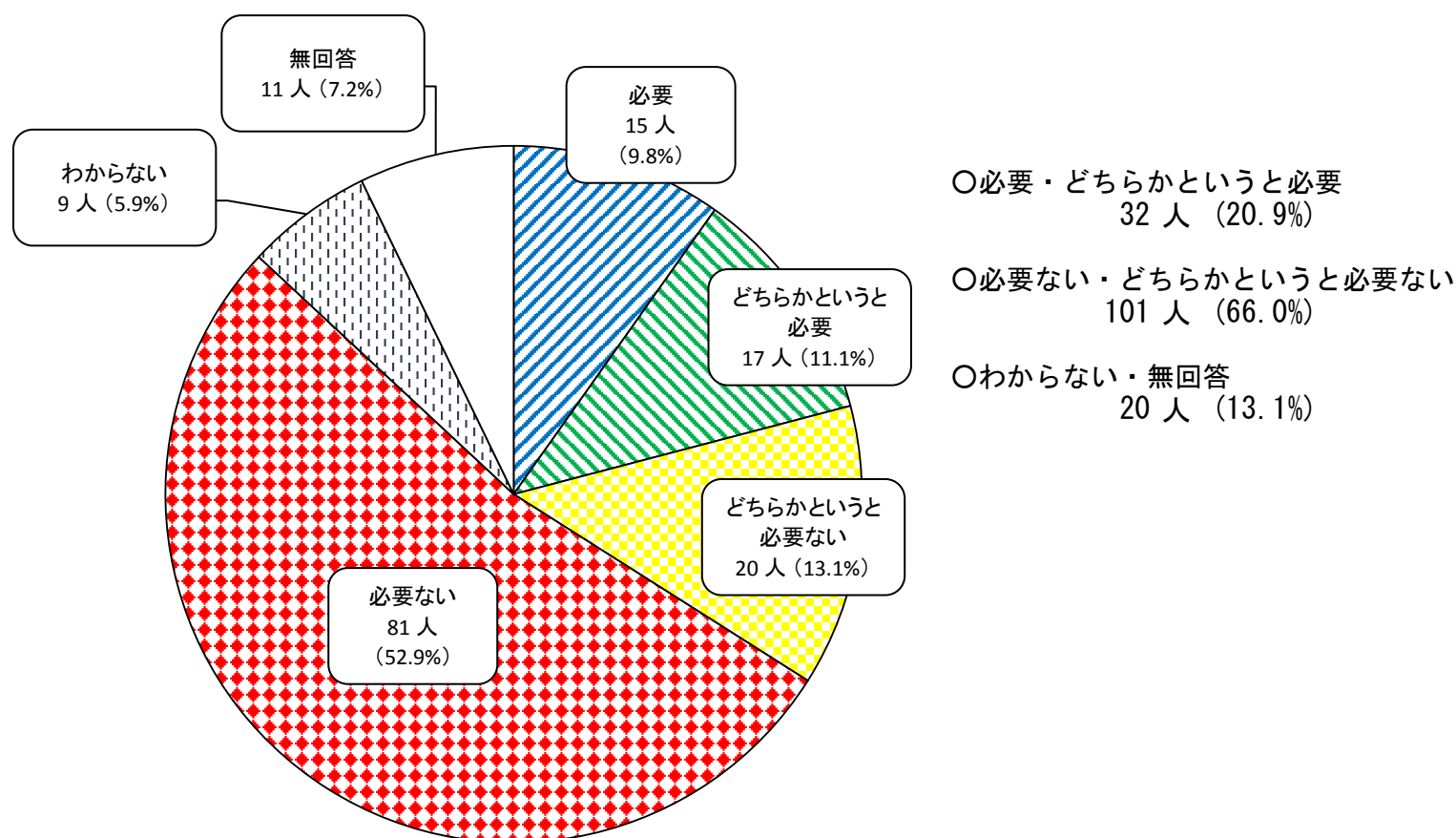


○理解できた・ある程度理解できた
71 人 (46.4%)

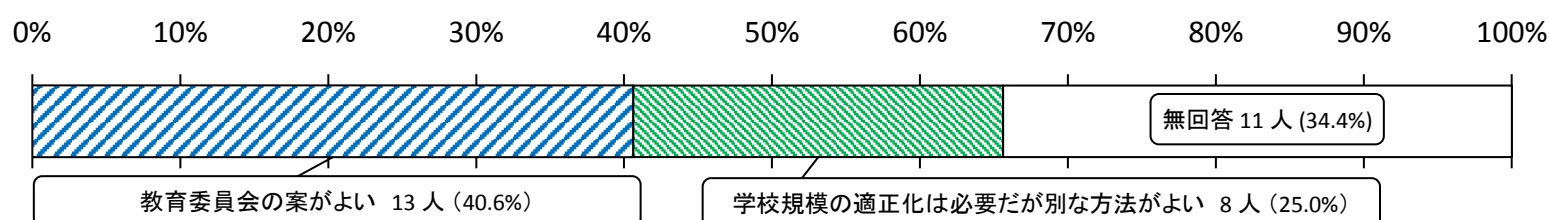
○理解できなかった・あまり理解できなかった
76 人 (49.7%)

○無回答
6 人 (3.9%)

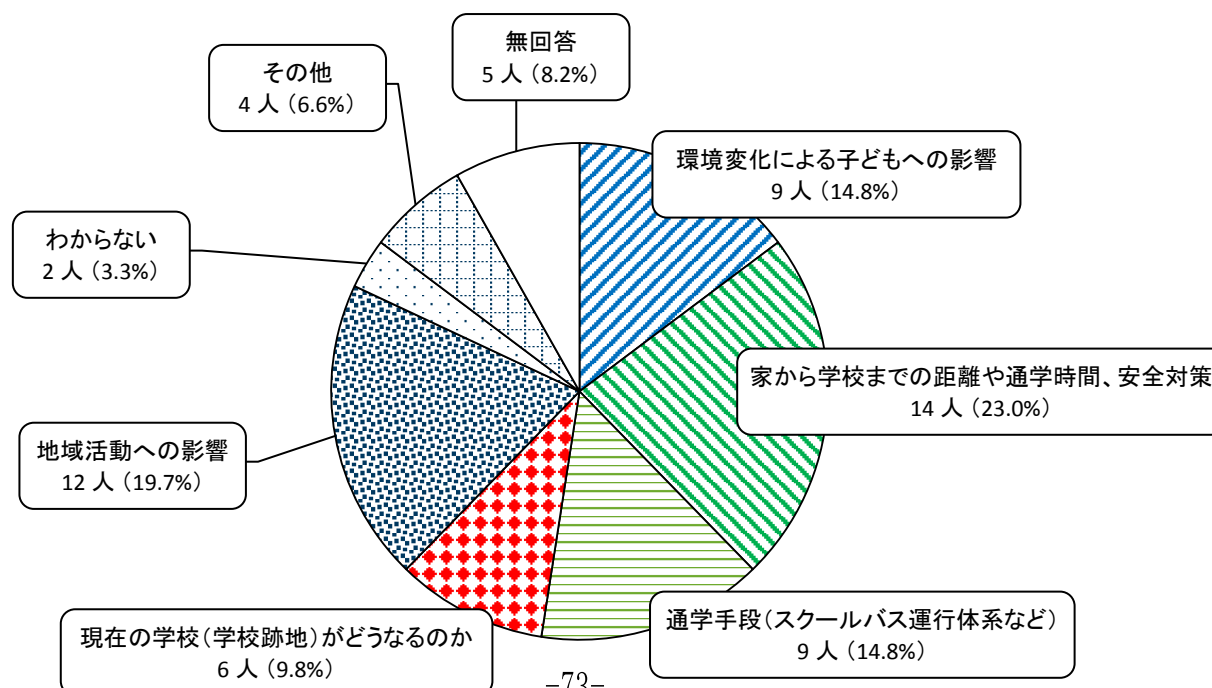
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いましたか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



川尻小学校区集計表（保護者のみ）

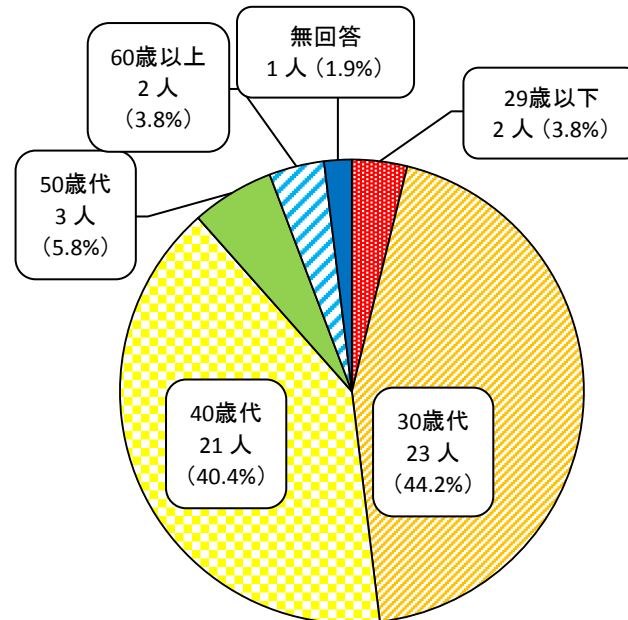
小学校区： 川尻小学校

住民区分： **保護者**

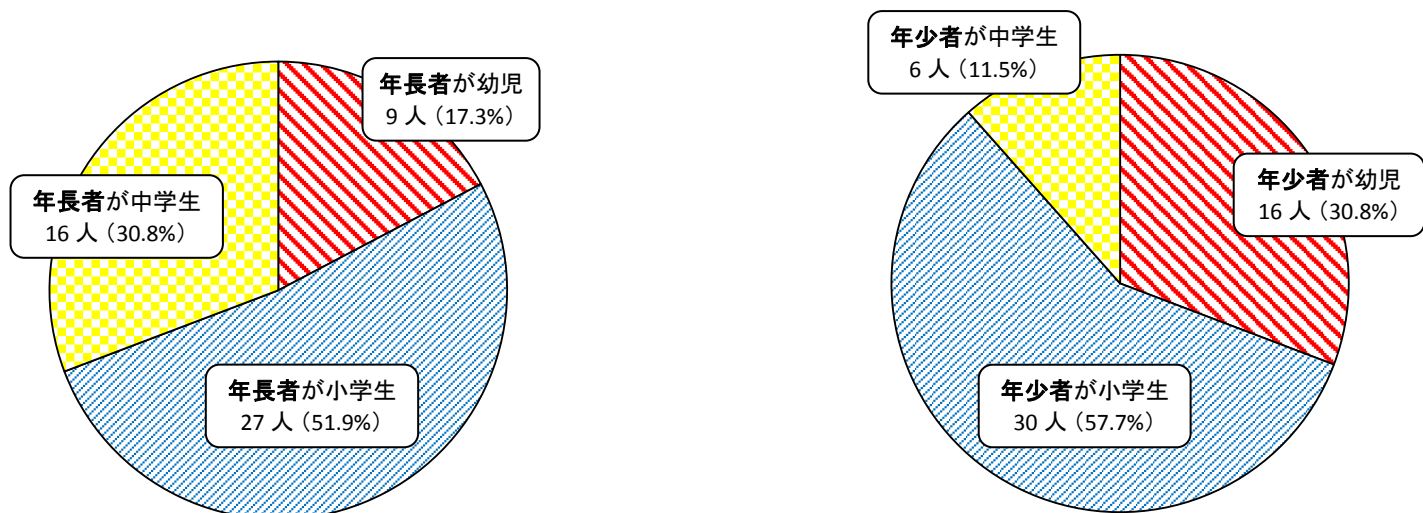
抽出者数： **52** 人

【問2】 年代・住民区分について

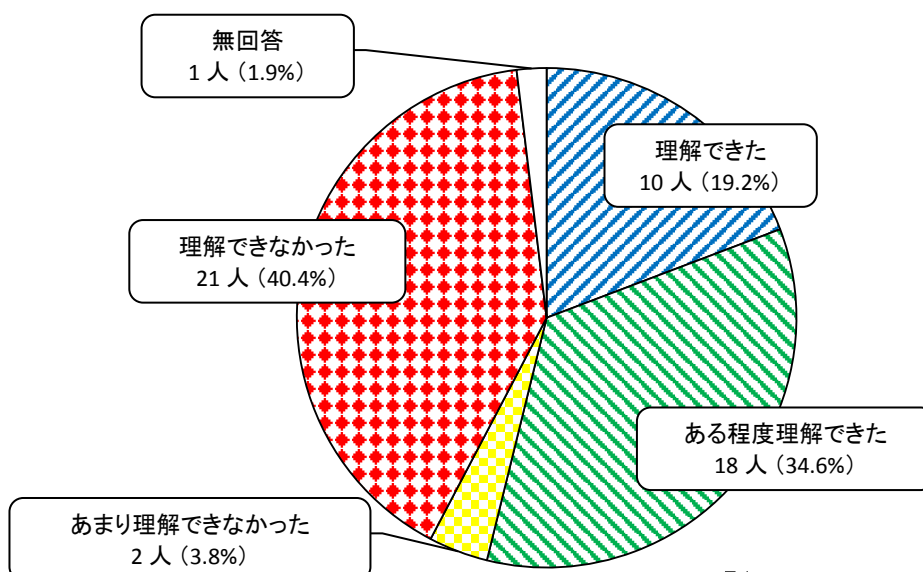
年代について



住民区分について



【問3】 「小中一貫教育」について理解できましたか。

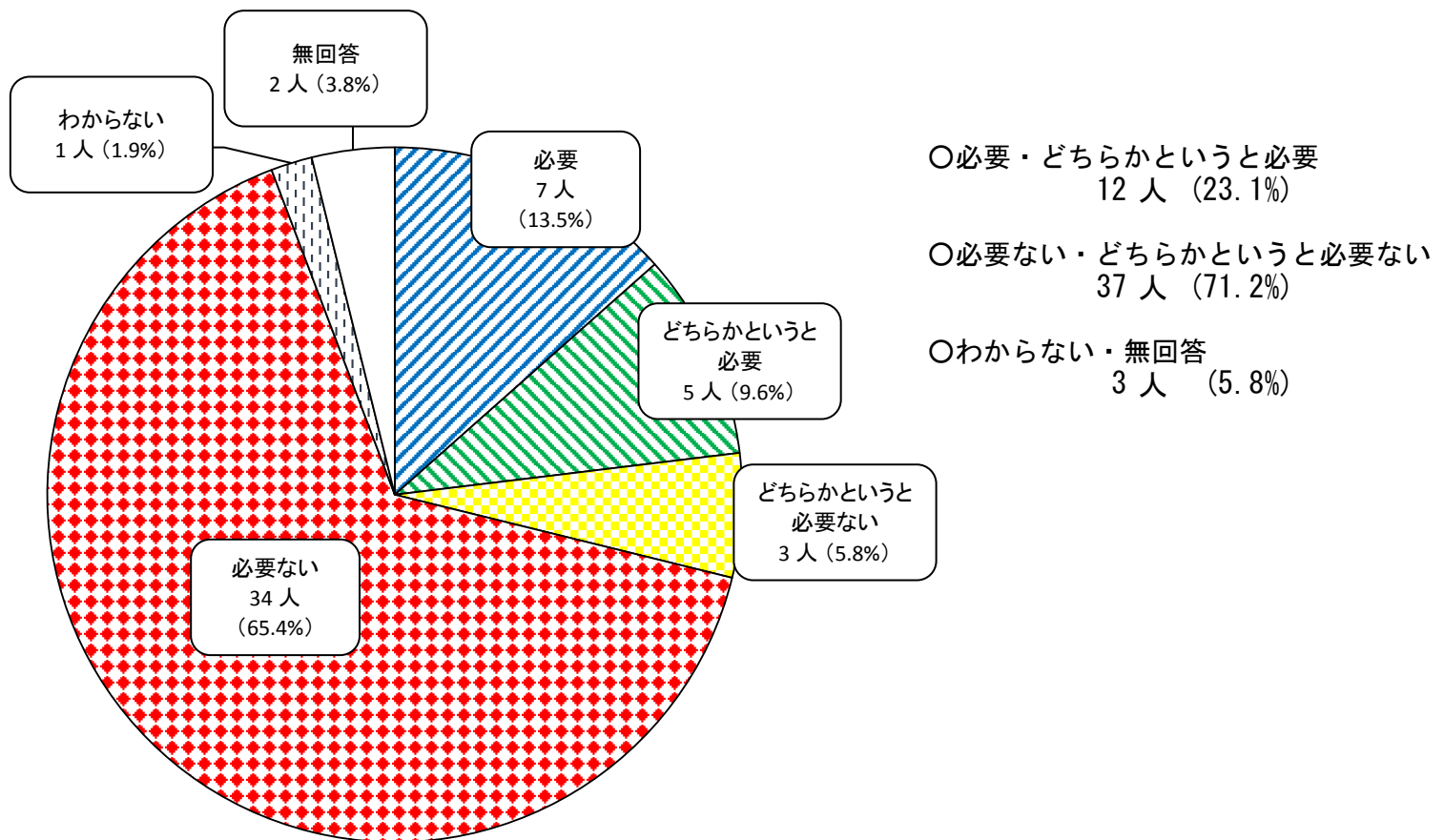


○理解できた・ある程度理解できた
28人 (53.8%)

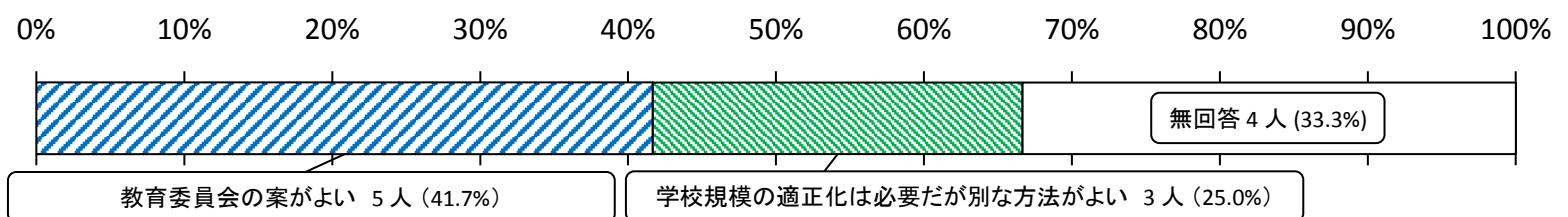
○理解できなかった・あまり理解できなかった
23人 (44.2%)

○無回答
1人 (1.9%)

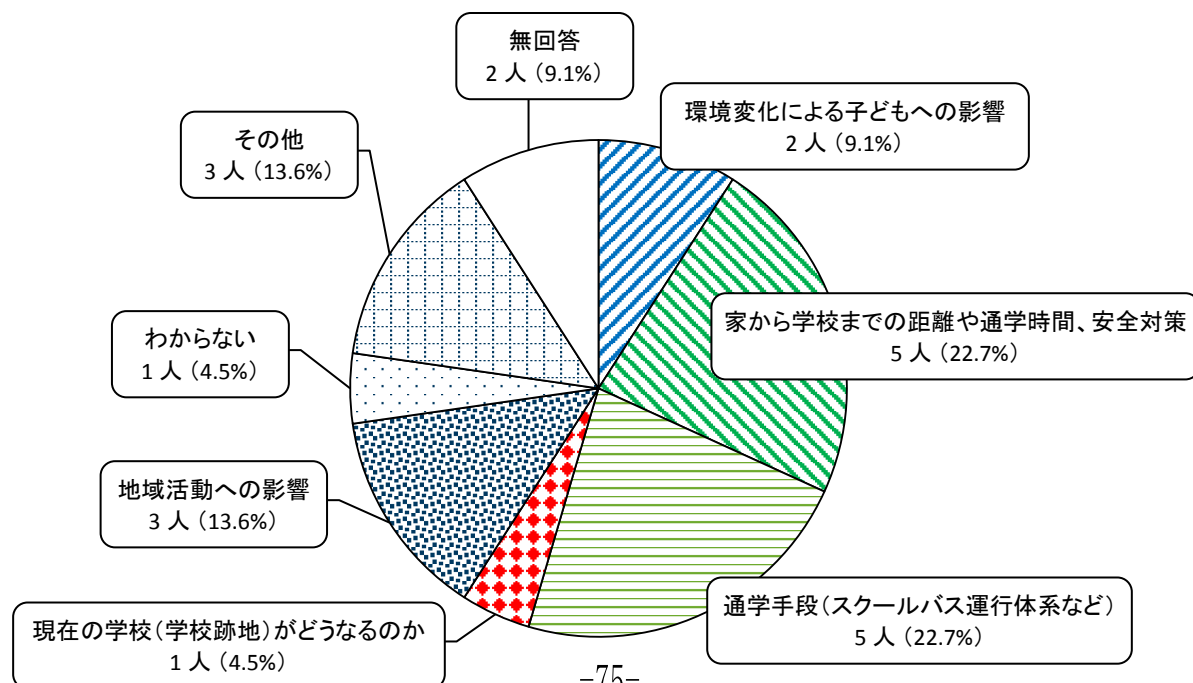
【問4】「学校規模の適正化」は必要だと思いませんか。



【問5】 開間地域と山川地域の小学校をそれぞれ集約する案は、開間・山川の両地域に小学校と中学校を残しつつ、過小規模校を解消することができる案です。この案についてどう思いますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。



【問6】 学校規模の適正化にあたっては、今後、保護者や地域の方と一緒に詳細を協議していくことになりますが、どのようなことが気になりますか。
※この設問は、問4で「必要」「どちらかという必要」と回答した方のみ回答しています。複数回答となっています。



【その他の意見と自由意見】

【注意】

ここに掲載しているご意見は、個人のご意見であり、可能な限り原文のとおり全文を掲載しています。ただし、個人の特定につながる表現等については、一部修正しています。

【問5】 教育委員会の素案に対するご意見および別な方法に対するご意見

○教育委員会の案に対するご意見

- ・子どもの数が減少しているので、この案で良いと思う。
- ・それぞれ、開聞、山川に学校を残す案はいいと思う。
- ・開聞地域で小学校を1つにするのはあってもよい。でも、説明や話している内容が何を言いたいのか、したいのかがいまいち分かりにくい。親として、自分の子どもが入学の時にどうなっているのかを知りたい。
- ・良いと思います。地域の皆様の理解と納得が進んだ気がします。
- ・現在の子どものことを考えたら仕方ないのかな。
- ・良いと思う。
- ・いつ実現できるかは分かりませんが、案としては良い案だと思います。
- ・地域のこと、子ども達のことを考えると、過小規模をなくすことも大事だと思います。
- ・一気に開聞・山川で一貫校にすると、反対の声が大きくなると思う。なので、まず山川・開聞と分けて、時間をかけて一貫校にしてもらえると反対の声も、そこまで大きくなりませんと思います。
- ・子どもたちのことを考えると良いと思う。
- ・これ以外の方法はないと思う。
- ・今後、少子化が進む中で子どもたちの学校生活、学力向上を思うと、合併は必要だと思う。
- ・子どもの立場になり、中学校になると、今は川尻・開聞と一緒にっていますが、小学校から一緒になるとプラスの面も多いと思います。
- ・一日も早く小規模校を解消するよう努力してください。
- ・少人数規模を早く解消してほしい。
- ・もっと早く、この案を提示していただき良かったです。
- ・大人が学校について考えている間にも、子は成長し、学校で学びます。できるだけ早く決めて、取り組んでほしいです。
- ・一日でも早くお願いします。
- ・早く進めてほしい。平成33年まで待てない。
- ・とりあえず決めてほしい。そうでないと質問も絞れないし、要望もしにくい。
- ・子どもが減っているので、開聞・川尻一貫教育になるのは仕方ないことだと思っています。難しいと思いますが、早い段階で一貫教育にするのか、しないのかを決めて、中身を決める時間にあててほしいです。
- ・子ども達のためにも早めの方がいいと思う。

- ・先には開聞・山川が1つに！
- ・徳光小に子どもを預けている保護者です。複式学級は避けたいですが、避けられない現状だと思います。話を聞き、小中一貫校を進めてもらいたいと思います。
- ・これから先、過小規模校が減ることではない。増える方向にあることは間違いないので、小中一貫校が望ましいのかなと思いました。でも、色々な保護者の負担が多くなるのではないかという不安もあります。
- ・早期の施設一体型の小中一貫教育を実現してほしい。
- ・同一施設を進めるべきである。
- ・将来にわたって、人口減少は続くと考えられるので、山川・開聞地域は一体型を進めるのが得策と考えます。
- ・山川・開聞地域を分離して、規模の適正化が実現できるのか。もっと将来性を考慮すべきではないか。
- ・将来的には、施設一体型の小中一貫校をつくっていただきたい。
- ・10年後を考えると、施設一体型の小中一貫校が望ましい。
- ・児童数は年々少なくなっている中で、早めの小中一体型の施設を要望する。
- ・地域ごとの集約はないと思いますが、開聞の川尻小、山川の利永小については更に数が減るので、山川・開聞統合でもよいのでは。
- ・施設一体型小中一貫校（開聞・山川統合）の新設を推進してほしい。
- ・最初から小中を同じ施設にすることも、検討材料としてみては。今後の対応として、意見を伺うためにも。
- ・33年は早いという声が多く聞かれるが、それを分かっているか、そうではないと思って分からないが、この素案を出している以上、上手くいくと思ってのことだと思う。開聞・山川をこのタイミングで1つに。
- ・中学校は、山川・開聞併せて1校が良いと思います。
- ・小学校の過少は解決されるが、中学校の適正規模に満たない。中学校での教科担任制への努力をお願いしたい。
- ・中学校については、教科担任を適正に配置できない（3学級未満）のままなので、それをフォローするようにしてほしい。例として、市の予算で技術の教育を持った人を雇用するなど。
- ・適正化することで、学生の学力・体力・協同性の強化ができると思う。
- ・4校を1校に集約した後、何年ほどを目処に小中一貫校にしていくのか、具体的な数字を知りたい。
- ・子ども達の将来を見据えて進めてもらいたい。
- ・全ての子ども達が平等な教育を受けられたらいい。
- ・両地域の特性を活かしながら、過小規模校を解消することは良いことである。今後なお、少子化が進行した際に論議すればいいのでは。
- ・開聞・川尻の既存校選定の会議等には、地域に丸投げしないで、仲に入って調整役の方などをうまく配慮していただきたい。
- ・現状においては良いと思うが、吸収合併か？新設か？が大きな検討課題である。

- ・今は三角。山川小は複式学級もあるので、統合については賛成ですが、具体的な場所や細かいことが決まっていない分、悩んでいます。
- ・学校跡地に児童クラブを。

○別な方法に関するご意見

- ・施設一体型の一貫教育が望ましい。分離でやるにしても、市内に一体型が1校あってもよい。
- ・中学校の再編が先ではないか・部活や教科担任制、課題を抱えているのは、小学校より中学校ではないか。当初の山川・開聞地域で1小1中案の方を推進してほしい。
- ・開聞小・開聞中・川尻小の3校を1校に。場所は開聞中で。
- ・山川・開聞地域の小中学校を集約する方法（施設一体型）当初案ではなかったのか？
- ・開聞地域で既存校を活用するのであれば、多少の改修は必要かもしれませんが、開聞中の活用できないものでしょうか。
- ・施設一体型の小中一貫教育がよいのではと思います。
- ・小中一貫校（同一施設）
- ・適正化は必要だが、見切り発進しない小中一貫教育も含めた全体的な適正化が必要だと思う。
- ・山川・開聞地域が1つになれば、なお良いと思う。
- ・開聞・山川に小学校と中学校を1つずつ。
- ・教育委員会の案で良いと思うが、どうせなら開聞・山川まとめてほしい。
- ・小学校1つ、中学校1つがよいと思う。
- ・施設一体型化小中一貫校。
- ・小中学校を同敷地内につくってほしい。
- ・最初から施設一体型で。
- ・施設一体型
- ・施設一体型を既存の中学校ではできないの？効率が良いと書いているし。登校では、大成の子どもたちも遠方ではバス利用。周辺に体育館やグラウンドがあるのは、中学の部活で。
- ・まず過小規模校の解消のため、川尻・徳光・利永合流の方法は考えられないか。その流れで。
- ・将来的には、旧指宿市・山川・開聞にこだわらず、将来の適正規模を目指した方がよいと思います。
- ・適正化は必要だが、一貫教育は必要ない。
- ・反対です。今までも少ない子どもたちの中で、いじめがあります。この案では、もっといじめは増えるだろう。いじめがなくなるのであれば、楽しい学校になるので、この案も賛成です。いじめをなくしてほしいです。
- ・開聞小・川尻小の再編は適正化規模にならないが・・・。また、統合になるということであれば、地域の不満も大きくなる。住民が納得する提案がほしい。
- ・学校のない地域は少子化が進みそうです。学校がない所に住みたくないです。学校は残し、生徒人数、特別に教科担任が必要な教科は、他の学校へ移動して授業に参加するわけにはいきませんか？

- ・小学校の数を4校を1ではなく、過小規模の3校を1校からでもよいのでは。
- ・将来的には必要になる時がくると思うが、地域が寂しくなるのも残念に思う。案については、すみませんが今は何も思いつきません。ただ、中学校の再編はいいと思います。小学校は残せないでしょうか。
- ・地域との関わりについて検討してほしい。
- ・地域にこだわらず、子ども達の通学時間と距離を考えた再編はどうですか。
- ・規模の小さな学校はそのまま維持し、通信回線を使った教育を行う。修学旅行・運動会等については、何処かの学校でまとまって一緒に行う。IT活用も進むのでは。
- ・適正化は必要と感じているが、子どもたちの発育教育を考えると、平成33年度を目処にスタートさせるのは、まだ早いと感じる。現在、子どもたちは自分たちの小学校がなくなると言って、混乱しています。
- ・適正化は必要ということに理解はあるのだが、川尻としては今のタイミングでの適正化はあまり望ましいとは思わない。川尻以外にも適正化として必要な学校はあるが、川尻はなぜ今のタイミングなのだろうか。
- ・33年に合併は早いのでは。もう少し時間をかけてもらえたらと思う。3～4年後は早いです
- ・大規模校になじめず、家庭的な雰囲気で学校生活を送れるよう、特別校制度も考えていただきたい。
- ・小規模校が本当に駄目なのか。

【問6】 学校規模の適正化にあたって気がかりなこと

○その他の意見

- ・保護者の都合ではなく、将来の子どもを考えてほしい。集結するのは適切だと思う。
- ・集約が必要とは思いますが、開聞小と川尻小を集約して、1学年2クラスにできるのでしょうか？学年によっては1クラスのままの所ができるのではないのでしょうか？
- ・賛成だが、中学生から小学生へのいじめなどの対策をしっかりとつくってほしい。大人の目が届かない所での出来事が心配。
- ・良いことだと思っているので、気がかりな点はありません。前を見ないと進みません。
- ・地域間格差解消のためなら、市全体の再編を熱望します。
- ・学校が地域からなくなることで、活気がなくなってしまうのでは。(新学校周辺に集中してしまいそう)
- ・もう一緒になると決まっている上での質問だと思います。なら、そう言った方が話が詰まるとは思いますが・・・。
- ・時期を具体的に。
- ・環境が変わってみないと、子ども達が何に不安を抱くか分かりません。
- ・放課後、学校を活用した活用方法を前向きに考えたい。コミュニティ・スクールを住民総出でつくっていく。
- ・それぞれの学校でのルールなどあるでしょうが、何処のやり方で運営していくのが心配。
- ・廃校校舎・敷地内に埋めたであろう、タイムカプセルの対応が気がかり。

- ・学校の負担。学習面では効果があると思いますが、校区が広がることによる負担は大きくならないだろうか。
- ・川尻小の先生方は子ども一人一人の個性、特性、正確をしっかり把握し、とても丁寧に対応していただいています。子どもの表情や行動に目を向け、いじめ対策としても注意深く関わってくれています。とても安心して預けることができます。学校としても、とても良い所だと思っています。
- ・友達の家遊びに行く手段
- ・今の学校も先生たちは子どもたちと話をし、楽しい学校にしたいです。
- ・私の地域に学校をもってきてと、それぞれ意見が分かれて、わだかまりができればよいが。
- ・どこの小学校にまとめるのか。

【問7】 その他、自由なご意見

- ・1年ごとにクラス替えができるようにしてほしいです。9年間も同じ面子では、不登校の子は学校に行く機会がなくなってしまうので。子どもたちのために頑張ってください。
- ・我が家の子どもは年中ですが、再編については早く実現してほしいと、ずっと思っていました。素案どおりでいけば、再編時は小学3年となります。途中での統合に心配もありますが、ぜひ早い統合を希望します。新しい校舎や小中同一施設を建てるまで待つことはできません。子どもに様々な経験をして成長してほしいので、小規模校でなく適正校へ向けて、早急に整備してほしいです。よろしくお願いします。統合が進まないのであれば、希望校区へ転入もやむを得ないとも考えています。ますます地域から離れ、地域が過疎化していく気がします。
- ・今、幼児を持つ親ですが、今の時点で同級生が数人しかおらず、複式だったら別な学校に行かせようと考えていました。知り合いの方も同じことを言っています。平成33年度からなら、いいのかなと考えているところです。後、学校集約の意見は地域の意見より、保護者の意見を優先してほしい。なぜなら、学校集約は子どものためにするから。まだ早くしてほしいです。
- ・どんなに合併していても、地区PTAということで、第3土曜日などに色々な行事を続けていけば、地域に子どもがいなくなるということはないと思います。開聞地区は少なくなっても、2年に1回、仙田地区の運動会もあります。そういうことを続けていくことを考えていけば、大丈夫です。平成26・27年に考える会としてお手伝いしてきましたが、その時にもこのような会を開催してきました。昔と言わず、その時から私たちは真剣に、家庭の主婦が時間を割いて出席していただくことも踏まえてほしい。その昔の会の時にも、意見を出してほしかったです。
- ・32年に小中一貫教育が導入されるのであれば、小中一貫校がスムーズと考えます。保護者・地域住民の理解を得ながら進めていくとのことでしたが、ある程度、教育委員会と市の主導で進めてもいいのではと考えます。スピーディーにお願いします。子ども達の将来がかかっています。小学校は児童数が多い方が、集団活動等のメリットも多いと思いますので、小中一貫校がベストだと思います。また、ふるさと学は必要ないと考えます。学力低下し

ているのであれば、低下している教科に時間を割くべきではないでしょうか。

- 本当は一貫校に賛成でも言えない時があります。「まさか賛成ではないよね？」と聞かれたこともあります。うちには反対署名の話はきませんでした。つまり、小さい子どもがいる家庭は、賛成が多いと分かっている、反対署名が多いと言うのはおかしいと思います。しかし、逆に自分達で賛成署名を集めるとなると、「あの家は・・」と集落で噂されるのではないかという不安があります。一貫校になるのに数年かかるなら、集落内の通学路に、緑のラインと赤いポールを立ててほしいです。直線でスピードを出す人が多く、小さい我が子が通うのはとても不安です。
- 過小規模校の運動会を見に行きましたが、保護者応援も少なく、子ども達のかげっこも1学年4人ずつで2組などで、すごく寂しく感じました。行事なども、たくさんの人数で実施した方が盛り上がると思いました。
- 複式学級になったらと思うと、とても不安です。
- 子どもがクラスの子に無視されたり、意地悪をされていても、少ない人数の中でクラス替えもできず、逃げ場所もなく耐えるしかないのが現状。学校に相談しても解決もできない。学校に行きたくないと言っている。小規模のデメリットがこれだと思う。早く、この小中一貫教育を進めてほしい。勉強したいのに、友達が意地悪をするから学校は嫌だと言っている。反対が多いからと言って省かないでほしい。希望者は入れてほしい。子どもが学校に行きたくないと言ったら、教育も何もならない。無記名投票してほしい。少人数だから子どもに目が届くというのは違う。先生の技量。少人数でも、先生のレベルが低く全く目が届いていないし、学力も低下している。先生の子どもたちへの接し方のレベルが低いので、もっと上げてほしい。PTA活動など親の出方が多く、母親も仕事をしている中で、とても大変。賛成なので進めてほしい。
- スクールバスに買い物難民（通院難民）の方たちを乗せていただけませんか？何事も決める事は必ず反対と賛成はつきもの（空港等の開港）であるが、結局、後で考えると上からのやろうと始めたことになってしまう。中学校の時も多分このような会合があったことでしょうが、今は開校中で立派に運営している。だから私は、皆様のお考えに大賛成です。遅くまでご苦労様でした。質問者の言いたいことの意味がさっぱり分かりません。時代の流れを感じました。自分の立派だけ言っているみたい。「空樽程よく響く」
- 児童の減少により、統廃合もやむなしと思います。子ども達がよい環境で勉強できるよう、十分検討いただきたいと思います。
- この地域を過疎化させないためにも、小さな学校にするのではなく、大きな学校を近くにおいてほしい。賛成意見が言いにくかったです。
- 少ない人数だと6年間ずっと同じ友達なので、トラブルやいじめがあった時は、逃げ場がないので困っている（現在です）。なので、教育委員会が示した案にしてほしいです。
- 小学校を統合する場合、通学手段が大きな問題にもなると思います。例えば、スクールバスを運行するとしても、部活をする場合は親が送迎となると、なかなか難しくなると思う。現在、自分が育った地域では児童が少ないので、便利で児童数も多い指宿市内で子育てをしているという人もいると思う。そういう人にとっては、学校が統合になることで、親元にも戻りやすくなるのではないかな。

- ・仰っているのは「小中連携教育」だということが分かった。まず、適正化についてですが、学校がなくなるから過疎になるのではなく、過疎になるから学校の必要がなくなるのです。言うまでもなく社会力学です。小中一貫教育については、子どもたちは柔軟に対応して、今と何ら変わらない状況が出来上がるから良いではないでしょうか。
- ・意見を聞きすぎて、前に進まない感じがする。市の英断で進めてほしい。それができなければ住民投票を。
- ・住民の意見を聞いていたら、まとまらないので、小学校の合併をどんどん進めてください。
- ・PTAではなく、PTCA（コミュニティ）という考え方を取り入れる。再編は新しい望ましい学校をつくるチャンスとなる。徳光小跡地をコミュニティセンターとして整備して、住民の集いの場として活用する。
- ・学童（放課後児童クラブ）についても、しっかり検討してほしい。前の説明会などでは、合併に10年かかると言っていたのに、4年後に合併というのは保護者として有難いです。今日来られている方、保護者も同じように早く合併してほしいという意見が多いです。今回の説明のように、子どものためにも早く進めてくださると助かります。
- ・早くしてほしい。先生も大変だが、人数が少ないと親も大変。（役職）
- ・早く進めてほしい。
- ・複式学級の解消のためにも、早期実現を目指す。
- ・一年でも早く実行してください。
- ・今いる子、これからの子のために、早急に実現を！
- ・ふるさと教育は素晴らしいと思いました。目指す子ども像は設定しない方が良いと思いました。それを考えることは、とても良いと思います。タイミングとしては遅いと思うので、スピード対応でいいと思います。
- ・小学校の集約ができないのに、小中一貫校ができるのか不思議に思います。子ども達のためには、早い統合が必要だと思います。
- ・資料添付し、それに沿って説明していただければ。問6の子どもへの影響、安全対策、通学手段は必要ないように対応してくださるのは当たり前、当然のことなので気がかりではない。気がかりにならないよう、準備されるのが大前提です。開聞・山川を今、一緒にすることはできないのか？十数年後に、どうしても一緒にせざるを得ないと思うが、それを「今」できないか？複式は子どもたちも、担任も大変だと思う。親も毎日、不安。
- ・当たり障りのない返答しかない市役所の方々にがっかりです。だから、何度も説明会をしても人が集まらないんじゃないですか。もう少し早く、この素案を（山川小規模校を1つにする案）考えてほしかったです。4年後は、まだ子ども達は少なくなりますよ。
- ・予算の問題もあるが、最終的には、施設一体型の小中一貫教育が望ましいと思う。
- ・施設分離型よりも同じ施設の方が、一貫教育は進むと思います。距離が推進を遅らせるという短い時間で、山川・開聞の1小1中一貫校の建築をしないのであれば、開聞小の辺りに開聞小中一貫校を建築してほしい。開聞地域は3校とも古い。既存校を使うのであれば、津波や開聞岳噴火を考えると、開聞小だと思う。ただし、校舎は古い。将来的に山川・開聞地区1小1中新施設の建設を考えているのであれば、33年度の開聞小・川尻小の合併は、予算・時間的に無駄である。

- ・山川・開聞一体となって、早く小中一貫校を実現してもらいたい。
- ・山川・開聞の地理的状況を考えると、将来的には一体化してもいいのではないかな。スクールバスの運行も容易であると考え。
- ・早く開聞・山川地区の統合を進めるべきです。がんばってください。
- ・親より、子どもにとって何が大事かを考えて進めてほしいです。山川・開聞で1つに。
- ・教職員の負担が増える→教職員・学校が混乱する→子どもが混乱するとなるような気がして、とても不安です。施設分離型の状態で、前期（4年）・中期（3年）・後期（2年）という小中一貫教育は無理ではないか。長期的に考えると、山川・開聞地区一体の学校再編が必要だと思う。
- ・地元にある学校があるから、郷土芸能や行事の伝承ができるのではないかな。更に発展・充実が難しいのではないかな。少し時間がかかってもいいと思うので、施設一体型でスタートしてほしい。
- ・既存校の利用となると、どちらも気まずくなる。（校歌など）痛み分けだと理解を得られやすい。施設一体型の小中一貫教育で、最先端の施設、整備でみんなが羨む学校をつくっていただきたい。
- ・中学校は合併しないのか？今でも1クラスしかなくて、部活動の種類も少なく、子ども達の選択技も少ない。高校進学に向けて、もう少し大人数の中学校がほしいです。小学校は開聞地域、山川地域の1校ずつでいいと思うが、せめて中学校は開聞・山川で1校というのが良いと思います。小中一貫と合併の話は別々にしてほしいです。
- ・中学校が早く統一してほしいのですが、全く案はないのでしょうか？今まで聞いた説明（案）が同じだったので、新しい話を聞きたかったです。決定のお話をするのかと思っていました。
- ・現在、中学校で先生が専門以外の複数科目を、ストレスを抱えながら教えていることを考えると、統合して、きちんと専門の先生に指導をしていただければ良いことだと思います。先生にとっても、生徒にとっても、それ以外のことではまだ考えなければいけないと思います。
- ・まず、中学校を再編したらいいと思う。
- ・中学校は統合して教科担任が整い、たくさんの異なった考えの中で、切磋琢磨しながら教育を受けられる方が良いと思います。小規模より大人数で好きな（やりたい）部活動に入って、意欲的に活動できるでしょう。しかし、小学校は地域の中で育みたいですね。子どもは地域の宝です。通う学校がなければ、若者は田舎に住まなくなり過疎化は急激に進んでしまいます。どうか伝統ある川尻小を残してください。少なくなって存続できる方法をみんな考えてみましょう。
- ・小学校よりも、特に中学校の集約を進めてほしい。
- ・中学校だけ統合、小学校は残すべき。校区が寂れるし、若者がいなくなる。
- ・これまで2回、学校づくりの説明会に参加させていただきましたが、年配の方の反対意見が強く、子ども達のことは考えられていないように感じます。今、子どもがいる親のみを集めて、説明会を開くことがいいと思います。
- ・子どもの意見を聞いてみたらどうですか？子どもも子どもなりの考えがありますよ。「友

- 達が増えるからいいじゃん」と、こんな意見があれば、それが全て。大人があーだこーだ言うことではない。反対理由も大人の都合。教育委員会は教育のプロ。黙って従うべき。
- ・小学生の父母の話をもっと重視してほしい。
 - ・利永小の保護者の意見はどうなのかな。
 - ・子ども中心に考えてください。
 - ・学校がある以上、そこには子どもがいるということ。子どもの思いを無視した運営はできない。
 - ・少子化の中、大きな問題はないと思う。当然の事、地域の理解が大事。
 - ・方向性を早く決めてください。言い方があやふやで、どうとればよいのか。
 - ・これから小学校へ入学する子どもがいる保護者、子どもよりも既に入学している子ども達、保護者へのケアを大切にしてほしい。また、小学校編成によって、廃校となる小学校から移る子ども達、保護者の立場を十分に理解していただきたい。
 - ・市議会で議決されなかったら、どうするのか。
 - ・教育委員会の案に対する、現在の教職員の意見が聞きたい。現在の子ども達を救う手立て、今すぐに対応してほしい。教員を増やすなど。子ども達の意見も聞かないのか？数年で大成小に行くのかと不安になっている。精神的な不安がたくさんあるので、もっと細かく説明してほしい。
 - ・教育現場からの意見が聞こえてこない。教職員が減ることに対して、意見はないのか。意見を言える立場ではないということなのか。
 - ・複式学級で構成される場合に、専門教科の教職員不足。
 - ・いぶすきふるさと学は必要ですか。
 - ・いぶ好きふるさと学に、児童生徒へ鹿児島弁の良さを継承すべく、鹿児島弁講座をつくるべきである。
 - ・教育委員会の素案はよいと思わない。いずれは必要だと思うが、4校を1校にしなくてもいいのでは。現在、徳光小・利永小・山川小は交流をしてくれているので、その3校をまずは一緒にするなど段階を踏んでほしい。
 - ・現在の教育環境には満足しています。この裏側にあるのは、市の財政状況もあると思うので、現在の費用を1つにまとめた時の費用の数字を、資料に入れていただけたらいいと思います。
 - ・池田小も同じように柳田小へ（山川・開聞だけでなく）。分離型で統合されても、今、問題になっていることが全て解消されるとは思いません。山川小の保護者の出席者が少ないのに驚いています。どのような考えなのでしょう。複式学級は教員の数を増やす→学力低下はないと思う。
 - ・スクールバス等の運営費等、費用の負担が保護者へ過大にならないようにしていただきたい。現在進行形で、地域に人がいなくなる状況です。各家庭、子育ての負担を減らすために。市内へ移る家庭がないことを願っています。
 - ・成川の保護者の意見にあった、スクールバスに乗り遅れたら等、親が対処できなければ、他に何か、子どもがそれで学校にいなくなる等ならないように、考えていかなければならないと思いました。

- ・当面は新設の校舎を設けないと言うのであれば、集約した既存校への耐震化補強をしてもraitたい。
- ・小中一貫教育を32年度から、規模の適正化を33年度からとなっているが、なぜ一年ずれているのでしょうか？同じ年度からでいいのでは？また、たった3年しかなく準備ができるのでしょうか？もっと時間がかかると思います。大成小に集約する場合、トイレはボロボロで、校舎も雨漏りだらけという状況にあり、改修は確実に必要になると思います。費用面は大丈夫でしょうか？
- ・山川地域で中学校統合後の住宅建設状況、各地域（小学校区）について調査し、公表してほしい。
- ・地域活動において、学校で評価していただければ、子ども達の参加も増えるのでは。
- ・具体的な数値（不登校・学力）を、指宿地区・山川地区での差を出してもらいたい。
- ・いじめや不登校などの問題を言っていたけれど、一緒にしたからといって、それが減るとは思えない。むしろ、少ない人数の中で、先生が一人一人と向き合えるような学校生活の方が、子どものためにはいいのではないかなと思ってしまった。
- ・平成27年度のアンケートのみで動いているのか？誰にアンケートをとったのか？山川・開聞だけというのは説明が不足している。利永の署名運動の話は、結局なぜ、どうなったのか答えを言わなかったのか？
- ・子どもの数が少なくなり、地域のコミュニティの中心になっていた小学校の集約は、指宿に限らず、今の日本の大都市部（東京・大阪・博多）以外の地域では、共通する課題です。私はUターン者ですが、大自然に育まれた子どもたちの感性は、都会に育つ子どもたちよりは恵まれたものなのか？しかし、インターネットが発達し、情報の氾濫する現代子どもたちの、それらに対する感性は都会も地方も同じです。もちろん悪影響も・・・時代の流れから、市から説明のあった「小中一貫教育」は、ほぼ理解したつもりです。そして近い将来、施設分離型の小中一貫教育から、施設一体型の小中一貫教育になっていくのは仕方ないというより、当然の方向だろうと思います。ただ、その時、地域住民は地域の子どものを育て、文化を繋いでいく支援と、自分たちのやらねばならぬことは何かを考えなければいけないと思います。ただただ「地域から小学校がなくなる。なくなっては困る。」という思いだけでは、前に進めません。時代の流れをつかみ、地域の住民として一人一人が何ができるのか。しなければならぬかを考える時です。今回の説明で、市が目指す小中一貫教育の目玉として、小学校低学年から年間15時間の英語教育の導入を自慢げに説明されたが、年間15時間に子どもたちの英語力がつくものではありません。英語力は日常化です。今のお父さん・お母さんも、どの人も日常英語は習いました。家庭で「サンキュー、グッドモーニング、グッナイ」を普段から言うことが大事です。
- ・話は難しい。子どもたちは大丈夫でしょうか。まず、いじめをなくしてほしい。いじめられる親は何も言えないです。今の子どもたち、親は反省の気持ちはもっていません。いじめられている家族は大変です。心を痛めています。いじめる親、子どもは強くて何もいえないのが現状です。いじめている子どもを見て怖くなります。いじめられている子どもの心はズタズタです。
- ・放課後、子ども総合プランの実施。指宿市も、学校内での学童に取り組んでほしい。

- ・小学校から中学校になる際に、一貫でないと、複数の小学校区から集まることでの環境の変化でギャップがあるから、小中一貫というメリットは分かりました。ただ、小学校を統合(?)する時に、環境の変化が大きいと考えられます(複式学級の所から、新学年でいきなり人数が増える所に行って、うまく溶け込めないこともありそう)。その世代だけ耐えてもらうのか、何か方策があるのかということも知りたいと思いました。
- ・より厳しい世の中に立ち向かっていける、子どもたちの育成のためにコミュニティ・スクールと、なるべくこれからも活力ある指宿市の教育と文化の創造を、よろしくお願いいたします。一步一步の積み重ねが大切だと思います。
- ・説明会では指宿市の財政については、ほとんど説明がなかったが、一市民としては市の財政が大変気になる。学校再編には、市の財政面は関係ないのか。そこをもっと知りたいと思った。開聞小と川尻小が一校になっても、1学年1学級である。複式学級は解消されたとしても、一人一人を大切にした教育活動がなされるのか疑問に思う。また、教師の負担は大きくなるのが目に見えているが・・・どのように考えているのか説明不足であった。児童生徒が今後減少していき、建造物にしても老朽化が進んでいくので、近い未来、統廃合は避けることはできないと思う。もう少し時間をかけて話し合い、考えていくことが必要ではないか。
- ・様々な統廃合・加配などの取組には、金銭の問題が関わってくると思うのですが、いかがでしょうか。説明では触れていませんでしたが・・・市は教育以外の施策もされており、それら様々な施策の中の一つとして「望ましい学校づくり」計画だと思うのですが、その点については説明の分かりやすさのために、あえて触れなかったのでしょうか。
- ・市町村は単に教育コストの面から学校統廃合を進めるが、学校をなくすことは防災福祉など、地域維持コスト全般を上昇させる可能性がある。目先のコスト減にこだわるあまり、そのことに考えが及んでいない。統合して、また人口が減り児童数が減ると、また統合するのか？これこそが児童に対する精神的負担になるのではないか？統合して学校がなくなることにより、建物だけが残る不良債権になる(このことは空家問題にも連動してくる話だ)。小規模は、それなりに良い所がたくさんあるはずだ。良い点を見つけて、それを伸ばしていけば、まだまだやれるはずだ。
- ・段階を踏んで適正化していく案だが、まだ開聞・川尻小連携で、しばらく様子は見られないものだろうか。3年後はまだ早い気がする。
- ・現在はこの案でしょうが、32～33年に出生率を見て、少なくなる場合でも方向性は変わらないのか。私の子ども会も、子どもは3年後は半分になります。32年には6年後の入学生の数も分かるのではないのでしょうか。
- ・解決すべき問題をもっと整理してからでも問題ないと思う。期限にしても、もう少し先でも良いのではないかと思います。
- ・とにかく影響を受けるのは子ども達です。時間をかけて、じっくり課題の対策をしてから実施してほしい。
- ・児童生徒数の減少の現状を考えると、過小規模校を解消することは仕方ないことだと感じるが、「平成33年度を目処に」と、とても近い将来の話になり、奨学生の実保護者として非常に戸惑いを感じています。昨年度までの説明では「決定してから10年後に」と理解してい

たので、急に動き始めたなと思いました。新聞で内容を知ると、寝耳に水という感じで不信感が生まれます。新聞報道の前に説明がほしかったです。

- ・平成33年度の再編は早すぎると思う。もっと保護者の声を聞いてほしい。
- ・「今の在校生のために」と何回も言っているが、今の在校生達は4校を1校にするのは望んでいないと思う。後3年間で、全てが決まるとは思わない。少しずつ決めて、全部決定してから合併していいと思うし、33年度というのはあまりにも早すぎる。小中一貫を新設した方が、子ども達は喜ぶと思う。徳光小に通っていて、3年後にどこかに転校となれば、なぜ？という気持ちが出てくると思う。
- ・まだ先だと思っていた小中一貫が、3年後ということで驚いています。「少ない人数ならでは」の良い所もありますし、多い人数で学ぶこともあるので難しいのですが、母校がなくなってしまうのは、やはり少し寂しいです。学校跡地も有効活用していただきたいです。
- ・あまりにも急ぎすぎではないか。
- ・今ある施設を使うとなると、大成小になる可能性が高いと思うが、私達が大成小へ行くとなると、吸収される側で、大成小校区は迎える側となり、子ども達にとっては肩身の狭い気持ちになってしまうので、新しい校舎をつくってほしい。年に数回の協議で、本当に平成32年度からスタートできるのか、案がしっかりまとまり、子ども達に負担にならないのか不安。子ども達がもう少し少なくなってからでいいのでは。ふるさと学習は、地域でのことを詳しく学習するのは難しいと思う。
- ・子どものことを考えると早いと思う。
- ・小中一貫校になるという話が周りであやふやな形で噂になり、決定という意見や、まだという意見も聞きます。10年先という話でしたが、いきなり33年度からは早いのでは。自分達の学校がなくなると思うと、とても寂しいし、小中一貫校に対してもとても不安です。良い方に向かってくれるといいのですが、通学や安全面、その他の影響が怖いのが本音です。何もかも不安だらけです。使わない学校は、きちんと活用できるようにしてほしい。地域から見える学校を残してほしい。説明会については、託児スペースを別の部屋にするなど、もう少し考えてほしい。大事な時に聞こえなかったのだ。
- ・説明を聞いて、急ぎすぎる感じが、ますます強くなりました。急ぎすぎることで、どこかに大きなしわ寄せがきます。時間的余裕はまだありそうです。廃校跡地の利用や地域づくりも合わせて考えていく。過小規模校の解消でなく、過小規模校に特別措置で教師を配置することも考えていただきたいです。小規模校のメリットもあると言われましたし、高齢化が進む本地区において、学校の果たす役割は大きいと思います。未来の納税者を丁寧に育てる教育の発想はないのでしょうか。3年という短期的に準備された学校で、望ましい教育が行われるとは思いません。
- ・後3年、時間がなさすぎる。
- ・平成33年度から小中一貫教育をつくることを目指して、説明会を開催しているようだが、あまり早急ではないか。他市町村の経緯も含めて、じっくり検討する必要がある。
- ・平成22年度の学校環境整備計画をよく読んでいただきたい。当時の方々は、1学級の人数、対応年数がくる5年前に整備をすること等も言われている。良い所どりばかりしないほしい。住民の理解（PTAも含め）を得るには時間が短すぎだ。どうして、こうも急ぐの

- か。良い教育を行いたいのであれば、じっくり、ゆっくり丁寧に教員の環境づくり、子どもたちの心の育ちを考えていただきたい。早急なこの案には反対いたします。
- ・現状のままで、特色のある過小規模にすれば良い。時期が早い。現状でよい。
 - ・反対意見が少数でも、反対の熱意が強いと感じましたので、平成33年というのは難しいと思いました。もう少し時間をかけて議論が必要。子どもたち自身はどう感じているのか？今、行っている小小連携教育をしばらく続けて行っは？十数年単位で考えると、小中一貫校にならざるを得ないのかなとも思いました。部活動などで。
 - ・絶対反対。
 - ・過小規模校にも良いところがあります。
 - ・ある程度の計画が必要であると思いますが、30年度、33年度と年度を区切られると、早急かなと感じました。小学校1校になるのは、将来的には必要かなと思いましたが、施設分離型の小中一貫校との同時説明に、良さをあまり感じられませんでした。（さらなる多忙化に繋がりそうです。）まだまだ、地域に小学校を残してほしいと望む地域住民は多いです。小学校統合も大きな課題があると思います。
 - ・施設分離型小中一貫教育を実施する方向ということですが、施設が離れていて、有意義な教育ができるのだろうかと思います。施設一体型では毎日共に過ごし、行事・授業等も共有しやすいので、前期・中期・後期、特に中期の小→中への過期での、児童の不安・ギャップ等には効果があるのではと分かるのですが、分離型では表面上の教育法になってしまうのではないかと思います。先生方への負担も心配です。ただでさえ多忙な上、小中一貫により、連携以上に小中の行き来や、授業も増えるのではないかと思います。
 - ・教育・学校の課題は多岐にわたります。そうした中で、現実には迫られている問題に対処するための市としての答案作りの努力。それも住民から合格点のもらえるようなものを感じつつも、この市における教育充実のために、どれほどの人・金・モノ、そして情熱を注いでいるのか、よく分かりません。まず、市の子ども達の成長・発達の筋道や課題に即して、解決策が立てられなくてはなりません。地域に根ざすとか、地域の文化を支えるとかの課題も、子どもの側から考えて組み立てられるべきです。資料8ページに子どもの発達が早まっている、だから4－3－2年制なのか。今の子ども達の社会的成熟は、むしろ退行しているのではない、そして学力もです。教育の質を上げること、それが第一です。
 - ・「どちらかという必要であると思った」という回答を、さも「賛成」「今すぐ再編を望んでいる」という解釈で取ることはやめてもらえませんか？前回の説明会もそんな感じで、開聞地区の人は小中一貫、山川開聞の再編を望んでいるとなっていましたけれど。閉会時間だからと終了しましたが、まだ挙手をされている方もいらっしゃいました。それでも、教育委員会の方は十分に説明会を行いましたと、報告されるのですよね。以前のように。お陰様で教育委員会・市議会のホームページをよく見るようになりました。
 - ・「望ましい学校づくり」と言うが、誰が望んでいるのか分からない。子ども達は望んでいないのに。話を急に進めすぎではないか。地域の伝統行事等、発展・充実どころか、難しくなると思う。全学年が複式学級になるようなら納得はいくが、今のところは賛成できない。
 - ・徳光小は特色ある良い学校です。不登校や中1ギャップが多いのは、指宿地域です。なぜ

指宿ではなく、山川を潰すのか訳が分からない。今日の説明では、一貫教育が子どもに与える悪影響が多いと思う。こんな案が出るなんて。教育の体制が整っていないのに、子どもはどうなるのか、教育委員会事務局は無責任である。できる所からなんてあり得ない。子どもに責任をもつべき。具体案がこれからの協議なんて。

- ・ いじめ・不登校者が増加してしまうのではないのでしょうか。今のままでいい！
- ・ 現在、全国より学力が低いのに、適正規模にすることで教科が増えて、どうして学力が向上すると説明する理由が分からなかった。また、どの説明に対しても、大まかな想像のような印象しかなかった。具体的に、先に小中一貫教育を行っている先進地では「こうなっている」という話が聞きたかった。4年間で統廃合するには、明らかに不平等な決まり方になる恐れがあり、子ども達の環境は悪くなると思う。
- ・ 地域に学校を残してほしい。子ども達が自分で歩いていけることが大切だと思う。小規模校の課題を話されましたが、人数が多いからといって、子どもが十分に自分を表現できるというものではないと思う。
- ・ 小学校は必要である。再編は反対。ぜひぜひ残してください。
- ・ 反対です。
- ・ 小学校は必要である。再編は反対。ぜひ残してください。
- ・ 過小規模校を解消する必要性を感じない。小さな学校、小さなクラスの方が教育効果が高いという研究結果もあるようですが、適正規模が必ずしも良いとは限らないのではないのでしょうか？複式学級にする必要もないのではないのですか？複式などにならないようにするのが、教育委員会の仕事ではないですか？
- ・ 若者が住まなくなり、地域の活気がなくなるから小学校は必要。若者が学校の近くに移住したり、過疎化が進むから、小学校は残してほしい。再編は反対。
- ・ そのまま残してほしいです。
- ・ 小中一貫教育として9年間を通して指導すると言うが、今までの教育を否定するのか？「ふるさと学」と言うが、今までとどう違うのか？英語の学習の時間を増やすと言うが、日本語の学習を通してできないのか？県の教育委員会の意向はどのようなものなのか？統廃合反対。学校存続を希望。
- ・ 小学校の再編は反対です。示した案は、とてもよくない。学校規模の適正化は必要ない。
- ・ 正直な話、がっかりとしか言いようがありません。もっと確実に質問が答えられるような状態になってから、再編を語ってほしい。なくすことばかりを考えて、残すことも考えないで、こういう場を設けないでほしい。小学校をなくしてはならない！この1点です！
- ・ 地域の小学校は存続してほしいです。子どもが自分の住んでいる校区に、自分の足で通うことはとても大事なことだと思います。地域の中で、子どもを育てることだと思います。子どもは自分で学ぶ力をもっているのに、過小規模校の良さ、極小規模校の良さを伸ばして、地域とともにある学校がいいと思います。もっと学校再編について検討すべきだと思います。中途半端の再編は、一番子どもが困ることですね。
- ・ 開聞小と川尻小が統合すれば、望ましい適正人数にはならない。1学級で変わらず、人数は40人前後になる。複式学級（指導にも）利点はあるのでは。
- ・ 必要はないと思います。子どもたちが、いじめのない元気に健康に育つのが一番よいと、

- 親としては一番に思います。子どもたちのこと、よろしくお願いします。平均しているクラスとかが一番良いと思います。あまり大きな学校というのも、いかがかなあと思います。
- ・地域に小学校はぜひ残してほしい、その一言です。
 - ・残してください。
 - ・学校をなくさないでほしい。
 - ・最初から教育委員会で決められた案を話しているだけで、川尻の地域のことは何も考えていないと感じた。みんな、川尻小がなくなることに対して話し合いたいのに。適正化は必要ではないと思う。そもそも少ない人数でも、子どもたちや地域の住民が過ごしやすければ、現状維持が絶対いい。
 - ・学校規模の適正化には反対です。
 - ・「子ども、子ども」と、子どものためと言いながら、子どもを置き去りにした、お金中心の施策に信用をなくしました。
 - ・不登校や学力低下は、子どもが少なくなっているからということだけではない感じではないか？小学校で不登校やいじめの環境にあった子が、中学校になって新しい出会いがあることで、変わるチャンスにもなるのではないか？9年間、同じメンバーで過ごすデメリットもあるのではないか？
 - ・今の問題として、多くの意見を大切に議会へ話していただければと思います。先生と連携して、良い教育が今でもできているのではと思います。
 - ・出席者が大変少ないのに驚いた。開聞中では、明日がバザーで準備があり来られない方が多かった。事務局の姿勢に疑問を感じた。よく分からないこの案は、もっと具体性がないと不安が増すばかりです。この案には反対します。もっと子どものことを考えてください。
 - ・小中一貫校案は当分の間、凍結にしてください。全く教育上の効果が分からない（分かっていると思いますが、その分かっていることを、無理に分かったつもりに従っているように思います）。
 - ・息子夫婦が開聞に住みたいと、3年前に指宿に帰ってきた時、話があったが、今、これから先の子どものことを考えると、住みづらくなる。小学校のことを考えると、難しいと反対の言葉が聞かれ、土地探しをしていたが、指宿市内を探す状況です。私としては、開聞に住んでいるので、学校をつぶさないでほしいと思います。地域のためにも、若い夫婦が思いとどまる地域であってほしいです。
 - ・地域の過疎化が進む。
 - ・地域から学校がなくなるとするのは、過疎化に繋がると思う。小学校が開聞に移動した場合は、現在、川尻に居住している子どものいる若者が、他の大規模な学校がある地域に出て行くのではないかとと思われる。これらのことから、現在の学校を残してほしいと思います。
 - ・学校再編に伴い、地域の過疎化が進む。
 - ・過疎化に拍車がかかる。反対。
 - ・学校がなくなることによって過疎化が進み、町の活気がなくなってしまう。
 - ・子どもの学力低下も心配。学校がなくなると過疎が進んでしまう。若者が地区を離れていくことが心配されるので、絶対反対です。学校は残すべき。残すほうでしか考えがない。

- ・小学校は必要である。再編反対。地域の過疎化が進み、活気がなくなる。
- ・国の小中一貫教育の計画に合わせて、指宿市の教育事情が大きく変わることは理解できますが、この地域に住む者としては、小学校がなくなることによって過疎が進むということが気がかりです。小規模校でのデメリットもよく分かりますが、地域が活性化していけるように、将来、子どもたちがこの地域で暮らしていきたいと思えるような学校づくりを目指してほしいです。
- ・川尻小、開聞小の両校を存続させてください。小学校がなくなると、過疎化は確実に進みます。子どもたちが本当に望んでいるのでしょうか。
- ・学校がなくなること、地域の過疎化（地域が死ぬ）が進むという不安はあるので、今後はその代わりに、行政が何かできるかを示すことが必要だと感じた。お疲れ様でした。
- ・時代の流れで、確実に子ども達は減っているので、いずれは再編ということになることは理解しています。地域に学校がなくなれば、子どもの数はますます減って、過疎化が進むのではないかとすると、寂しい気持ちもあります。人数が多くなることによって起こる（子ども一人一人に目が行き届きにくい）いじめや、子どもの気持ちの不安定化について、対策を徹底してほしいと強く思います。
- ・貴重な意見ばかりでした。やはり小学校がなくなるのは非常に寂しくなります。
- ・学校がなくなると、子どもたちの元気な声が聞こえなくなり、活気がなくなるので残してほしい。
- ・難しいことは理解できたが、村から子どもたちの声が聞こえなくなるのはやはり寂しい。
- ・小学校が地域コミュニティの中心であることの点が検討されていない。
- ・平日の地域行事などへの参加ができないのではないかと。地元には小学校を。
- ・小学校は地域の維持、活性化にも絶対必要である。教育を楯に地域の切捨ては止めていただきたい。行政として地域振興策を検討していただきたい。小学校の統廃合は絶対ダメ。先んじてという話であったが、課題や反省もあるはずなので、先んじる必要はない。
- ・地区に学校は必要です。なくなるのは、どうしても嫌です。小中一緒だと、いじめも心配です。
- ・21～27人は小学校では多い人数だと思う。それは少人数でも立派に、それぞれの分担をして行事もこなしている。21～27人は意見が多く出るかもしれないが、流されやすい子もいる。その点、少人数は意見をきちんと伝えて実行することができる。故郷を教えることで、地域の一環としては、どこでどのようにして教えるのか。町内にいてこそ、地域一体となれ老若やっていけるのでは？老人が排除されていくのでは（移動がしにくくなるのでは）。人数が減っていくのは全国的で、指宿だけではない。
- ・誰も、自分の母校がなくなことは良しとは思いません。反対意見がでことは当然のことだと思いますので、「教育のため」「子どもたちのため」それは当たり前です。学校組織を再編することで、教育面以外でのメリットが出るように、市長部局と連携していく必要があると思う。小規模校、過小規模校を解消するためには、統廃合しかないと思います。統合されることについてデメリットしか見えていないし、実際にそうなのかもしれない。教育委員会の職員の勉強不足も随所に見られたので、しっかりと調査研究する必要がある。これでは市民は納得しないと思う。

- ・少子化が進み児童が減り、学校規模の適正化を進めていかなければならないとは思いますが、現在、小規模校でも小規模の良い所もあります。教育も今は行き届いていると思います。運動面とか競争力が心配な面もあるが、それは学校交流で解決できないのかなと思います。もう少し、子どもの育てる環境の改善。子どもを産める環境を整えることも大切ではないでしょうか。学校がなくなれば、地域はもっと廃れていくのではないのでしょうか。学校をなくすのは簡単ですが、地域のことをもう少し考えてほしいです。急がず、ゆっくり検討してほしいです。小学校は各地区残すべきだと思う。急ぎすぎず、もう少しいろんな地域の例を検討すべき。
- ・年数回だけしかない老人クラブ会員との学校ボランティア（運動会も含め）が、小学校がなくなったら高齢者の楽しみが消えるような気がする。子どもたちの笑い声、遊び声が聞かれない。声がなくなれば寂しくなる。
- ・地域に小学校がなくなれば、若者が地域に定住しなくなり過疎化が進む。子どもたちとの交流の場なくなる。地域に活気が感じられなくなる。よって、小学校の存続を求める。
- ・若い世帯がなくなり、地域の活気がなくなる。過小校の問題はあるが、メリットの方が多い。小学校は必要と思う。小学校は地域活力であり、中核であると思う。再編の問題より、川尻小・他地域の小学校に安心して、快適なエアコン整備等をきちんとすれば良いと思う。
- ・2小学校を1校にするのはダメ。川尻が廃れる。活気がなくなる。
- ・地域に学校がなくなるのは、地域が廃れる。反対。
- ・市町村合併にて開催されなくなったイベントや行事もたくさんあります。現在では、選ばれた一部の人しか参加できないイベントがほとんどです。学校規模での統合が決まれば、今後の行事やイベント等がさらに限定され、今以上に何もない日々を送るのではないかと考えます。現在のままの存続は無理なのではないでしょうか？なぜ無理なのではないでしょうか？
- ・出席者が少ないことで多意見が聞けなかったことが残念だった。まだまだ多くの方々に呼びかけ、聞いてほしいと思った。小学校複式学級のことには覚悟してはいたが（仕方ない）、小中一貫、山川・開聞合併になると、親も子も残念でした。必要ないと思います。今のままで魅力はないですか？学力が一番ですか。人間づくりはいいんですか？地域の方々にも、小学校がなくなるのは地区が寂れると分かっておられます。川尻に魅力がないのではなくて、「川尻小がある」のが魅力なのです。地域には、高齢者にも孫・子どもたちが大事です。活気ある川尻小を残すことが、望ましい学校・地域づくりです。説明が事務的で分からない。難しくない具体的な説明がほしかった。子どもたちは大きくなったら、川尻に帰ってこられなくなるので、川尻小を残してほしい。
- ・市長が地域の方々の声を聞いて、意見を参考にし検討していますと言っていて安心してしました。市としても無理矢理、実施するとは思いません。まずは、川尻の人々の意見をたくさん聞いてほしいと思います。実際に地域に住んでいる人々が、小学校がなくなることでの不安。共に考え感じてほしいです。川尻の子どもたちは想像豊かで、元気いっぱい友達と遊び、自然とふれあい、地域と共に成長しています。そのお陰で、たくさん子どもたちが絵や作文等で上手に表現し、たくさんの賞を取ることができています。地域活動も、とても良い体験をさせていただいています。地域の高齢者や漁協の方々、とても学校に協力してもらい、子どもたちの為に関わりをもっていただいています。川尻小がなく

なったら、このような自然ふれあいが減少し、子どもたちの成長にも大きく影響するのではないのでしょうか。川尻は高齢者が多いです。小学校がなくなれば、若者は出て行き入ってはこないでしょう。誰が住民を守りますか？誰が高齢者に目をかけますか？本日は勤務時間外に、説明会を開いていただき感謝します。市教育委員会の方々も、指宿市民としての意見もあるかと思いますが、仕事としての立場での発言。とても大変かと思いますが。今後、子どもたちのために、一番良い方法をみんなで検討していけたら有難いです。

- ・小中一貫教育は時期尚早。まず、小学校存続も大切。今日の川尻の住民の気持ちを尊重して。
- ・学校は壊されたくない。川尻小がなくなったら、子どもたちが距離が遠くなるので大変だと思う。
- ・地方の区域の学生が不利にならないよう、スクールバス等を充実させてほしいと思います。
- ・小学校の場合は、スクールバスが出るとありますが、中学校（現在）の生徒（女子）は、薄暗い中で自転車で帰っています。左手は山、右手は畑です。よく見かけるので、車に乗せてあげようと思いますが、自転車があるので無理なようです。事故が起こってからでは遅いと思います。
- ・学校までの距離が遠い子には、大きなハンディがあるのでは。
- ・教員の負担を言うのであれば、来年度に教員増を。
- ・現状の学校の状況、子どもの状況をしっかり理解しているのでしょうか？地域（学校）の格差（子どもに対する考え方）があることをしっかり考えて、進めてあるのかとても不安に思っています。子どもをしっかりと見てほしいです。
- ・最後の方が発言された言葉に共感します。合併された後の課題は考えたことがなかったもので、以前の話をしてくださって考えました。保護者も不安ですが、子どもたちが一番大変なので、子どもの声も大切なのではないかと思います。
- ・30人もいないクラスですが、喧嘩やいじめの問題もあったり、学力も低下している現状なのに、学校が大きくなって、果たして子ども達一人ひとりを見ていただけるのか、とても不安でなりません。4・3・2制に施設分離型ですということとは、どのように2つの施設を使っていくのか分からない。本当に子どもを一番に考えた案をつくってほしいです。今の案は、大人中心の考えであると思う。難しい説明が多く、質問時間が短すぎます。
- ・説明会をやっただけでは、一部の人しか参加できない。もっと多くの人に聞いてもらう工夫が必要ではないか。
- ・少人数の学年に対して一人の教員を配置できれば、いいように思います。小中一貫校の考えを理解できないことも多くあると思います。理解を深めるために、すでに取り組んでいる一貫校の様子のビデオや先生、生徒、保護者のインタビューなど見られたらいいと思います。
- ・毎年、このような場を設け、保護者や地域の方々と意見交換をしながら進めてほしい。33年とはっきり数字を出されると、やっぱり不安なので、毎年話し合いを通して、合併するなら決めてほしいです。
- ・小中一貫になることで、保護者の出る機会が多くなるのではないか。皆さん、仕事をしている中で色々な負担がかかるのが不安です。（学校の場所が遠くなるほど）不安にならな

いように、決まり次第、説明をしていただきたいと思います。

- ・学校の今後のあり方について、地域を巻き込み、一体的に検討できる場をもっと増やすなど、前向きな会があればいい。
- ・説明会は年2回くらいは必要。県内の小中一貫校を観察し、参考にする。
- ・現時点での計画推進は疑問。保護者の参加がほとんどない。
- ・今夜の参加者が少なかったのは、案内が早すぎたこと。当日の無線放送は、当日より1～2日前がよかったのではと思います。
- ・住民説明会への参加者が少ないと感じました。住民の周知や学校再編について、もっと関心をもってもらうことが大切なのではと感じた。このことについて知らない人も多いと思いますが・・・適正化の推進ということであれば、指宿地域についても同時に進めていけないことに疑問です。
- ・小中一貫教育では、施設分離型を。適正化では、統合を進めていたので、将来像が見えにくいなと思いました。
- ・統合ありきのように受け取りました（素案とのことでしたが）。それでは話し合いになっていけないと思います。
- ・現状として、どちらが良いとは言えないのが本音です。どちらをとっても、利点も欠点もあるからです。どちらにしても、子どもにとって良い環境がつけられるべきであると思います。
- ・小学校は地域の核であり、存続してほしい。複式だから再編ではないと思う。学校規模は地域が決めることだと思う。開聞地域の2小学校の再編素案は反対です。もっと説明会をして理解を得てほしい。
- ・もっと今回のようなプレゼンと意見交換会を開催して、時間をかけてゆっくり決めていきたい。不明確なことが多すぎる。良い案もあるけど、もっと具体的に説明して納得させてほしい。するとすれば、開聞・川尻でいいと思う。
- ・校舎、施設の老朽化、教員の確保が仕方ない（危険な場合）もあります。市の予算などから考えると、確かに無駄に思えるかもしれませんが。小中一貫にしての長所もあると思いますが、地域、保護者、子どもたちがそれを一番に望んでいるのかということ？昔のまま、今のままでも何とか地域、保護者の協力、理解の元、やっていけるのではないかと考えます。どうしても統合、小中一貫にしなければならぬ状況かどうか理解できない。地域の皆さんは地元が大事ですし、合併、一貫をして必ずしも良い教育ができるのか、楽しい学校生活が送れるのか、保障はないのではと思います。通学、親の負担、親子の時間、子どもの人間関係のねじれを考えると、将来とはいえ急がなくても良いのではと思います。10年、20年後を考えると、統合や小中一貫も大事なかもしれませんが、川尻小がなくなると転出者は増え、定住者はなくなり、私の子や孫は果たして川尻に帰ってこれるのでしょうか？子ども・孫、その先を考えると統合より地元を守りたい。開聞・山川を一校にするのは理想で、利点が理解できない。教育に関してはそうですが、暮らし、将来に対しては反対でした。経過を追って、複式学級を子どもたち、保護者、地域が体験するのも良いのではないかと。児童減少による複式学級は仕方がないし、不利なことではないと思う。子どもたちが地域に親しんで育つのが一番良いのでは？複式学級も異学年の共存で、とても

良い教育になるのではないのでしょうか？

- 色々な案はあるけれど、ここに列記することはできませんが、やはり今日の話では「公平性」ということで疑問と不信感があるのだと思う。以前の川尻中と開聞中の統合時のことを覚えてますか？一緒になる議論も相当の時間をかけて、統合したにもかかわらず、統合年には統一できずに開聞教場・川尻教場として1年間やっていき、2年目からも内では相当の事件もあり、収まるのに10年ぐらいかかったということを忘れてはいないのでしょうか。平成18年に開聞・山川・指宿が合併する際にも、任意合併協議会から法定協議会になるまで、約10年かかって決めたにもかかわらず、それが守られていないというところからも不信感があるので、もっと慎重にやってほしい。
- もっと話し合うべき。
- やはり環境の変化による子どもへの影響が一番心配です。学校規模の適正化が必要と考える方は、引越ししたり、学区外進学なりを選択されるのではないかと思います。小規模校の良さもあり、あえて小規模校を選ぶ方もいらっしゃると思うので、今のままでもいいのではないかと思います。再編することで小規模校がいいのか、適正規模校がいいのか、選択することができなくなるのかなと思うと、今、再編するのが時期的に良いのか、今日の説明会では伝わりませんでした。
- 説明会なのに、参加者が少なくて驚きました。地域として残る側の気持ちがあるからでしょうね。小中一貫教育について、施設一体型を見据えていくと資料に書いているのに、あまり説明されなかったのが不思議でしたが、後から説明いただきありがとうございます。質問がないと言わないのは不思議でした。統廃合について声が出てきている学校区では、住民説明会をもっと多く持つ必要があるのではないですか？主は、統廃合についての説明会という意味だったのだらうと感じましたが、小中一貫教育について、メリット・デメリットをしっかりと教えていただきたかったですし、学校規模の適正化についての事例（たくさん見学されているはずですよ）を出していただくことはできなかったのでしょうか。意見をいただける方とは、今後しっかりと話を重ねていかなければならないと思いました。学力と部活が主って？
- 先に時期を決めても、場所の問題まで考えないといけないことがたくさんあるので、地域での話し合いをもっと行ってほしいです。（PTA）
- 統合は大切だと思いますが、細かい部分での話し合いがもっと必要だと思います。もっとたくさんの方々が参加して、意見も出し合っていけたらと思います。
- 話にも出ていましたが、PTA総会など保護者が集まりやすい時間の説明会をお願いしたいです。
- 地域に学校を残してほしいです。子どもたちが自分で行ける場所にあることが一番だと思う。市の広報や町内放送で、学校再編について知らせていますが、周りの人と話をしてみると「知らなかった」と言う人も、まだいます。今回の説明会の内容を広く多くの人に知らせて、これからはどのようなになったのか、その都度、説明をしてほしいと思います。
- 一貫と統合とが混ざって分かりにくい。
- 統廃合と一貫校との話がごちゃごちゃでした。
- なぜ32年、33年なのかと思うところはあります。もう少し分かりやすい言葉で説明してほ

しかったです。

- ・説明会に初めて参加しました。説明を一通り聞いても、ピンと頭に入りません。なんとなく了解といった感じです。持ち帰ってじっくり読んで、解釈したいと思います。ただ、意見にもありました現況課題について、十分な対策に取り組んでいただきたいと思う。
- ・教育委員会は専門外であろうが、子どもが減少することは止められない事実と捉えられており、国任せでない指宿市が取り組む、人が増える方策をもっともっと議論すべきで、行政の責任である。人が増えれば、問題は減少する。
- ・坊津学園が小中一貫を始めた時に、生徒数が増えるとは限らないという話がありました。この地区も小中一貫としても、地域住民（若い世代）がいなければ、今後、指宿市全体の統合になっていくのであれば、地域性もふるさと学も薄れ、消える、もしくは偏ってしまうのではないかと。まずは、地域住民の確保。小中一貫ありきの説明会ですね。不登校の数字はどれだけのなか。学力低下については、開聞小では十分に実施され向上していける環境にあります。反対ではないが、もう少し時間が必要。
- ・基本的には、指宿市の若い人の人口を増やすことであるのではないかと思います、そのためには指宿に人が集まるようにすることが大事。
- ・高齢化社会を迎える中、国は高齢者を地域で見守りましようと言っている。学校がなくなるということは、若い世代の人たちが地域からいなくなることに繋がる。ということは、高齢者を見守る人たちもいなくなることになる。市は、教育委員会ばかりで話し合うのではなく、福祉の方面からも考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・一貫教育をやる前に、社会全体で地域に人を残し、子どもたちがどうしたら少しでも多く残るのか、役所全体で考えているのか？今まで何かしてきたのか？
- ・子どもたちが少ないということは、住む大人が少ない。すぐ合併とならずに、人が来なくなるような、住みたくなくなるような考え方、企画を一生懸命考えて、知恵を絞ってほしいです。もちろん住民を巻き込んで、住民も参加できるようなものでお願いします。
- ・自分も旧型の人間ですが、I T等を活用したものも考えていけないといけない。最先端のものを取り入れて、存続でもやっていけるのではないかと感じたので、存続でお願いします。
- ・今回、I T活用の話も出て、これは一つの大きな有効的手段だと感じた。ただ、コミュニケーション力の育成など、全ての力をI Tが解決できとも思えない。その上で思ったことは、I Tの活用を一意見に留めるのではなく、しっかりと検討していくべきだと思う。
- ・タブレット活用はどの程度で、善入後のメリット・デメリットは？メリットを活かした教育を各教科に広げたらどうでしょう。（特に英会話は効果的なのでは）今、教員でタブレットを使いこなせる人はどれくらいか。小中一貫で実績のある学校のメリット・デメリットはあるのでしょうか、課題に対する取組はうまくいっているのでしょうか。
- ・質疑応答で出された意見は、学校教育にとって全てではないと思う。あのような強い意見があれば、多数がなびく傾向にあると思う。I C T技術はネット依存の問題など、必ずしも好ましい影響ばかりではないと思う。本日のような状態になると、子どもの教育についての望ましい判断は困難になると思う。ただ、多くの住民の方が集まったのは良いことだと思いました。

- ・中学校に関しては、開聞、山川は1校ずつですので、小学校を卒業すると、めざす集約案は、中学校に関しては、問題はない。指宿（池田小、指宿小、今和泉小）も開聞、山川と同じになるのか。開聞が見世物にならないように。
- ・指宿市の教育委員会素案であるならば、開聞・山川地区の方針だけではなく、指宿地区の方針もそろえてくるべきだと思う。教育委員会の方は小規模校の良さについて認識しておられるのか。その上での方針であってほしい。開聞小と川尻小が統一されても、学級数は増えることなく、学級における人数だけが増えることになり、なお指導が難しくなる。
- ・池田小も適正化のために考えるべきだ。複式学級を減らす方法にも、他に打つ手もあると思う。教職員を増やす方も、県ができれば、市で考えるやり方もあるのでは。
- ・山川・開聞地域に限らず、指宿地区（池田小・西中）についても、早急に進めるべきではないか。
- ・なぜ今和泉小、池田小、西指宿中がそのままで、開聞・山川地域を集約するのか。旧指宿市内の学校を初めに行うべき。今和泉小は反対だったからできなかったのか。坊津学園では、久志地域は小学校を廃止され、地域がだめになったと聞く。校長は1校に1人の方が、意見が反映されやすい。現在の学校がどうなるのか。
- ・現在の開聞・川尻校区の現状を知っていますか。この合併問題がお互いの溝を深くしています。長引けば長引くほど、深くなると考えます。中学校では一緒になることを考えると、先々が不安です。みんなの意見を聞いても解決しないと気付いてください。それとも、開聞地域を解体するのが目的ですか？市町村合併でも、開聞地域はどうだったでしょう。旧指宿市の合併問題を後回しにし、開聞地域の状況をふまえて判断するのですか？それだとおかしい。一緒に判断すればいい。
- ・サイレントマジョリティーを大事にしてください。できれば、サイレントマイノリティーも。
- ・子どもに寄り添った対応をするためには、少人数もありだと思います。地域の人意見を聞くのであれば、地域の人全員にしっかりアンケートをとるなど、みんなの意見を反映させる方法を取るべきだと思う。
- ・少人数らしい人間関係（異学年交流）・遊びがなくなるのでは？多人数だと同学年だけにならないか？先生の目が行き届かない所が多々でてくるのでは？川尻がさらに過疎化するのでは？子ども・若者が減っていくのでは？など、不安でしかない。伝統芸能は指宿にたくさんあるのに、どのようにしていくのか。反対です。
- ・施設が別の小中一貫教育なら、小学校と中学校が近くないといけないということはないのではないか。交通量の多い道路がすぐ傍にある大成小より、自然豊かで海も山も畑も近く、色々な経験ができる山川小がいいのではないかと思います。海亀の放流会、磯遊び、学校と神社を繋ぐ体力コース、さつま芋やカボチャの生産体験のできる畑、鰹節や山川漬の工場など、色々体験ができますよ。
- ・当事者の保護者の出席が少ないのが残念です。4校1校の小学校は、現在の山川小にはできないのでしょうか。
- ・廃校になる学校の地域は過疎化が進むと聞きました。そうになると、地域との連携や少子化が進むのでは？実際そうなった場合、子どもの多い地域への転校も考えたくありません。

- I T化に賛成です。自分の子どもを川尻小に通わせたいです。川尻小を残してください。
- ・ 2校を1校（開聞地区）することが決定した場合の既存校は、川尻小をお願いします。理由としては、耐震や体育館も耐震強度のため、きれいにしたばかりです。校舎から見える景色、開聞小よりも開聞岳がとても綺麗に見えます。開聞小に通う児童は30～40分かけて、徒歩で通学していると聞きました。既存校が川尻になった場合、バス通学になると、バス停まで少し歩いて、後はバスに乗るだけだと、子どもたちの負担も減ると思います。陳情で慎重にという意見を出しましたが、2校1校ににしてほしいと思って出したわけではありません。2校を1校にしても、川尻小の子どもたちにとって、いいことは少しもありません。33年度に2校を1校ではなく、10年後に新設をした方が子どもたちのためにはいい。まずは今、困っている（部活動等）中学校の再編を望みます。学力低下と言われていますが、川尻小は全国・県平均を上回っています。開聞小と一緒にになったら、川尻小の子どもたちの学力は低下します。
 - ・ 複式学級もいいと思う。上級生が下級生のことを面倒みてくれたりすることで、いじめや、そういうことが少しでもなくなる。川尻小を残すことをお願いします。
 - ・ 代々、親、じいちゃんと皆、川尻小卒です。地域の活動など地元にてしたいです。川尻小はなくさないでください。火が消えます。今、せっかく小学校区との体育祭を楽しくしているのに、小学校がなくなると寂しいので残してほしい。人数が少ないからといって、潰すのはやめてほしいです。絶対潰さないで。とにかく小学校を残してほしい。
 - ・ よりよい環境で勉強ができる学校です。空気もいいし、開聞岳も見れて良い環境ですよ。残してほしいです。
 - ・ 川尻小は少子になっていると言うが、廃校になってしまったら、川尻地域はもっともっと過疎化して、若い年代は川尻に住まなくなると思う。川尻小は少ない人数なりに、1～6年生まで仲が良く、指宿の小学校に比べても成績も良い。絶対、絶対、絶対、絶対合併は反対。もっと今の川尻小の現状を把握してほしい。反対、反対、反対。川尻地域がこのまま過疎化してもいいのか。少人数の方が先生も目が行き届いてとっても良い。小学校をなくすよりも、どうやったら川尻に住民が増えるのかを考えればいいのに。
 - ・ 川尻の人口は少なくなるばかりだ。若い人は川尻から出て行くばかりだが。川尻の町は寂れるだけだ。
 - ・ 生徒が一人でも、分校として成り立っている所もあるので、川尻小は続けていけると思うが。
 - ・ 今日の会合はI C々と言いますが、子どもの心がなくなる。川尻小を残してほしい。今でもいじめが多いのに、小中一貫教育になると、なおいじめが多くなる。教育委員会の意見には反対。今までのように川尻小学校を残してほしい。
 - ・ 川尻小は必ず残してほしいです。遠くなると、送り迎えをするのは大変なので、川尻小を残してください。
 - ・ 小学校は今のままで良い。①地域に若者が定住せず、急激な過疎化が進む。地域運営の存続が難しくなる。②子どもたちの声が聞こえなくなる。交流の場が少なくなる。③消防団の存続が難しくなる。地域に活気がなくなる。④川尻小を残す。
 - ・ 学力の低下、地域の過疎化が進んでしまい、川尻に人がいなくなる。人数が増えることに

よって、いじめは増える（実際、大きな学校ではある）。地域との触れ合いがなくなってしまう。郷土芸能がなくなるのでは。川尻小は地域と子どもたちの関係がとていい学校です。その学校をなくすのは反対です。川尻に学校があるので、年配の方や地域の方など、子どもたちに声かけをしてくれて、年配の方も元気に過ごせる。

- ・今日の会で、川尻住民の意向がよく分かったと思う。学校を残したい、川尻小を残したいという思いを踏まえて、素案を作り直すべきだ。学校は、地域にとっても大事なものののだと改めて感じた。良いとは思えない。
- ・川尻小存続を強く希望します。今日の意見を必ず反映してください。徹底した情報開示をお願いします。
- ・子ども第一に考えてほしい。川尻小は1から6年生まで、みんな友達だし、先生方も生徒数が少ないので、一人一人に目が行き届いていて、勉強面も一人一人丁寧に教えてくれる、とても素晴らしい学校です。そんな素晴らしい学校をなくさないでほしいです。
- ・川尻小が統廃合されると過疎化が進み、集落の活気がなくなります。小規模でも、ぜひ川尻小を存続してください。川尻小は川尻のシンボルです。
- ・書類やビデオだけの説明で、簡単にこの話を理解できるわけがない。もっと意見を言え、もっと教育委員会が協力していかなければ、住民の意見は何も変わらない。今回、聞いた話で何もいいと思えたところなかった。今すぐに小学校だったり、中学校を一緒にしても、一番考えなきゃいけない子どもたちのために、何も良いとは思えない。今の川尻小の子どもたちは、人数が少ないということよりも、子どもたち一人一人が良いところを活かしている。人数が少ないということが、デメリットばかりではないと、川尻小の子どもたち自身が、一番示してくれていると思う。川尻小の子どもたちは、他の学校よりも成績が良く、何より全学年が仲が良く、全生徒がどこよりも協力し合っている、素晴らしい学校だ。子どものことを一番に考えるべきだ。
- ・難しい説明が多い。簡単に小中一貫教育をいつからするのか、はっきり分かりやすいように説明がほしい。内容的に教員から側からのみの話のような気がします。一番大事な子どもたちや地域の方々のことは考えていないようです。最終的に市長に決定力があるのなら、市長選挙しなしたら。川尻から小学校をとらないで。今日の説明には納得しておりません。
- ・過小規模校が残ってはいけませんか？母校がなくなるのは寂しいです。川尻は若い人が住むのに、とても良い所だと思います。病院・お店もあります。でも、住む所がないというのも問題だと思います。市がもっと、地域の住みやすさも見てもらいたいと思います（住宅を増やすなど）。川尻小と開聞小が合併しても、クラスが増えないと思いますが、合併する必要がありますか？ないような気がします。川尻小は学力が高いと聞きましたが、すごくいいと思います。そのまま学力など伸ばしてあげるのがいいと思います。もっと開聞小と川尻小の交流や、運動をたくさんしたりとか、機会を増やしてあげたらよくないですか。
- ・今、開聞小と川尻小は再編する必要はない。川尻小はかわいそうではない。それぞれに良い所があり、地域の核である小学校は残すべき。もっともっと説明会を開催してほしい。川尻小は複式になっても、地域との連携がとれているので、社会性も育まれている。教育

委員会に不信感を感じる。

- ・川尻小存続を求める。より良い教育環境を整えるためにも、長期的な展望で検討してほしい。
- ・川尻地区内に小学校は残してください。
- ・初めて、今回のお話をお聞きして、即答することは難しく思います。川尻小は存続してほしい気持ちです。
- ・地区に小学校は必要だと思う。川尻小は存続してもらいたい。
- ・川尻小は残してほしい。小規模校の良い所がたくさんあると思う。過疎が進むので、地域に学校は必要。
- ・川尻小は存続してほしい。小学校は地域の中心であり、活性力がある。
- ・どうしても川尻小を残してほしい。小学校がなくなると、子どもの姿が見ることができないので、ぜひ残してほしい。
- ・川尻小は、我が地区の大きな柱。なくなることには絶対反対。
- ・会議・説明会の内容より、やっぱり反対。川尻小を残したい。
- ・今回の説明には矛盾点多すぎて、理解ができなかった。川尻小は残すべきだと思う。
- ・川尻小を残してください。残すべきです。教育委員会の説明に矛盾が多すぎて、私は理解に苦しみました。
- ・川尻小は残してもらいたい。
- ・やはり川尻小は残してほしい。
- ・川尻小を残してほしいです。
- ・川尻小を残してほしい。
- ・川尻小を残してほしい。
- ・川尻小を残してほしい。
- ・川尻小は残してほしい。
- ・川尻小は残してほしい。
- ・川尻小は残してください。
- ・小学校は川尻に残す。
- ・小学校は川尻に残す。
- ・川尻小は川尻に残す。
- ・絶対、川尻小を残せ！
- ・川尻小を残して。
- ・川尻小を残す。
- ・川尻小を残す。

アンケートへのご協力
ありがとうございました

